

令和 7 年度
佐久市 高齢者等実態調査
結果報告書

令和 8 年 3 月
佐 久 市

目 次

1. 調査の概要.....	1
2. 調査結果等から見える第10期計画への提言	7
3. 調査の結果.....	17
あなた（あて名のご本人）やご家族の生活状況について	17
からだを動かすことについて	22
食えることについて	33
毎日の生活について	42
地域での活動について	59
助け合いについて	80
健康・介護予防について	90
地域包括支援センターについて	122
認知症について	124
安心・安全の地域づくりについて	132
介護の状況・希望する介護サービスについて	136
主な介護・介助者の方について	168
高齢者施策について	177
4. 日常生活圏域別地域分析	184
介護予防・健康づくり	184
地域とのつながり・社会参加	190
安心・安全	193
相談支援・介護予防意識	194
生活支援・介護サービス	196

I. 調査の概要

調査の目的

3年ごとに見直しを行っている介護保険事業計画の改定時期を迎えたことから、令和9年度～令和11年度を計画年度とする新たな計画を策定するための基礎資料とするため、日常生活における身体機能の状況や介護の状況、今後の希望などについて住民の意見・要望等を収集することを目的に調査を実施しました。

調査の方法

【 調査方法 】

郵送配布・郵送回収

【 調査対象 】

- ①元気高齢者：市内に居住する要介護・要支援認定を受けていない65歳以上の方
- ②居宅要介護・要支援認定者等：市内の自宅で生活する要介護・要支援認定を受けている65歳以上の方

【 調査期間 】

令和7年12月3日～令和7年12月19日

回収状況

調査の種類	対象数	回収数	無効票	有効回収数	有効回収率
①元気高齢者	400人	350票	1票	349票	87.3%
②居宅要介護・要支援認定者等	1,900人	1,342票	41票	1,301票	68.5%

【 日常生活圏域別の回収状況 】

①元気高齢者

圏域名	調査員対象者数	調査票の配布数	有効回収数	有効回収率
市全域	25,769人	400人	349人	87.3%
佐久平・浅間圏域	3,877人	68人	53人	77.9%
岩村田・東圏域	4,726人	68人	60人	88.2%
中込圏域	4,123人	68人	63人	92.6%
野沢圏域	4,637人	68人	59人	86.8%
臼田圏域	3,843人	64人	55人	85.9%
浅科・望月圏域	4,563人	64人	59人	92.2%

②居宅要介護・要支援認定者等

圏域名	調査員対象者数	調査票の配布数	有効回収数	有効回収率
市全域	4,641人	1,900人	1,301人	68.5%
佐久平・浅間圏域	693人	332人	215人	64.8%
岩村田・東圏域	737人	336人	230人	68.5%
中込圏域	689人	301人	206人	68.4%
野沢圏域	853人	299人	204人	68.2%
臼田圏域	807人	310人	231人	74.5%
浅科・望月圏域	862人	322人	215人	66.8%

この報告書の見方

- ・当該質問に回答した人の実数（回答母数）を表記する場合は「n」と表示しています。
- ・集計結果の％表示は、小数点以下第2位を四捨五入してあるため、構成比の合計が100.0％にならない場合があります。
- ・複数回答できる質問の場合は、すべての構成比の合計が100.0％にならない場合があります。
- ・スペースの関係上、選択肢を省略している箇所があります。
- ・前回、令和4年度に実施した調査結果と経年比較を行っており、5ポイント以上の差異が見られる項目を基本にコメントを記載しています。
- ・一部の設問においては、性別や年齢階層等の基本属性によるクロス集計結果も記載しており、5ポイント以上の差異がみられる項目（無回答を除く）を基本にコメントを記載しています。
- ・複数回答可の設問については、棒グラフで表記しており、回答割合の順番を分かりやすくするため、元気高齢者、居宅要介護・要支援認定者等別に降順での並び替えを基本としていますが、選択肢が点数など、もともとの順番に意味がある設問に関しては降順での表記を行わず、そのままの順番で記載しています。（スペースの関係で、選択肢自体も1つにまとめています。）

回答者の基本的な属性

【日常生活圏域別・性別・年齢階層別の有効回答者の状況】

市全域の調査別性別年齢階層別有効回答数

(上段：人 下段：%)

調査対象者	計	男性					女性				
		65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
①元気高齢者等	349	18	33	36	51	32	29	29	35	51	35
	100.0	5.2	9.5	10.3	14.6	9.2	8.3	8.3	10.0	14.6	10.0
②居宅要介護・要支援認定者等	1,301	20	54	104	115	317	19	24	45	113	490
	100.0	1.5	4.2	8.0	8.8	24.4	1.5	1.8	3.5	8.7	37.7

佐久平・浅間圏域の調査別性別年齢階層別有効回答数

(上段：人 下段：%)

調査対象者	計	男性					女性				
		65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
①元気高齢者等	53	2	7	5	9	3	3	6	6	7	5
	100.0	3.8	13.2	9.4	17.0	5.7	5.7	11.3	11.3	13.2	9.4
②居宅要介護・要支援認定者等	215	7	9	15	19	51	2	7	10	21	74
	100.0	3.3	4.2	7.0	8.8	23.7	0.9	3.3	4.7	9.8	34.4

岩村田・東圏域の調査別性別年齢階層別有効回答数

(上段：人 下段：%)

調査対象者	計	男性					女性				
		65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
①元気高齢者等	59	6	4	4	9	5	3	4	9	10	5
	100.0	10.2	6.8	6.8	15.3	8.5	5.1	6.8	15.3	16.9	8.5
②居宅要介護・要支援認定者等	204	4	11	14	18	45	4	2	8	14	84
	100.0	2.0	5.4	6.9	8.8	22.1	2.0	1.0	3.9	6.9	41.2

中込圏域の調査別性別年齢階層別有効回答数

(上段：人 下段：%)

調査対象者	計	男性					女性				
		65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
①元気高齢者等	63	1	8	7	8	6	7	3	7	8	8
	100.0	1.6	12.7	11.1	12.7	9.5	11.1	4.8	11.1	12.7	12.7
②居宅要介護・要支援認定者等	206	2	10	17	19	40	2	2	8	20	86
	100.0	1.0	4.9	8.3	9.2	19.4	1.0	1.0	3.9	9.7	41.7

野沢圏域の調査別性別年齢階層別有効回答数

(上段：人 下段：%)

調査対象者	計	男性					女性				
		65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
①元気高齢者等	60	3	5	7	8	7	5	4	6	8	7
	100.0	5.0	8.3	11.7	13.3	11.7	8.3	6.7	10.0	13.3	11.7
②居宅要介護・要支援認定者等	230	2	3	20	31	64	2	3	6	18	81
	100.0	0.9	1.3	8.7	13.5	27.8	0.9	1.3	2.6	7.8	35.2

臼田圏域の調査別性別年齢階層別有効回答数

(上段：人 下段：%)

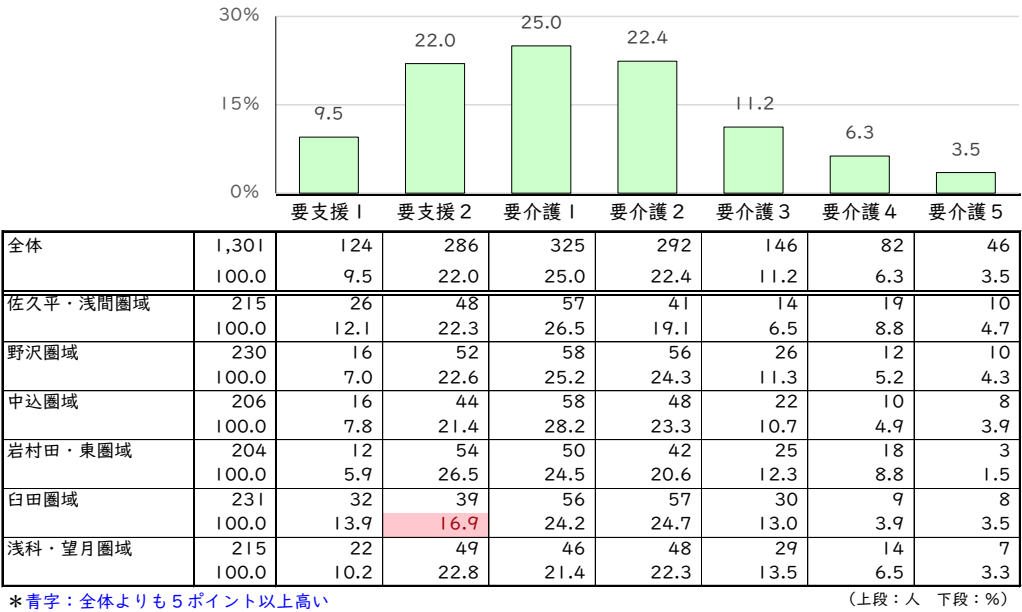
調査対象者	計	男性					女性				
		65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
①元気高齢者等	55	0	4	8	9	5	8	4	3	11	3
	100.0	0.0	7.3	14.5	16.4	9.1	14.5	7.3	5.5	20.0	5.5
②居宅要介護・要支援認定者等	231	4	12	17	15	62	4	4	10	23	80
	100.0	1.7	5.2	7.4	6.5	26.8	1.7	1.7	4.3	10.0	34.6

浅科・望月圏域の調査別性別年齢階層別有効回答数

(上段：人 下段：%)

調査対象者	計	男性					女性				
		65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
①元気高齢者等	59	6	5	5	8	6	3	8	4	7	7
	100.0	10.2	8.5	8.5	13.6	10.2	5.1	13.6	6.8	11.9	11.9
②居宅要介護・要支援認定者等	215	1	9	21	13	55	5	6	3	17	85
	100.0	0.5	4.2	9.8	6.0	25.6	2.3	2.8	1.4	7.9	39.5

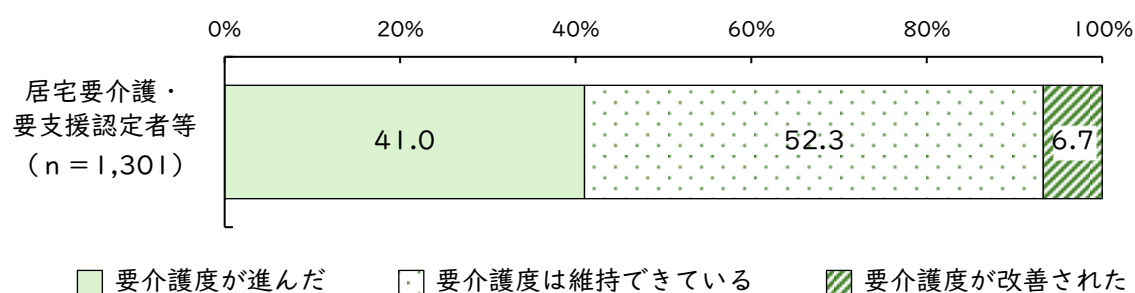
■要介護度



《居宅要介護・要支援認定者等》

「要介護1」が25.0%と最も多く、次いで「要介護2」が22.4%、「要支援2」が22.0%などとなっています。

■要介護度の変化（1年前の要介護度との比較）



		1年前の介護度									
		介護度が進んだ	認定を受けていなかった	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	介護度が改善された
現在の介護度	要支援1	46 37.1	46 37.1	59 47.6	12 9.7	5 4.0	2 1.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	19 15.3
	要支援2	95 33.2	79 27.6	16 5.6	172 60.1	11 3.8	4 1.4	2 0.7	2 0.7	0 0.0	19 6.6
	要介護1	121 37.2	90 27.7	8 2.5	23 7.1	183 56.3	10 3.1	7 2.2	4 1.2	0 0.0	21 6.5
	要介護2	125 42.8	62 21.2	4 1.4	21 7.2	38 13.0	145 49.7	14 4.8	8 2.7	0 0.0	22 7.5
	要介護3	77 52.7	24 16.4	1 0.7	7 4.8	13 8.9	32 21.9	63 43.2	5 3.4	1 0.7	6 4.1
	要介護4	51 62.2	17 20.7	1 1.2	4 4.9	9 11.0	11 13.4	9 11.0	31 37.8	0 0.0	0 0.0
	要介護5	19 41.3	4 8.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4 8.7	11 23.9	27 58.7	-

*青字：要介護度が改善された…………… 87人/1,301人=6.7%
 *黒字：要介護度は維持できている…………… 680人/1,301人=52.3%
 *赤字：要介護度が進んだ…………… 534人/1,301人=41.0%

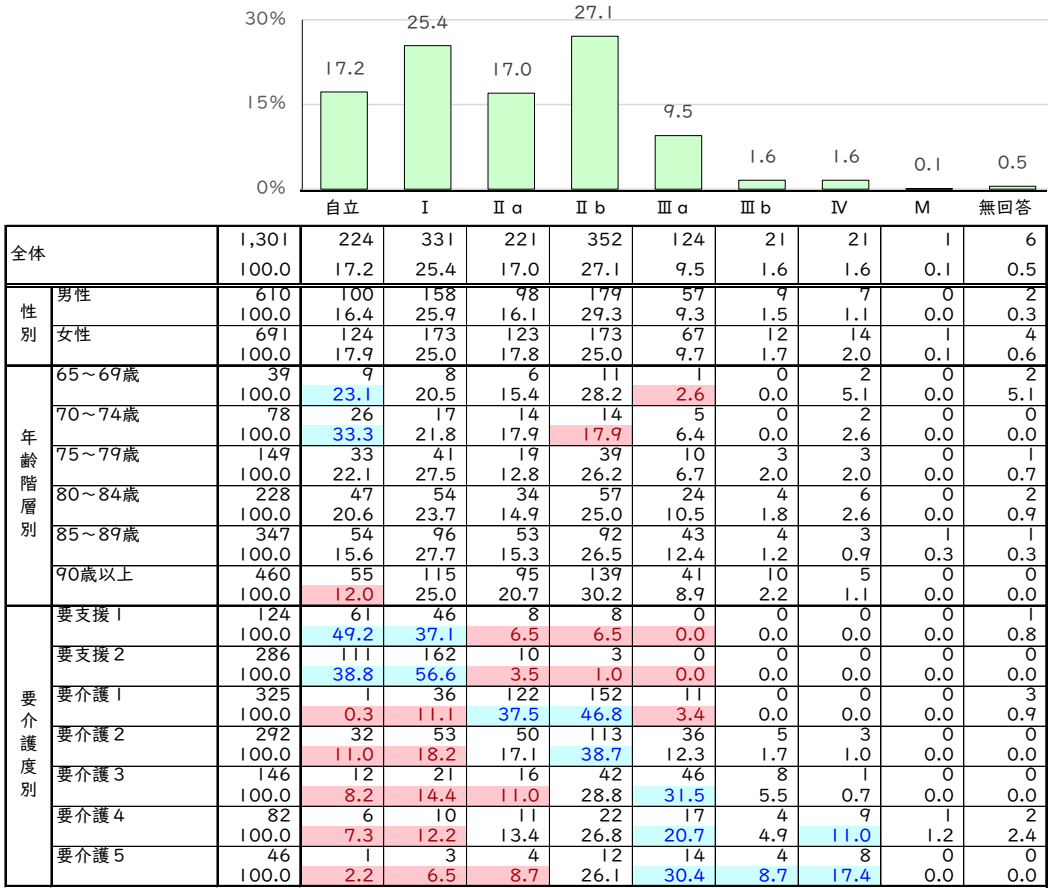
(上段：人 下段：%)

《居宅要介護・要支援認定者等》

「要介護度は維持できている」が52.3%と最も多く、次いで「要介護度が進んだ」が41.0%、「要介護度が改善された」が6.7%となっています。

現在の介護度別に比較すると、“要介護1”以上は、介護度が重いほど「介護度が進んだ」割合が大きくなる傾向が見られます。

■認知症高齢者の日常生活自立度



*青字：全体よりも5ポイント以上高い
赤字：全体よりも5ポイント以上低い (上段：人 下段：%)

《居宅要介護・要支援認定者等》

「II b」が27.1%と最も多く、次いで「I」が25.4%、「自立」が17.2%などとなっています。

性別、年齢階層別、要介護度別に比較すると、性別では大きな差異は見られませんが、年齢階層においては、年齢階層が高くなるほど「自立」の割合が低くなる傾向が見られます。要介護においては、判定の基準に用いられる項目の一つのため、正の相関関係が見られます。

【参考】認知症高齢者の日常生活自立度

ランク	判定基準
I	何らかの認知症を有するが、日常生活は家庭内及び社会的にほぼ自立している。
II	日常生活に支障を来すような症状・行動や意志疎通の困難さが多少見られても、誰かが注意していれば自立できる。
II a	家庭外で上記IIの状態が見られる。
II b	家庭内でも上記IIの状態が見られる。
III	日常生活に支障を来すような症状・行動や意志疎通の困難さがときどき見られ、介護を必要とする。
III a	日中を中心として上記IIIの状態が見られる。
III b	夜間を中心として上記IIIの状態が見られる。
IV	日常生活に支障を来すような症状・行動や意志疎通の困難さが頻繁に見られ、常に介護を必要とする。
M	著しい精神症状や問題行動あるいは重篤な身体疾患が見られ、専門医療を必要とする。

2. 調査結果等から見える第10期計画への提言

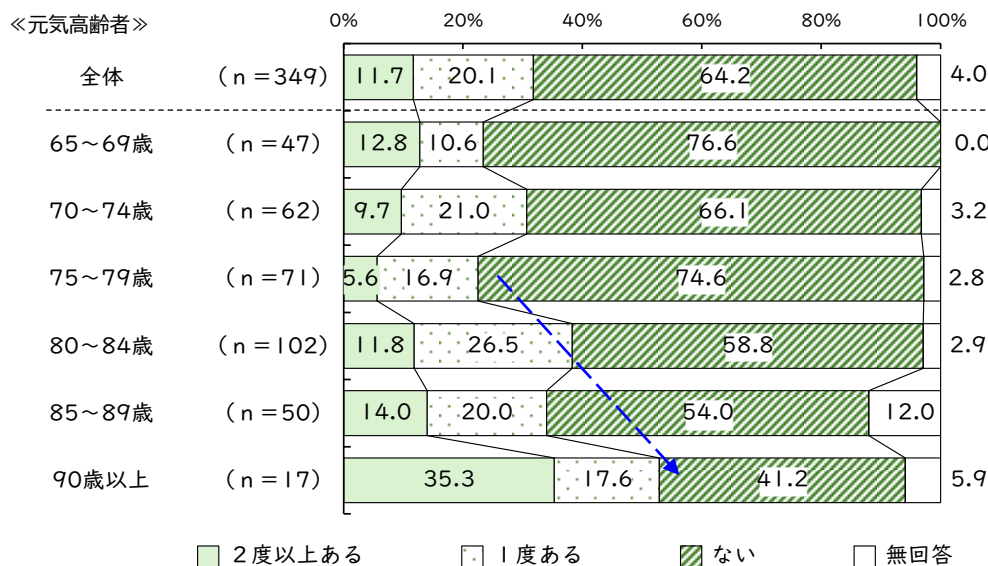
【提言1】 介護予防・フレイル予防の推進

本市においては、今後、後期高齢者の増加に伴い、要介護リスクの高い高齢者が増えていくことが見込まれており、介護予防の重要性は一層高まっています。第9期計画においても、健康寿命の延伸と重度化防止の観点から、フレイル対策を中心とした介護予防の推進が重要な柱として位置づけられています。

実態調査結果では、元気高齢者の69.3%が15分以上の歩行を実践しているなど、一定の身体機能を維持している層が多い一方で、1度以上の転倒経験は31.8%、転倒不安は53.8%に上っており、潜在的にフレイル状態に移行するリスクを抱えている高齢者が少なくない状況となっています。また、クロス集計の結果をみると、年齢階層が高くなるほど転倒経験の割合が増加しており、特に75歳以上の後期高齢者では、転倒経験が「ない」は年齢階層が高くなるほど減少傾向が顕著となっています。

このような状況から、要介護認定を受けていない元気な前期高齢者の段階からの早期介入を重視し、フレイルの進行を未然に防ぐ取組を強化する必要があります。具体的には、通いの場や介護予防教室の充実に加え、地域活動や日常生活の中で自然に身体活動が促進される仕組みづくりが重要です。また、医療・介護・保健の多職種が連携し、個々の状態に応じた継続的な支援を行う体制の充実も求められます。

＜過去1年間における転倒経験の有無＞



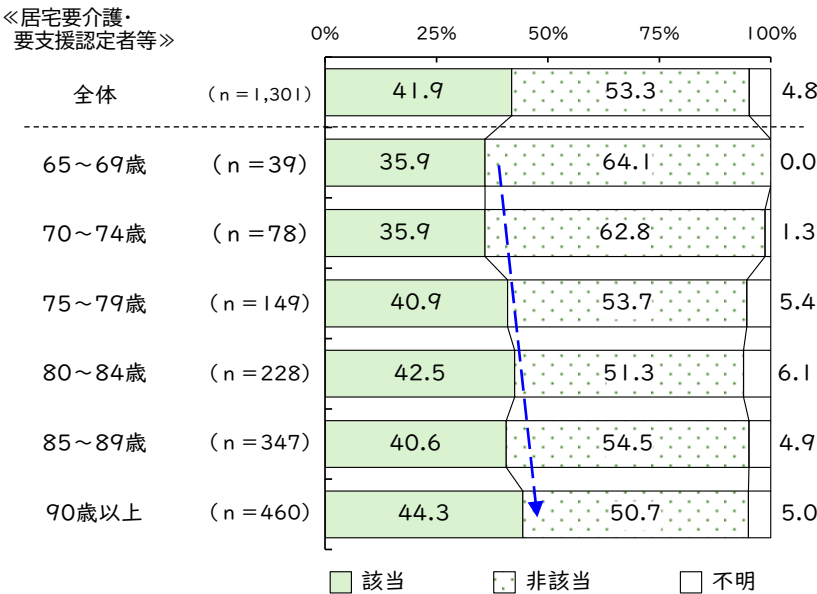
【提言2】 栄養・口腔機能の維持向上

高齢者の健康状態を維持し、要介護状態への移行や重度化を防ぐためには、栄養状態と口腔機能の維持が極めて重要です。第9期計画においても、健康寿命の延伸に向けた重要な施策として位置づけられています。

実態調査結果では、居宅要介護・要支援認定者等の21.1%が過去6か月間で体重減少を経験しており、低栄養状態にある可能性が示唆されています。また、固いものが食べにくいとする人が45.1%、飲み込み時にむせることがある人が45.7%、口の渇きが気になる人が37.9%と口腔機能の低下が顕著に見られます。この3項目のうち、2項目以上に該当する人は口腔機能低下のリスクがある人と判定でき、その割合は年齢階層が高くなるほど微増傾向となっています。これらの状況は、単に食事の問題にとどまらず、身体機能の低下や免疫力の低下、さらには誤嚥性肺炎のリスク増加など、健康全体に大きな影響を及ぼす要因となります。

このため、フレイル予防の一環として、栄養改善や口腔ケアの重要性についての普及啓発をさらに進めるとともに、歯科医師、栄養士、医療機関、介護事業者等の多職種が連携した支援体制を充実する必要があります。また、通いの場や地域活動の中に栄養・口腔機能向上の取組を組み込むなど、日常的に取り組める環境づくりも不可欠です。

<口腔機能の低下のリスク判定>



【参考】口腔機能の低下の判定・評価

項目	選択肢	判定・評価
半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	「はい」=1点	2点以上=該当 0点～1点=非該当
お茶や汁物等でむせることがありますか		
口の渇きが気になりますか		

* 「無回答」を含む0点～1点は不明処理

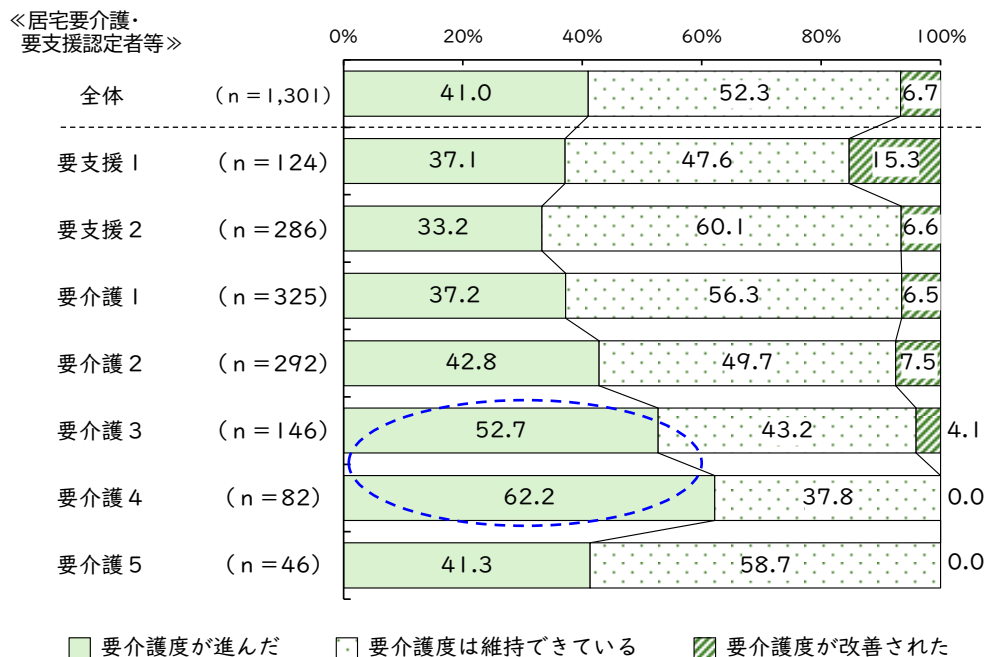
【提言3】 自立支援及び重度化防止の推進

要介護・要支援者の増加が見込まれる中、可能な限り自立した生活を維持し、重度化を防ぐ取組の重要性が一層高まっています。第9期計画においても、“自立支援・重度化防止”は重要な視点として位置づけられており、その具体的な取組の深化が求められています。

実態調査結果では、要介護度の変化（1年前の要介護度との比較）について「要介護度は維持できている」が52.3%と過半数を占めているものの、「介護度が進んだ」は41.0%と高く、「介護度が改善された」は6.7%にとどまっています。また、要介護度別にみると、要介護3及び要介護4では「介護度が進んだ」が50%を超え、特に要介護4においては62.2%に達するなど、重度層ほど状態悪化のリスクが高い傾向にあることがうかがえます。

このため、リハビリ専門職を含む多職種が連携した個別支援の強化を図り、機能訓練・栄養・口腔ケアを一体的に提供する体制の充実が必要です。また、通所サービスや外出支援の活用により生活機能の維持向上を図るとともに、生活支援サービスの充実により在宅生活の継続を支えることが重要です。あわせて、認知症の進行予防や家族支援を含めた早期対応を推進し、地域全体で重度化を防ぐ体制の構築が求められます。

＜要介護度の変化（1年前の要介護度との比較）＞



【提言4】 社会参加の促進と地域で支え合う体制の強化

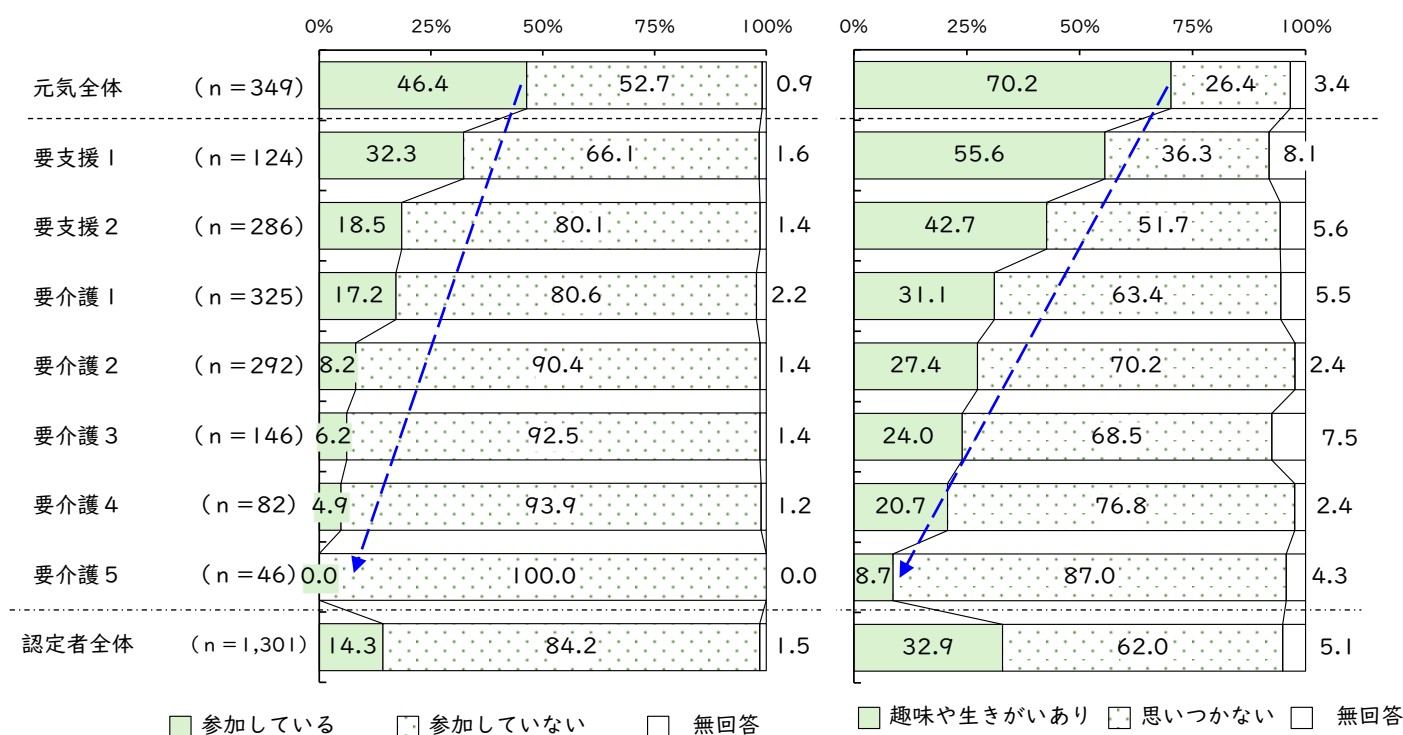
第9期計画では、高齢者が住み慣れた地域で生きがいを持ちながら安心して暮らし続けられる地域包括ケアシステムの深化が掲げられています。その実現に向けては、高齢者の社会参加の促進と孤立防止を一体的に進め、地域全体で支え合う仕組みを強化していくことが重要です。

実態調査では、地域活動への参加率は元気高齢者で46.4%である一方、居宅要介護・要支援認定者等では14.3%にとどまり、介護度が高くなるほど低下する傾向がみられます。また、生きがいがある人の割合は元気高齢者で70.2%に対し、居宅要介護・要支援認定者等では32.9%となっており、「生きがいがない」とする人が62.0%を占めています。さらに、友人とほとんど会わない人は居宅要介護・要支援認定者等で49.8%と高く、元気高齢者の15.8%を大きく上回っています。加えて、元気高齢者においても33.8%が相談相手を持たない状況にあり、高齢になるほどその割合は高くなる傾向がみられます。

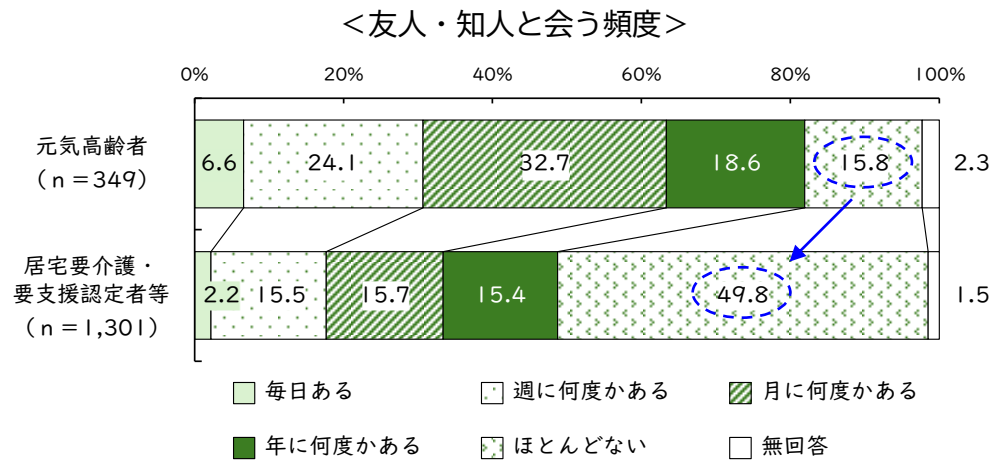
これらの結果から、加齢や要介護状態への移行に伴い、人との交流や地域とのつながりが希薄化し、生きがいや精神的な充足感の低下、さらには孤立リスクの高まりにつながっていることがうかがえます。今後は、趣味活動やボランティア活動、通いの場などへの参加機会の充実を図るとともに、高齢者が地域の中で役割を持ち、自らの経験や能力を活かせる仕組みづくりを進めることが必要です。また、地域包括支援センターを中心とした相談支援体制の充実や、地域住民、関係団体、民間事業者等による見守りネットワークの強化を図り、日常的な交流や支え合いを通じて、孤立を防ぎながら誰もが安心して暮らし続けられる地域づくりを推進していくことが求められます。

<地域の会やグループへの参加状況>

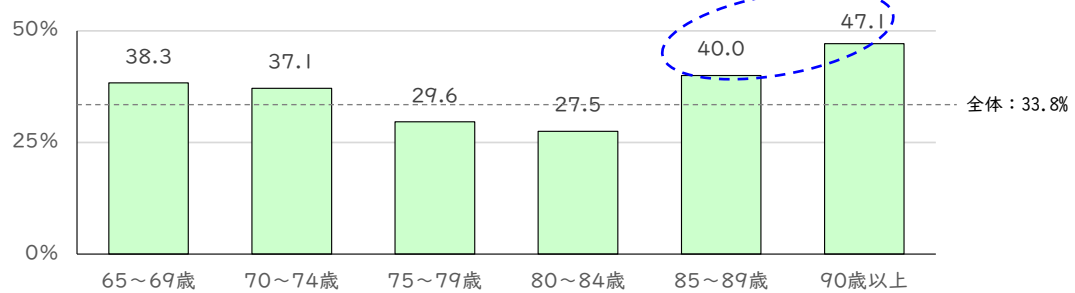
<趣味や生きがいの状況>



2. 調査結果等から見える第10期計画への提言



＜家族や友人・知人以外で、何かあった時に相談する相手が「いない」と回答した割合＞



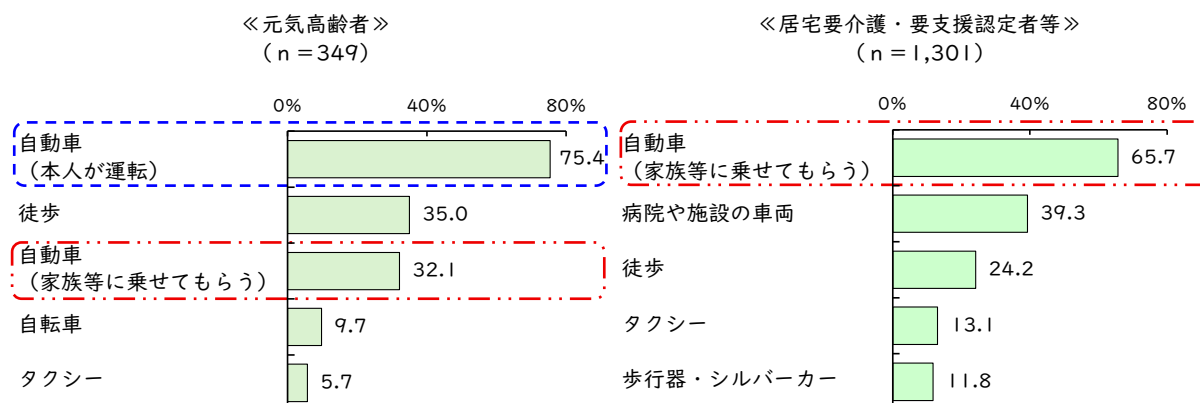
【提言5】 移動支援と外出機会の確保

本市は広域的な生活圏を有し、日常生活を維持するために自動車が不可欠です。このため、移動手段の確保は単なる交通政策にとどまらず、高齢者の生活の質や健康状態に直結する重要な課題となっています。第9期計画においても、地域での生活継続を支える基盤として、移動環境の整備が重要視されています。

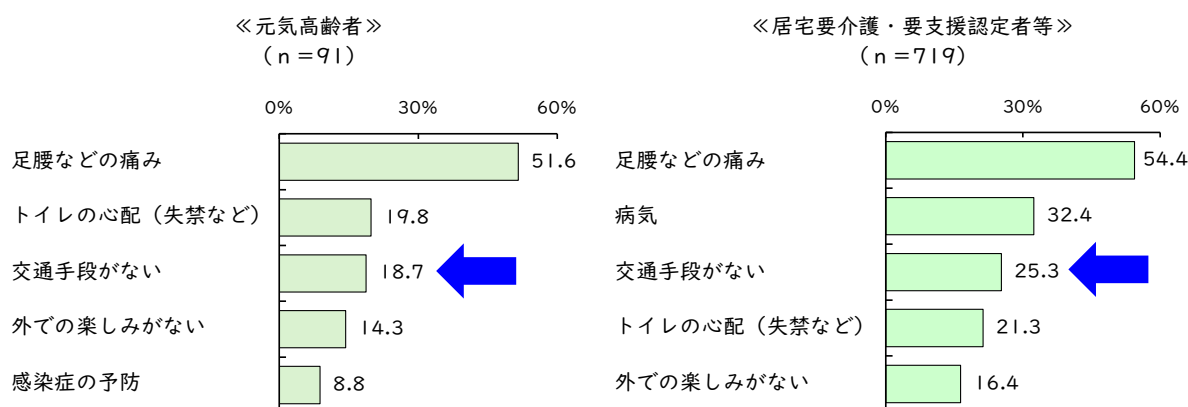
実態調査結果では、元気高齢者の72.2%が自動車を自ら運転している一方、居宅要介護・要支援認定者等では家族による送迎が65.7%を占めており、自立した移動が困難な状況が明らかとなっています。また、外出が減少した理由として「交通手段がない」とする回答が元気高齢者、居宅要介護・要支援認定者等ともに3番目に多くなっており、移動手段の不足が直接的な障壁の一つとなっています。

これらの結果から、移動支援は健康維持や社会参加の基盤として極めて重要であることが分かります。市民の様々な利用ニーズに対応したデマンド交通や地域公共交通、外出支援サービスなど、多様な手段を組み合わせた持続可能な移動体系を継続して実施する必要があります。また、免許返納後の生活を見据えた支援や、通院・買い物など日常生活に即した移動支援の充実も求められます。

<外出する際の移動手段（上位5項目）>



<外出が減っている（控えている）理由（上位5項目）>



【提言6】 在宅生活を支える生活支援の充実

本市においては、高齢者が住み慣れた地域で可能な限り自立した生活を継続できるよう、在宅生活を支える支援体制の整備が重要な課題となっています。第9期計画においても、生活支援の充実が重要な施策として位置づけられています。

実態調査結果では、居宅要介護・要支援認定者等の68.9%が買い物を行うことが困難であると回答し、61.6%が金銭管理に課題を抱えていることが明らかとなっています。また、公共交通機関等を利用した単独外出が困難な人も77.9%に上っており、日常生活の基本的な機能が大きく低下している状況が見られます。これらは単なる身体機能の問題にとどまらず、生活全体の自立性の低下を示す重要な指標であるといえます。

さらに、こうした生活機能の低下は、外出機会の減少や社会参加の低下とも密接に関連しており、結果として孤立や心身機能のさらなる低下を招く要因となるため、在宅生活の継続を支えるためには、単発的な支援ではなく、生活全体を包括的に支える仕組みが必要です。

今後は、買い物支援、配食サービス、見守り支援、家事援助などの生活支援サービスの充実を図るとともに、行政、地域住民、ボランティア、民間事業者等の多様な主体が連携した支援体制の構築が求められます。

また、生活支援コーディネーターの活用などにより、地域資源を効果的に結び付ける仕組みを強化し、地域全体で支える体制を構築していくことが重要です。

<日常生活における行動の可否>

自分で食品・日用品の買い物をしているか						自分で預貯金の出し入れをしているか						
	調査数	できるし、 している	できるけど していない	できない	無回答		調査数	できるし、 している	できるけど していない	できない	無回答	
要介護度別	全 体	1,301	229	146	897	29	全 体	1,301	279	198	802	22
		100.0	17.6	11.2	68.9	2.2		100.0	21.4	15.2	61.6	1.7
	要支援1	124	61	19	38	6	要支援1	124	67	30	22	5
		100.0	49.2	15.3	30.6	4.8		100.0	54.0	24.2	17.7	4.0
	要支援2	286	89	39	153	5	要支援2	286	113	59	110	4
		100.0	31.1	13.6	53.5	1.7		100.0	39.5	20.6	38.5	1.4
	要介護1	325	45	52	218	10	要介護1	325	52	42	224	7
		100.0	13.8	16.0	67.1	3.1		100.0	16.0	12.9	68.9	2.2
	要介護2	292	27	25	235	5	要介護2	292	37	42	208	5
		100.0	9.2	8.6	80.5	1.7		100.0	12.7	14.4	71.2	1.7
要介護3	146	5	9	130	2	要介護3	146	7	16	123	0	
	100.0	3.4	6.2	89.0	1.4		100.0	4.8	11.0	84.2	0.0	
要介護4	82	2	2	77	1	要介護4	82	2	9	70	1	
	100.0	2.4	2.4	93.9	1.2		100.0	2.4	11.0	85.4	1.2	
要介護5	46	0	0	46	0	要介護5	46	1	0	45	0	
	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0		100.0	2.2	0.0	97.8	0.0	

バスや電車で一人で外出しているか（自家用車でも可）

		調査数	できるし、 している	できるけど できない	できない	無回答
全 体		1,301 100.0	137 10.5	117 9.0	1,014 77.9	33 2.5
要介護度別	要支援 1	124 100.0	47 37.9	16 12.9	55 44.4	6 4.8
	要支援 2	286 100.0	47 16.4	43 15.0	184 64.3	12 4.2
	要介護 1	325 100.0	25 7.7	35 10.8	258 79.4	7 2.2
	要介護 2	292 100.0	14 4.8	18 6.2	254 87.0	6 2.1
	要介護 3	146 100.0	3 2.1	4 2.7	139 95.2	0 0.0
	要介護 4	82 100.0	1 1.2	1 1.2	78 95.1	2 2.4
	要介護 5	46 100.0	0 0.0	0 0.0	46 100.0	0 0.0

※青字：全体よりも5ポイント以上高い
赤字：全体よりも5ポイント以上低い
(上段：人 下段：%)

【提言7】 認知症対策の推進

本市においては、今後の高齢化の進行に伴い、認知症高齢者の増加が見込まれており、認知症対策の強化は喫緊の課題となっています。第9期計画においても、地域包括ケアシステムの深化の中で、認知症施策の推進が重点施策として位置づけられています。

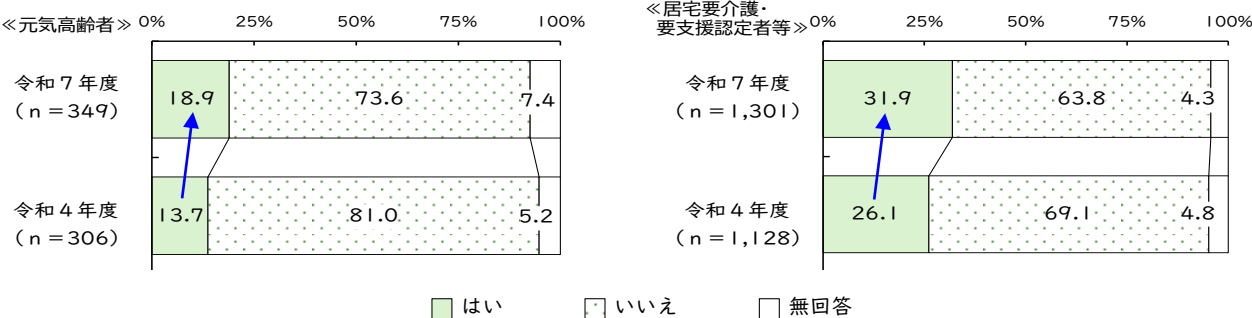
実態調査結果では、認知症に関する相談窓口の認知度は、元気高齢者、居宅要介護・要支援認定者等とも前回よりも増加しているものの、元気高齢者で18.9%、居宅要介護・要支援認定者等でも31.9%にとどまっており、多くの市民が適切な相談先を十分に把握しているとは言えず、相談先としては「家族・親戚」が60.7%と最も多くなっています。

さらに、認知症の人が安心して暮らすためには「受診・治療ができる病院・診療所」、「入所できる施設」、「専門相談窓口」が元気高齢者、居宅要介護・要支援認定者等ともニーズが高く、支援体制の充実が求められています。加えて、居宅要介護・要支援認定者等の41.1%が、本人または家族に認知症の症状があると回答しており、経年比較の結果などにより今後の増加も見込まれます。

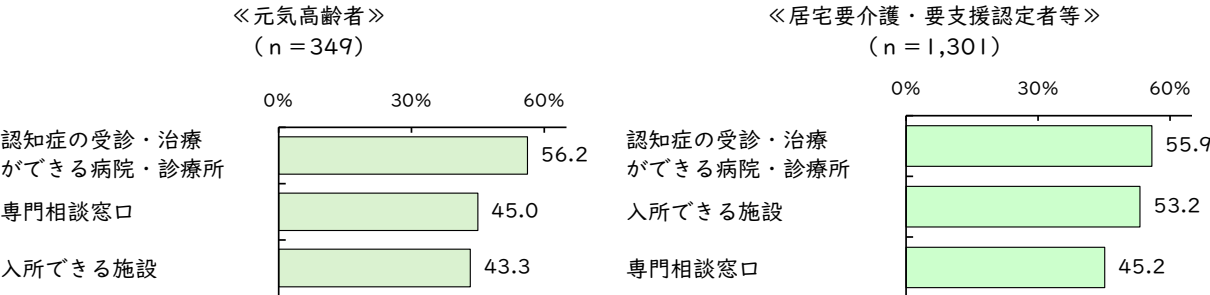
これらを踏まえ、第10期計画では、第一に相談支援体制のさらなる強化と周知の徹底が必要です。医療機関や地域包括支援センター等と連携し、早期に専門相談へつながらせる仕組みを構築することが重要です。第二に、医療・介護・生活支援の一体的な提供体制を強化し、在宅・施設双方のニーズに対応することが求められます。第三に、認知症予防と早期発見を推進し、通いの場や健診等を通じた気づきの機会を充実させる必要があります。

さらに、認知症サポーターの活動促進やチームオレンジの展開により地域の支え合いを強化するとともに、家族介護者への支援充実を図ることが不可欠です。これらの取組により、認知症になっても安心して暮らし続けられる地域の実現を目指す必要があります。

＜認知症に関する相談窓口の認知状況＞



＜認知症の人が安心して暮らすために必要なこと（上位3項目）＞



【提言8】 医療と介護の連携強化

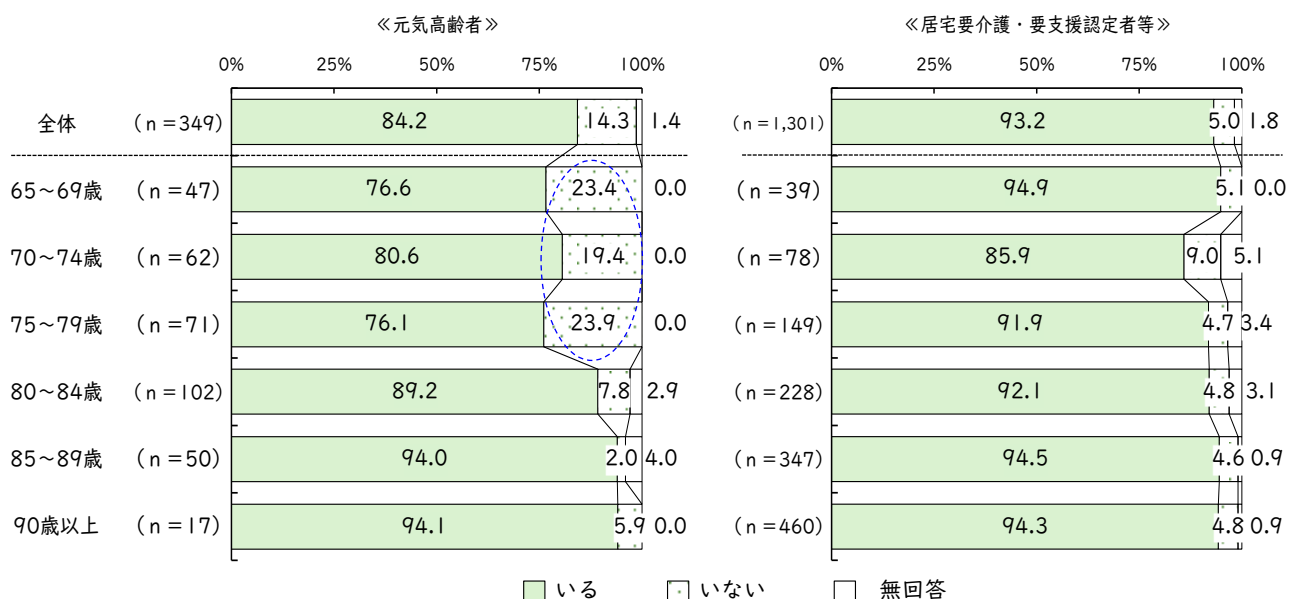
本市においては、高齢者の重度化や認知症の進行に伴い、医療と介護の双方の関与が必要なケースが増加しており、切れ目のない支援体制の構築が重要な課題となっています。第9期計画においても、“医療と介護が一体となった在宅療養の推進”が重要な柱として位置づけられています。

実態調査結果においては、かかりつけ医の有無に関して、居宅要介護・要支援認定者等では、年齢階層や介護度による差異は少なく、70～74歳以外はかかりつけ医が「いる」割合が9割以上となっている一方で、元気高齢者では、年齢階層で大きな差異が見られます。また、居宅要介護・要支援認定者等において身体機能の低下や低栄養、口腔機能の低下が複合的に見られるほか、認知症の症状がみられる割合が41.1%に上るなど、医療的管理と生活支援を一体的に提供する必要性が高まっているとともに、状態の変化に応じた迅速な対応や継続的な支援が求められる状況となっています。

さらに、今後は重度者や医療ニーズの高い高齢者の増加が見込まれる中で、在宅だけでなく、介護老人福祉施設や介護老人保健施設、特定施設等の入所・居住系サービスにおいても、医療対応力の強化が重要な課題となっています。特に、夜間・急変時の対応、看取りへの対応、医療機関との連携体制の確保など、施設における医療提供体制の充実が求められています。

このような状況を踏まえ、今後は、かかりつけ医、訪問看護、ケアマネジャー等による多職種連携を強化し、情報共有と支援調整の仕組みを充実させることが重要です。あわせて、入退院時の連携を強化し、医療機関と介護サービス事業所間の円滑な情報連携を図ることで、在宅復帰後の生活を支える体制を整備する必要があります。また、施設においては、嘱託医や協力医療機関との連携強化、看護職員の配置体制の充実、訪問診療や訪問看護の活用などにより、医療ニーズに対応できる体制を整備するとともに、看取りまで見据えたケアの質の向上を図る必要があります。さらに、在宅と施設の双方を含めた切れ目のない支援を実現するため、日常生活圏域単位での連携体制を強化し、医療・介護・生活支援・介護予防が一体的に提供される地域包括ケアシステムのさらなる深化を図ることが求められます。

<かかりつけ医の有無>



【提言9】 看取り及びACP（人生会議）の推進

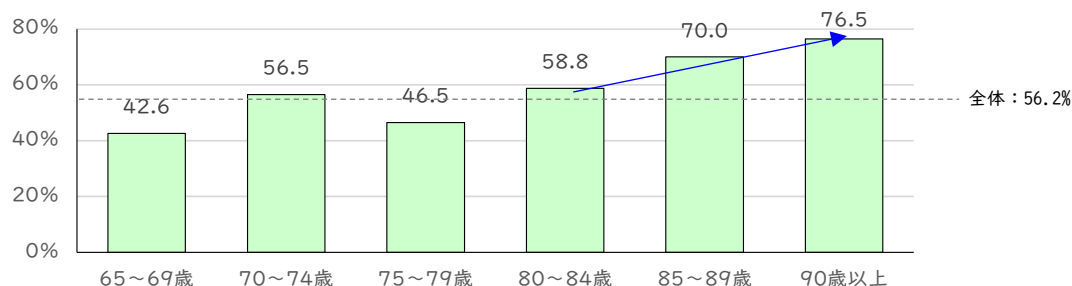
本市においては、高齢化の進行に伴い、人生の最終段階における医療・介護のあり方が重要な課題となっており、本人の意思を尊重した看取りの実現に向けた取組が求められています。第9期計画においても、“住み慣れた地域で最期まで自分らしく暮らす”ことが重要な理念として掲げられています。

実態調査結果では、元気高齢者が人生の最期を迎えたい場所として「自宅」が56.2%と半数以上で、年齢階層が高くなるほど、その割合は高くなっています。一方、人生の最期の迎え方について家族等と話し合った経験の有無については、年齢階層が高くなるほど、「話し合ったことはない」は減少しているものの、「十分に話し合っている」は85～89歳を除いて1桁台で推移しています。

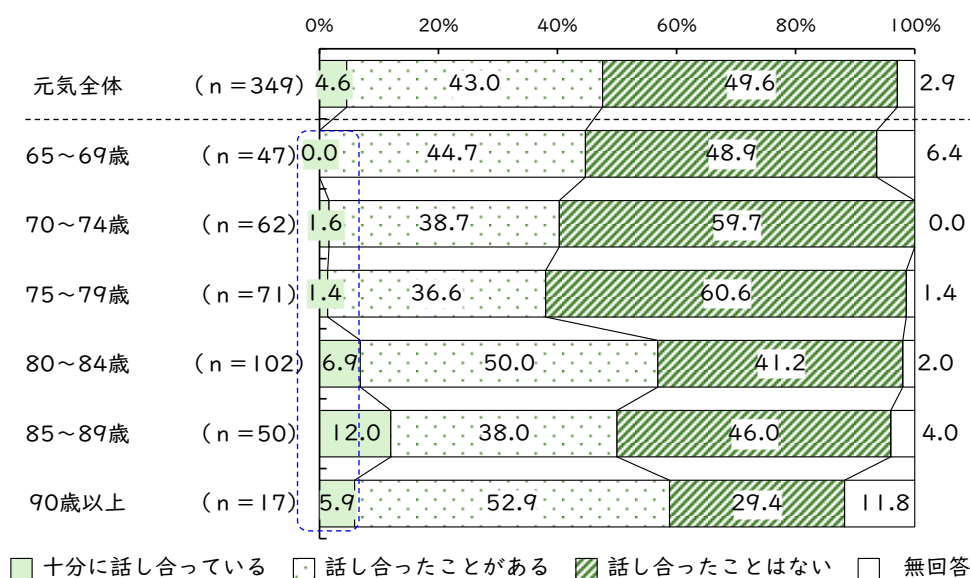
このため、本市においては、元気な段階からACP（人生会議）の普及啓発を進め、本人・家族・医療・介護関係者が継続的に話し合う機会を確保することが重要です。また、かかりつけ医やケアマネジャーを中心とした多職種連携により、意思決定支援の体制を強化し、記録・共有の仕組みを整備する必要があります。

さらに、在宅医療や訪問看護、介護サービスの連携を推進し、多様な看取りの選択肢を確保するとともに、家族への支援や不安軽減に向けた取組を進めることで、安心して看取りを迎えられる地域づくりを推進することが求められます。

＜人生の最期を迎えたい場所を「自宅」と回答した割合＞



＜人生の最期の迎え方について家族等と話し合った経験の有無＞



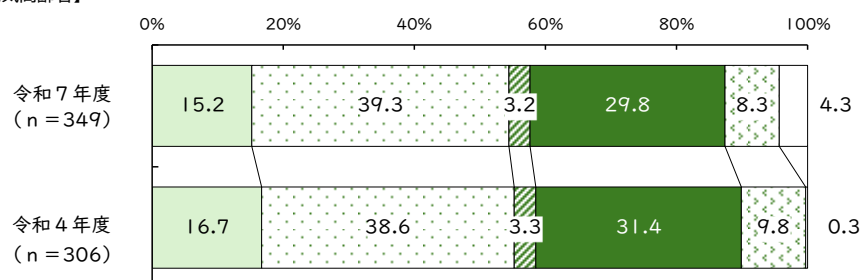
3. 調査の結果

あなた（あて名のご本人）やご家族の生活状況について

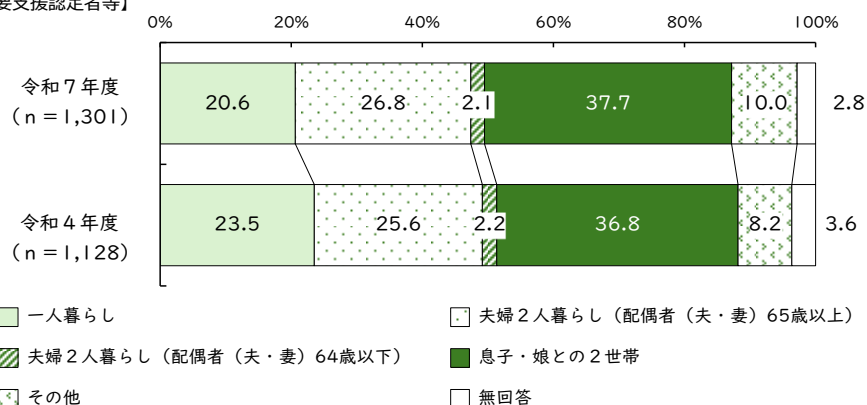
[元気：問1・認定：問1]

家族構成を教えてください。

【元気高齢者】



【居宅要介護・要支援認定者等】



《元気高齢者》

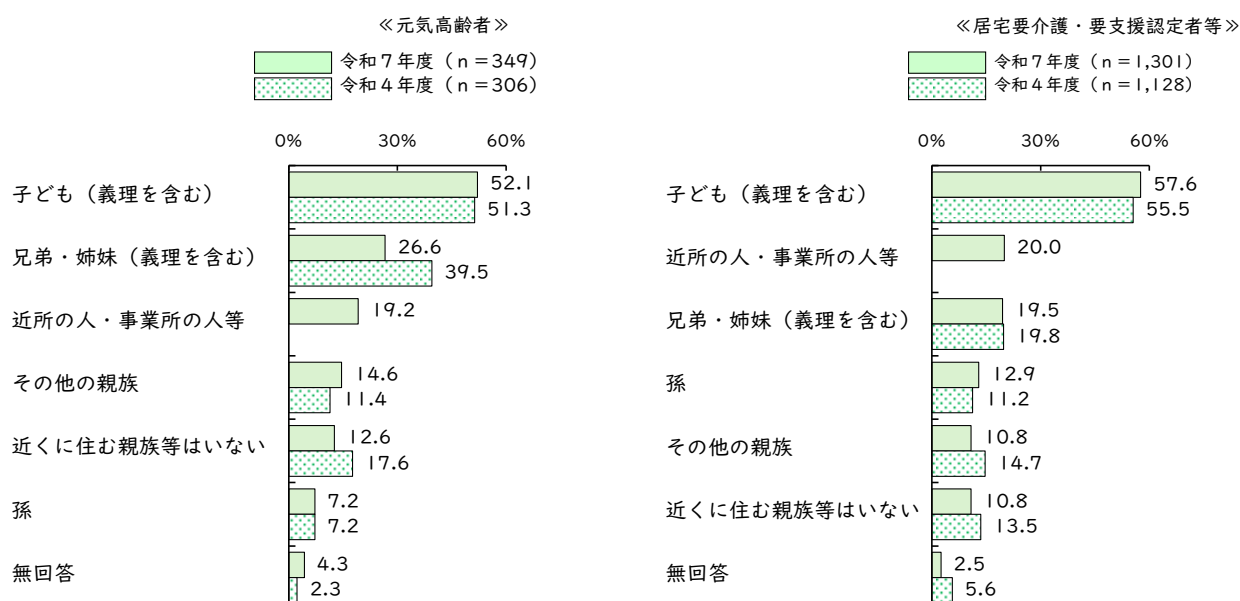
「夫婦2人暮らし（配偶者（夫・妻）65歳以上）」が39.3%と最も多く、次いで「息子・娘との2世帯」が29.8%、「一人暮らし」が15.2%などとなっています。また、『家族等と暮らしている』（「夫婦2人暮らし（配偶者（夫・妻）65歳以上）」＋「夫婦2人暮らし（配偶者（夫・妻）65歳以下）」＋「息子・娘との2世帯」＋「その他」）は80.6%となっています。

《居宅要介護・要支援認定者等》

「息子・娘との2世帯」が37.7%と最も多く、次いで「夫婦2人暮らし（配偶者（夫・妻）65歳以上）」が26.8%、「一人暮らし」が20.6%などとなっています。また、『家族等と暮らしている』は76.6%となっています。

[元気：問2・認定：問2]

あなた（あて名のご本人）が急病の時などで手助けが必要な時、（同居以外で）
おおよそ30分以内に駆けつけてくれる親族等はいですか。（複数回答可）



《元気高齢者》

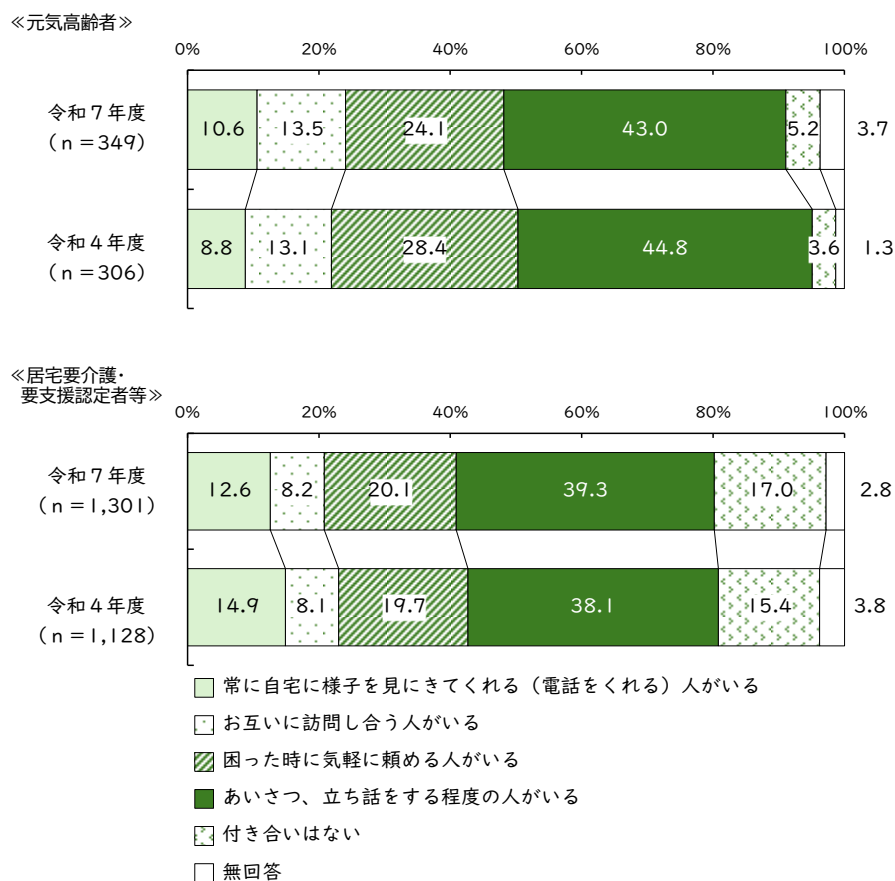
「子ども（義理を含む）」が52.1%と最も多く、次いで「兄弟・姉妹（義理を含む）」が26.6%、「近所の人・事業所の人等」が19.2%などとなっています。

《居宅要介護・要支援認定者等》

「子ども（義理を含む）」が57.6%と最も多く、次いで「近所の人・事業所の人等」が20.0%、「兄弟・姉妹（義理を含む）」が19.5%などとなっています。

[元気：問3・認定：問3]

近所の方とどの程度付き合いをしていますか。



「元気高齢者」

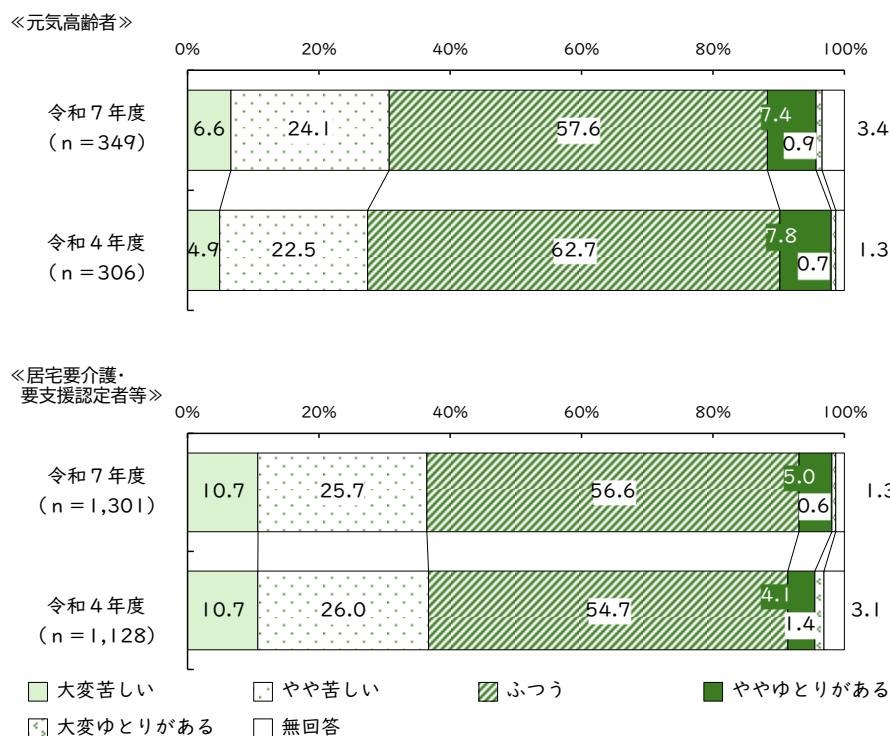
「あいさつ、立ち話をする程度の人がある」が43.0%と最も多く、次いで「困った時に気軽に頼める人がある」が24.1%、「お互いに訪問し合う人がある」が13.5%などとなっています。

「居宅要介護・要支援認定者等」

「あいさつ、立ち話をする程度の人がある」が39.3%と最も多く、次いで「困った時に気軽に頼める人がある」が20.1%、「付き合いはない」が17.0%などとなっています。

[元気：問5・認定：問4]

現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。



「元気高齢者」

「ふつう」が57.6%と最も多く、次いで「やや苦しい」が24.1%、「ややゆとりがある」が7.4%などとなっています。また、『苦しい』（「大変苦しい」＋「やや苦しい」）は30.7%、『ゆとりがある』（「大変ゆとりがある」＋「ややゆとりがある」）は8.3%となっています。

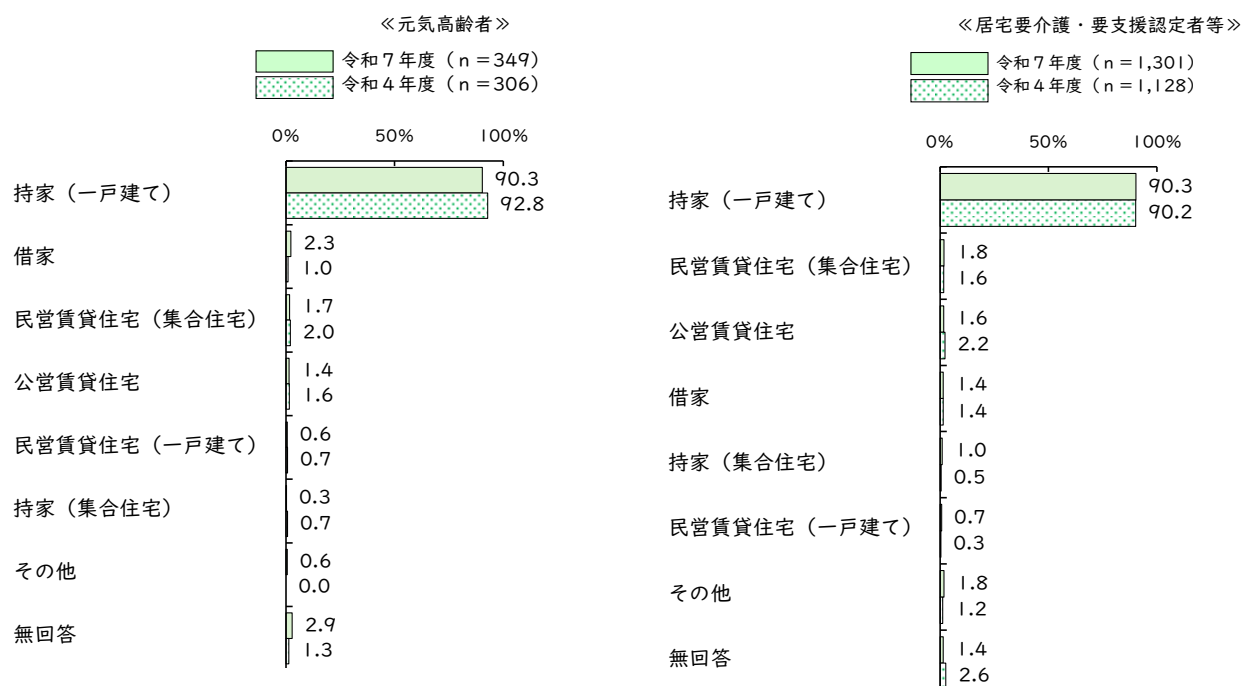
前回調査と比較すると、「ふつう」が5.1ポイント減少しています。

「居宅要介護・要支援認定者等」

「ふつう」が56.6%と最も多く、次いで「やや苦しい」が25.7%、「大変苦しい」が10.7%などとなっています。また、『苦しい』は36.4%、『ゆとりがある』は5.6%となっています。

[元気：問6・認定：問5]

お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか。



「元気高齢者」

「持家（一戸建て）」が90.3%で最も多く、次いで「借家」が2.3%、「民営賃貸住宅（集合住宅）」が1.7%などとなっています。

「居宅要介護・要支援認定者等」

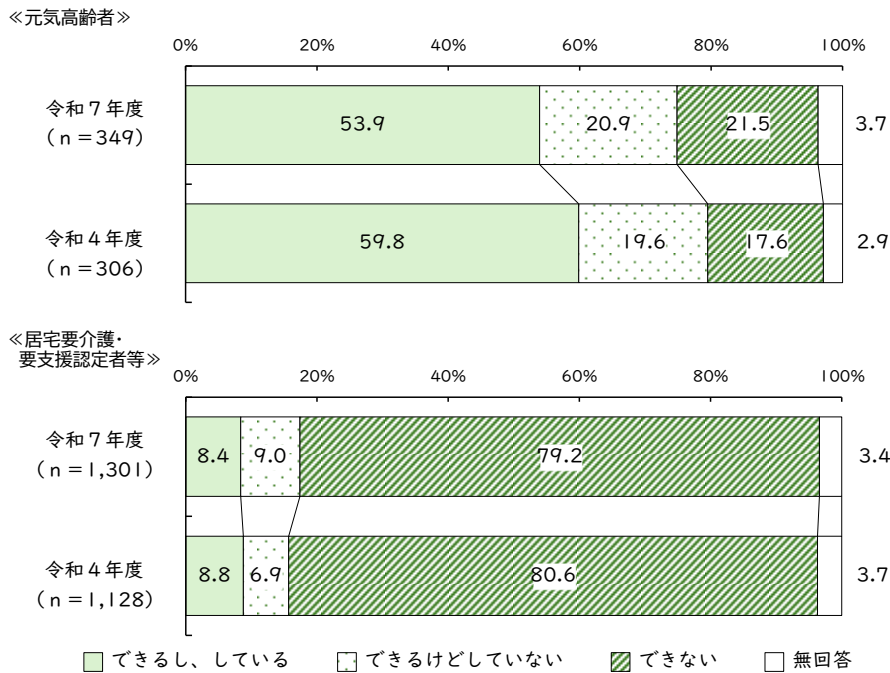
「持家（一戸建て）」が90.3%で最も多く、次いで「民営賃貸住宅（集合住宅）」が1.8%、「公営賃貸住宅」が1.6%などとなっています。

からだを動かすことについて

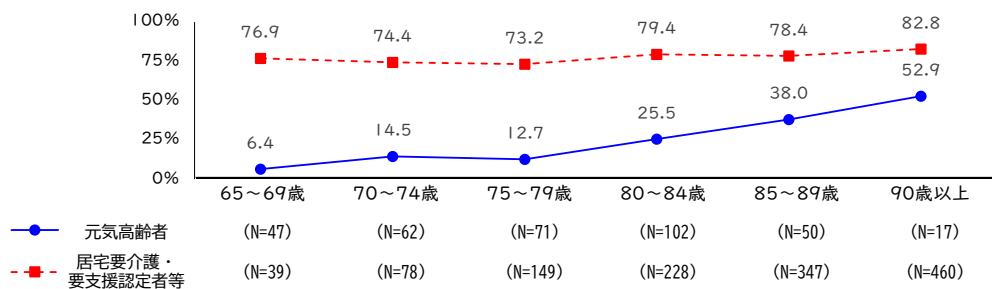
[元気：問7・認定：問6]

からだを動かすことについて教えてください。

① 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか



<年齢階層別：「できない」割合の比較>



「元気高齢者」

「できるし、している」が53.9%と最も多く、次いで「できない」が21.5%、「できるけどしていない」が20.9%となっています。また、『できる』（「できるし、している」＋「できるけどしていない」）は74.8%となっています。

前回調査と比較すると、「できるし、している」が5.9ポイント減少しています。

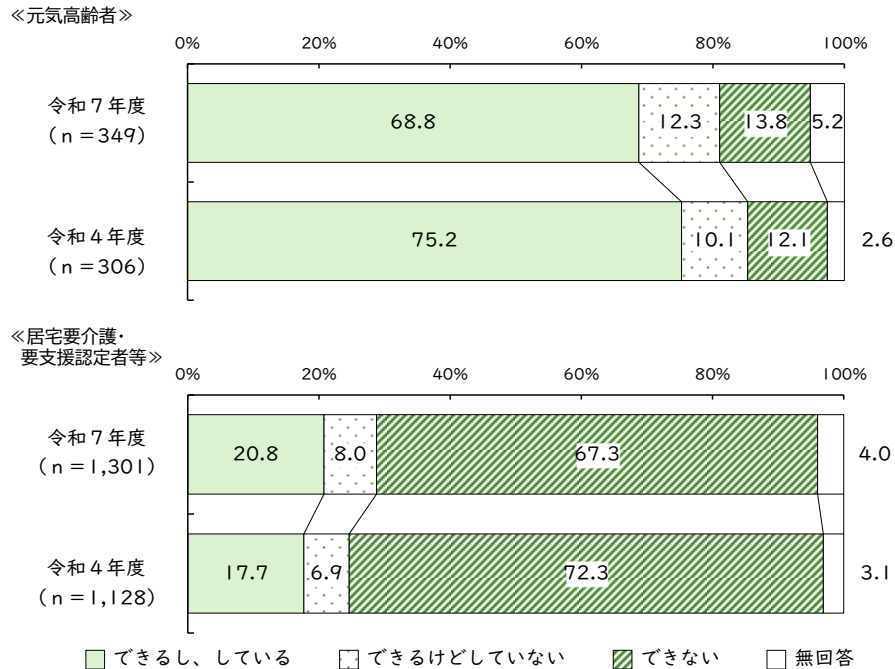
年齢階層別にみると、75歳以上の後期高齢者で増加幅が大きくなっています。

「居宅要介護・要支援認定者等」

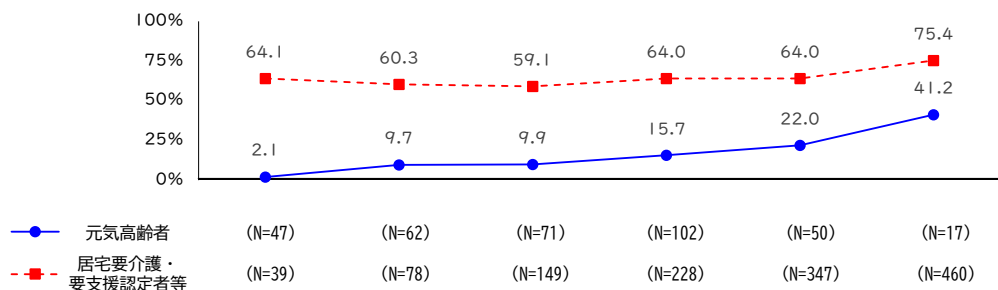
「できない」が79.2%と突出しています。また、『できる』は17.4%となっています。

年齢階層別にみると、85歳までは7割台で推移し、90歳以上で8割を超えています。

② 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか



<年齢階層別：「できない」割合の比較>



《元気高齢者》

「できるし、している」が68.8%と最も多く、次いで「できない」が13.8%、「できるけどしていない」が12.3%となっています。また、『できる』（「できるし、している」＋「できるけどしていない」）は81.1%となっています。

前回調査と比較すると、「できるし、している」が6.4ポイント減少しています。

年齢階層別にみると、75歳以上の後期高齢者で増加幅が大きくなっています。

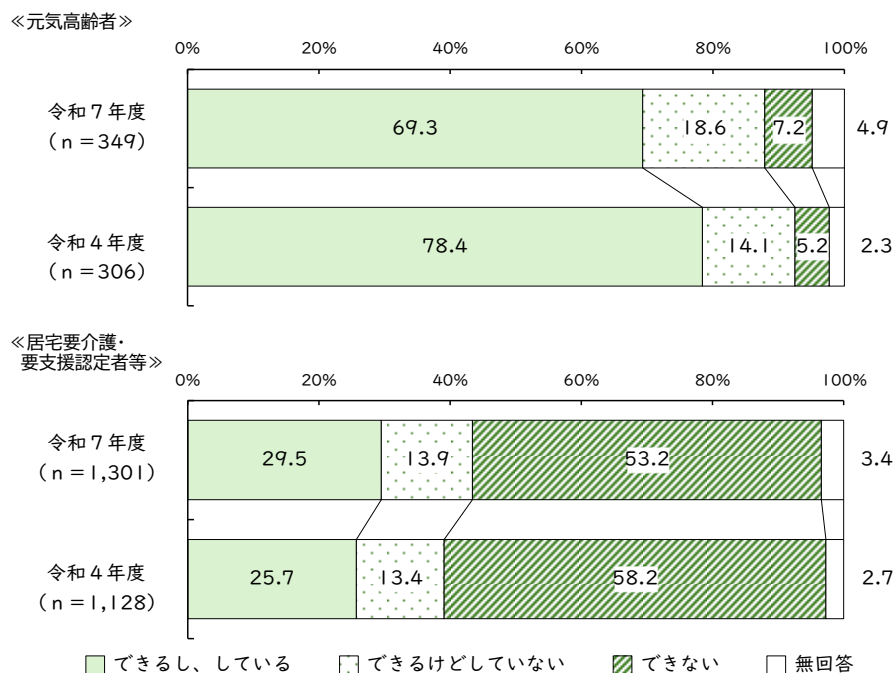
《居宅要介護・要支援認定者等》

「できない」が67.3%と最も多く、次いで「できるし、している」が20.8%、「できるけどしていない」が8.0%となっています。また、『できる』は28.8%となっています。

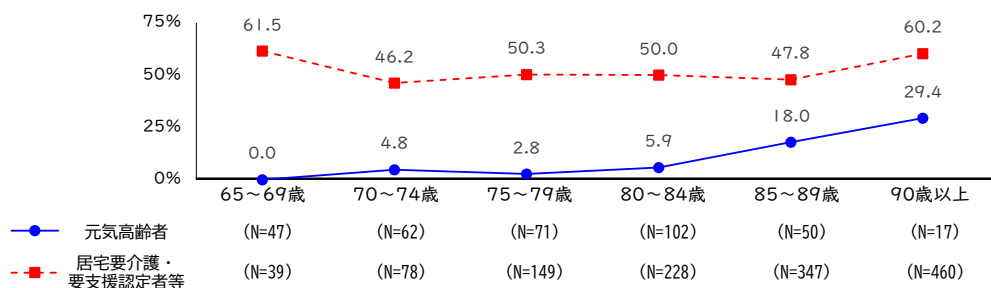
前回調査と比較すると、「できない」が5.0ポイント減少しています。

年齢階層別にみると、85歳までは6割台で推移し、90歳以上で7割を超えています。

③ 15分位続けて歩いていますか（杖や歩行器でも可）



＜年齢階層別：「できない」割合の比較＞



「元気高齢者」

「できるし、している」が69.3%と最も多く、次いで「できるけどしていない」が18.6%、「できない」が7.2%となっています。また、『できる』（「できるし、している」＋「できるけどしていない」）は87.9%となっています。

前回調査と比較すると、「できるし、している」が9.1ポイント減少しています。年齢階層別にみると、84歳までは1桁ですが、85歳以上で大きく増加しています。

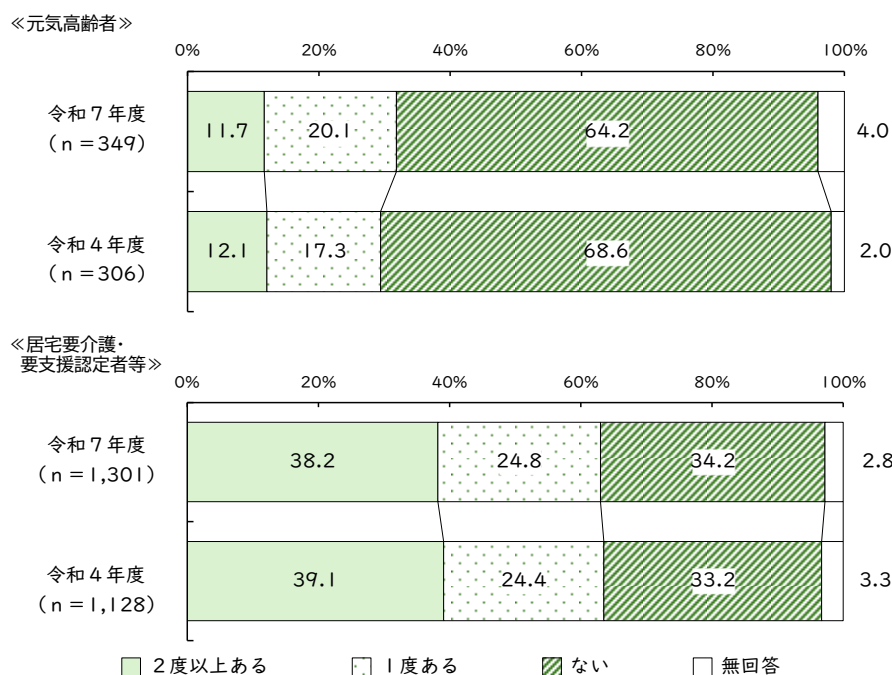
「居宅要介護・要支援認定者等」

「できない」が53.2%と最も多く、次いで「できるし、している」が29.5%、「できるけどしていない」が13.9%となっています。また、『できる』は43.4%となっています。

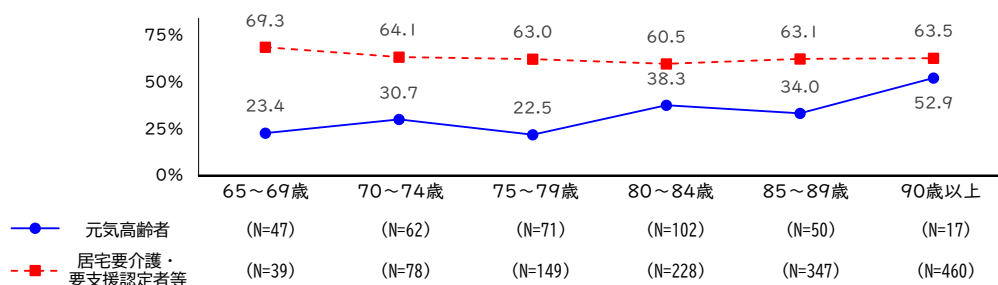
前回調査と比較すると、「できない」が5.0ポイント減少しています。

年齢階層別にみると、65～69歳と90歳以上で6割を超えています。

④ 過去1年間に転んだ経験がありますか



＜年齢階層別：転倒経験『ある』『2度以上ある』『1度ある』割合の比較＞



「元気高齢者」

「ない」が64.2%と最も多く、次いで「1度ある」が20.1%、「2度以上ある」が11.7%となっています。また、『ある』（「2度以上ある」＋「1度ある」）は31.8%となっています。

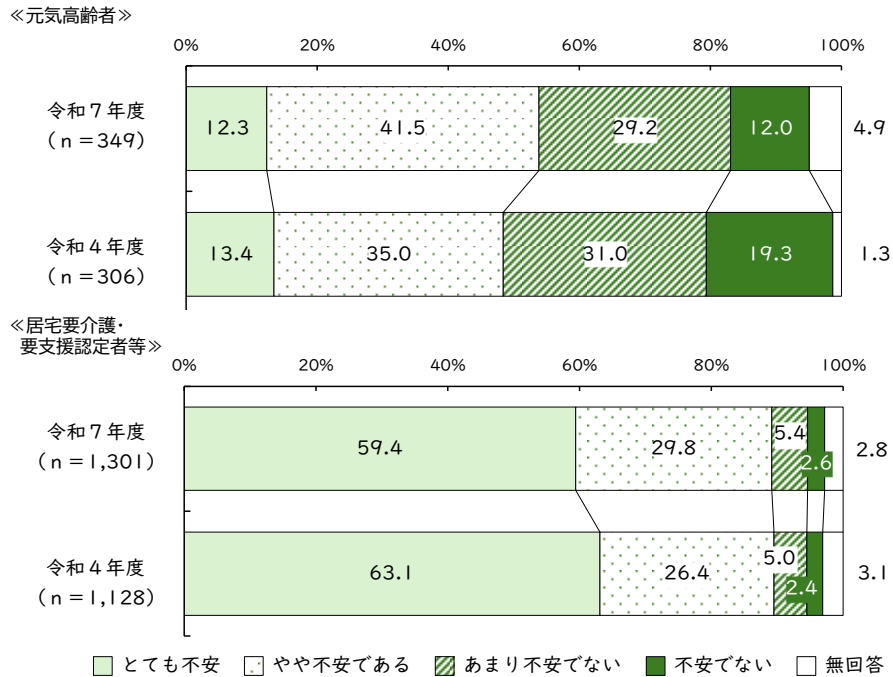
年齢階層別にみると、増減を繰り返していますが、全体的には年齢階層が高くなるほど増加傾向です。

「居宅要介護・要支援認定者等」

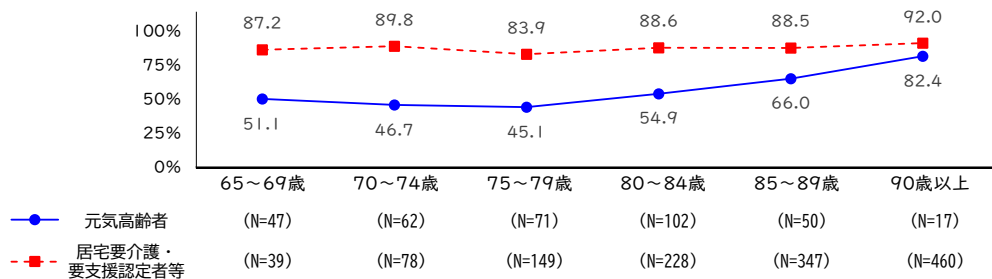
「2度以上ある」が38.2%と最も多く、次いで「ない」が34.2%、「1度ある」が24.8%となっています。また、『ある』は63.0%となっています。

年齢階層別にみると、65～69歳が69.3%で最も高く、80～84歳までは年齢階層が高くなるほど少しずつ減少しており、85歳以上で増加に転じています。

⑤ 転倒に対する不安は大きいですか



<年齢階層別:『不安である』『とても不安』+『やや不安である』割合の比較>



「元気高齢者」

「やや不安である」が41.5%と最も多く、次いで「あまり不安でない」が29.2%、「とても不安」が12.3%などとなっています。また、『不安である』（「とても不安」+「やや不安である」）は53.8%、『不安でない』（「不安でない」+「あまり不安でない」）は41.2%となっています。

前回調査と比較すると、「やや不安である」が6.5ポイント増加し、『不安である』が5.4ポイント増加しています。

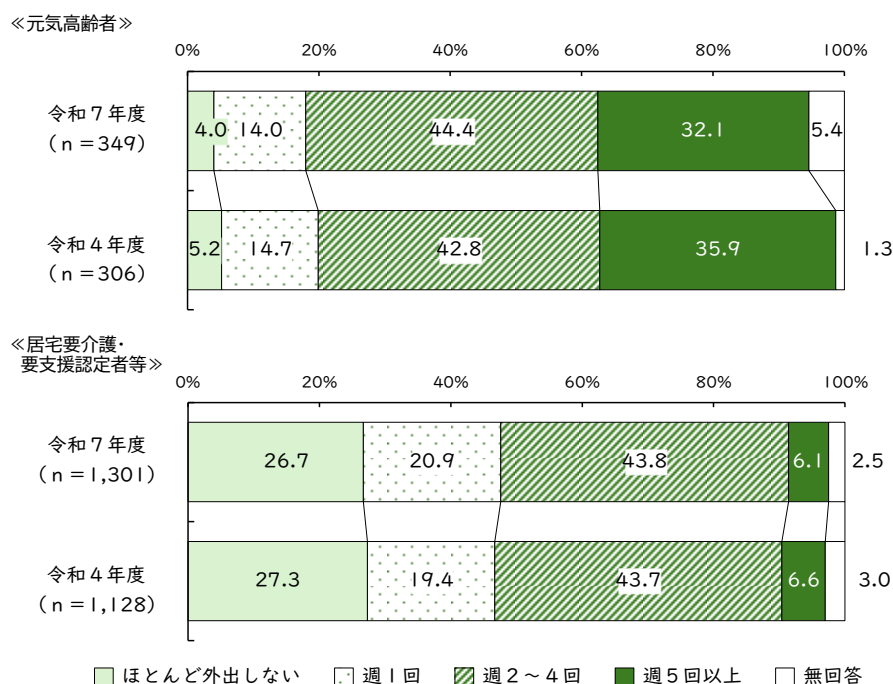
年齢階層別にみると、75歳以上の後期高齢者で増加幅が大きくなっています。

「居宅要介護・要支援認定者等」

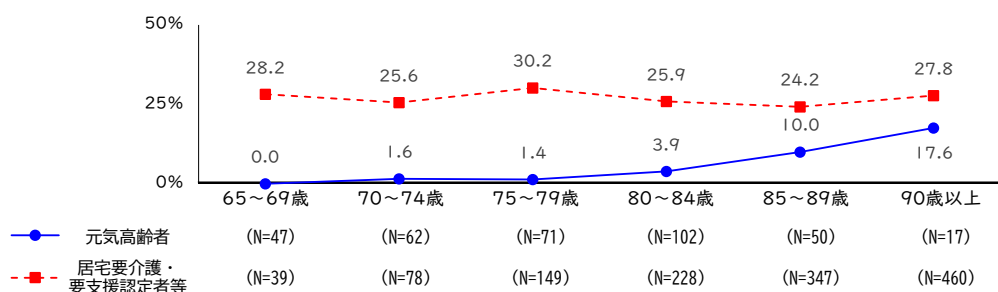
「とても不安」が59.4%と最も多く、次いで「やや不安である」が29.8%、「あまり不安でない」が5.4%などとなっています。また、『不安である』は89.2%、『不安でない』は8.0%となっています。

年齢階層別にみると、85歳までは8割台で推移し、90歳以上で9割を超えています。

⑥ 週に1回以上は外出していますか



<年齢階層別:「ほとんど外出しない」割合の比較>



<<元気高齢者>>

「週2～4回」が44.4%と最も多く、次いで「週5回以上」が32.1%、「週1回」が14.0%などとなっています。また、『週1回以上』（「週1回」＋「週2～4回」＋「週5回以上」）は90.5%となっています。

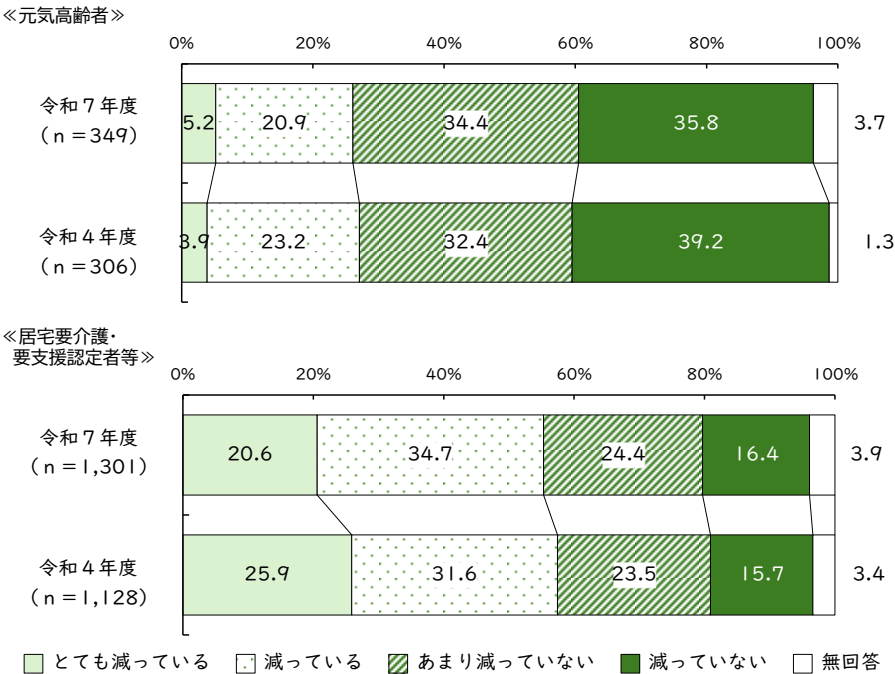
年齢階層別にみると、84歳までは1桁の前半ですが、85歳以上は1割台となっています。

<<居宅要介護・要支援認定者等>>

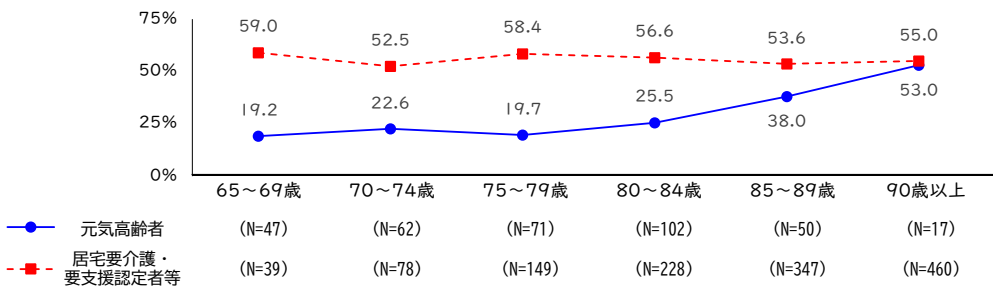
「週2～4回」が43.8%と最も多く、次いで「ほとんど外出しない」が26.7%、「週1回」が20.9%などとなっています。また、『週1回以上』は70.8%となっています。

年齢階層別にみると、若干の増減はあるものの、24%から30%の間で推移しています。

⑦ 昨年と比べて外出の回数が減っていますか



<年齢階層別:『減っている』(「とても減っている」+「減っている」)割合の比較>



「元気高齢者」

「減っていない」が35.8%と最も多く、次いで「あまり減っていない」が34.4%、「減っている」が20.9%などとなっています。また、『減っている』（「とても減っている」+「減っている」）は26.1%、『減っていない』（「減っていない」+「あまり減っていない」）は70.2%となっています。

年齢階層別にみると、80歳以上で増加幅が大きくなっています。

「居宅要介護・要支援認定者等」

「減っている」が34.7%と最も多く、次いで「あまり減っていない」が24.4%、「とても減っている」が20.6%などとなっています。また、『減っている』は55.3%、『減っていない』は40.8%となっています。

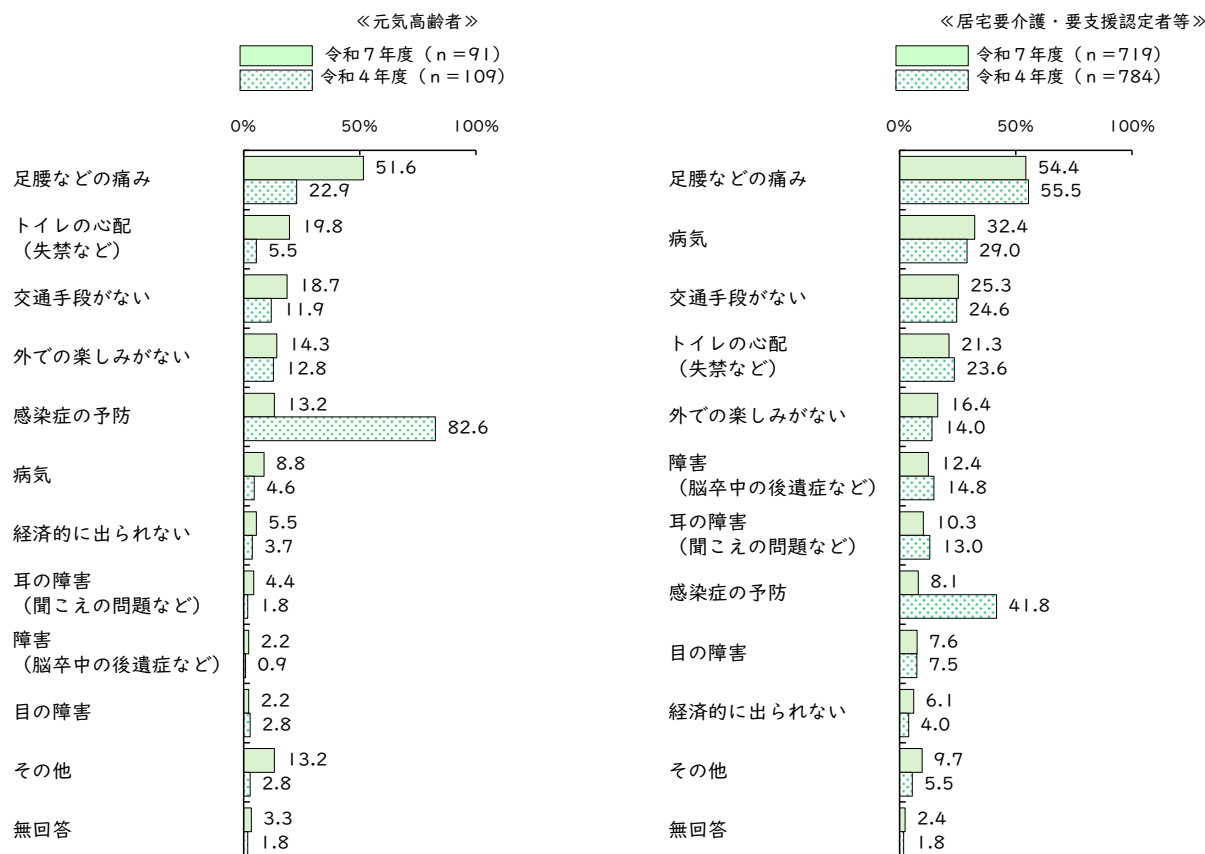
前回調査と比較すると、「とても減っている」が5.3ポイント減少しています。

年齢階層別にみると、若干の増減はあるものの、5割台で推移しています。

元気：問7㉗・認定：問6㉗で「とても減っている」、「減っている」とお答えの方のみ

[元気：問7㉗-1・認定：問6㉗-1]

外出が減っている（控えている）理由は何ですか。（複数回答可）



《元気高齢者》

「足腰などの痛み」が51.6%と最も多く、次いで「トイレの心配（失禁など）」が19.8%、「交通手段がない」が18.7%などとなっています。

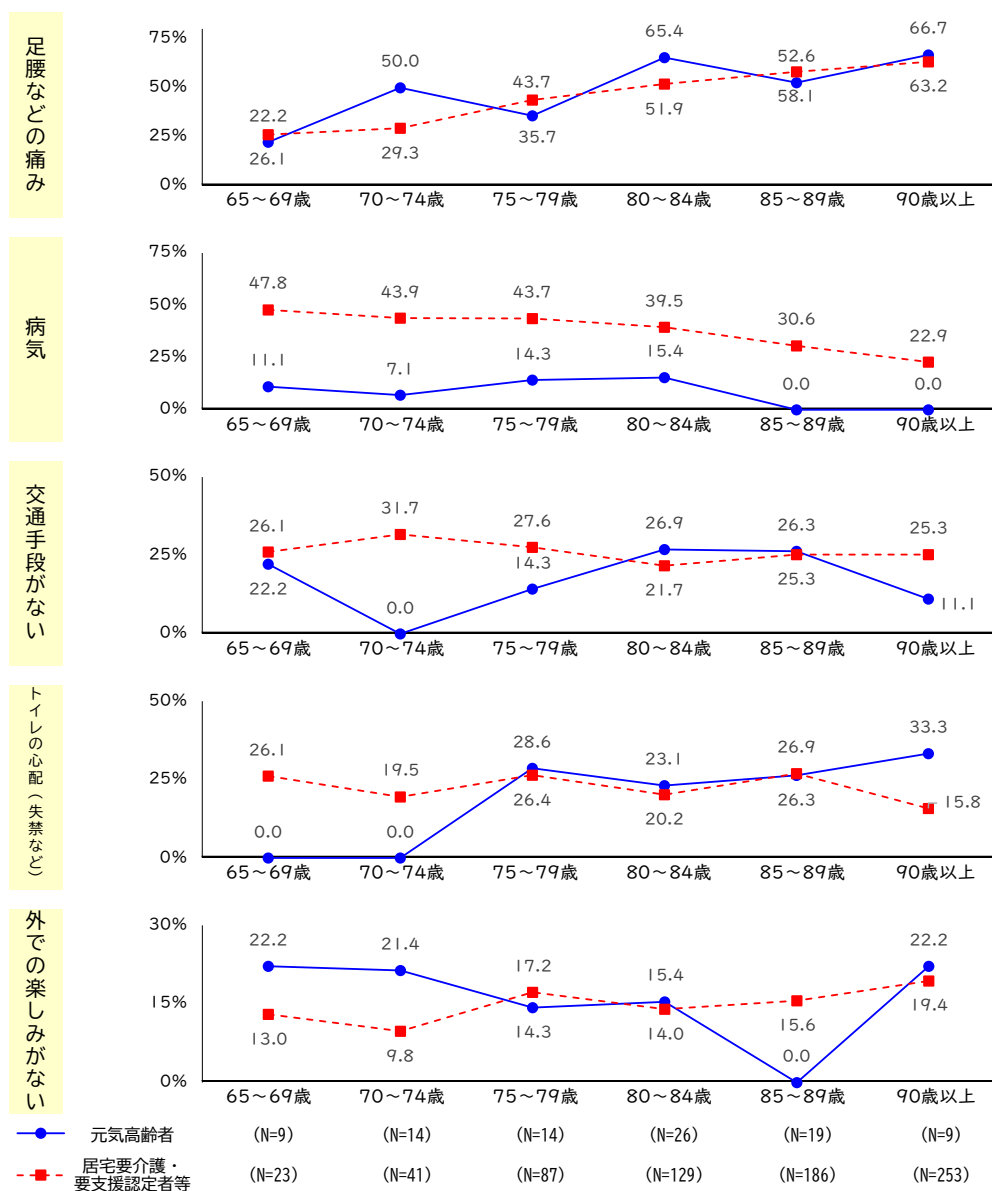
前回調査と比較すると、「足腰の痛み」、「トイレの心配（失禁など）」、「交通手段がない」などが5ポイント以上増加し、「感染症の予防」が69.4ポイント減少しています。

《居宅要介護・要支援認定者等》

「足腰などの痛み」が54.4%と最も多く、次いで「病気」が32.4%、「交通手段がない」が25.3%などとなっています。

前回調査と比較すると、「感染症の予防」が33.7ポイント減少しています。

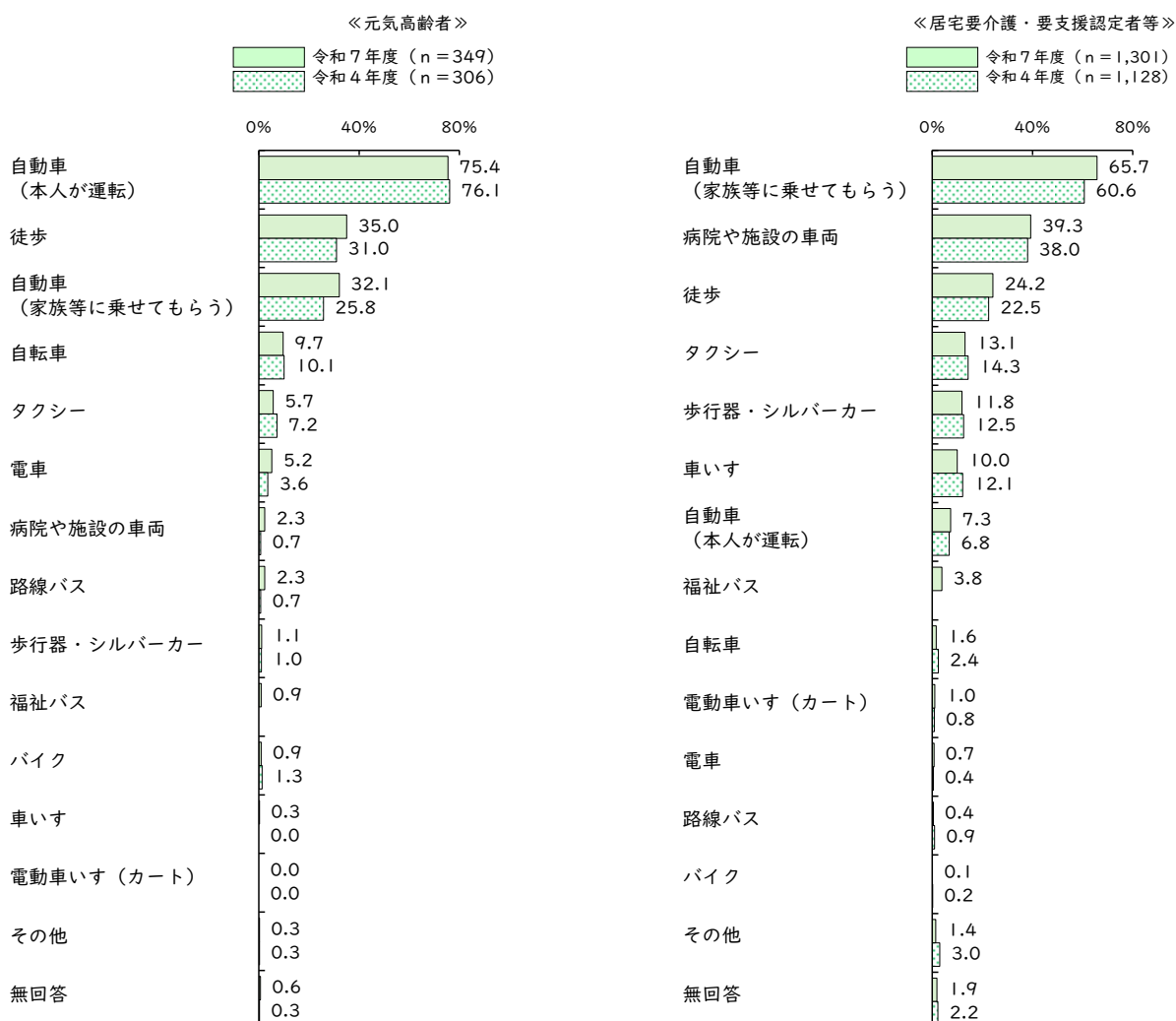
<年齢階層別：外出が減っている理由の比較>



年齢階層別にみると、元気高齢者、居宅要介護・要支援認定者等ともに、「足腰などの痛み」は高年齢ほど高くなる傾向で、「病気」は高年齢ほど低くなる傾向がみられます。一方、「交通手段がない」、「トイレの心配（失禁など）」、「外での楽しみがない」は、元気高齢者では年齢階層による増減が比較的大きく、居宅要介護・要支援認定者等では比較的横ばい傾向となっています。

[元気：問8・認定：問7]

外出する際の移動手段は何ですか。（複数回答可）



《元気高齢者》

「自動車（本人が運転）」が75.4%と最も多く、次いで「徒歩」が35.0%、「自動車（家族等に乘せてもらう）」が32.1%などとなっています。

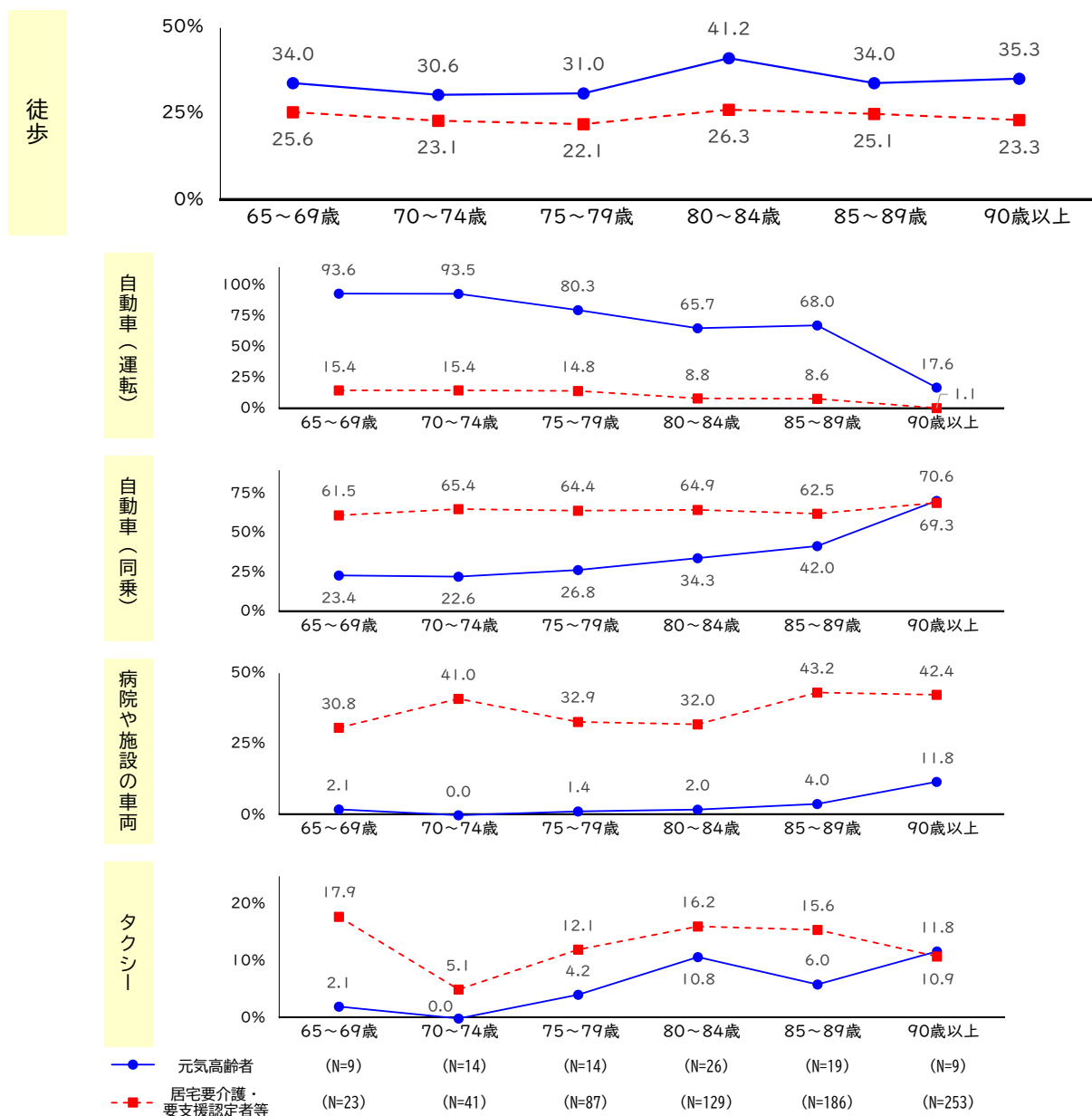
前回調査と比較すると、「自動車（家族等に乘せてもらう）」が6.3ポイント増加しています。

《居宅要介護・要支援認定者等》

「自動車（家族等に乘せてもらう）」が65.7%と最も多く、次いで「病院や施設の車両」が39.3%、「徒歩」が24.2%などとなっています。

前回調査と比較すると、「自動車（家族等に乘せてもらう）」が5.1ポイント増加しています。

<年齢階層別：外出時の移動手段の比較>



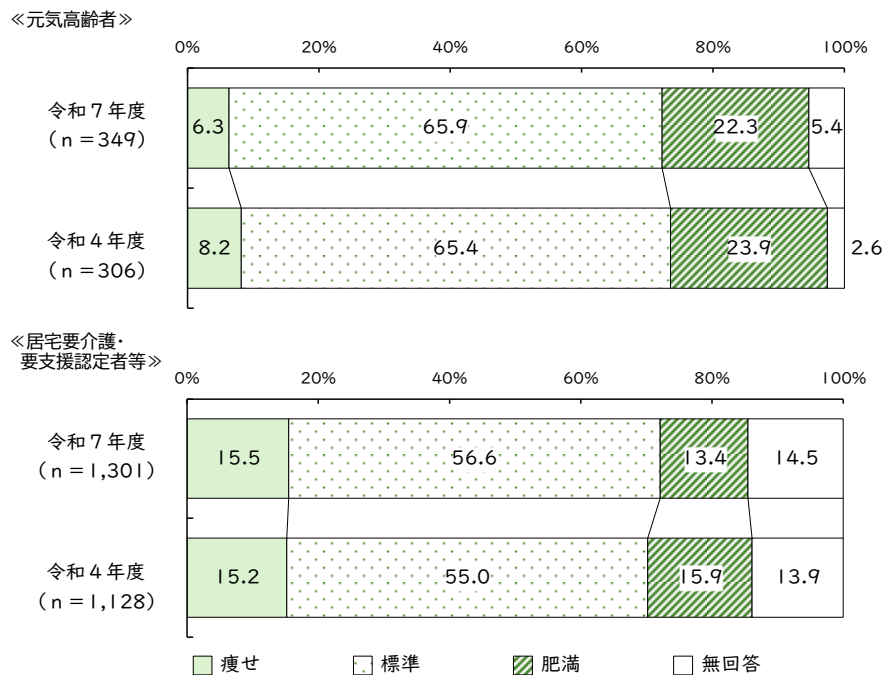
年齢階層別にみると、いずれの移動手段においても、元気高齢者、居宅要介護・要支援認定者等で類似した増減の動きとなっていますが、「徒歩」と「自家用車（運転）」では元気高齢者の方が居宅要介護・要支援認定者等よりも高い割合で推移しており、「自動車（同乗）」、「病院や施設の車両」、「タクシー」では居宅要介護・要支援認定者等の方が元気高齢者よりも概ね高い割合で推移しています。

食べることについて

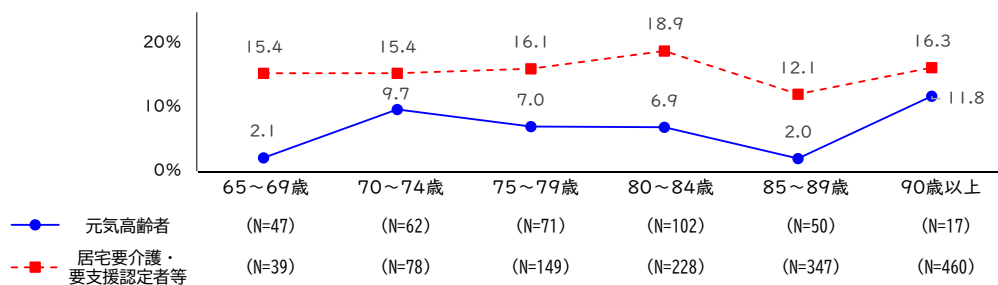
[元気：問9・認定：問8]

食べることについて教えてください。

① 肥満度（回答された身長・体重から BMI を算出）



<年齢階層別：「痩せ」の割合の比較>



「元気高齢者」

「標準」が65.9%と最も多く、次いで「肥満」が22.3%、「痩せ」が6.3%となっています。

年齢階層別にみると、89歳までは1桁台で推移しており、90歳以上で1割を超えています。

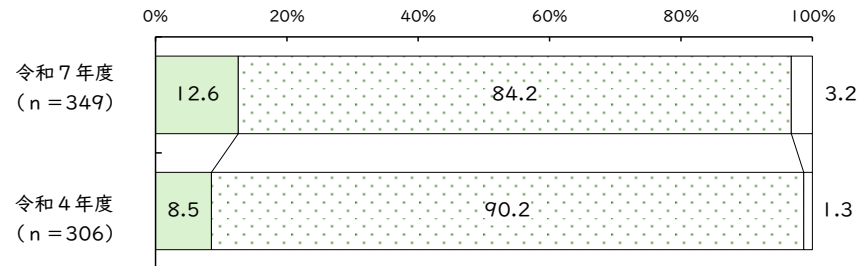
「居宅要介護・要支援認定者等」

「標準」が56.6%と最も多く、次いで「痩せ」が15.5%、「肥満」が13.4%となっています。

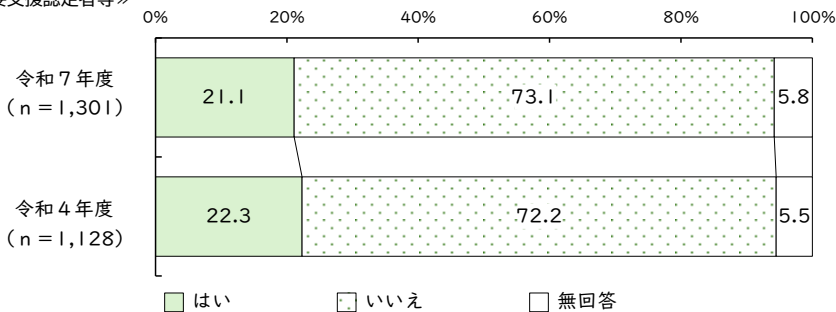
年齢階層別にみると、増減はあるものの、いずれの年齢階層も1割台で推移しています。

② 6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか

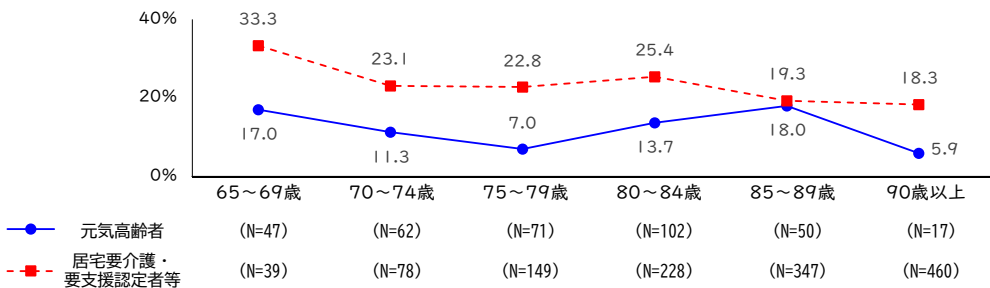
《元気高齢者》



《居宅要介護・要支援認定者等》



＜年齢階層別：「はい」(6か月間で2～3kg以上の体重減少)割合の比較＞



《元気高齢者》

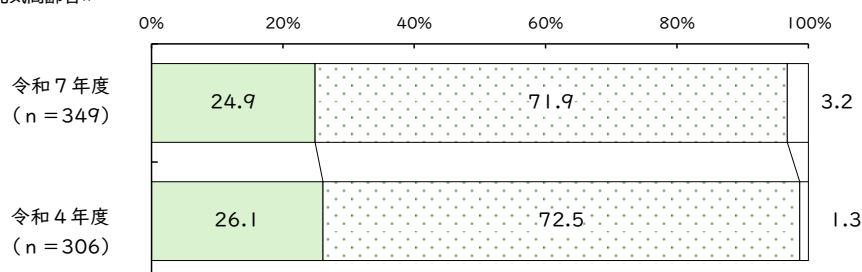
「はい」が12.6%、「いいえ」が84.2%となっています。
前回調査と比較すると、「いいえ」が6.0ポイント減少しています。
年齢階層別にみると、75～79歳と90歳以上で1割を下回っています。

《居宅要介護・要支援認定者等》

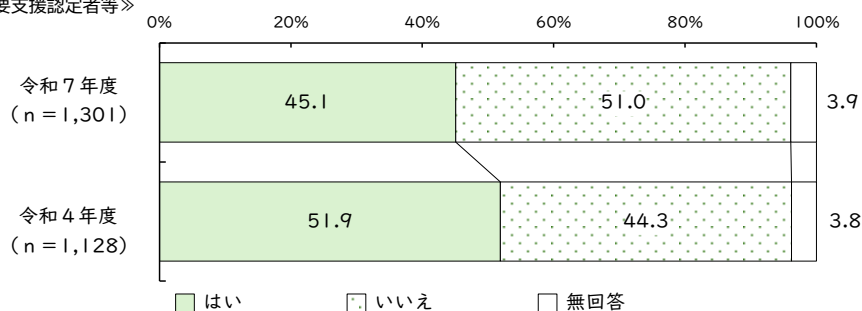
「はい」が21.1%、「いいえ」が73.1%となっています。
年齢階層別にみると、増減はあるものの、高年齢ほど概ね減少傾向となっています。

③ 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか

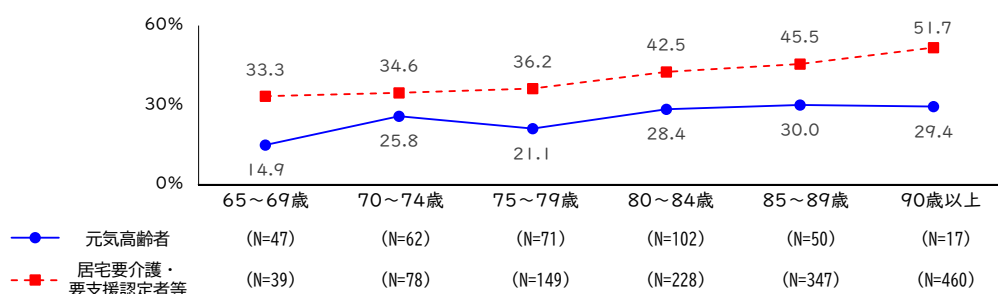
《元気高齢者》



《居宅要介護・要支援認定者等》



<年齢階層別:「はい」(半年前に比べて固いものが食べにくくなった)割合の比較>



《元気高齢者》

「はい」が24.9%、「いいえ」が71.9%となっています。

年齢階層別にみると、増減はあるものの、高年齢ほど概ね増加傾向となっています。

《居宅要介護・要支援認定者等》

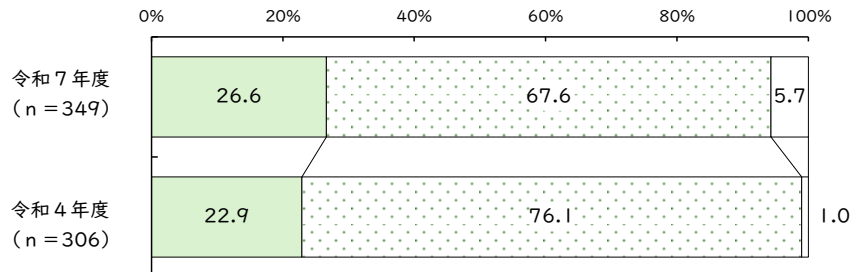
「はい」が45.1%、「いいえ」が51.0%となっています。

前回調査と比較すると、「はい」が6.8ポイント減少し、「いいえ」が6.7ポイント増加しています。

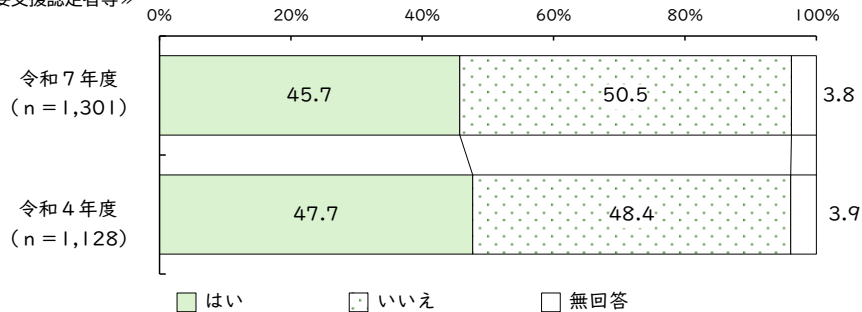
年齢階層別にみると、高年齢ほど増加しているのが明確に表れています。

④ お茶や汁物等でむせることがありますか

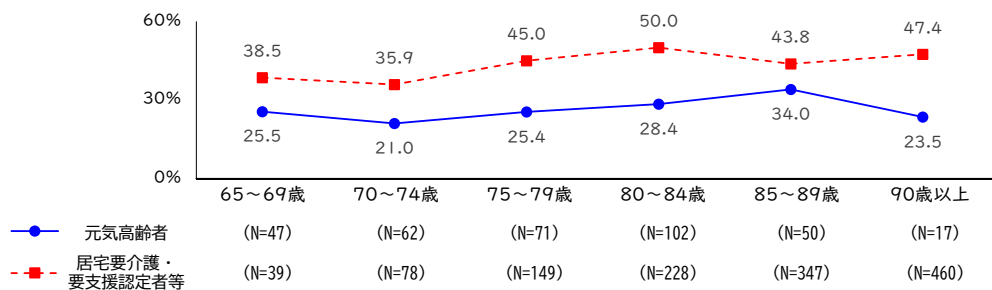
《元気高齢者》



《居宅要介護・要支援認定者等》



＜年齢階層別：「はい」(お茶や汁物等でむせることがある)割合の比較＞



《元気高齢者》

「はい」が26.6%、「いいえ」が67.6%となっています。

前回調査と比較すると、「いいえ」が8.5ポイント減少しています。

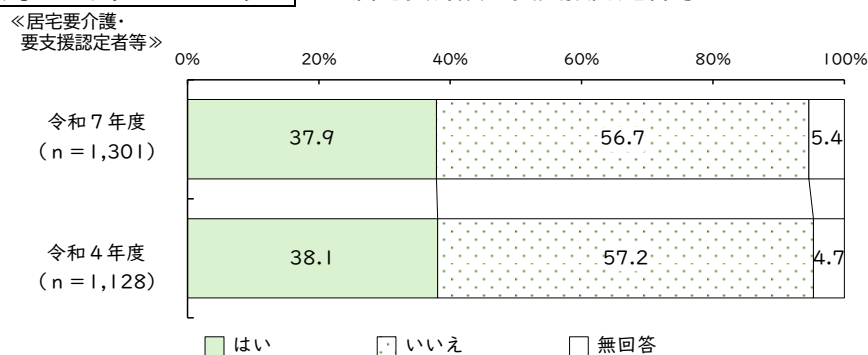
年齢階層別にみると、85～89歳で3割を超えていますが、それ以外の年齢階層は2割台で推移しています。

《居宅要介護・要支援認定者等》

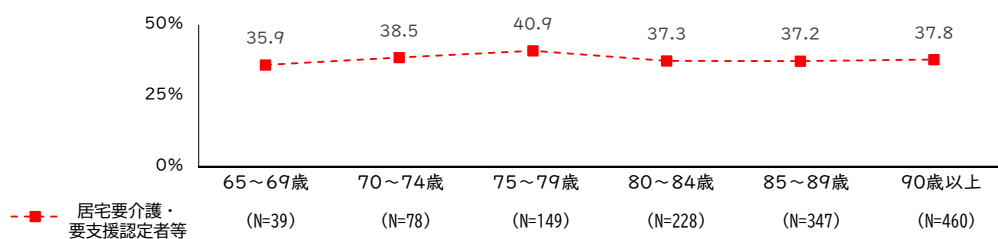
「はい」が45.7%、「いいえ」が50.5%となっています。

年齢階層別にみると、前期高齢者は3割台で、75歳以上の後期高齢者は5割前後で推移しています。

⑤ 口の渇きが気になりますか 《居宅要介護・要支援認定者等》のみ



<年齢階層別:「はい」(口の渇きが気になる)割合の比較>

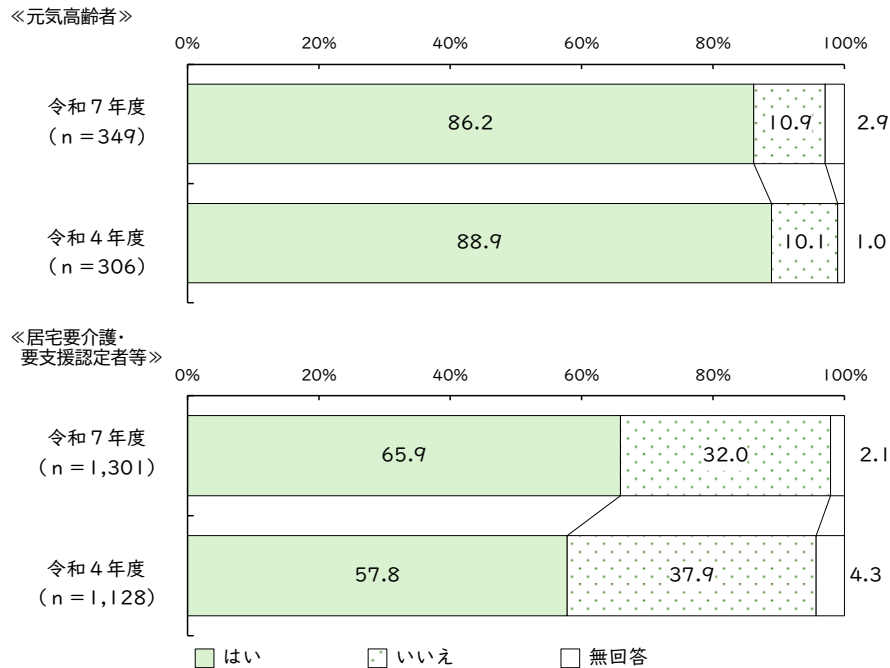


《居宅要介護・要支援認定者等》

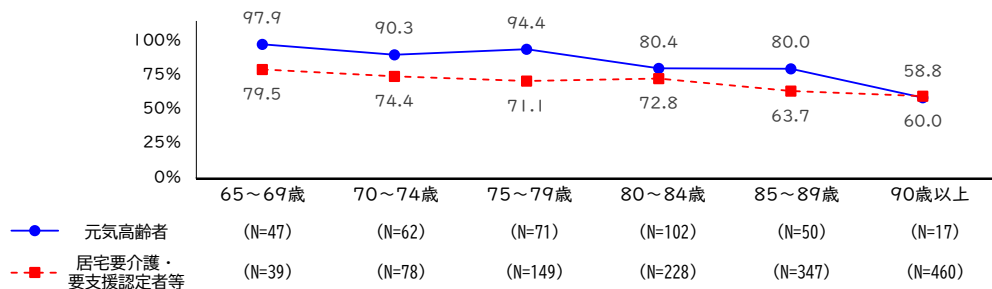
「はい」が37.9%、「いいえ」が56.7%となっています。

年齢階層別にみると、いずれの年齢階層も3割台後半から4割程度で推移しています。

⑥ 歯磨きを毎日していますか（人にやってもらう場合も含む）



＜年齢階層別：「はい」（歯磨きを毎日している）割合の比較＞



「元気高齢者」

「はい」が86.2%、「いいえ」が10.9%となっています。

年齢階層別にみると、増減はあるものの、高年齢ほど概ね減少傾向となっています。

「居宅要介護・要支援認定者等」

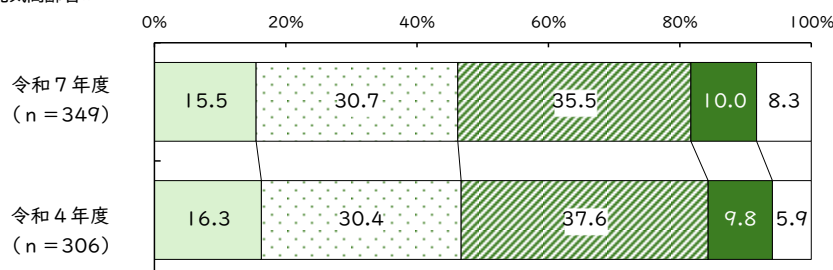
「はい」が65.9%、「いいえ」が32.0%となっています。

前回調査と比較すると、「はい」が8.1ポイント増加し、「いいえ」が5.9ポイント減少しています。

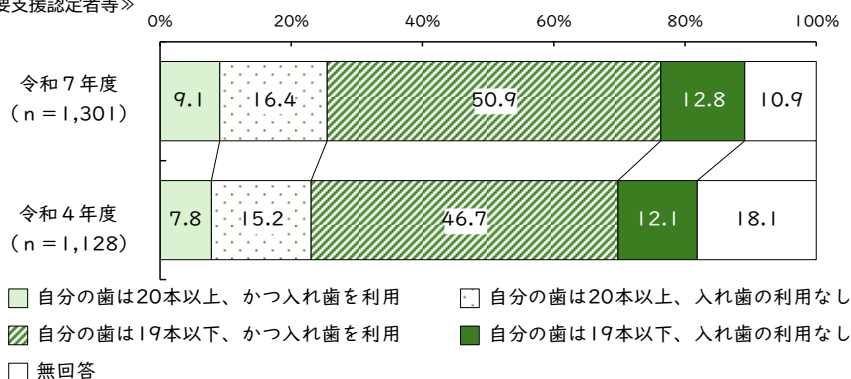
年齢階層別にみると、増減はあるものの、高年齢ほど概ね減少傾向となっています。

⑦ 歯の数と入れ歯の利用状況を教えてください。

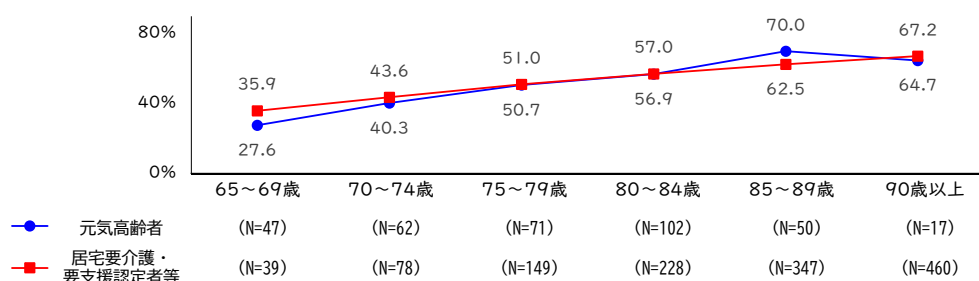
「元気高齢者」



「居宅要介護・要支援認定者等」



<年齢階層別：入歯の利用者割合の比較>



「元気高齢者」

「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」が35.5%と最も多く、次いで「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」が30.7%、「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」が15.5%などとなっています。また、『自分の歯が20本以上』（「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」＋「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」）は46.2%となっています。

年齢階層別にみると、増減はあるものの、高年齢ほど概ね増加傾向となっています。

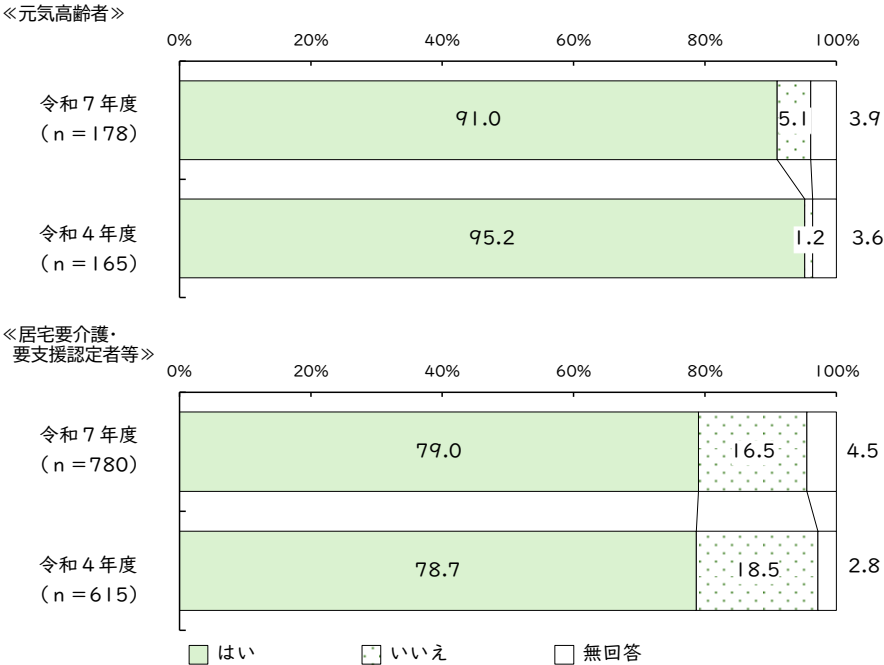
「居宅要介護・要支援認定者等」

「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」が50.9%と最も多く、次いで「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」が16.4%、「自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし」が12.8%などとなっています。また、『自分の歯が20本以上』は25.5%となっています。

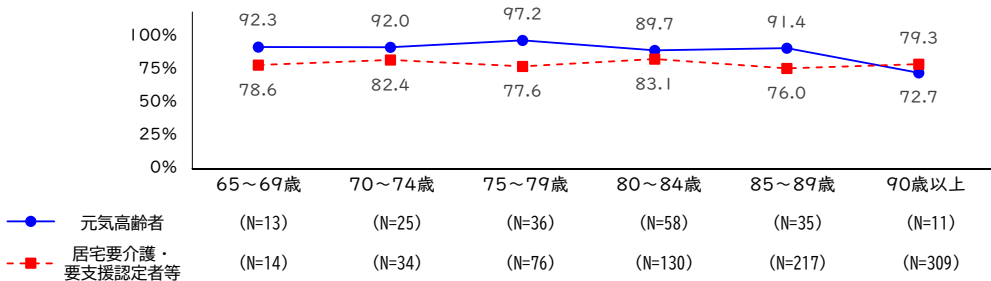
年齢階層別にみると、高年齢ほど増加しているのが明確に表れています。

元気：問9⑥・認定：問8⑦で「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」、「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」とお答えの方のみ

⑧ 毎日入れ歯の手入れをしていますか



＜年齢階層別：「はい」(毎日入れ歯の手入れをしている)割合の比較＞



「元気高齢者」

「はい」が91.0%、「いいえ」が5.1%となっています。

年齢階層別にみると、89歳までは概ね9割台で推移していますが、90歳以上で8割を下回っています。

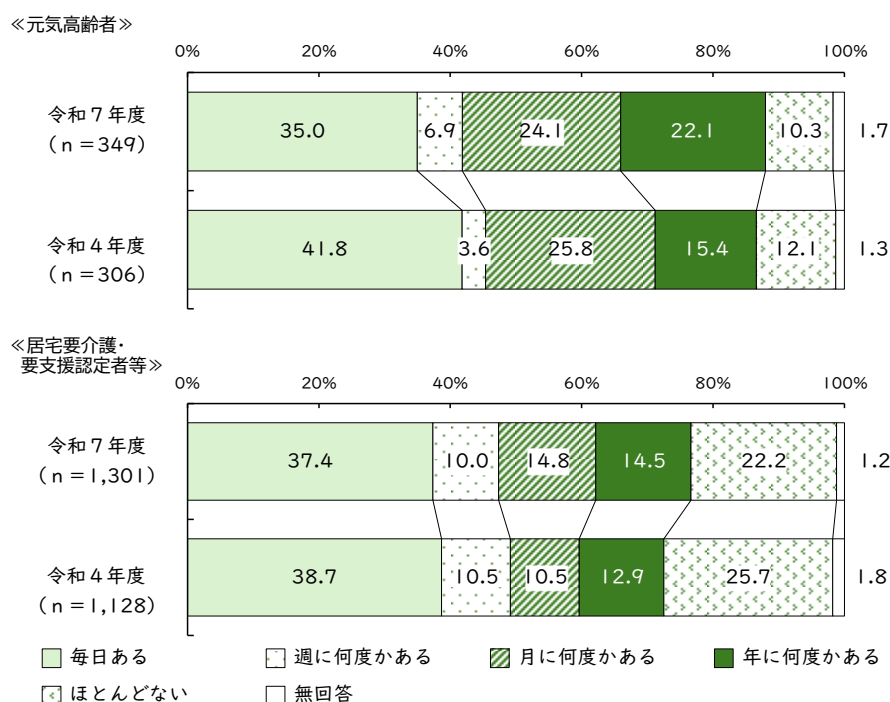
「居宅要介護・要支援認定者等」

「はい」が79.0%、「いいえ」が16.5%となっています。

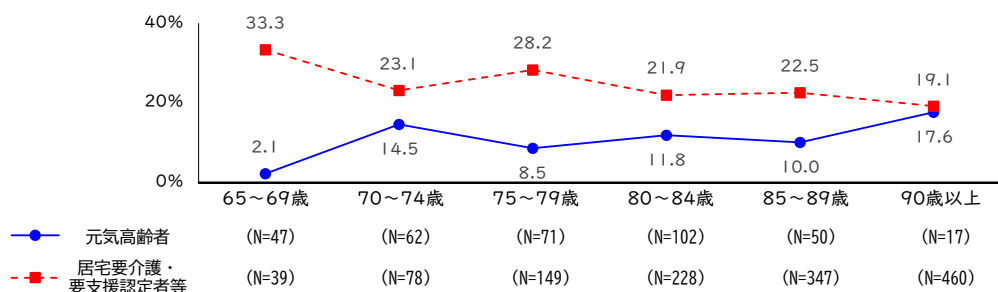
年齢階層別にみると、いずれの年齢階層においても8割前後で推移しています。

[元気：問10・認定：問9]

家族や友人・知人、地域（近所）の方などと食事をとにもする機会がありますか。



<年齢階層別：「ほとんどない」割合の比較>



「元気高齢者」

「毎日ある」が35.0%と最も多く、次いで「月に何度かある」が24.1%、「年に何度かある」が22.1%などとなっています。また、『週に何度かある』（「毎日ある」＋「週に何度かある」）は41.9%となっています。

前回調査と比較すると、「毎日ある」が6.8ポイント減少し、「年に何度かある」が6.7ポイント増加しています。

年齢階層別にみると、増減はあるものの、高年齢ほど概ね増加傾向となっています。

「居宅要介護・要支援認定者等」

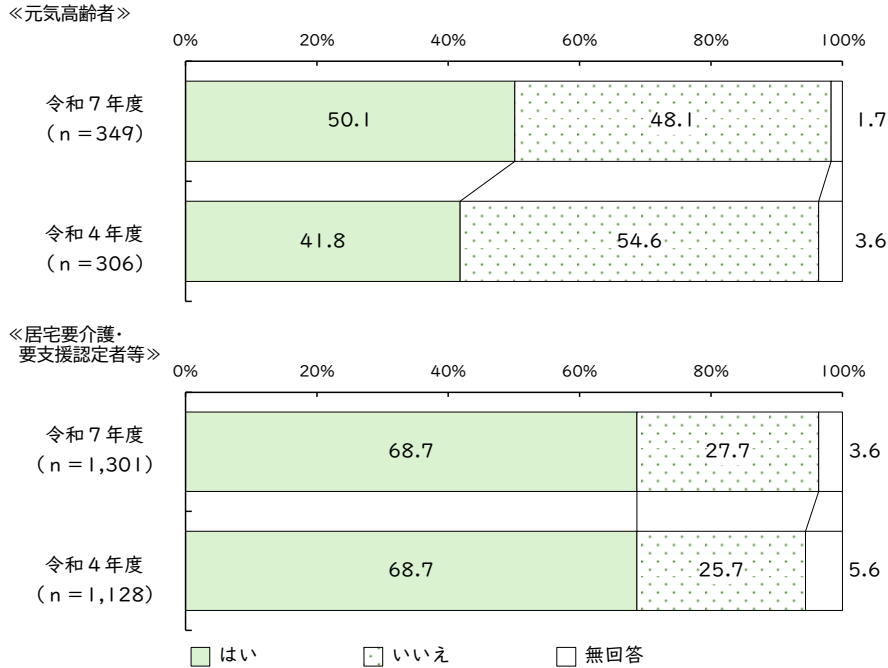
「毎日ある」が37.4%と最も多く、次いで「ほとんどない」が22.2%、「月に何度かある」が14.8%などとなっています。また、『週に何度かある』は47.4%となっています。

年齢階層別にみると、増減はあるものの、高年齢ほど概ね減少傾向となっています。

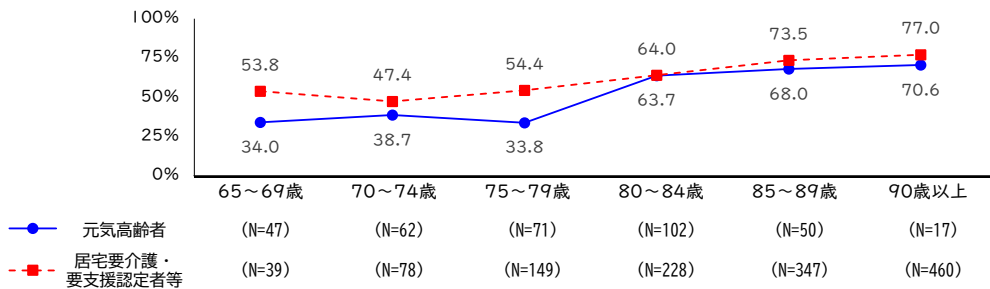
毎日の生活について

[元気：問11・認定：問10]

物忘れが多いと感じますか。



＜年齢階層別：「はい」（物忘れが多いと感じる）割合の比較＞



「元気高齢者」

「はい」が50.1%、「いいえ」が48.1%となっています。

前回調査と比較すると、「はい」が8.3ポイント増加し、「いいえ」が6.5ポイント減少しています。

年齢階層別にみると、79歳までには3割で推移しており、80歳以上では6割以上となっています。

「居宅要介護・要支援認定者等」

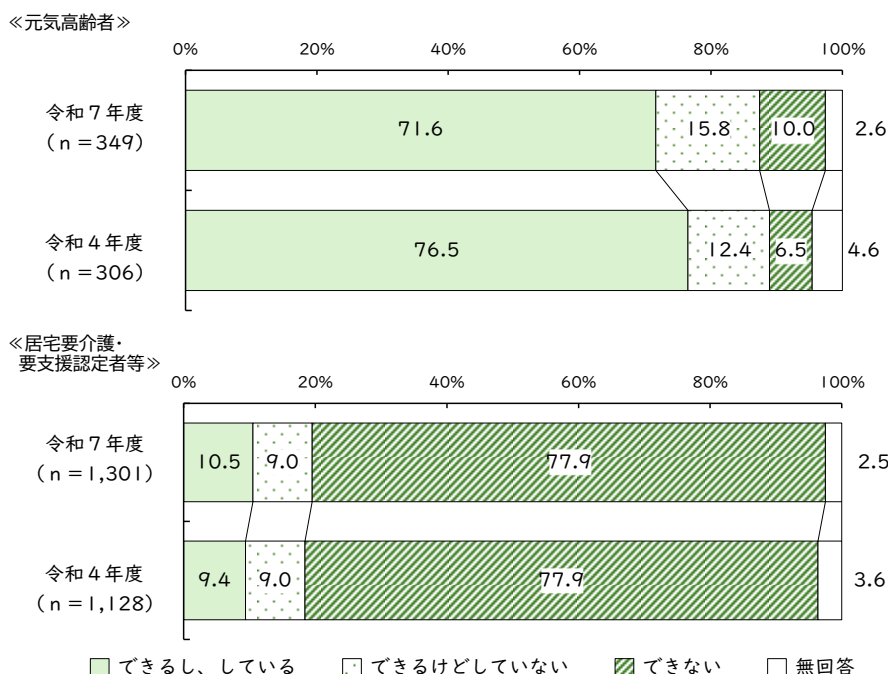
「はい」が68.7%、「いいえ」が27.7%となっています。

年齢階層別にみると、79歳までには5割前後で推移しており、80歳以上では在宅要介護・要支援認定者とほぼ同じ割合で6割以上となっています。

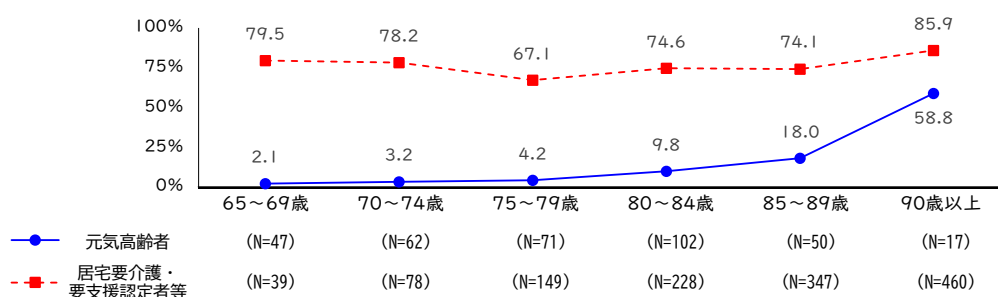
[元気：問 12・認定：問 11]

毎日の生活について教えてください。

① バスや電車で一人で外出していますか（自家用車でも可）



<年齢階層別：「できない」割合の比較>



「元気高齢者」

「できるし、している」が71.6%と最も多く、次いで「できるけどしていない」が15.8%、「できない」が10.0%となっています。また、『できる』（「できるし、している」＋「できるけどしていない」）は87.4%となっています。

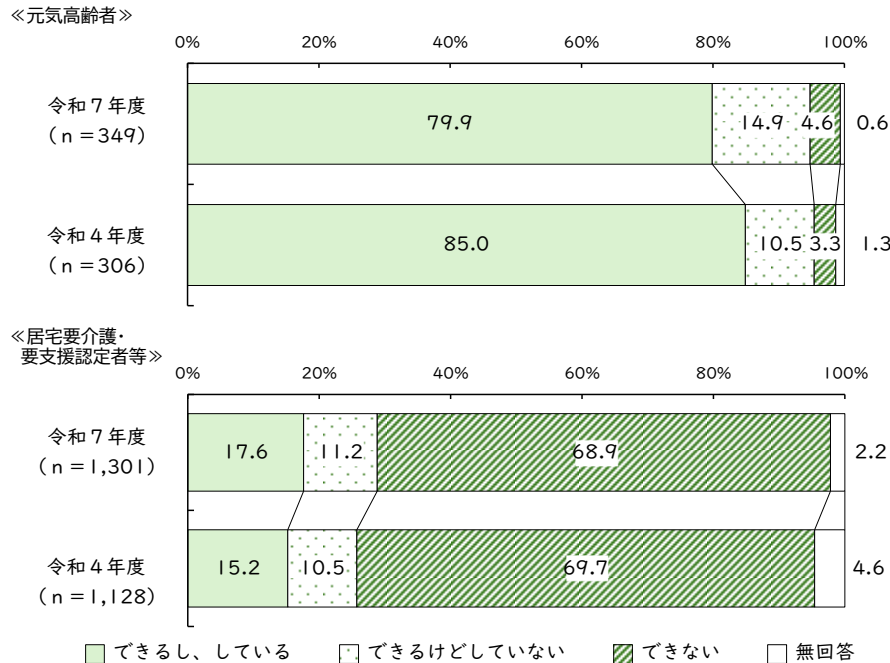
年齢階層別にみると、84歳までは1桁で推移していますが、85～89歳では約2割、90歳以上では約6割となっています。

「居宅要介護・要支援認定者等」

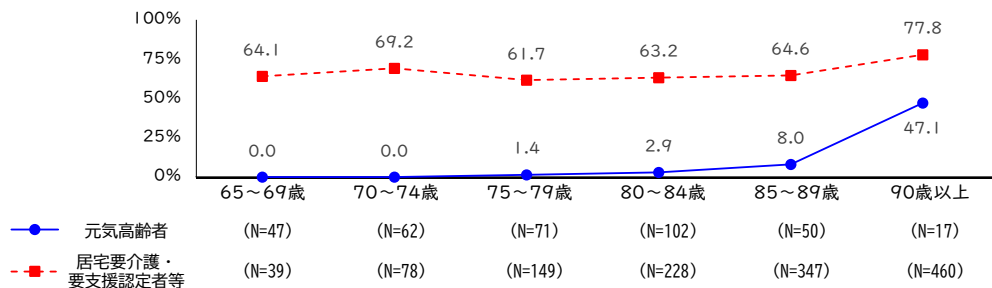
「できない」が77.9%と最も多く、次いで「できるし、している」が10.5%、「できるけどしていない」が9.0%となっています。また、『できる』は19.5%となっています。

年齢階層別にみると、75～79歳は6割台ですが、それ以外の年齢階層では8割前後となっています。

② 自分で食品・日用品の買い物をしていますか



＜年齢階層別：「できない」割合の比較＞



「元気高齢者」

「できるし、している」が79.9%と最も多く、次いで「できるけどしていない」が14.9%、「できない」が4.6%となっています。また、『できる』（「できるし、している」＋「できるけどしていない」）は94.8%となっています。

前回調査と比較すると、「できるし、している」が5.1ポイント減少しています。

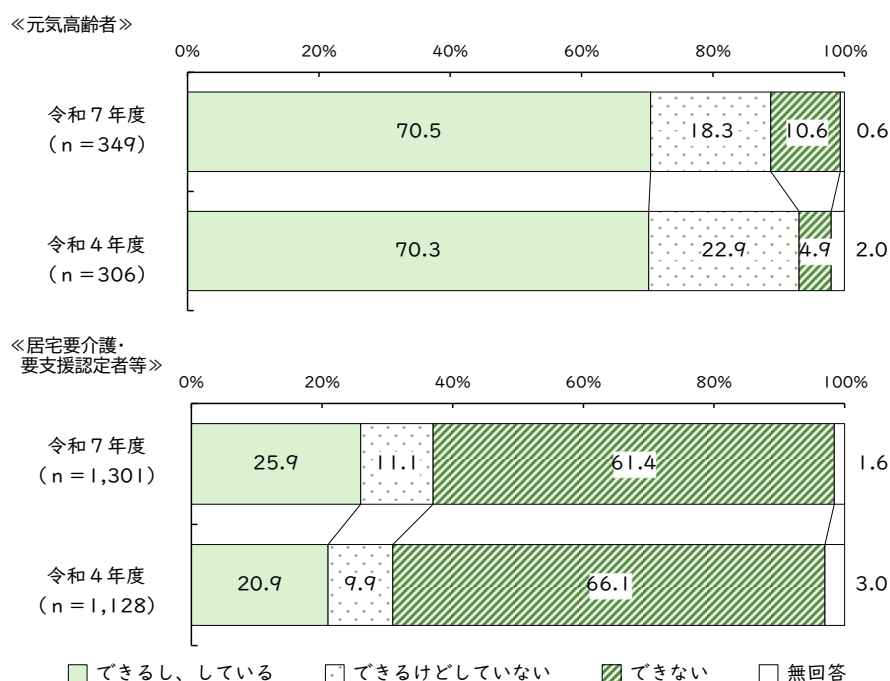
年齢階層別にみると、89歳までは1桁で推移していますが、90歳以上では約5割となっています。

「居宅要介護・要支援認定者等」

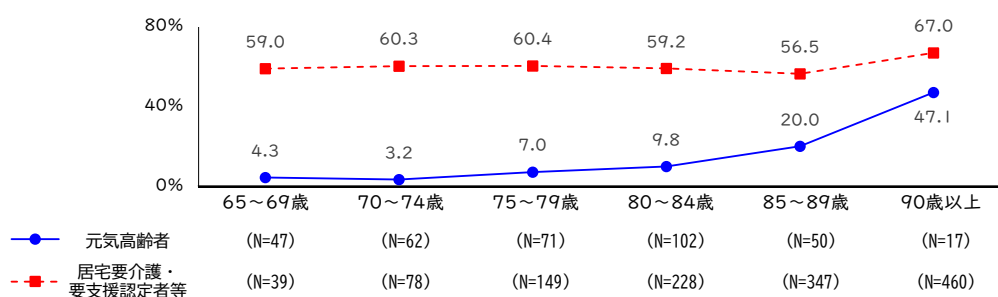
「できない」が68.9%と最も多く、次いで「できるし、している」が17.6%、「できるけどしていない」が11.2%となっています。また、『できる』は28.8%となっています。

年齢階層別にみると、89歳までは6割台で推移していますが、90歳以上では約8割となっています。

③ 自分で食事の用意をしていますか



<年齢階層別：「できない」割合の比較>



「元気高齢者」

「できるし、している」が70.5%と最も多く、次いで「できるけどしていない」が18.3%、「できない」が10.6%となっています。また、『できる』（「できるし、している」＋「できるけどしていない」）は88.8%となっています。

前回調査と比較すると、「できない」が5.7ポイント増加しています。

年齢階層別にみると、84歳までは1桁で推移していますが、85～89歳では約2割、90歳以上では約5割となっています。

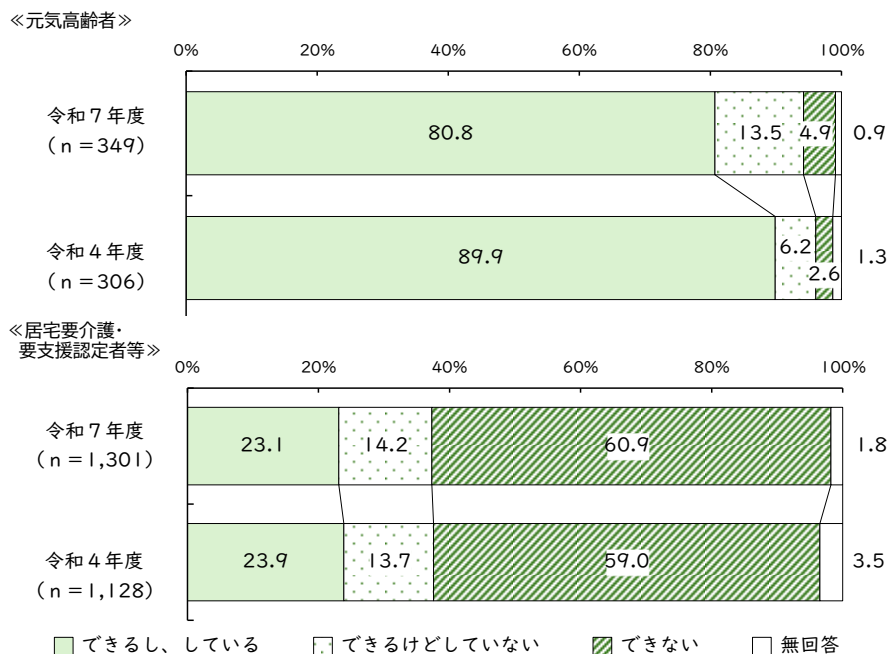
「居宅要介護・要支援認定者等」

「できない」が61.4%と最も多く、次いで「できるし、している」が25.9%、「できるけどしていない」が11.1%となっています。また、『できる』は37.0%となっています。

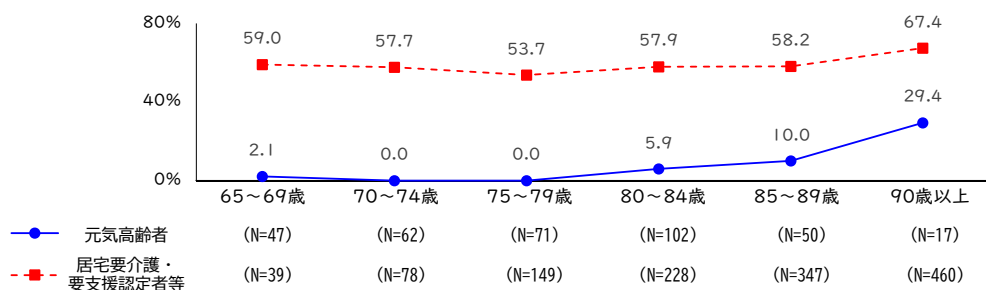
前回調査と比較すると、「できるし、している」が5.0ポイント増加しています。

年齢階層別にみると、89歳までは6割前後で推移していますが、90歳以上では約7割となっています。

④ 自分で請求書の支払いをしていますか



＜年齢階層別：「できない」割合の比較＞



「元気高齢者」

「できるし、している」が80.8%と最も多く、次いで「できるけどしていない」が13.5%、「できない」が4.9%となっています。また、『できる』（「できるし、している」＋「できるけどしていない」）は94.3%となっています。

前回調査と比較すると、「できるし、している」が9.1ポイント減少しています。

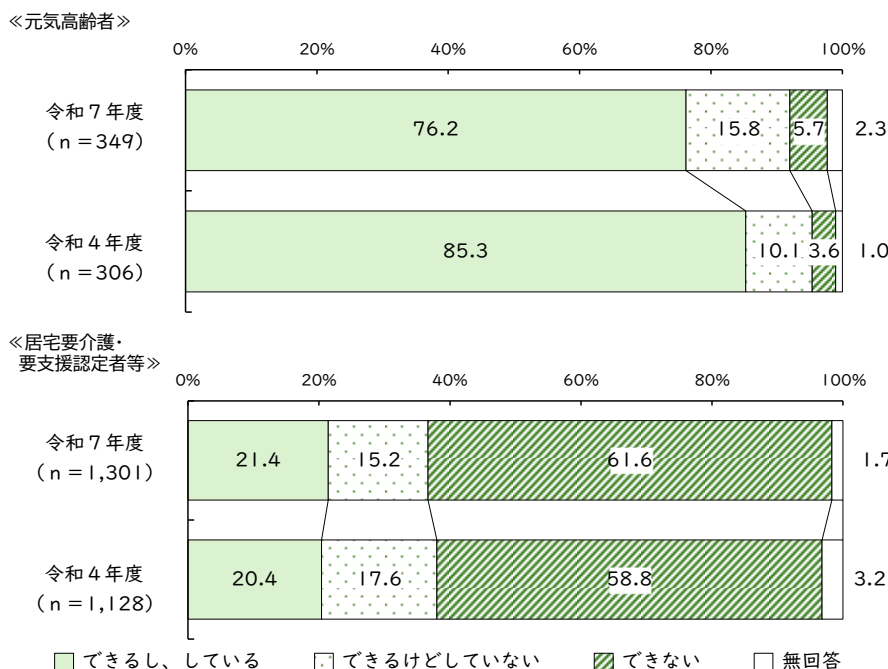
年齢階層別にみると、89歳までは1割以下で推移していますが、90歳以上では約3割となっています。

「居宅要介護・要支援認定者等」

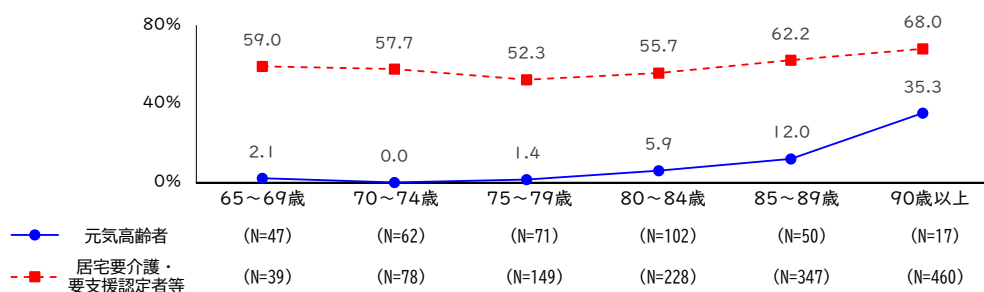
「できない」が60.9%と最も多く、次いで「できるし、している」が23.1%、「できるけどしていない」が14.2%となっています。また、『できる』は37.3%となっています。

年齢階層別にみると、89歳までは6割前後で推移していますが、90歳以上では約7割となっています。

⑤ 自分で預貯金の出し入れをしていますか



<年齢階層別:「できない」割合の比較>



<<元気高齢者>>

「できるし、している」が76.2%と最も多く、次いで「できるけどしていない」が15.8%、「できない」が5.7%となっています。また、『できる』（「できるし、している」＋「できるけどしていない」）は92.0%となっています。

前回調査と比較すると、「できるし、している」が9.1ポイント減少しています。

年齢階層別にみると、84歳までは1割以下で推移していますが、85～89歳では約1割、90歳以上では3割以上となっています。

<<居宅要介護・要支援認定者等>>

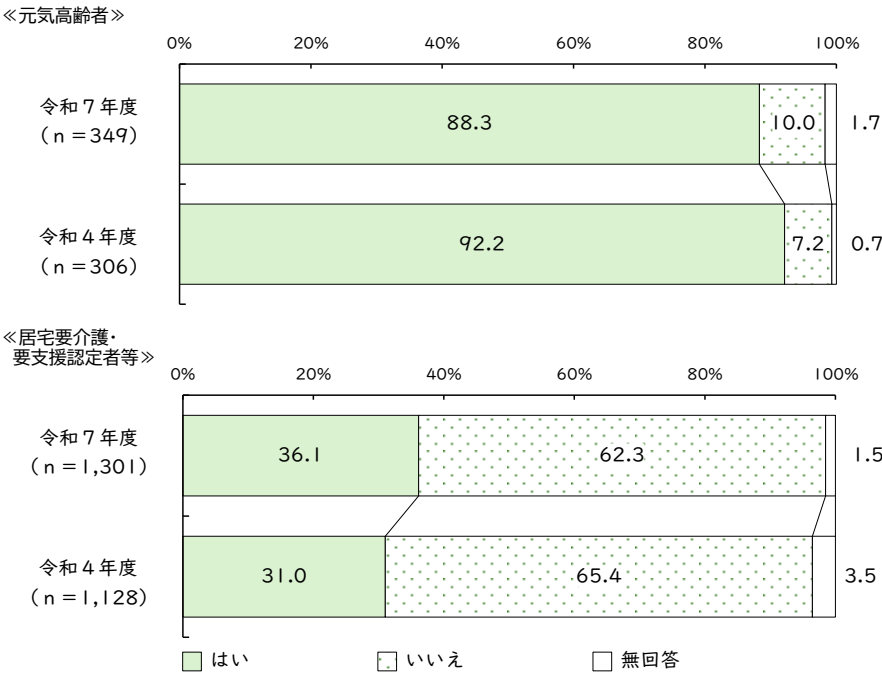
「できない」が61.6%と最も多く、次いで「できるし、している」が21.4%、「できるけどしていない」が15.2%となっています。また、『できる』は36.6%となっています。

年齢階層別にみると、89歳までは6割前後で推移していますが、90歳以上では約7割となっています。

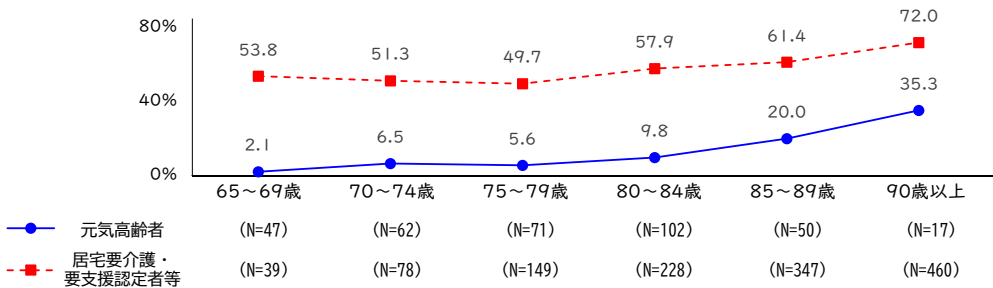
[元気：問13・認定：問12]

書類の記入や相談、趣味などについて教えてください。

① 年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けますか



＜年齢階層別：「いいえ」(年金などの書類が書けない)割合の比較＞



「元気高齢者」

「はい」が88.3%、「いいえ」が10.0%となっています。

年齢階層別にみると、84歳までは1割以下で推移していますが、85～89歳では2割、90歳以上では3割以上となっています。

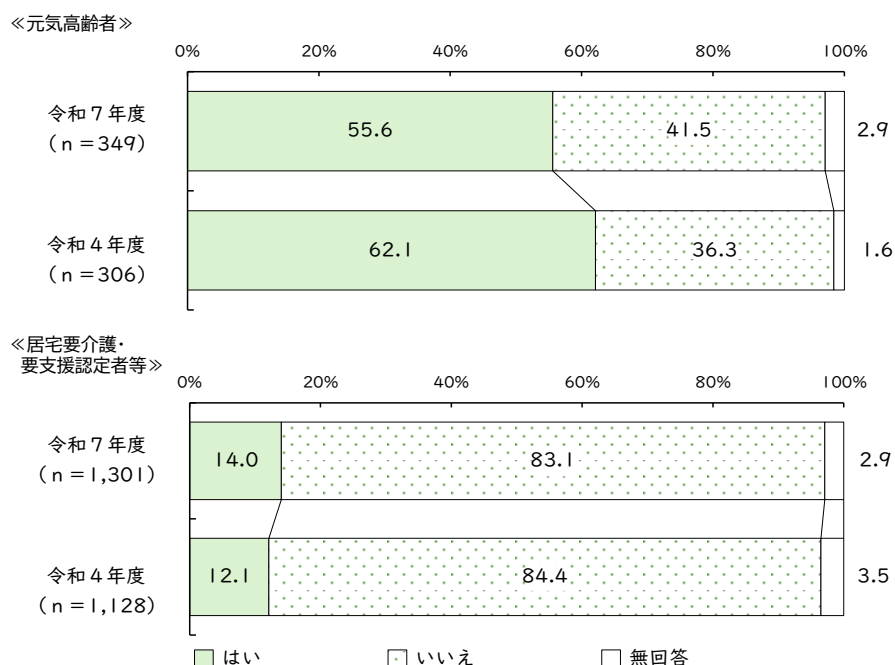
「居宅要介護・要支援認定者等」

「はい」が36.1%、「いいえ」が62.3%となっています。

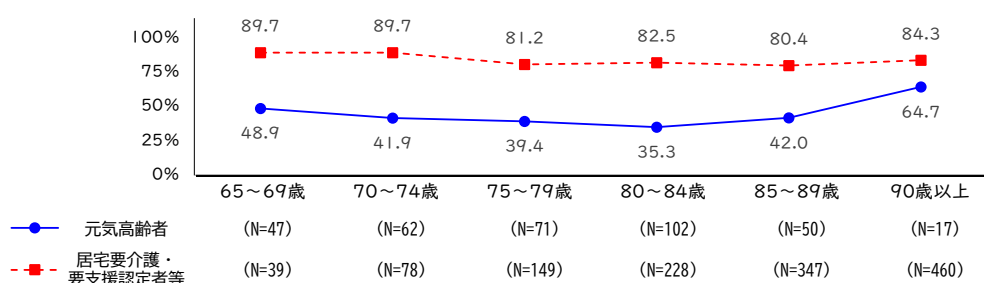
前回調査と比較すると、「はい」が5.1ポイント増加しています。

年齢階層別にみると、84歳までは6割以下で推移していますが、85～89歳では6割以上、90歳以上では約7割となっています。

② 友人の家を訪ねていますか



＜年齢階層別：「いいえ」(友人の家を訪ねていない)割合の比較＞



《元気高齢者》

「はい」が55.6%、「いいえ」が41.5%となっています。

前回調査と比較すると、「はい」が6.5ポイント減少し、「いいえ」が5.2ポイント増加しています。

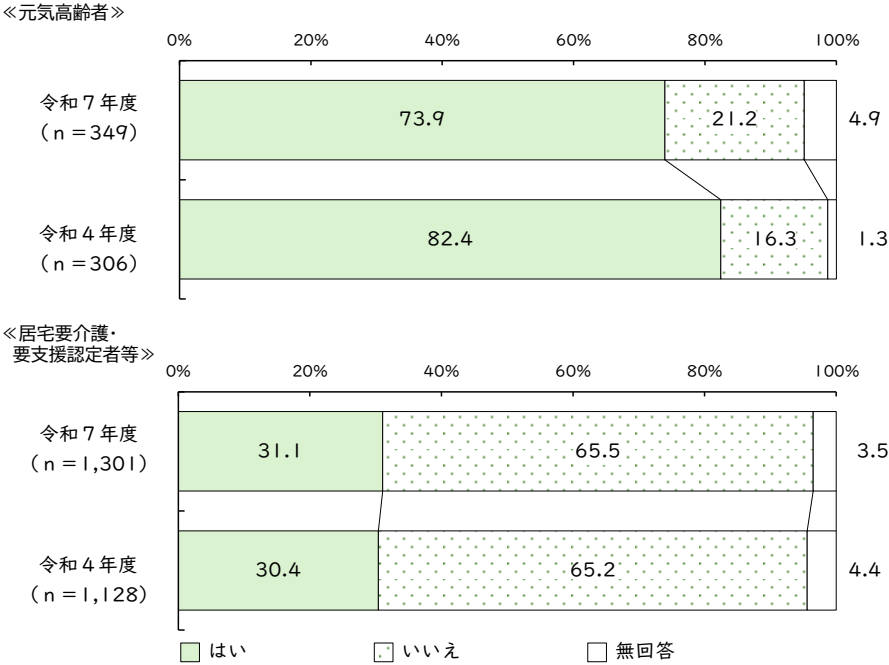
年齢階層別にみると、89歳までは3～4割台で推移していますが、90歳以上では6割以上となっています。

《居宅要介護・要支援認定者等》

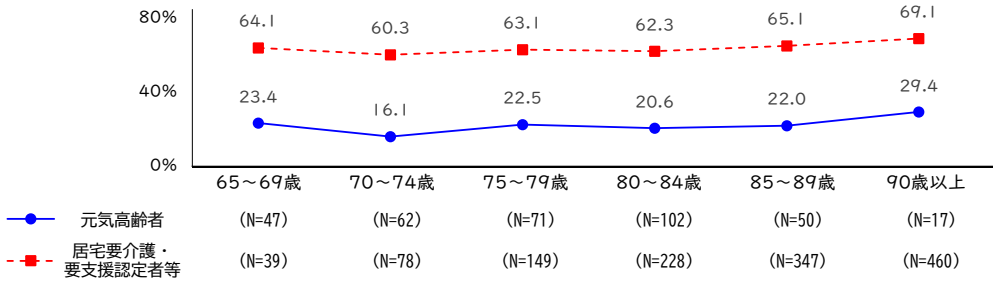
「はい」が14.0%、「いいえ」が83.1%となっています。

年齢階層別にみると、いずれの年齢階層も8割台で推移しています。

③ 家族や友人の相談にのっていますか



<年齢階層別:「いいえ」(家族や友人の相談にのっていない)割合の比較>



「元気高齢者」

「はい」が73.9%、「いいえ」が21.2%となっています。

前回調査と比較すると、「はい」が8.5ポイント減少しています。

年齢階層別にみると、70～74歳で1割台ですが、それ以外の年齢階層では2割台でとなっています。

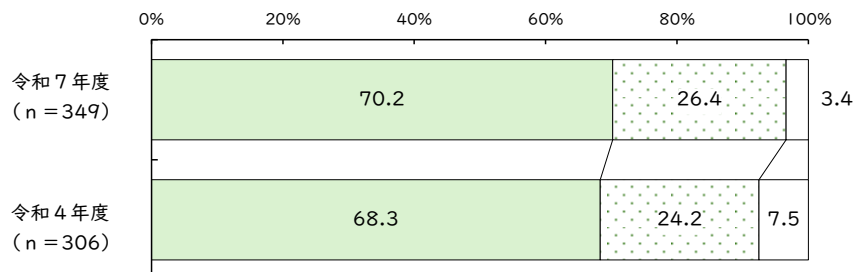
「居宅要介護・要支援認定者等」

「はい」が31.1%、「いいえ」が65.5%となっています。

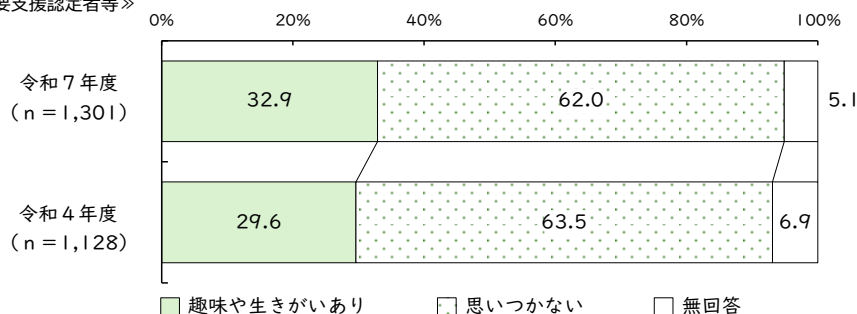
年齢階層別にみると、いずれの年齢階層も6割台で推移しています。

④ 趣味や生きがいがありますか

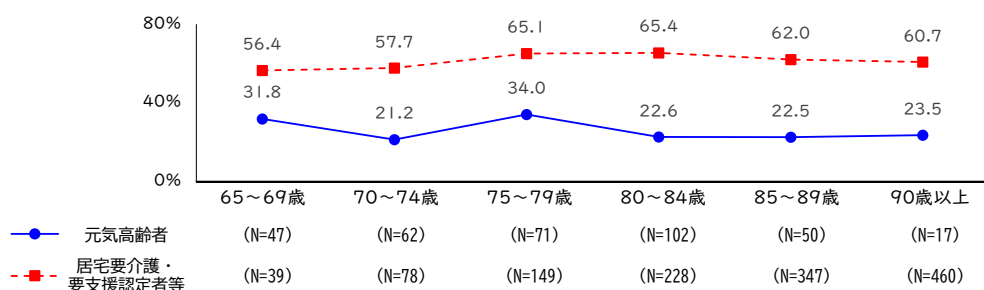
《元気高齢者》



《居宅要介護・要支援認定者等》



<年齢階層別:「思いつかない」割合の比較>



《元気高齢者》

「趣味や生きがいあり」が 70.2%、「思いつかない」が 26.4%となっています。

年齢階層別にみると、65～69歳と75～79歳で3割台となっていますが、それ以外の年齢階層では2割台となっています。

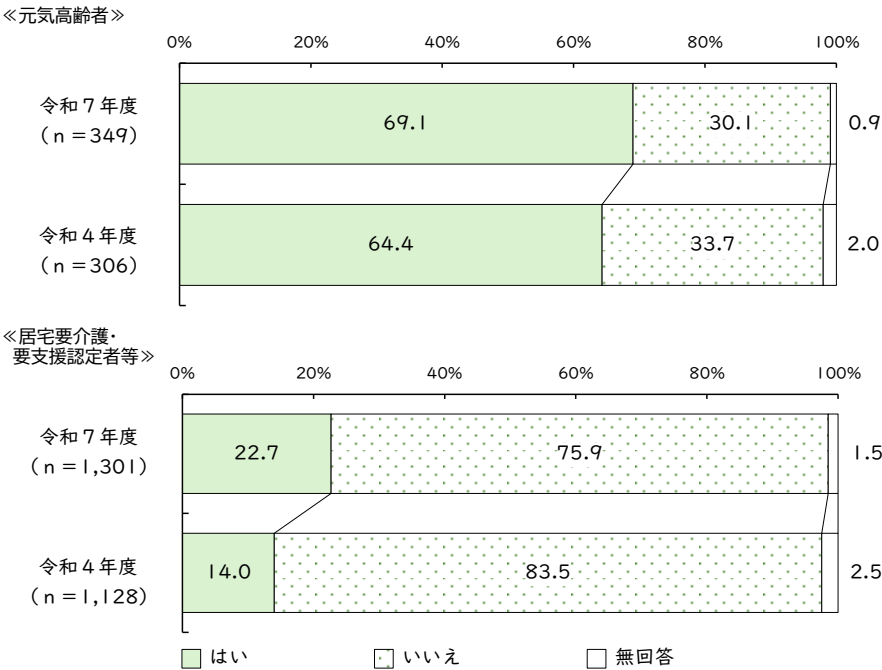
《居宅要介護・要支援認定者等》

「趣味や生きがいあり」が 32.9%、「思いつかない」が 62.0%となっています。

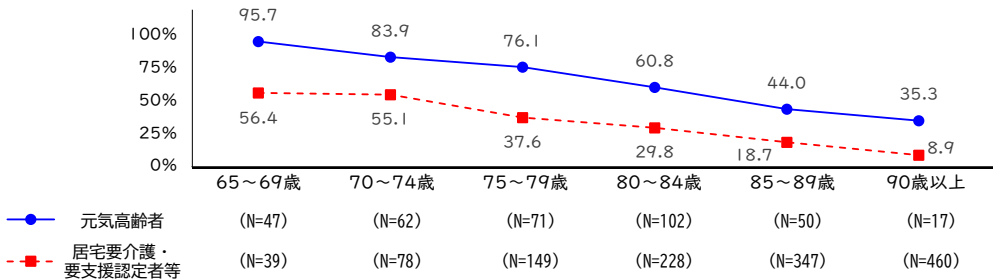
年齢階層別にみると、74歳以下の前期高齢者では5割台となっていますが、75歳以上の後期高齢者では6割台となっています。

[元気：問14・認定：問13]

スマートフォンを使用していますか。



<年齢階層別：「はい」(スマートフォンを使用している)割合の比較>



「元気高齢者」

「はい」が69.1%、「いいえ」が30.1%となっています。
年齢階層別にみると、高年齢ほど減少しているのが明確に表れています。

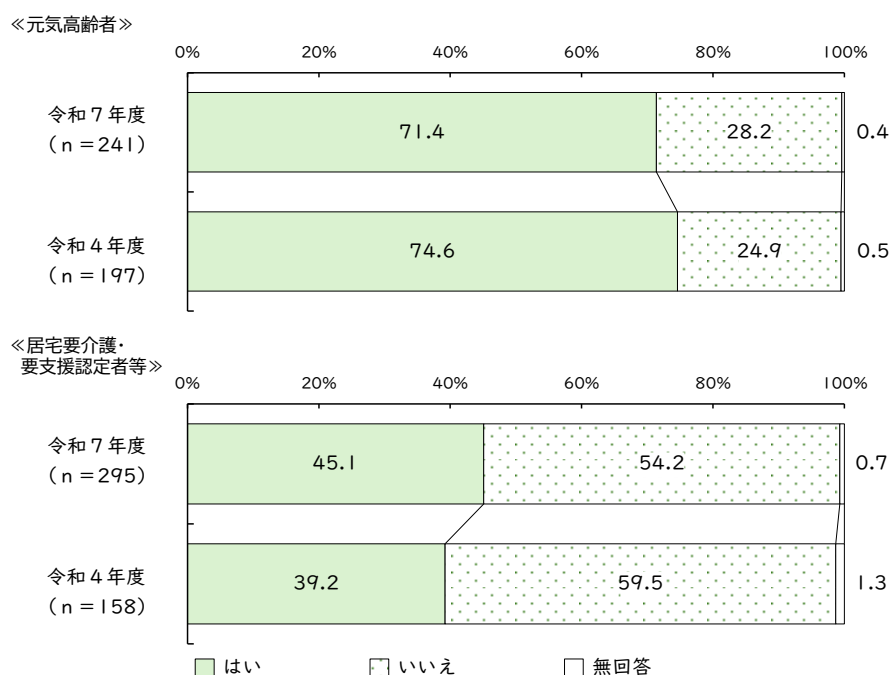
「居宅要介護・要支援認定者等」

「はい」が22.7%、「いいえ」が75.9%となっています。
年齢階層別にみると、高年齢ほど減少しているのが明確に表れています。

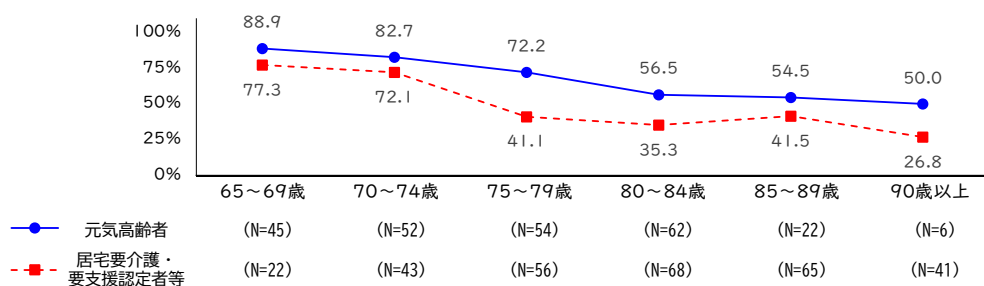
元気：問 14・認定：問 13 で「はい」とお答えの方のみ

[元気：問 14-1・認定：問 13-1]

LINEなどのメッセージアプリケーションを利用していますか。



<年齢階層別：「はい」(LINEなどのメッセージアプリケーションを利用している)割合の比較>



「元気高齢者」

「はい」が71.4%、「いいえ」が28.2%となっています。

年齢階層別にみると、高年齢ほど減少しているのが明確に表れています。

「居宅要介護・要支援認定者等」

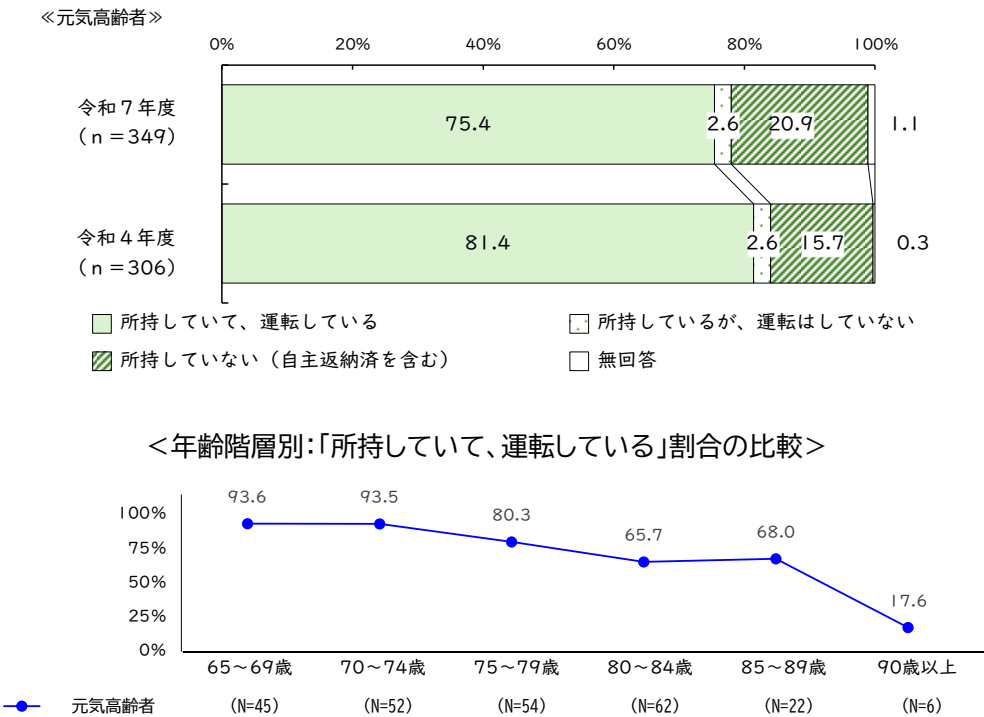
「はい」が45.1%、「いいえ」が54.2%となっています。

前回調査と比較すると、「はい」が5.9ポイント増加し、「いいえ」が5.3ポイント減少しています。

年齢階層別にみると、85～89歳で若干増加していますが、高年齢ほど概ね減少している傾向となっています。

[元気：問15]

運転免許証を所持していますか。また、運転をしていますか。



「元気高齢者」

「所持していて、運転している」が75.4%と最も多く、次いで「所持していない（自主返納済を含む）」が20.9%、「所持しているが、運転はしていない」が2.6%となっています。また、『所持している』（「所持していて、運転している」＋「所持しているが、運転はしていない」）は78.0%となっています。

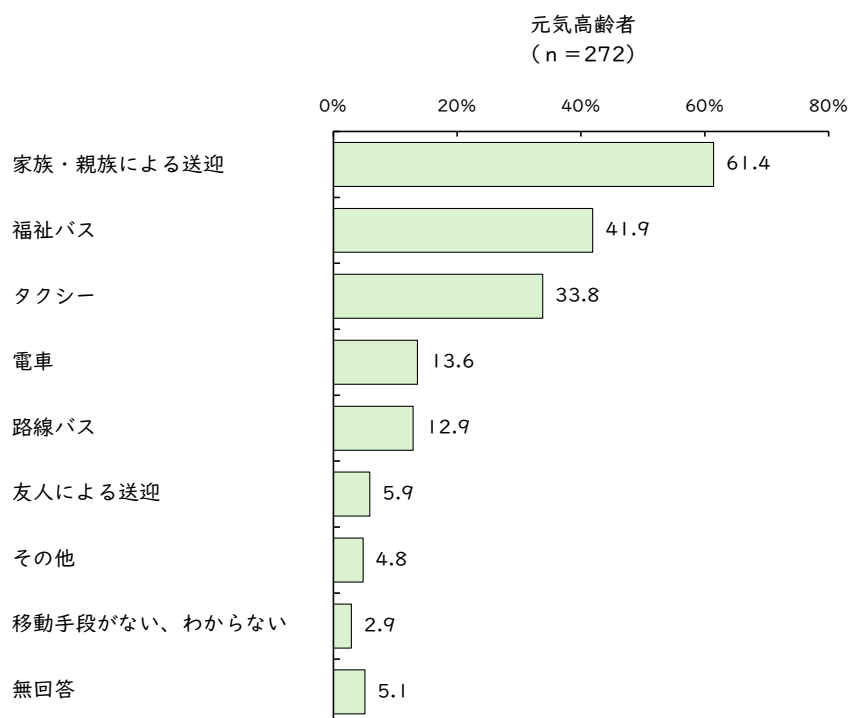
前回調査と比較すると、「所持していて、運転している」が6.0ポイント減少し、「所持していない（自主返納済を含む）」が5.2ポイント増加しています。

年齢階層別にみると、79歳までは8割以上ですが、80代では6割台、90歳以上では約2割となっています。

元気：問15で「所持していて、運転している」、「所持しているが、運転はしていない」とお答えの方のみ

[元気：問15-1] **【令和7年度 新規】**

運転ができなくなったら、どのような移動手段を利用したいですか。(複数回答可)



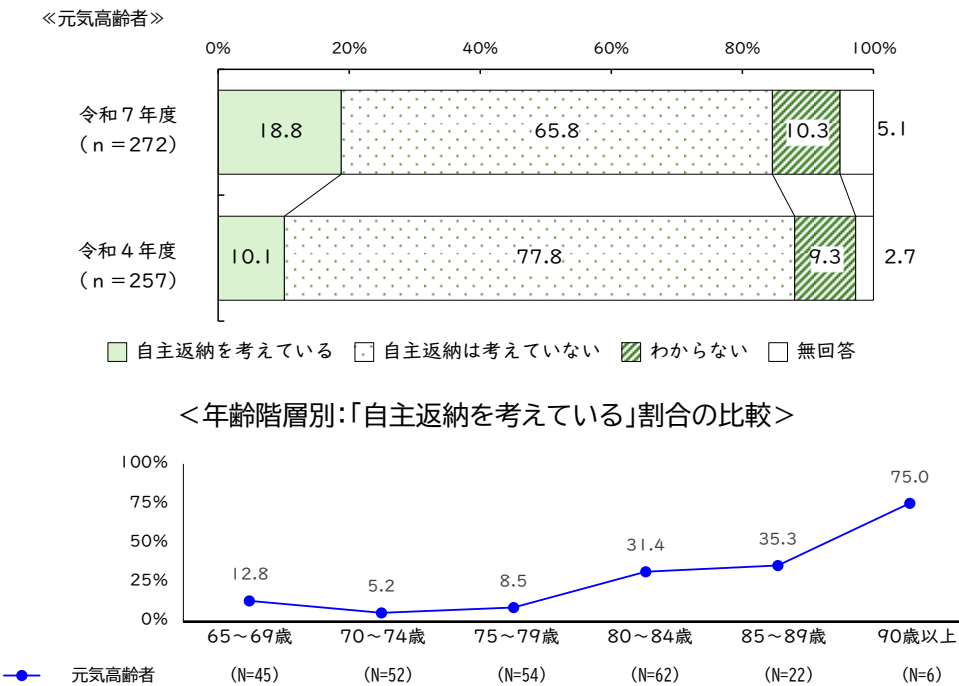
《元気高齢者》

「家族・親族による送迎」が 61.4%と最も多く、次いで「福祉バス」が 41.9%、「タクシー」が 33.8%などとなっています。

元気：問15で「所持していて、運転している」、「所持しているが、運転はしていない」とお答えの方のみ

[元気：問15-2]

運転免許証の自主返納を考えていますか。



「元気高齢者」

「自主返納は考えていない」が65.8%と最も多く、次いで「自主返納を考えている」が18.8%、「わからない」が10.3%となっています。

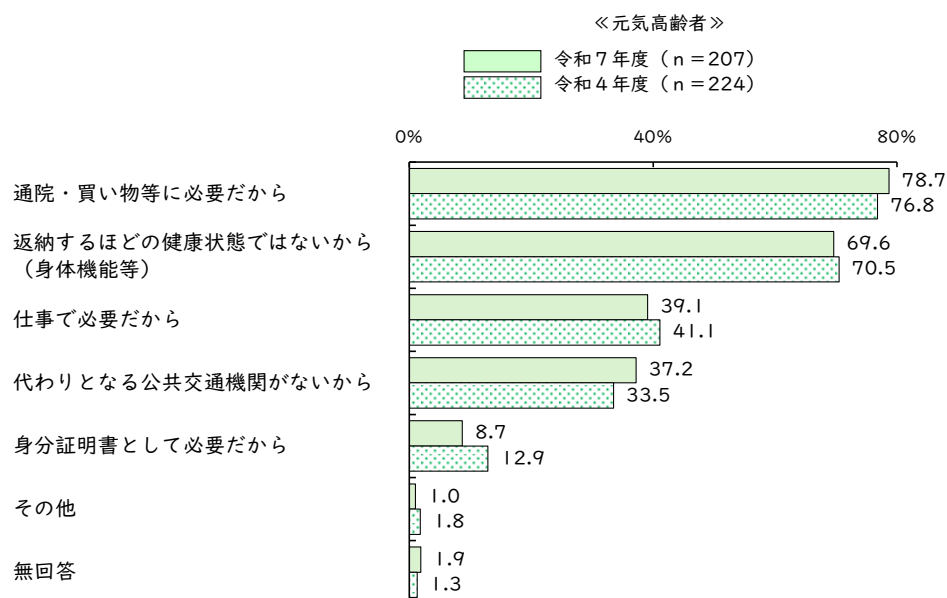
前回調査と比較すると、「自主返納を考えている」が8.7ポイント増加し、「自主返納は考えていない」が12.0ポイント減少しています。

年齢階層別にみると、79歳までは1割以下ですが、80代では3割台、90歳以上では7割以上となっています。

元気：問 15-2 で「自主返納は考えていない」、「わからない」とお答えの方のみ

[元気：問 15-2-1]

返納を考えていない理由は何ですか。（複数回答可）

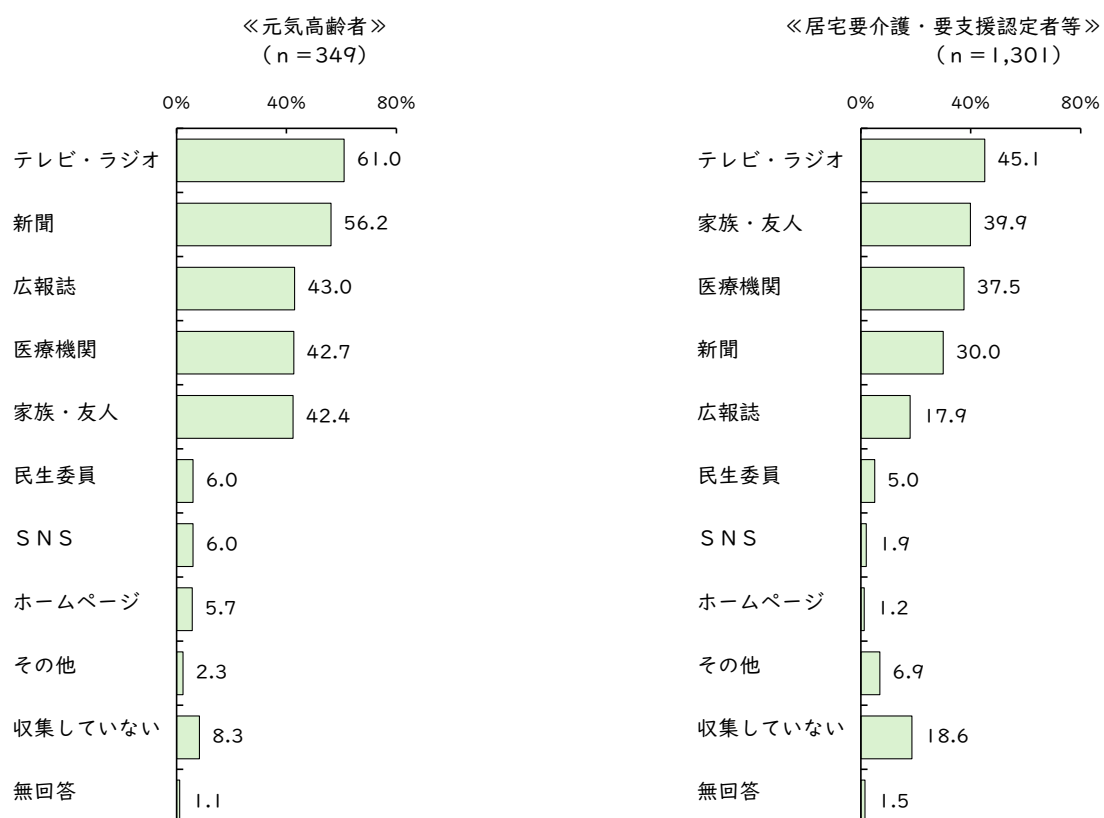


《元気高齢者》

「通院・買い物等に必要だから」が 78.7%と最も多く、次いで「返納するほどの健康状態ではないから（身体機能等）」が 69.6%、「仕事で必要だから」が 39.1% などとなっています。

[元気：問16・認定：問14] **【令和7年度 新規】**

生活や健康管理、介護予防等に関する情報をどのような媒体で収集していますか。
(複数回答可)



《元気高齢者》

「テレビ・ラジオ」が61.0%と最も多く、次いで「新聞」が56.2%、「広報誌」が43.0%などとなっています。

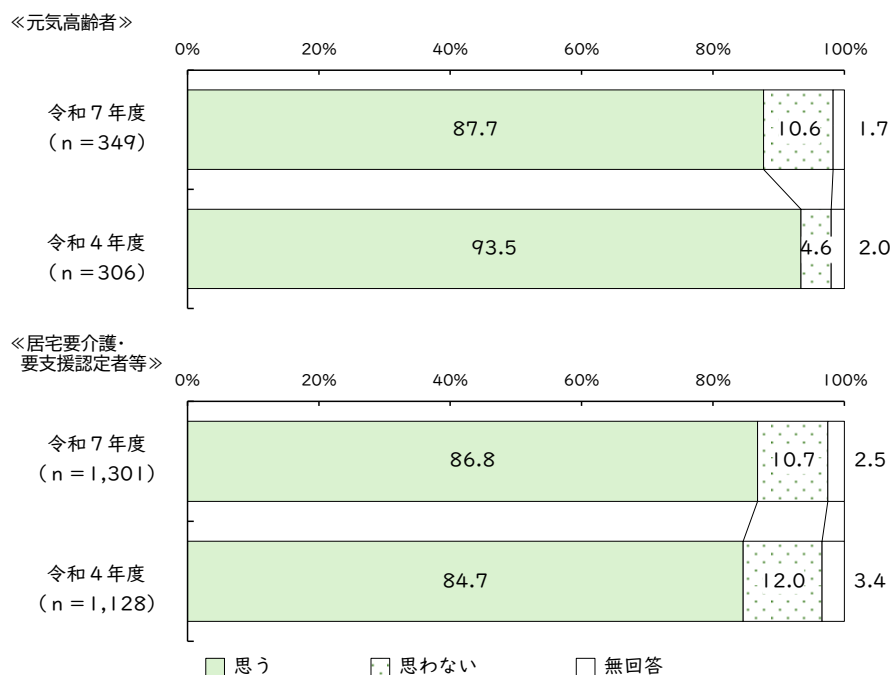
《居宅要介護・要支援認定者等》

「テレビ・ラジオ」が45.1%と最も多く、次いで「家族・友人」が39.9%、「医療機関」が37.5%などとなっています。

地域での活動について

[元気：問 17・認定：問 15]

お住まいの地域は、安心して生活できる地域だと思いますか。



<性別：クロス集計表>

(単位：％)

	調査数 (n)	思う	思わない	無回答
「元気高齢者」				
全体	349	87.7	10.6	1.7
男性	170	87.1	10.6	2.4
女性	179	88.3	10.6	1.1

(単位：％)

	調査数 (n)	思う	思わない	無回答
「居宅要介護・要支援認定者等」				
全体	1,301	86.8	10.7	2.5
男性	610	84.6	11.8	3.6
女性	691	88.7	9.7	1.6

「元気高齢者」

「思う」が87.7%、「思わない」が10.6%となっています。

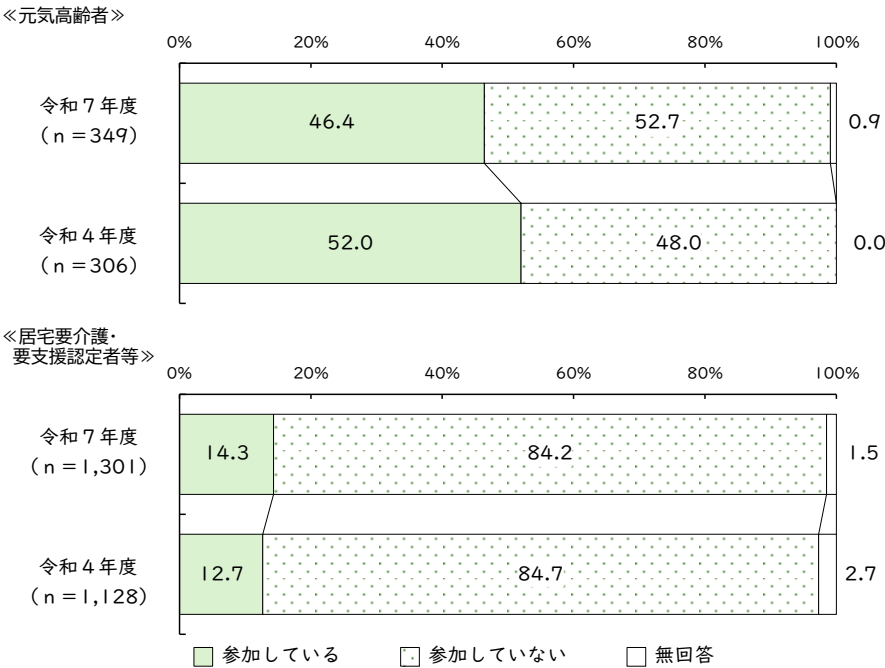
前回調査と比較すると、「思う」が5.8ポイント減少し、「思わない」が6.0ポイント増加しています。

「居宅要介護・要支援認定者等」

「思う」が86.8%、「思わない」が10.7%となっています。

[元気：問18・認定：問16]

何らかの地域の会やグループに参加していますか。



＜性別：クロス集計表＞

（単位：%）					（単位：%）				
	調査数（n）	参加している	参加していない	無回答		調査数（n）	参加している	参加していない	無回答
「元気高齢者」					「居宅要介護・要支援認定者等」				
全体	349	46.4	52.7	0.9	全体	1,301	14.3	84.2	1.5
男性	170	44.1	55.3	0.6	男性	610	12.8	85.2	2.0
女性	179	48.6	50.3	1.1	女性	691	15.6	83.2	1.2

※青字：異性よりも5ポイント以上高い
赤字：異性よりも5ポイント以上低い

「元気高齢者」

「参加している」が46.4%、「参加していない」が52.7%となっています。
前回調査と比較すると、「参加している」が5.6ポイント減少しています。
性別で比較すると、「参加していない」で5.0ポイントの差異がみられます。

「居宅要介護・要支援認定者等」

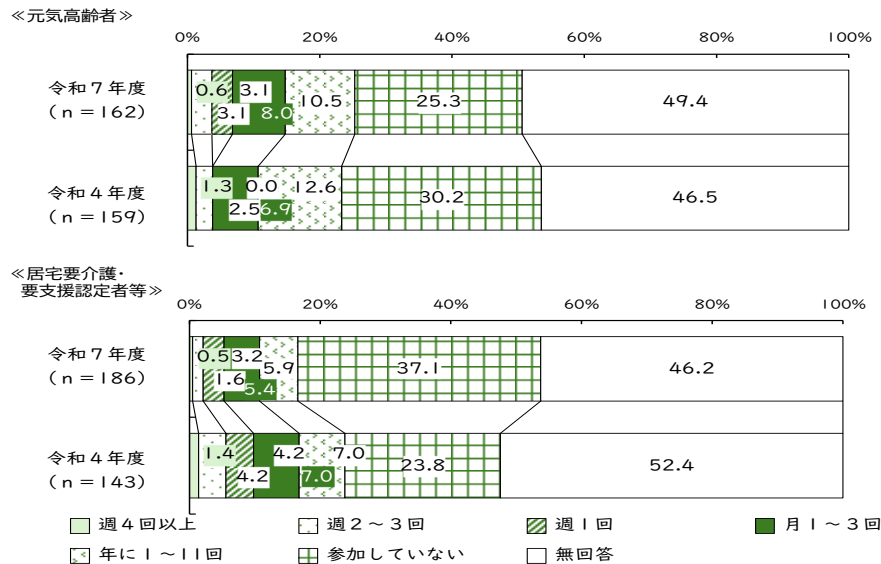
「参加している」が14.3%、「参加していない」が84.2%となっています。

元気：問 18・認定：問 16 で「参加している」とお答えの方のみ

[元気：問 18-1・認定：問 16-1]

地域の会やグループに、どのくらいの頻度で参加していますか。

① ボランティアのグループ



<性別：クロス集計表>

(単位：%)

	調査数 (n)	週4回以上	週2~3回	週1回	月1~3回	年に1~11回	参加していない	無回答
全体	162	0.6	3.1	3.1	8.0	10.5	25.3	49.4
男性	75	0.0	6.7	2.7	5.3	13.3	24.0	48.0
女性	87	1.1	0.0	3.4	10.3	8.0	26.4	50.6

※青字：異性よりも5ポイント以上高い
赤字：異性よりも5ポイント以上低い

(単位：%)

	調査数 (n)	週4回以上	週2~3回	週1回	月1~3回	年に1~11回	参加していない	無回答
全体	186	0.5	1.6	3.2	5.4	5.9	37.1	46.2
男性	78	1.3	1.3	1.3	6.4	10.3	43.6	35.9
女性	108	0.0	1.9	4.6	4.6	2.8	32.4	53.7

※青字：異性よりも5ポイント以上高い
赤字：異性よりも5ポイント以上低い

「元気高齢者」

「参加していない」が25.3%と最も多く、次いで「年に1~11回」が10.5%、「月1~3回」が8.0%などとなっています。また、『週1回以上』（「週4回以上」＋「週2~3回」＋「週1回」）は6.8%となっています。

性別で比較すると、「週2~3回」、「月1~3回」、「年に1~11回」で5ポイント以上の差異がみられます。

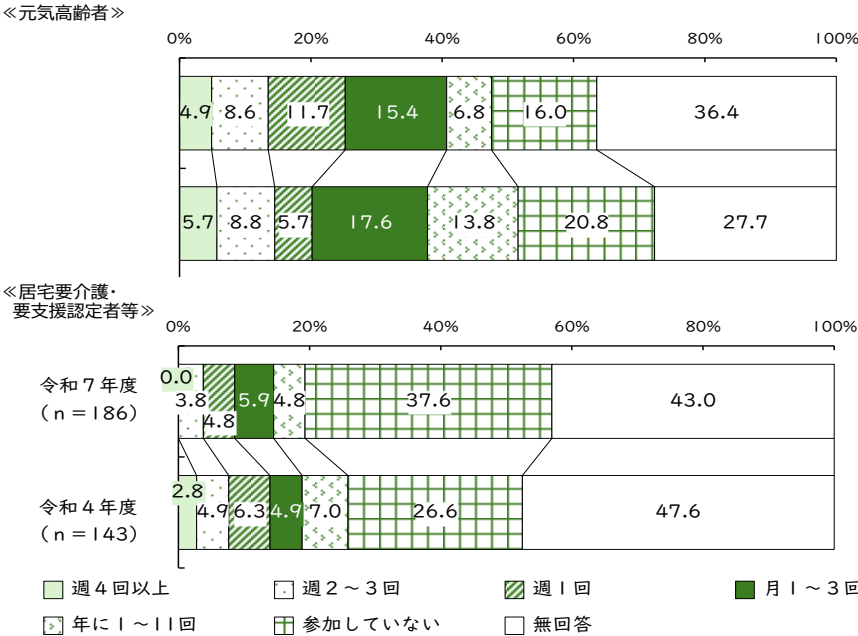
「居宅要介護・要支援認定者等」

「参加していない」が37.1%と突出しています。また、『週1回以上』は5.3%となっています。

前回調査と比較すると、「参加していない」が13.3ポイント増加しています。

性別で比較すると、「年に1~11回」、「参加していない」で5ポイント以上の差異がみられます。

② 運動やスポーツ関係のグループやクラブ



＜性別：クロス集計表＞

（単位：％）								
調査対象	調査数（n）	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に1～11回	参加していない	無回答
全体	162	4.9	8.6	11.7	15.4	6.8	16.0	36.4
男性	75	4.0	10.7	4.0	18.7	10.7	14.7	37.3
女性	87	5.7	6.9	18.4	12.6	3.4	17.2	35.6

※青字：異性よりも5ポイント以上高い
※赤字：異性よりも5ポイント以上低い

（単位：％）								
調査対象	調査数（n）	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に1～11回	参加していない	無回答
全体	186	0.0	3.8	4.8	5.9	4.8	37.6	43.0
男性	78	0.0	1.3	5.1	6.4	7.7	42.3	37.2
女性	108	0.0	5.6	4.6	5.6	2.8	34.3	47.2

※青字：異性よりも5ポイント以上高い
※赤字：異性よりも5ポイント以上低い

「元気高齢者」

「参加していない」が16.0%と最も多く、次いで「月1～3回」が15.4%、「週1回」が11.7%などとなっています。また、『週1回以上』（「週4回以上」＋「週2～3回」＋「週1回」）は25.2%となっています。

前回調査と比較すると、「週1回」が6.0ポイント増加し、「年に1～11回」が7.0ポイント減少しています。

性別で比較すると、「週1回」、「月1～3回」、「年に1～11回」で5ポイント以上の差異がみられます。

「居宅要介護・要支援認定者等」

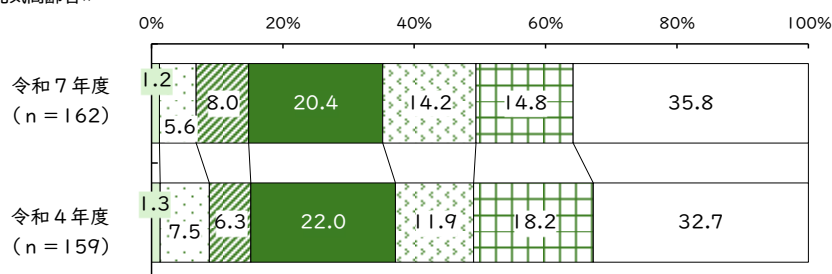
「参加していない」が37.6%と突出しています。また、『週1回以上』は8.6%となっています。

前回調査と比較すると、「参加していない」が11.0ポイント増加しています。

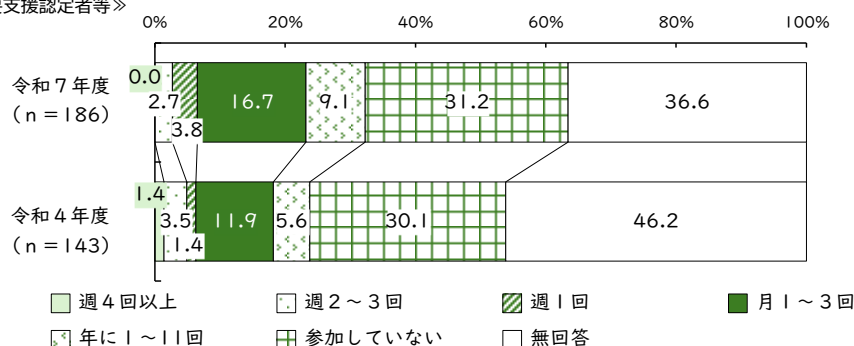
性別で比較すると、「参加していない」で8.0ポイントの差異がみられます。

③ 趣味関係のグループ

《元気高齢者》



《居宅要介護・要支援認定者等》



<性別:クロス集計表>

(単位: %)								
	調査数 (n)	週4回以上	週2~3回	週1回	月1~3回	年に1~11回	参加していない	無回答
《元気高齢者》								
全体	162	1.2	5.6	8.0	20.4	14.2	14.8	35.8
男性	75	1.3	5.3	6.7	22.7	17.3	16.0	30.7
女性	87	1.1	5.7	9.2	18.4	11.5	13.8	40.2

※青字: 異性よりも5ポイント以上高い

赤字: 異性よりも5ポイント以上低い

(単位: %)								
	調査数 (n)	週4回以上	週2~3回	週1回	月1~3回	年に1~11回	参加していない	無回答
《居宅要介護・要支援認定者等》								
全体	186	0.0	2.7	3.8	16.7	9.1	31.2	36.6
男性	78	0.0	0.0	5.1	19.2	12.8	29.5	33.3
女性	108	0.0	4.6	2.8	14.8	6.5	32.4	38.9

※青字: 異性よりも5ポイント以上高い

赤字: 異性よりも5ポイント以上低い

《元気高齢者》

「月1~3回」が20.4%と最も多く、次いで「参加していない」が14.8%、「年に1~11回」が14.2%などとなっています。また、『週1回以上』（「週4回以上」+「週2~3回」+「週1回」）は14.8%となっています。

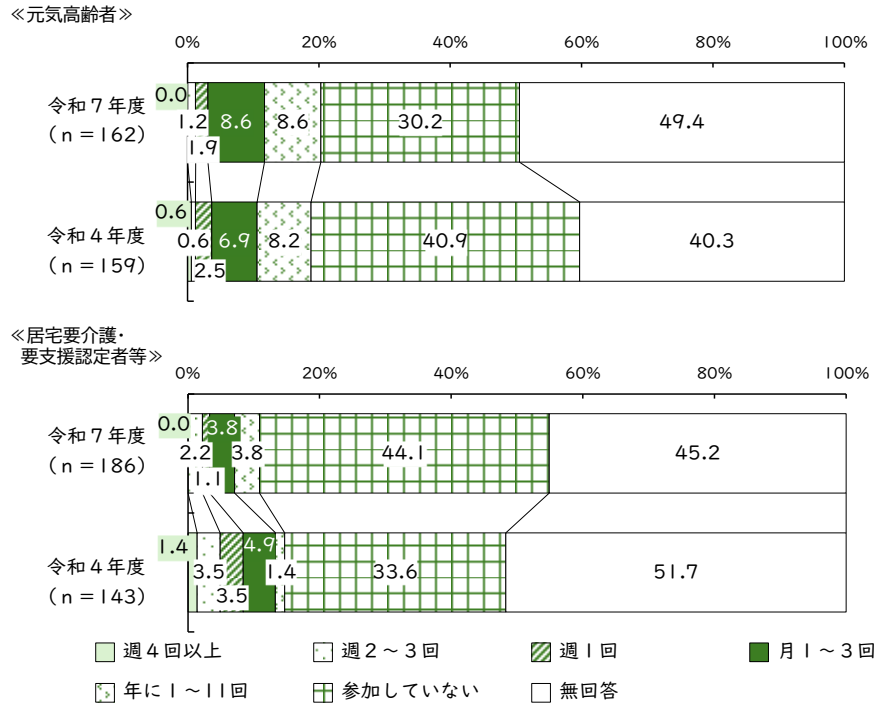
性別で比較すると、「年に1~11回」で5.8ポイントの差異がみられます。

《居宅要介護・要支援認定者等》

「参加していない」が31.2%と最も多く、次いで「月1~3回」が16.7%、「年に1~11回」が9.1%などとなっています。また、『週1回以上』は6.5%となっています。

性別で比較すると、「年に1~11回」で6.3ポイントの差異がみられます。

④ 学習・教養サークル



＜性別：クロス集計表＞

（単位：％）								
	調査数（n）	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に1～11回	参加していない	無回答
元気高齢者								
全体	162	0.0	1.2	1.9	8.6	8.6	30.2	49.4
男性	75	0.0	1.3	1.3	6.7	2.7	36.0	52.0
女性	87	0.0	1.1	2.3	10.3	13.8	25.3	47.1

※青字：異性よりも5ポイント以上高い
赤字：異性よりも5ポイント以上低い

（単位：％）								
	調査数（n）	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に1～11回	参加していない	無回答
居宅要介護・要支援認定者等								
全体	186	0.0	2.2	1.1	3.8	3.8	44.1	45.2
男性	78	0.0	3.8	1.3	3.8	3.8	47.4	39.7
女性	108	0.0	0.9	0.9	3.7	3.7	41.7	49.1

※青字：異性よりも5ポイント以上高い
赤字：異性よりも5ポイント以上低い

「元気高齢者」

「参加していない」が30.2%と突出しています。また、『週1回以上』（「週4回以上」＋「週2～3回」＋「週1回」）は3.1%となっています。

前回調査と比較すると、「参加していない」が10.7ポイント減少しています。

性別で比較すると、「年に1～11回」、「参加していない」で5ポイント以上の差異がみられます。

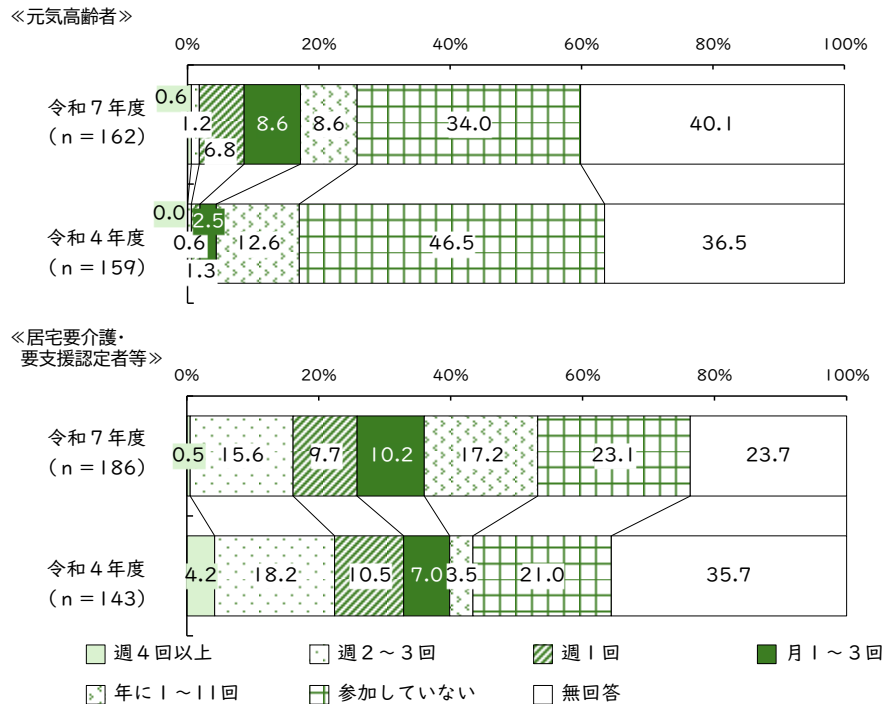
「居宅要介護・要支援認定者等」

「参加していない」が44.1%と突出しています。また、『週1回以上』は3.3%となっています。

前回調査と比較すると、「参加していない」が10.5ポイント増加しています。

性別で比較すると、「参加していない」で5.7ポイントの差異がみられます。

⑤ 介護予防のための通いの場



<性別：クロス集計表>

(単位：%)								
調査年度	調査数 (n)	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に1～11回	参加していない	無回答
全体	162	0.6	1.2	6.8	8.6	8.6	34.0	40.1
男性	75	0.0	1.3	1.3	0.0	2.7	45.3	49.3
女性	87	1.1	1.1	11.5	16.1	13.8	24.1	32.2

※青字：異性よりも5ポイント以上高い
 赤字：異性よりも5ポイント以上低い

(単位：%)								
調査年度	調査数 (n)	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に1～11回	参加していない	無回答
全体	186	0.5	15.6	9.7	10.2	17.2	23.1	23.7
男性	78	1.3	17.9	9.0	10.3	17.9	23.1	20.5
女性	108	0.0	13.9	10.2	10.2	16.7	23.1	25.9

※青字：異性よりも5ポイント以上高い
 赤字：異性よりも5ポイント以上低い

「元気高齢者」

「参加していない」が34.0%と突出しています。また、『週1回以上』（「週4回以上」＋「週2～3回」＋「週1回」）は8.6%となっています。

前回調査と比較すると、「週1回」と「月1～3回」が5ポイント以上増加し、「参加していない」が12.5ポイント減少しています。

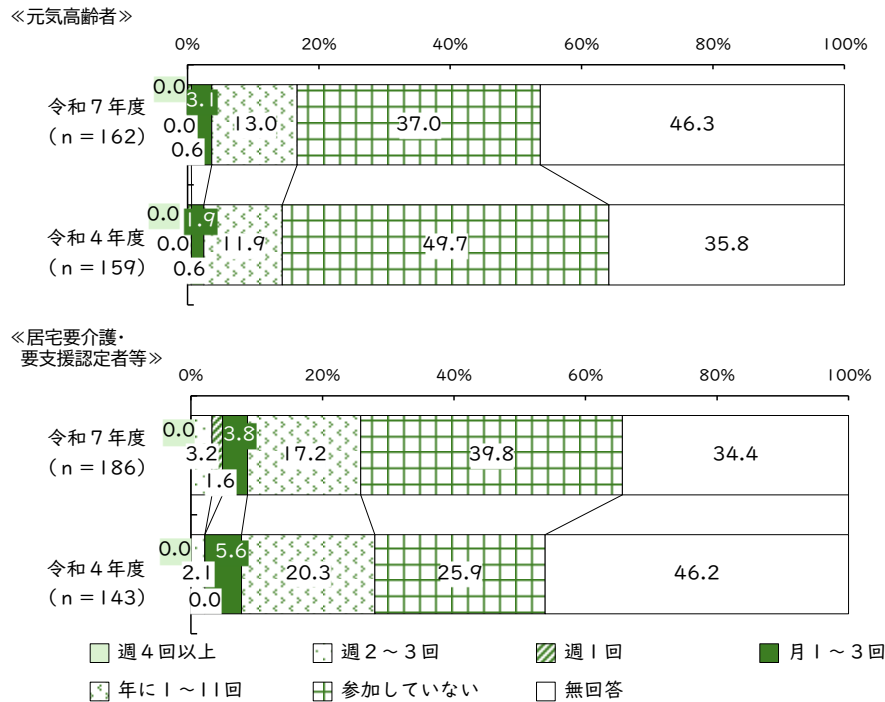
性別で比較すると、「週に1回」、「月に1～3回」、「年に1～11回」、「参加していない」で5ポイント以上の差異がみられます。

「居宅要介護・要支援認定者等」

「参加していない」が23.1%と最も多く、次いで「年に1～11回」が17.2%、「週2～3回」が15.6%などとなっています。また、『週1回以上』は25.8%となっています。

前回調査と比較すると、「年に1～11回」が13.7ポイント増加しています。

⑥ 老人クラブ（シニアクラブ）



＜性別：クロス集計表＞

（単位：％）								
「元気高齢者」	調査数（n）	週4回以上	週2～3回	週1回	月に1～3回	年に1～11回	参加していない	無回答
全体	162	0.0	0.0	0.6	3.1	13.0	37.0	46.3
男性	75	0.0	0.0	0.0	2.7	9.3	40.0	48.0
女性	87	0.0	0.0	1.1	3.4	16.1	34.5	44.8

※青字：異性よりも5ポイント以上高い
赤字：異性よりも5ポイント以上低い

（単位：％）								
「居宅要介護・要支援認定者等」	調査数（n）	週4回以上	週2～3回	週1回	月に1～3回	年に1～11回	参加していない	無回答
全体	186	0.0	3.2	1.6	3.8	17.2	39.8	34.4
男性	78	0.0	3.8	2.6	6.4	24.4	39.7	23.1
女性	108	0.0	2.8	0.9	1.9	12.0	39.8	42.6

※青字：異性よりも5ポイント以上高い
赤字：異性よりも5ポイント以上低い

「元気高齢者」

「参加していない」が37.0%と最も多く、次いで「年に1～11回」が13.0%、「月に1～3回」が3.1%などとなっています。また、『週1回以上』（「週4回以上」＋「週2～3回」＋「週1回」）は0.6%となっています。

前回調査と比較すると、「参加していない」が12.7ポイント減少しています。

性別で比較すると、「年に1～11回」、「参加していない」で5ポイント以上の差異がみられます。

「居宅要介護・要支援認定者等」

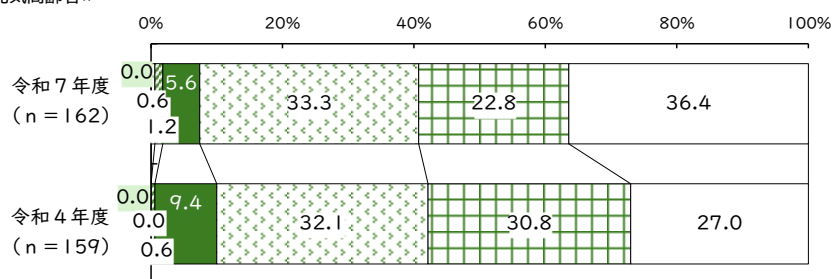
「参加していない」が39.8%と最も多く、次いで「年に1～11回」が17.2%、「月に1～3回」が3.8%などとなっています。また、『週1回以上』は4.8%となっています。

前回調査と比較すると、「参加していない」が13.9ポイント増加しています。

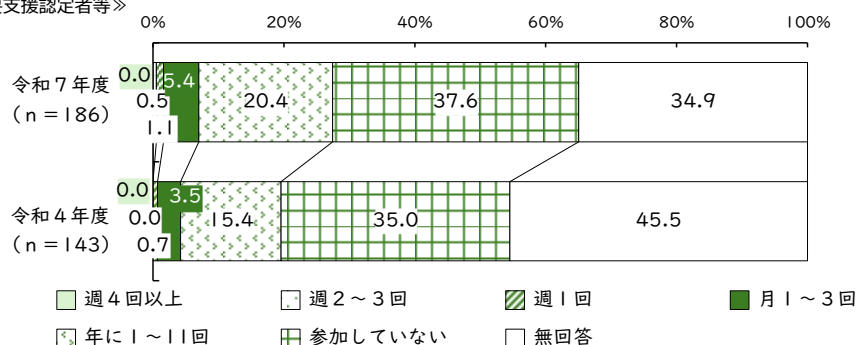
性別で比較すると、「年に1～11回」で12.4ポイントの差異がみられます。

⑦ 町内会・自治会

《元気高齢者》



《居宅要介護・要支援認定者等》



<性別：クロス集計表>

(単位：%)								
《元気高齢者》	調査数 (n)	週4回以上	週2～3回	週1回	月に1～3回	年に1～11回	参加していない	無回答
全体	162	0.0	0.6	1.2	5.6	33.3	22.8	36.4
男性	75	0.0	0.0	1.3	9.3	42.7	20.0	26.7
女性	87	0.0	1.1	1.1	2.3	25.3	25.3	44.8

※青字：異性よりも5ポイント以上高い
赤字：異性よりも5ポイント以上低い

(単位：%)								
《居宅要介護・要支援認定者等》	調査数 (n)	週4回以上	週2～3回	週1回	月に1～3回	年に1～11回	参加していない	無回答
全体	186	0.0	0.5	1.1	5.4	20.4	37.6	34.9
男性	78	0.0	0.0	2.6	9.0	33.3	32.1	23.1
女性	108	0.0	0.9	0.0	2.8	11.1	41.7	43.5

※青字：異性よりも5ポイント以上高い
赤字：異性よりも5ポイント以上低い

《元気高齢者》

「年に1～11回」が33.3%と最も多く、次いで「参加していない」が22.8%、「月1～3回」が5.6%などとなっています。また、『週1回以上』（「週4回以上」＋「週2～3回」＋「週1回」）は1.8%となっています。

前回調査と比較すると、「参加していない」が8.0ポイント減少しています。

性別で比較すると、「月に1～3回」、「年に1～11回」、「参加していない」で5ポイント以上の差異がみられます。

《居宅要介護・要支援認定者等》

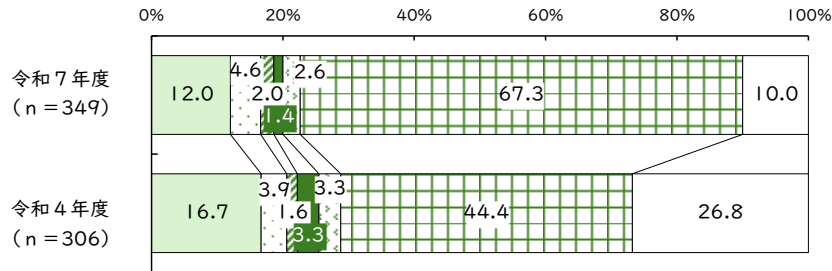
「参加していない」が37.6%と最も多く、次いで「年に1～11回」が20.4%、「月1～3回」が5.4%などとなっています。また、『週1回以上』は1.6%となっています。

前回調査と比較すると、「年に1～11回」が5.0ポイント増加しています。

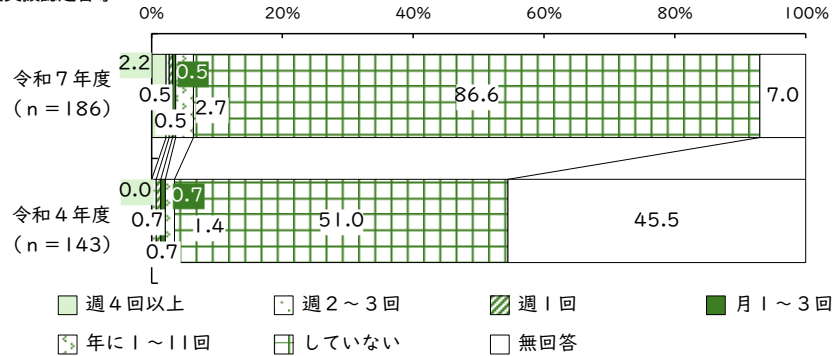
性別で比較すると、「月に1～3回」、「年に1～11回」、「参加していない」で5ポイント以上の差異がみられます。

⑧ 収入のある仕事

《元気高齢者》



《居宅要介護・要支援認定者等》



＜性別：クロス集計表＞

(単位：%)								
《元気高齢者》	調査数 (n)	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に1～11回	していない	無回答
全 体	349	12.0	4.6	2.0	1.4	2.6	67.3	10.0
男性	170	12.9	3.5	2.4	1.8	3.5	67.1	8.8
女性	179	11.2	5.6	1.7	1.1	1.7	67.6	11.2

(単位：％)								
「居宅要介護・ 要支援認定者等」	調 査 数 (n)	週 4 回 以 上	週 2 ～ 3 回	週 1 回	月 1 ～ 3 回	年 に 1 ～ 11 回	し て い な い	無 回 答
全 体	186	2.2	0.5	0.5	0.5	2.7	86.6	7.0
男性	78	2.6	1.3	1.3	0.0	6.4	84.6	3.8
女性	108	1.9	0.0	0.0	0.9	0.0	88.0	9.3

※青字：異性よりも5ポイント以上高い

赤字：異性よりも5ポイント以上低い

《元気高齢者》

「していない」が67.3%と最も多く、次いで「週4回以上」が12.0%、「週2～3回」が4.6%などとなっています。また、『週1回以上』（「週4回以上」＋「週2～3回」＋「週1回」）は18.6%となっています。

前回調査と比較すると、「していない」が22.9ポイント増加しています。

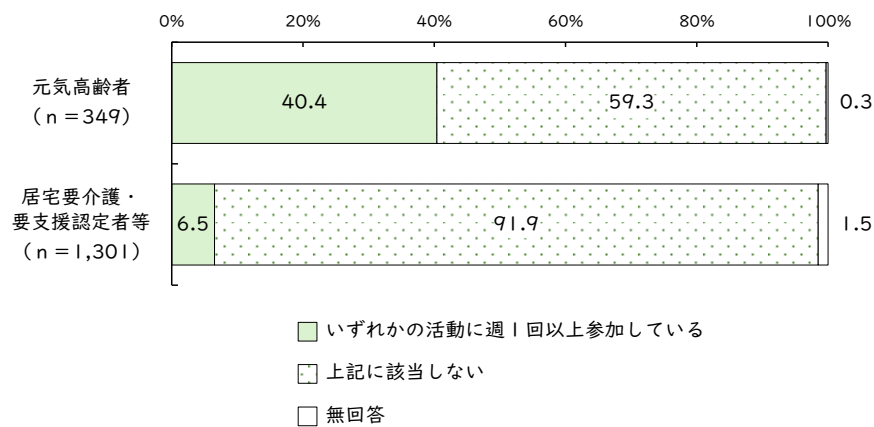
《居宅要介護・要支援認定者等》

「参加していない」が86.6%と突出しています。また、『週1回以上』（「週4回以上」＋「週2～3回」＋「週1回」）は3.2%となっています。

前回調査と比較すると、「していない」が35.6ポイント増加しています。

性別で比較すると、「年に1～11回」で6.4ポイントの差異がみられます。

社会参加率



<性別:クロス集計表>

(単位: %)

	調査数 (n)	週1回以上参加している	上記に該当しない	無回答
《元気高齢者》				
全体	349	40.4	59.3	0.3
男性	170	38.2	61.2	0.6
女性	179	42.5	57.5	0.0

(単位: %)

	調査数 (n)	週1回以上参加している	上記に該当しない	無回答
《居宅要介護・要支援認定者等》				
全体	1,301	6.5	91.9	1.5
男性	610	5.9	92.1	2.0
女性	691	7.1	91.8	1.2

《元気高齢者》

「いずれかの活動に週1回以上参加している」が40.4%、「上記に該当しない」が59.3%となっています。

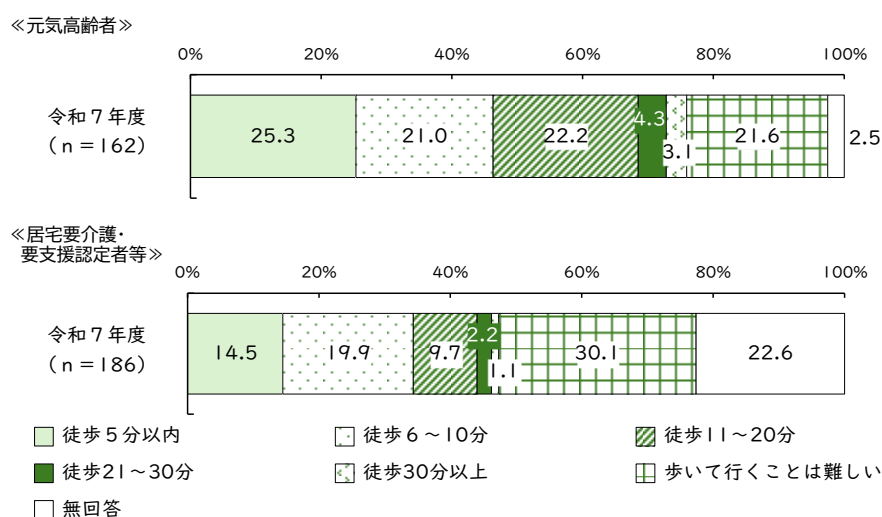
《居宅要介護・要支援認定者等》

「上記に該当しない」が91.9%、「いずれかの活動に週1回以上参加している」が6.5%となっています。

元気：問18・認定：問16で「参加している」とお答えの方のみ

[元気：問18-2・認定：問16-2] 【令和7年度 設問・選択肢変更】

そこに行くためには、自宅から歩いてどのくらい時間がかかりますか。複数箇所ある場合は、一番近いものをお答えください。



《元気高齢者》

「徒歩5分以内」が25.3%と最も多く、次いで「徒歩11～20分」が22.2%、「歩いて行くことは難しい」が21.6%などとなっています。

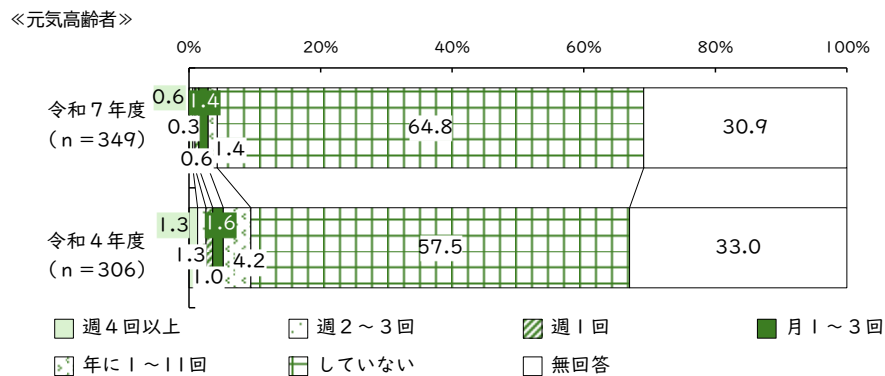
《居宅要介護・要支援認定者等》

「歩いて行くことは難しい」が30.1%と最も多く、次いで「徒歩6～10分」が19.9%、「徒歩5分以内」が14.5%などとなっています。

[元気：問 19]

社会参加活動や仕事を、どのくらいの頻度でしていますか。

① 見守りが必要な高齢者を支援する活動



<性別：クロス集計表>

(単位：%)

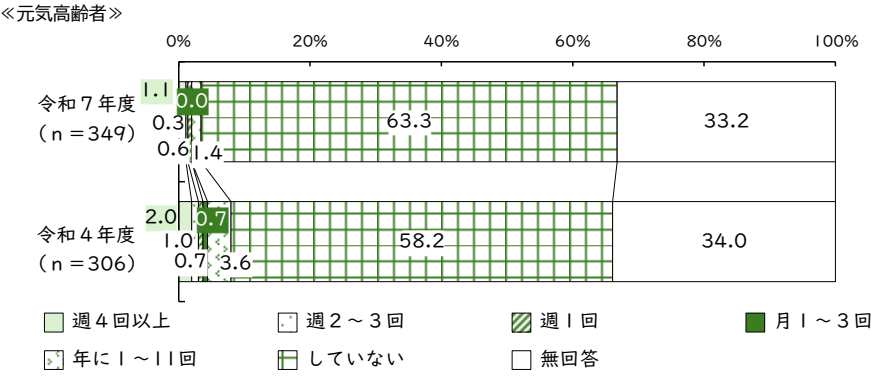
《元気高齢者》	調査数 (n)	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に1～11回	していない	無回答
全 体	349	0.6	0.3	0.6	1.4	1.4	64.8	30.9
男性	170	0.0	0.6	0.6	1.2	1.8	67.1	28.8
女性	179	1.1	0.0	0.6	1.7	1.1	62.6	33.0

《元気高齢者》

「していない」が64.8%と突出しています。また、『週1回以上』（「週4回以上」＋「週2～3回」＋「週1回」）は1.5%となっています。

前回調査と比較すると、「していない」が7.3ポイント増加しています。

② 介護が必要な高齢者を支援する活動



＜性別：クロス集計表＞

(単位：%)

調査年度	調査人数 (n)	週4回以上	週2~3回	週1回	月1~3回	年に1~11回	していない	無回答
全体	349	1.1	0.3	0.6	0.0	1.4	63.3	33.2
男性	170	0.6	0.0	0.6	0.0	1.2	67.1	30.6
女性	179	1.7	0.6	0.6	0.0	1.7	59.8	35.8

※青字：異性よりも5ポイント以上高い
赤字：異性よりも5ポイント以上低い

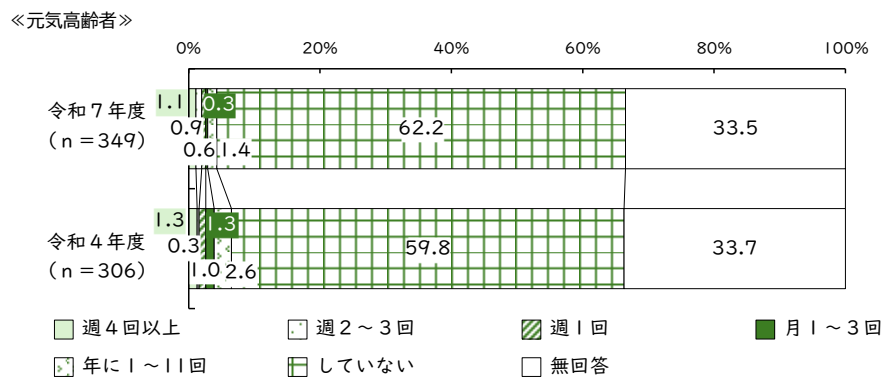
「元気高齢者」

「していない」が63.3%と突出しています。また、『週1回以上』（「週4回以上」＋「週2～3回」＋「週1回」）は2.0%となっています。

前回調査と比較すると、「していない」が5.1ポイント増加しています。

性別で比較すると、「していない」で7.2ポイントの差異がみられます。

③ 子どもを育てている親を支援する活動



<性別:クロス集計表>

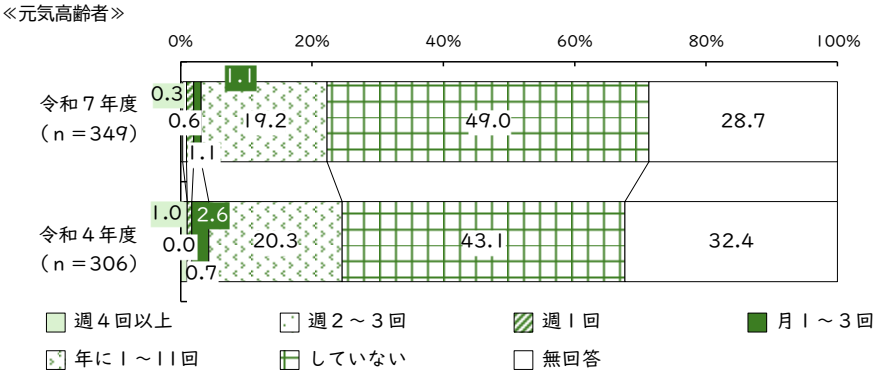
(単位: %)

《元気高齢者》	調査数 (n)	週4回以上	週2 ～ 3回	週1回	月に 1～ 3回	年に 1～ 11回	して い な い	無 回 答
全 体	349	1.1	0.9	0.6	0.3	1.4	62.2	33.5
男性	170	1.8	0.6	0.6	0.0	2.4	63.5	31.2
女性	179	0.6	1.1	0.6	0.6	0.6	60.9	35.8

《元気高齢者》

「していない」が62.2%と突出しています。また、『週1回以上』（「週4回以上」＋「週2～3回」＋「週1回」）は2.6%となっています。

④ 地域の生活環境の改善（美化）活動



＜性別：クロス集計表＞

(単位：%)

	調査数 (n)	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に1～11回	していない	無回答
「元気高齢者」								
全体	349	0.3	0.6	1.1	1.1	19.2	49.0	28.7
男性	170	0.6	1.2	1.8	0.6	25.3	47.1	23.5
女性	179	0.0	0.0	0.6	1.7	13.4	50.8	33.5

※青字：異性よりも5ポイント以上高い
赤字：異性よりも5ポイント以上低い

「元気高齢者」

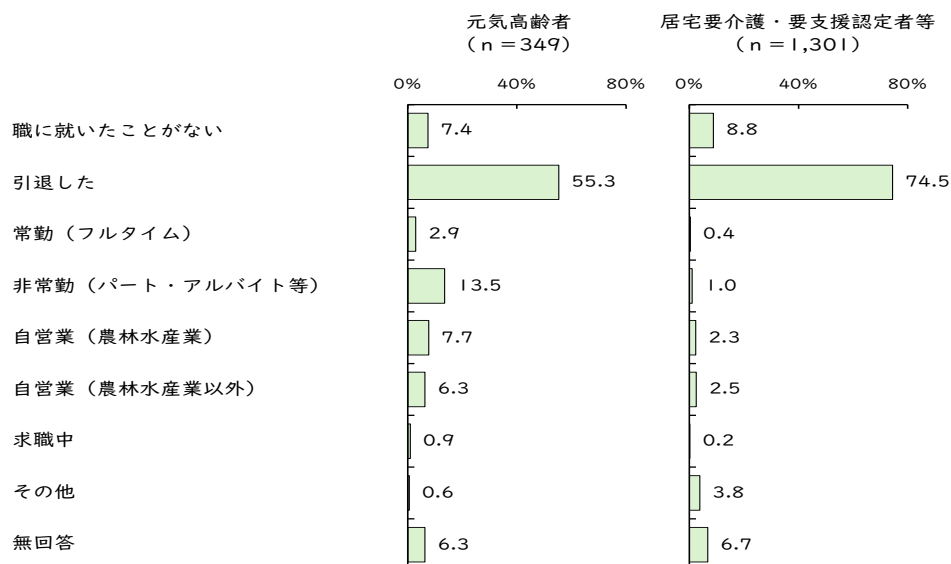
「していない」が49.0%と最も多く、次いで「年に1～11回」が19.2%、「週1回」、「月1～3回」がそれぞれ1.1%などとなっています。また、『週1回以上』（「週4回以上」＋「週2～3回」＋「週1回」）は2.0%となっています。

前回調査と比較すると、「していない」が5.9ポイント増加しています。

性別で比較すると、「年に1～11回」で11.9ポイントの差異がみられます。

[元気：問 20・認定：問 19] 【令和7年度 新規】

現在のあなたの就労状態はどれですか。（複数回答可）



<性別：クロス集計表>

(単位：％)										
調査数（n）	職に就いたことがない	引退した	常勤（フルタイム）	非常勤（パート・アルバイト等）	自営業（農林水産業）	自営業（農林水産業以外）	求職中	その他	無回答	
≪元気高齢者≫										
全 体	349	7.4	55.3	2.9	13.5	7.7	6.3	0.9	0.6	6.3
男性	170	2.9	58.2	4.7	10.6	13.5	7.6	0.6	0.6	2.9
女性	179	11.7	52.5	1.1	16.2	2.2	5.0	1.1	0.6	9.5

※青字：異性よりも5ポイント以上高い

※赤字：異性よりも5ポイント以上低い

(単位：%)										
調査数（n）	職に就いたことがない	引退した	常勤（フルタイム）	非常勤（パート・アルバイト等）	自営業（農林水産業）	自営業（農林水産業以外）	求職中	その他	無回答	
≪居宅要介護・要支援認定者等≫										
全 体	1,301	8.8	74.5	0.4	1.0	2.3	2.5	0.2	3.8	6.7
男性	610	3.3	82.0	0.5	0.7	2.5	3.4	0.5	1.6	5.7
女性	691	13.6	67.9	0.3	1.3	2.2	1.6	0.0	5.6	7.5

※青字：異性よりも5ポイント以上高い

※赤字：異性よりも5ポイント以上低い

<<元気高齢者>>

「引退した」が55.3%と最も多く、次いで「非常勤（パート・アルバイト等）」が13.5%、「自営業（農林水産業）」が7.7%などとなっています。また、『就労している』（「常勤（フルタイム）」＋「非常勤（パート・アルバイト等）」＋「自営業（農林水産業）」＋「自営業（農林水産業以外）」＋「その他」）は31.0%、『就労していない』（「職に就いたことがない」＋「引退した」）は62.7%となっています。

性別で比較すると、「職に就いたことがない」、「引退した」、「非常勤（パート・アルバイト）」、「自営業（農林水産業）」で5ポイント以上の差異がみられます。

<<居宅要介護・要支援認定者等>>

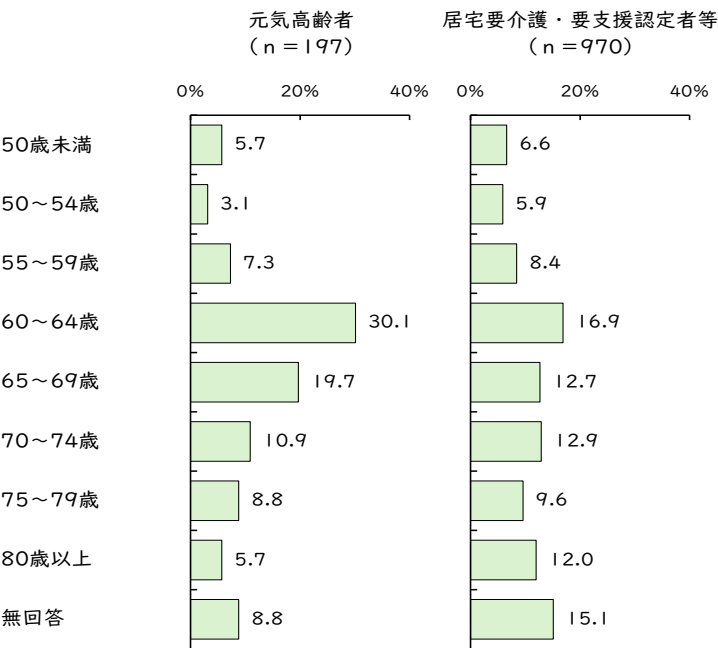
「引退した」が74.5%と突出しています。また、『就労している』は10.0%、『就労していない』は83.3%となっています。

性別で比較すると、「職に就いたことがない」、「引退した」で5ポイント以上の差異がみられます。

元気：問 20・認定：問 19 で「引退した」とお答えの方のみ

[元気：問 20－1・認定：問 19－1] 【令和7年度 新規】

あなたはいつ引退しましたか。



<性別：クロス集計表>

(単位：%)										
調査数 (n)	50歳未満	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80歳以上	無回答	
全体	193	5.7	3.1	7.3	30.1	19.7	10.9	8.8	5.7	8.8
男性	99	2.0	2.0	6.1	30.3	22.2	13.1	13.1	5.1	6.1
女性	94	9.6	4.3	8.5	29.8	17.0	8.5	4.3	6.4	11.7

※青字：異性よりも5ポイント以上高い
赤字：異性よりも5ポイント以上低い

(単位：%)										
調査数 (n)	50歳未満	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80歳以上	無回答	
全体	969	6.6	5.9	8.4	16.9	12.7	12.9	9.6	12.0	15.1
男性	500	3.0	5.4	7.2	17.8	15.0	13.2	11.4	14.2	12.8
女性	469	10.4	6.4	9.6	16.0	10.2	12.6	7.7	9.6	17.5

※青字：異性よりも5ポイント以上高い
赤字：異性よりも5ポイント以上低い

<<元気高齢者>>

「60～64歳」が30.1%と最も多く、次いで「65～69歳」が19.7%、「70～74歳」が10.9%などとなっています。また、『65歳未満』（「50歳未満」＋「50～54歳」＋「55～59歳」＋「60～64歳」）は46.2%、『65歳以上』（「65～69歳」＋「70～74歳」＋「75～79歳」＋「80歳以上」）は45.1%となっています。

性別で比較すると、「50歳未満」、「65～69歳」、「75～79歳」で5ポイント以上の差異がみられます。

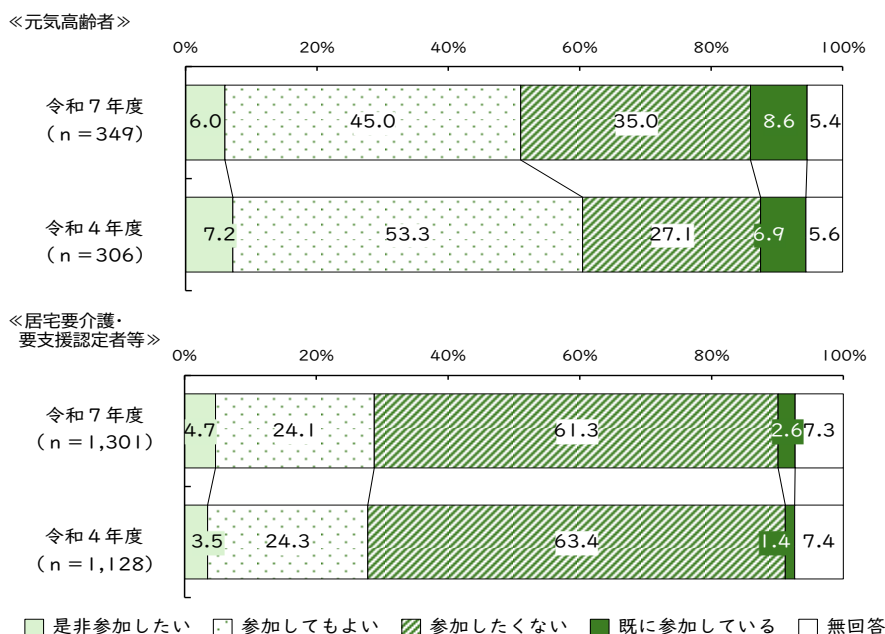
<<居宅要介護・要支援認定者等>>

「60～64歳」が16.9%と最も多く、次いで「70～74歳」が12.9%、「65～69歳」が12.7%などとなっています。また、『65歳未満』は37.8%、『65歳以上』は47.2%となっています。

性別で比較すると、「50歳未満」で7.4ポイントの差異がみられます。

[元気：問 21・認定：問 17]

地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。



<性別：クロス集計表>

(単位：%)

	調査数 (n)	是非参加したい	参加してもよい	参加したくない	既に参加している	無回答
「元気高齢者」						
全体	349	6.0	45.0	35.0	8.6	5.4
男性	170	4.7	48.8	36.5	5.9	4.1
女性	179	7.3	41.3	33.5	11.2	6.7

※青字：異性よりも5ポイント以上高い

※赤字：異性よりも5ポイント以上低い

(単位：%)

	調査数 (n)	是非参加したい	参加してもよい	参加したくない	既に参加している	無回答
「居宅要介護・要支援認定者等」						
全体	1,301	4.7	24.1	61.3	2.6	7.3
男性	610	4.1	22.5	63.1	2.3	8.0
女性	691	5.2	25.5	59.8	2.9	6.7

<<元気高齢者>>

「参加してもよい」が45.0%と最も多く、次いで「参加したくない」が35.0%、「既に参加している」が8.6%などとなっています。また、『参加意向がある』（「是非参加したい」＋「参加してもよい」）は51.0%となっています。

前回調査と比較すると、「参加してもよい」が8.3ポイント減少し、「参加したくない」が7.9ポイント増加しています。

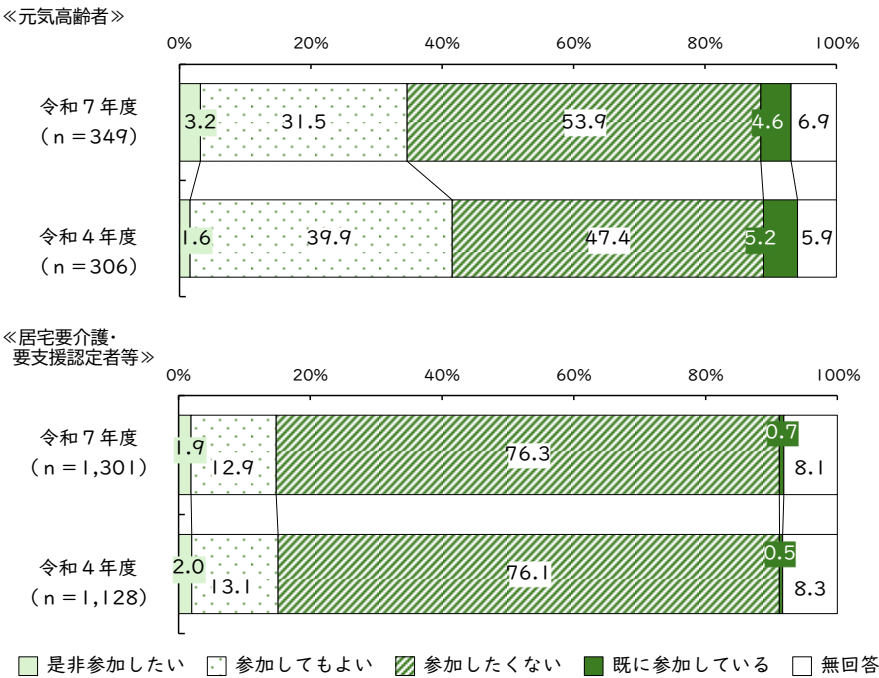
性別で比較すると、「参加してもよい」「既に参加している」で5ポイント以上の差異がみられます。

<<居宅要介護・要支援認定者等>>

「参加したくない」が61.3%と最も多く、次いで「参加してもよい」が24.1%、「是非参加したい」が4.7%などとなっています。また、『参加意向がある』は31.4%となっています。

[元気：問22・認定：問18]

地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか。



＜性別：クロス集計表＞

(単位：%)

	調査数 (n)	是非参加 したい	参加して もよい	参加した くない	既に参加 している	無回答
「元気高齢者」						
全体	349	3.2	31.5	53.9	4.6	6.9
男性	170	3.5	33.5	55.3	4.1	3.5
女性	179	2.8	29.6	52.5	5.0	10.1

(単位：%)

	調査数 (n)	是非参加 したい	参加して もよい	参加した くない	既に参加 している	無回答
「居宅要介護・ 要支援認定者等」						
全体	1,301	1.9	12.9	76.3	0.7	8.1
男性	610	1.3	13.8	75.1	1.0	8.9
女性	691	2.5	12.2	77.4	0.4	7.5

「元気高齢者」

「参加したくない」が53.9%と最も多く、次いで「参加してもよい」が31.5%、「既に参加している」が4.6%などとなっています。また、『参加意向がある』（「是非参加したい」＋「参加してもよい」）は39.3%となっています。

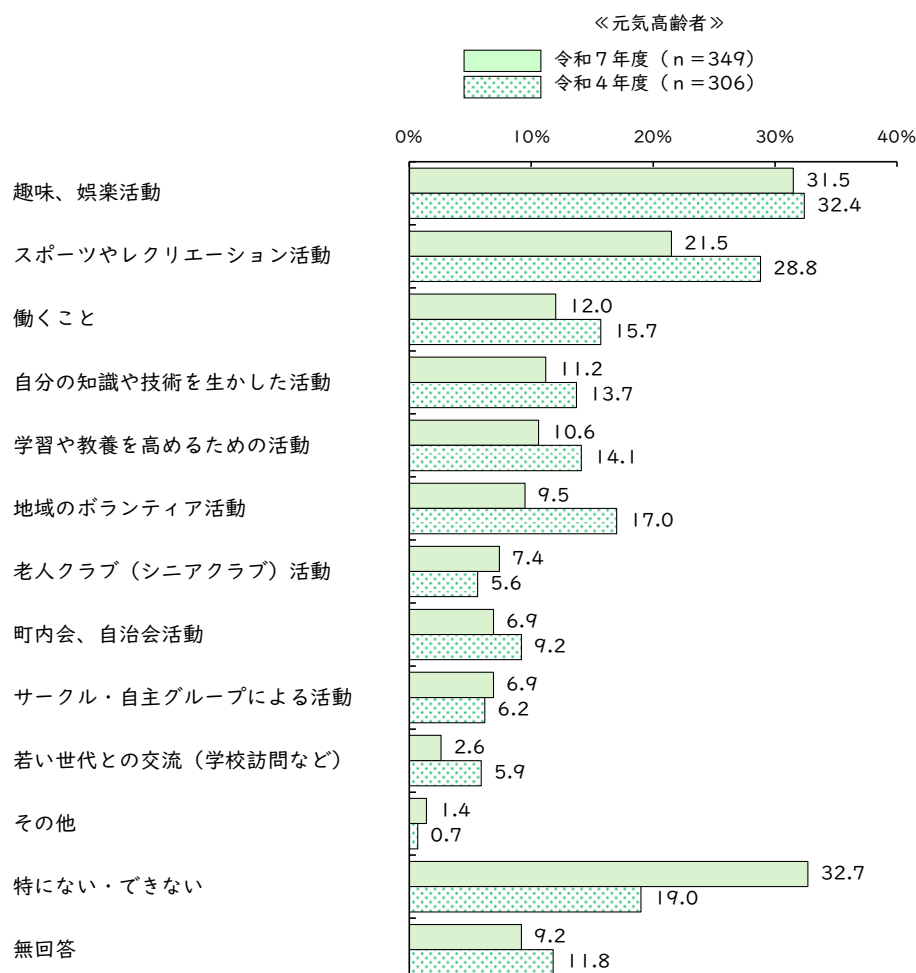
前回調査と比較すると、「参加してもよい」が8.4ポイント減少し、「参加したくない」が6.5ポイント増加しています。

「居宅要介護・要支援認定者等」

「参加したくない」が76.3%と最も多く、次いで「参加してもよい」が12.9%、「是非参加したい」が1.9%などとなっています。また、『参加意向がある』は15.5%となっています。

[元気：問 23]

どのような活動に参加したいですか。（できると思いますか）（複数回答可）



《元気高齢者》

「特にない・できない」が32.7%と最も多く、次いで「趣味、娯楽活動」が31.5%、「スポーツやレクリエーション活動」が21.5%などとなっています。

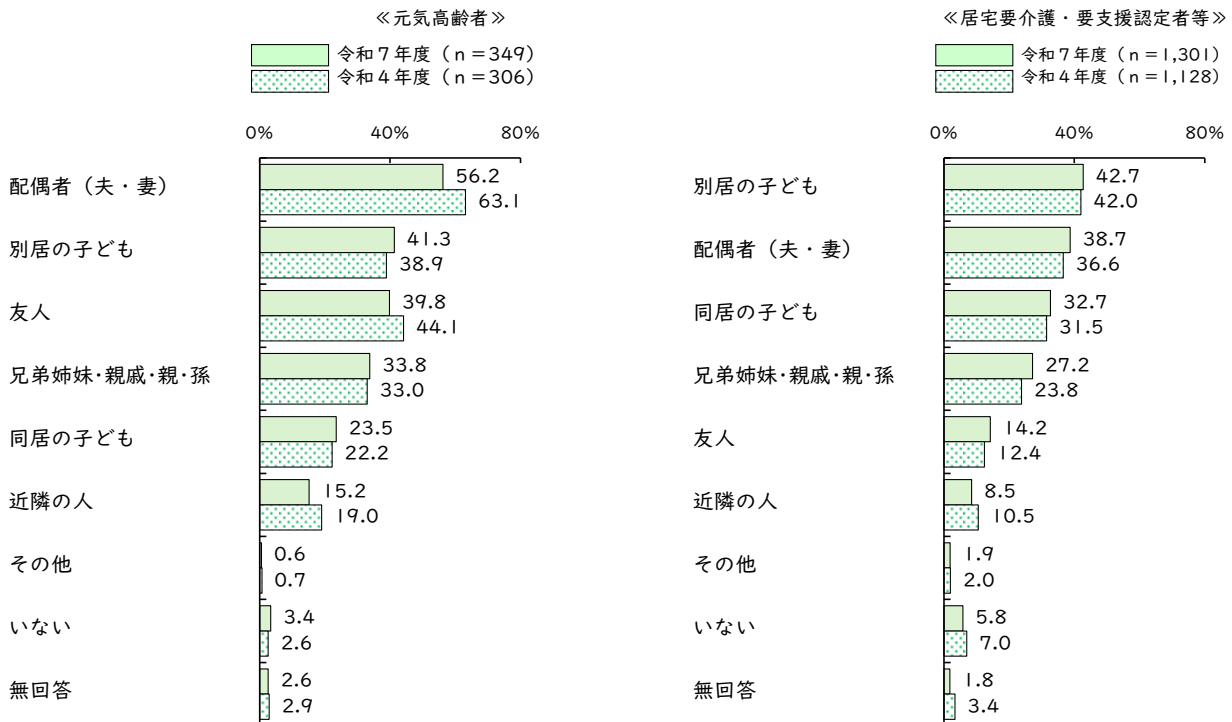
前回調査と比較すると、「スポーツやレクリエーション活動」と「地域のボランティア活動」で5ポイント以上減少し、「特にない・できない」が13.7ポイント増加しています。

助け合いについて

[元気：問24・認定：問20]

まわりの人との「助け合い」の状況についてお聞きします。（複数回答可）

① 自分の心配事や愚痴を聞いてくれる人



《元気高齢者》

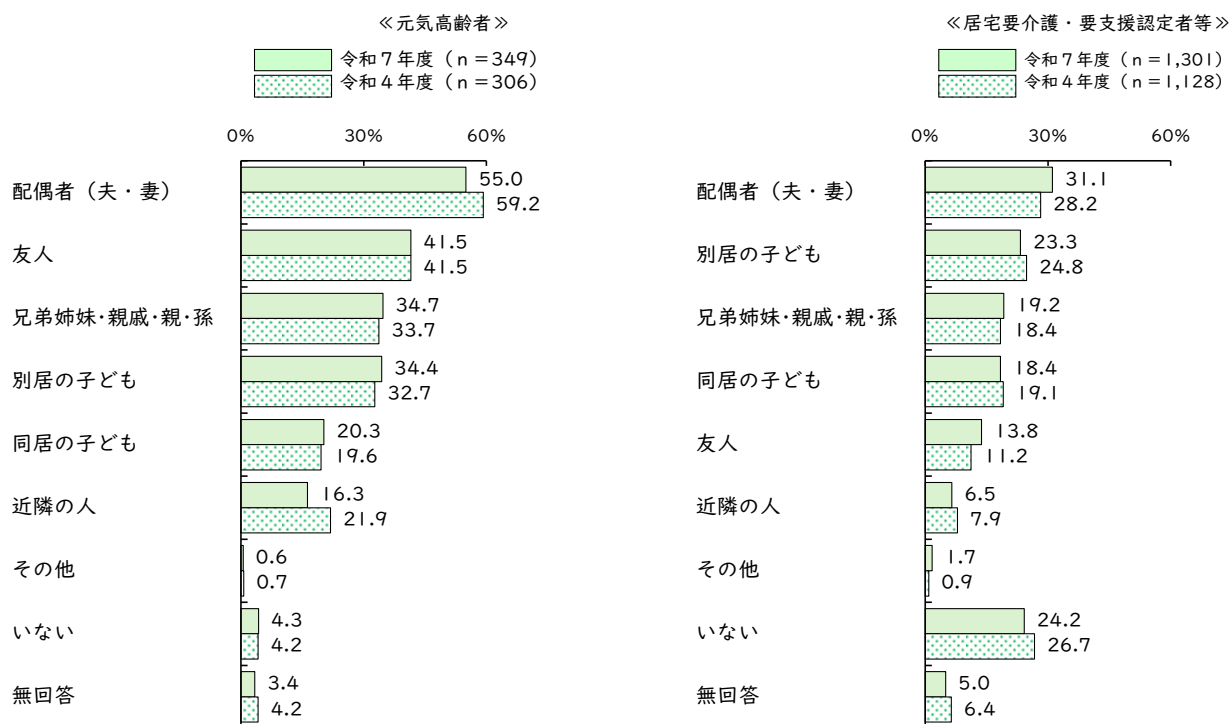
「配偶者（夫・妻）」が56.2%と最も多く、次いで「別居の子ども」が41.3%、「友人」が39.8%などとなっています。

前回調査と比較すると、「配偶者（夫・妻）」が6.9ポイント減少しています。

《居宅要介護・要支援認定者等》

「別居の子ども」が42.7%と最も多く、次いで「配偶者（夫・妻）」が38.7%、「同居の子ども」が32.7%などとなっています。

② 自分が心配事や愚痴を聞いてあげる人



《元気高齢者》

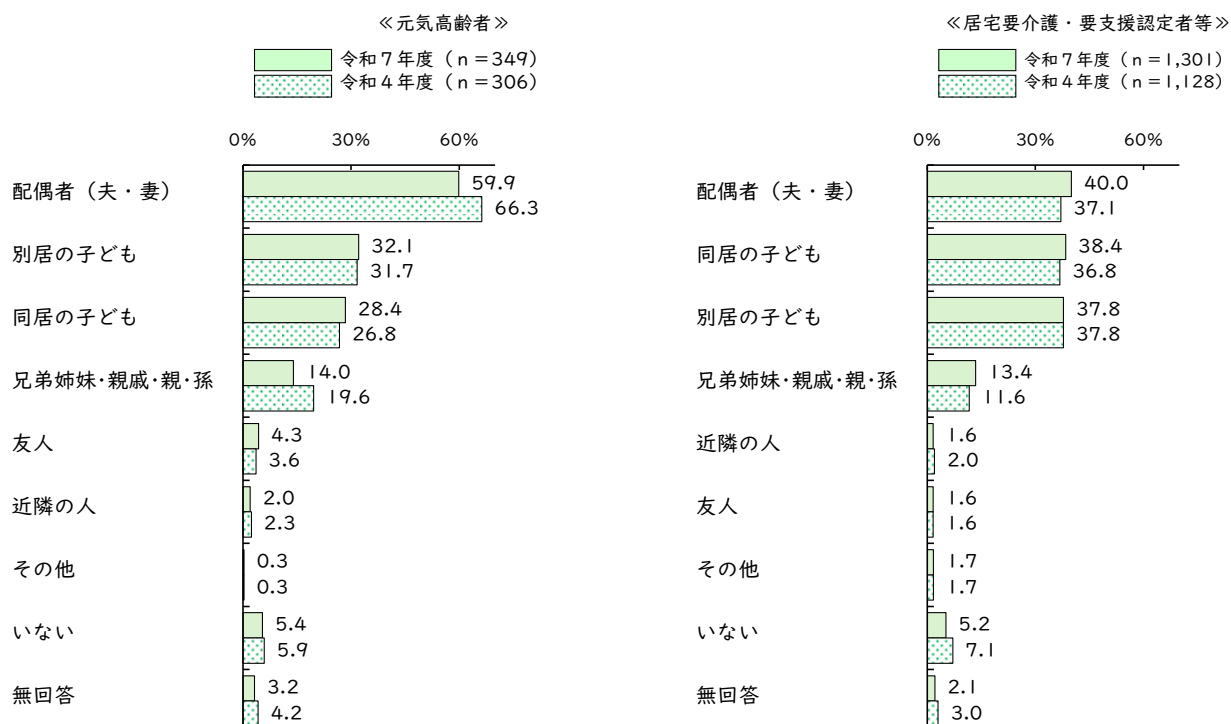
「配偶者（夫・妻）」が55.0%と最も多く、次いで「友人」が41.5%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が34.7%などとなっています。

前回調査と比較すると、「近隣の人」が5.6ポイント減少しています。

《居宅要介護・要支援認定者等》

「配偶者（夫・妻）」が31.1%と最も多く、次いで「いない」が24.2%、「別居の子ども」が23.3%などとなっています。

③ 病気で数日間寝込んだ時に、自分の看病や世話をしてくれる人



「元気高齢者」

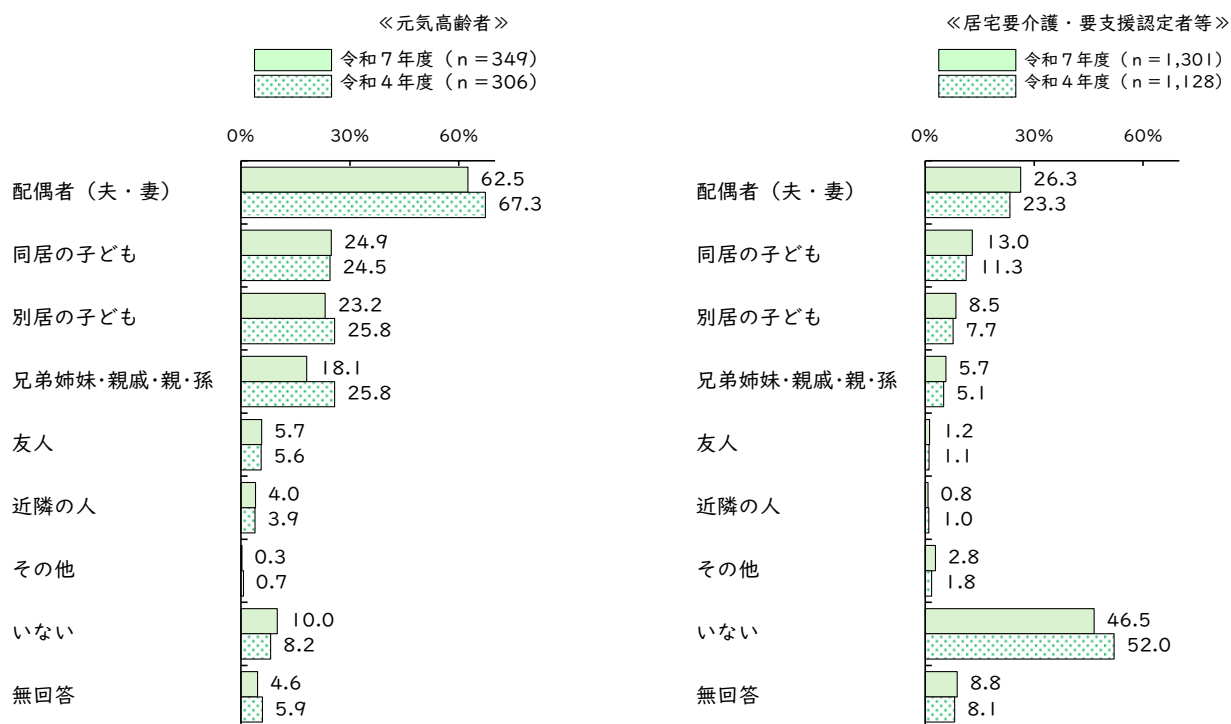
「配偶者（夫・妻）」が 59.9%と最も多く、次いで「別居の子ども」が 32.1%、「同居の子ども」が 28.4%などとなっています。

前回調査と比較すると、「配偶者（夫・妻）」と「兄弟姉妹・親戚・親・窓」で5ポイント以上減少しています。

「居宅要介護・要支援認定者等」

「配偶者（夫・妻）」が 40.0%と最も多く、次いで「同居の子ども」が 38.4%、「別居の子ども」が 37.8%などとなっています。

④ 病気で数日間寝込んだ時に、自分が看病や世話をしあける人



《元気高齢者》

「配偶者（夫・妻）」が 62.5%と最も多く、次いで「同居の子ども」が 24.9%、「別居の子ども」が 23.2%などとなっています。

前回調査と比較すると、「兄弟姉妹・親戚・親・窓」が 7.7 ポイント減少しています。

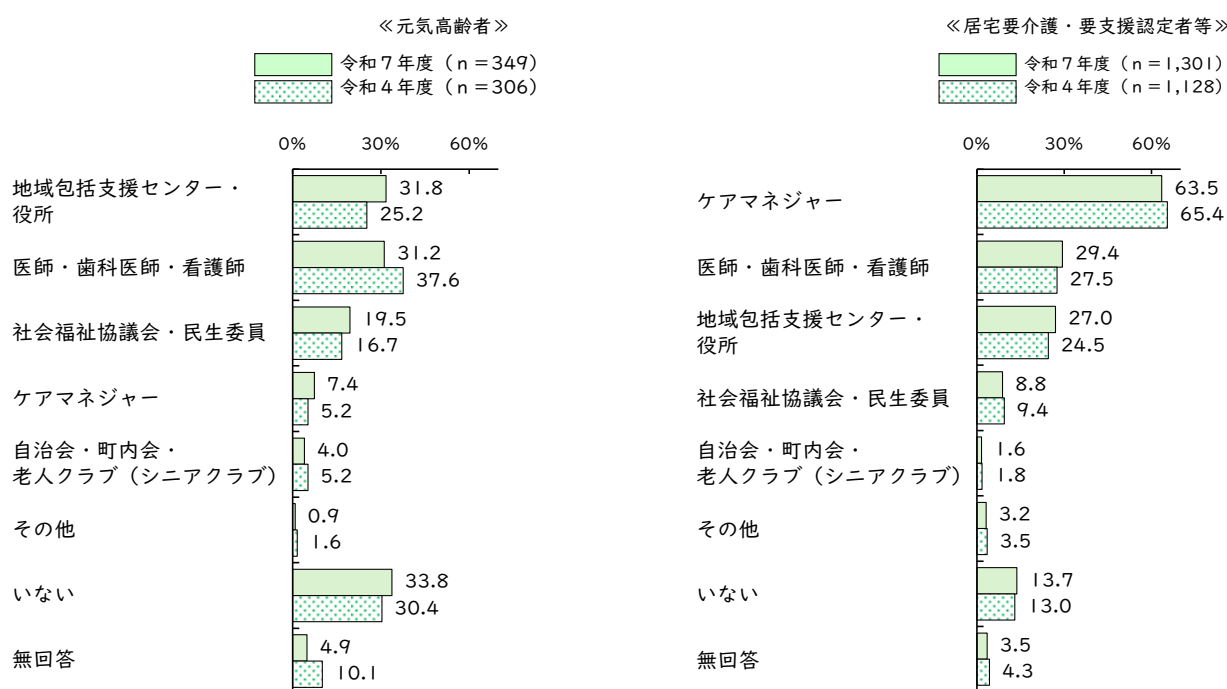
《居宅要介護・要支援認定者等》

「いない」が 46.5%と最も多く、次いで「配偶者（夫・妻）」が 26.3%、「同居の子ども」が 13.0%などとなっています。

前回調査と比較すると、「いない」が 5.5 ポイント減少しています。

[元気：問25・認定：問21]

家族や友人・知人以外で、何かあった時に相談する相手はどなた（どこ）ですか。
(複数回答可)



《元気高齢者》

「いない」が33.8%と最も多く、次いで「地域包括支援センター・役所」が31.8%、「医師・歯科医師・看護師」が31.2%などとなっています。

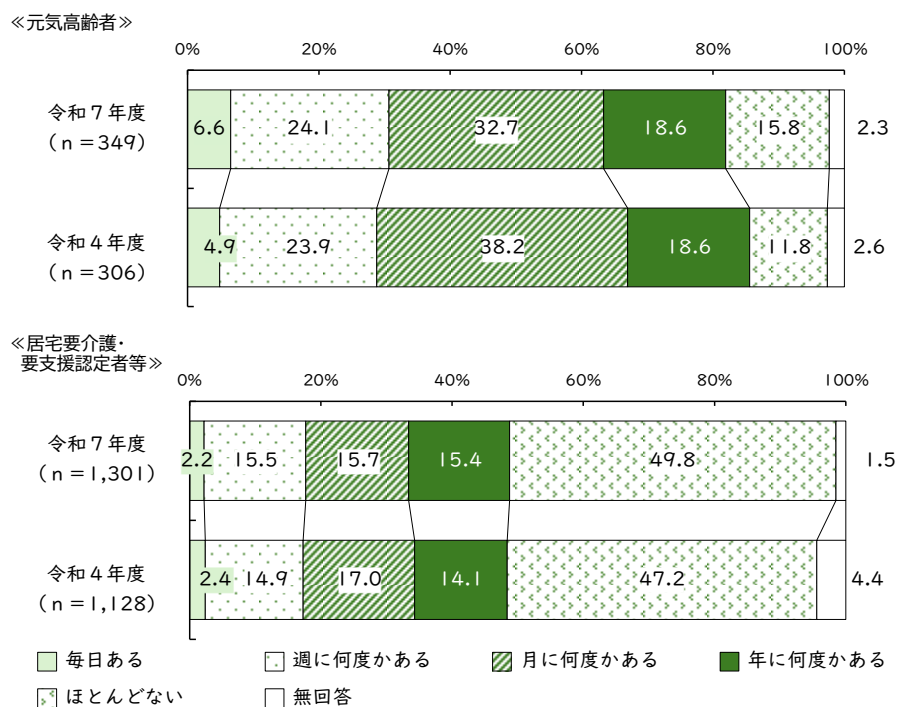
前回調査と比較すると、「地域包括支援センター・役所」が6.6ポイント増加し、「医師・歯科医師・看護師」が6.4ポイント減少しています。

《居宅要介護・要支援認定者等》

「ケアマネジャー」が63.5%と最も多く、次いで「医師・歯科医師・看護師」が29.4%、「地域包括支援センター・役所・役場」が27.0%などとなっています。

[元気：問 26・認定：問 22]

友人・知人と会う頻度はどのくらいですか。



《元気高齢者》

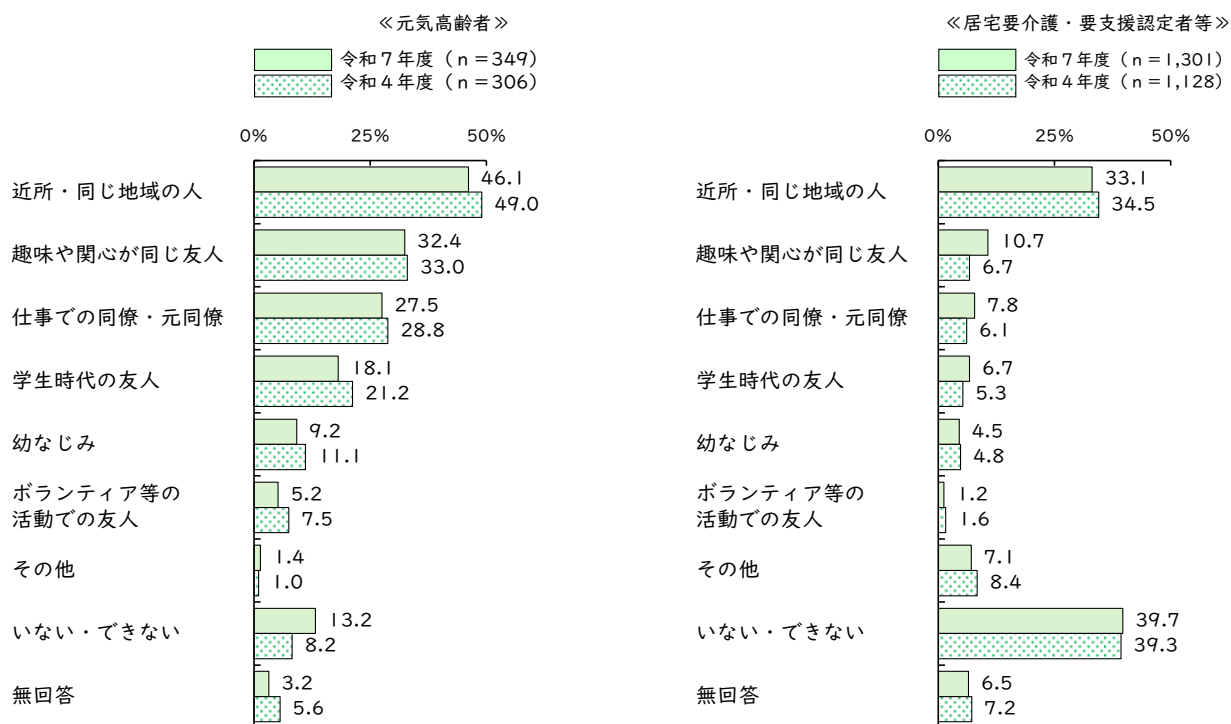
「月に何度かある」が 32.7%と最も多く、次いで「週に何度かある」が 24.1%、「年に何度かある」が 18.6%などとなっています。また、『週に何度かある』（「毎日ある」＋「週に何度かある」）は 30.7%となっています。

《居宅要介護・要支援認定者等》

「ほとんどない」が 49.8%と最も多く、次いで「月に何度かある」が 15.7%、「週に何度かある」が 15.5%などとなっています。また、『週に何度かある』は 17.7%となっています。

[元気：問27・認定：問23]

よく会う友人・知人は、どのような関係の人ですか。（複数回答可）



《元気高齢者》

「近所・同じ地域の人」が46.1%と最も多く、次いで「趣味や関心が同じ友人」が32.4%、「仕事での同僚・元同僚」が27.5%などとなっています。

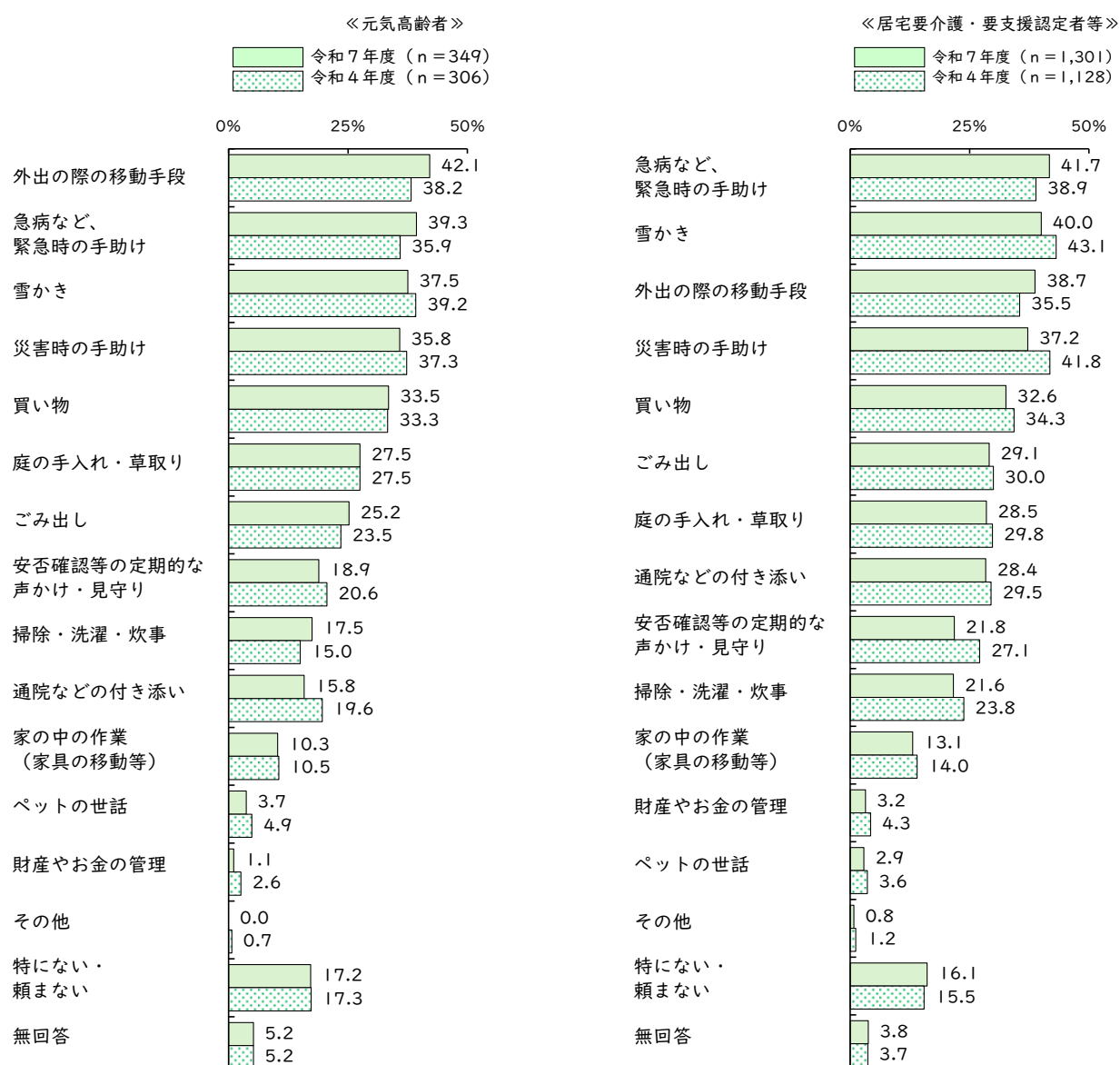
前回調査と比較すると、「地いない・できない」が5.0ポイント増加しています。

《居宅要介護・要支援認定者等》

「いない・できない」が39.7%と最も多く、次いで「近所・同じ地域の人」が33.1%、「趣味や関心が同じ友人」が10.7%などとなっています。

[元気：問 28・認定：問 24]

あなたやご家族が日常生活上の支援が必要になった時、地域の人にどのような支援をしてほしいと思いますか。（複数回答可）



「元気高齢者」

「外出の際の移動手段」が 42.1%と最も多く、次いで「急病など、緊急時の手助け」が 39.3%、「雪かき」が 37.5%などとなっています。

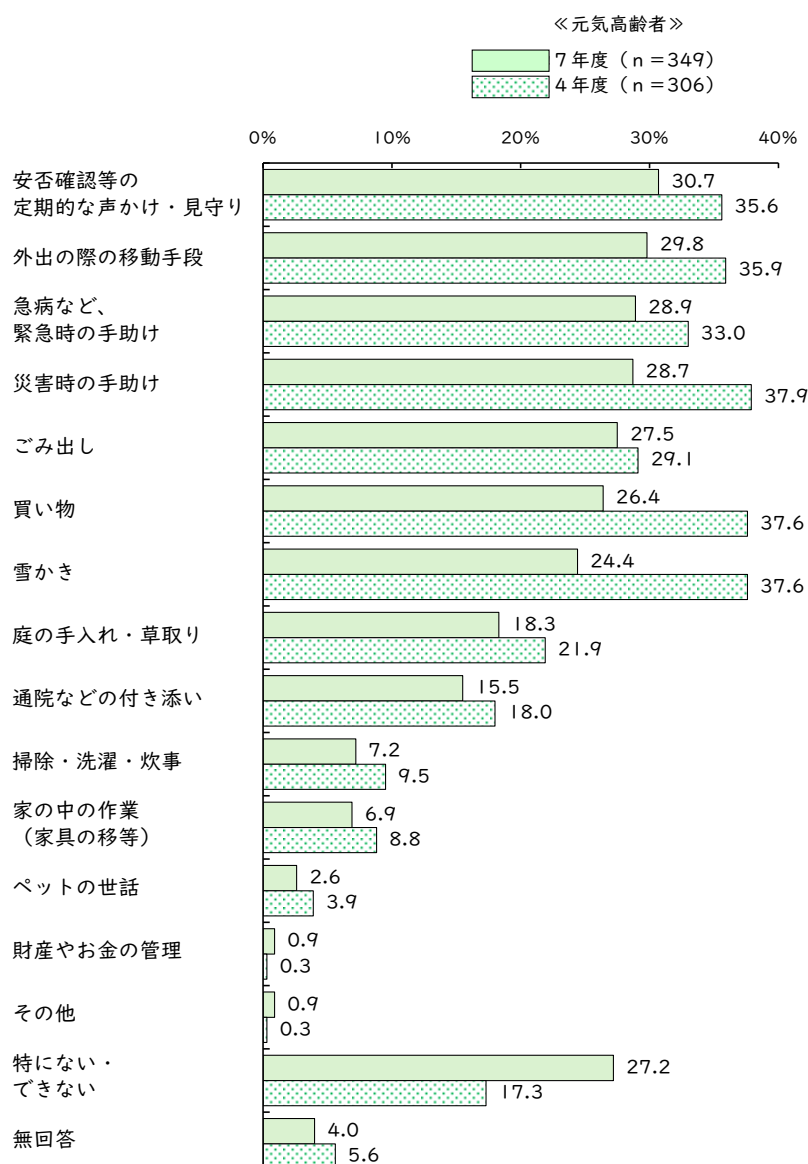
「居宅要介護・要支援認定者等」

「急病など、緊急時の手助け」が 41.7%と最も多く、次いで「雪かき」が 40.0%、「外出の際の移動手段」が 38.7%などとなっています。

前回調査と比較すると、「安否確認等の定期的な声かけ・見守り」が 5.3 ポイント減少しています。

[元気：問 29]

隣近所に、高齢や病気・障害等で困っている家庭があった場合、あなたはどのような支援ができると思いますか。（複数回答可）



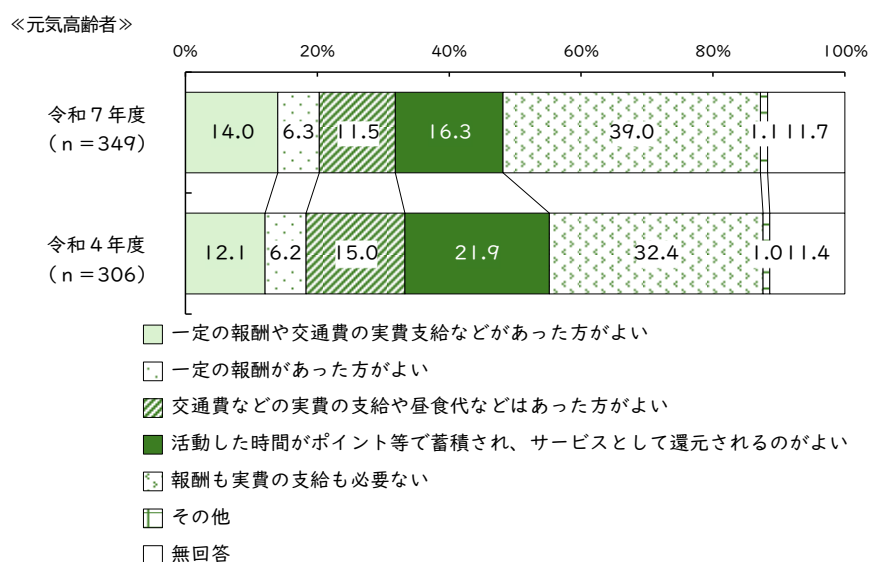
《元気高齢者》

「安否確認等の定期的な声かけ・見守り」が 30.7%と最も多く、次いで「外出の際の移動手段」が 29.8%、「急病など、緊急時の手助け」が 28.9%などとなっています。

前回調査と比較すると、「外出の際の移動手段」、「災害時の声かけ」、「買い物」、「雪かき」で5ポイント以上減少し、「特にない・できない」が9.9ポイント増加しています。

[元気：問 30]

あなたが支援を行う場合、報酬や費用（実費）についてどう思いますか。



《元気高齢者》

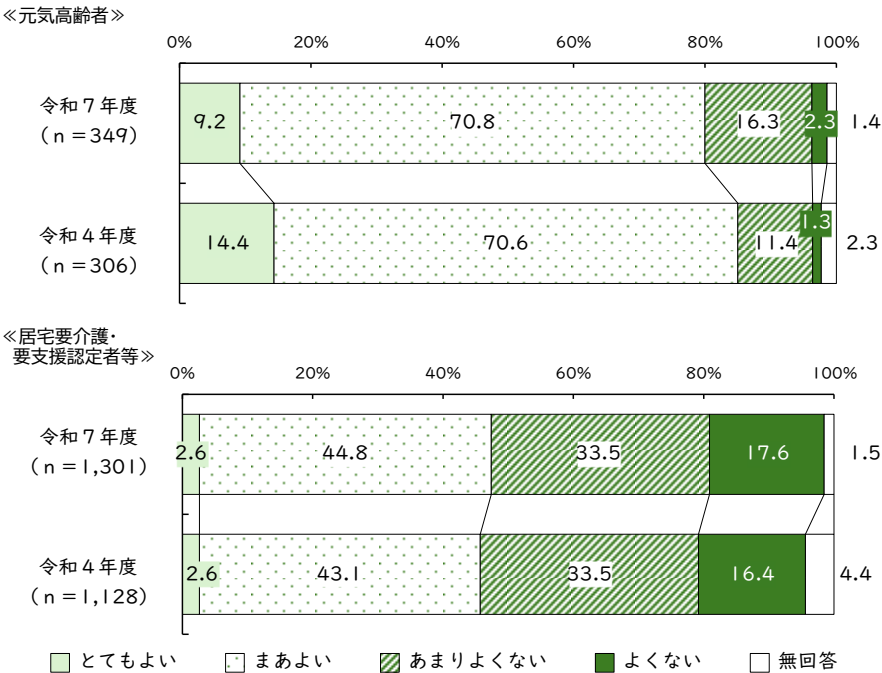
「報酬も実費の支給も必要ない」が39.0%と最も多く、次いで「活動した時間がポイント等で蓄積され、サービスとして還元されるのがよい」が16.3%、「一定の報酬や交通費の実費支給などがあった方がよい」が14.0%などとなっています。

前回調査と比較すると、「活動した時間がポイント等で蓄積され、サービスとして還元されるのがよい」が5.6ポイント減少し、「報酬も実費の支給も必要ない」が6.6ポイント増加しています。

健康・介護予防について

[元気：問31・認定：問25]

現在のあなたの健康状態はいかがですか。



「元気高齢者」

「まあよい」が70.8%と最も多く、次いで「あまりよくない」が16.3%、「とてもよい」が9.2%などとなっています。また、『よい』（「とてもよい」＋「まあよい」）は80.0%、『よくない』（「よくない」＋「あまりよくない」）は18.6%となっています。

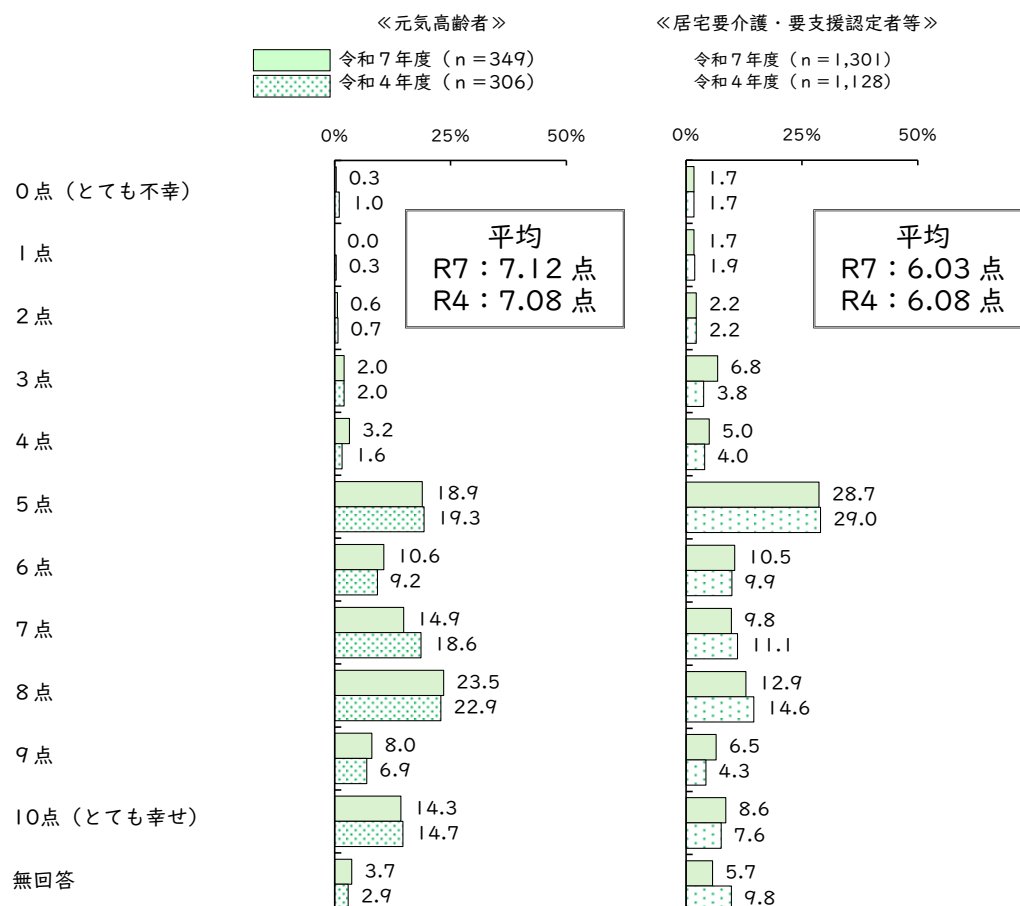
前回調査と比較すると、「とてもよい」が5.2ポイント減少しています。

「居宅要介護・要支援認定者等」

「まあよい」が44.8%と最も多く、次いで「あまりよくない」が33.5%、「よくない」が17.6%などとなっています。また、『よい』は47.4%、『よくない』は51.1%となっています。

[元気：問 32・認定：問 26]

あなたは、現在どの程度幸せですか。



《元気高齢者》

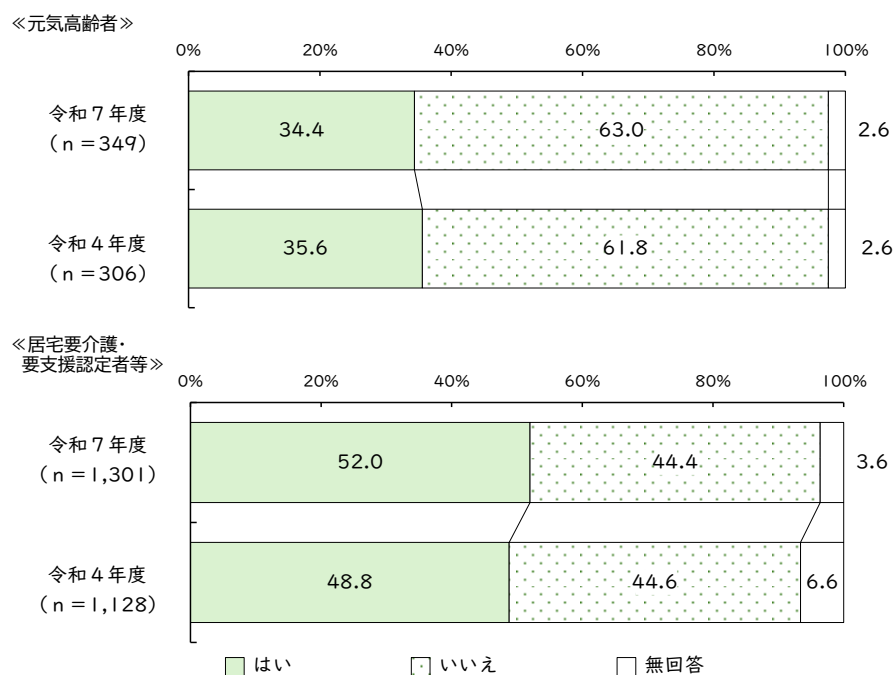
「8点」が23.5%と最も多く、次いで「5点」が18.9%、「7点」が14.9%などとなっています。また、平均点は7.12点となっています。

《居宅要介護・要支援認定者等》

「5点」が28.7%と最も多く、次いで「8点」が12.9%、「6点」が10.5%などとなっています。また、平均点は6.03点となっています。

[元気：問33・認定：問27]

この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。



「元気高齢者」

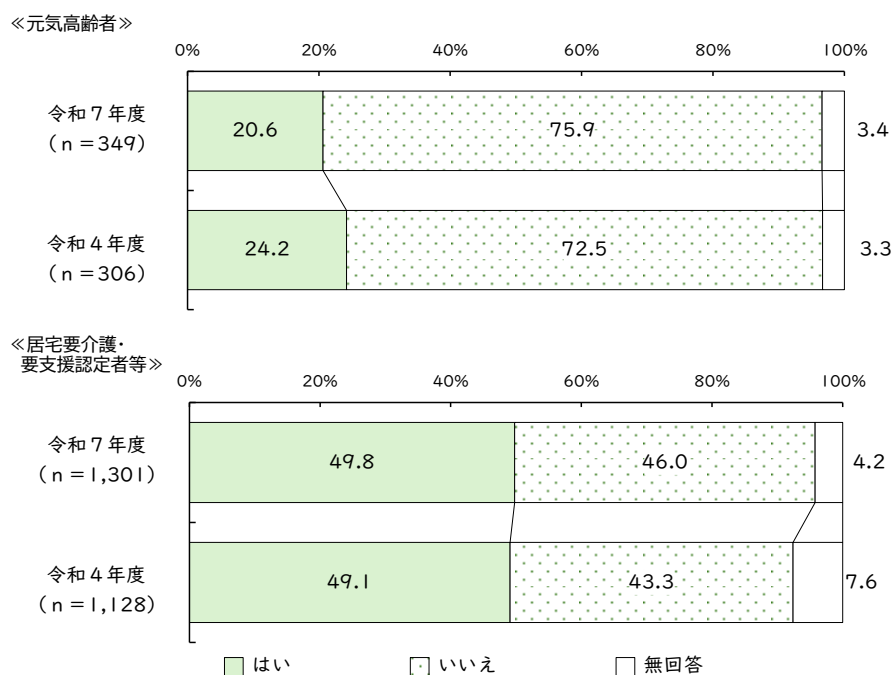
「はい」が34.4%、「いいえ」が63.0%となっています。

「居宅要介護・要支援認定者等」

「はい」が52.0%、「いいえ」が44.4%となっています。

[元気：問 34・認定：問 28]

この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。



「元気高齢者」

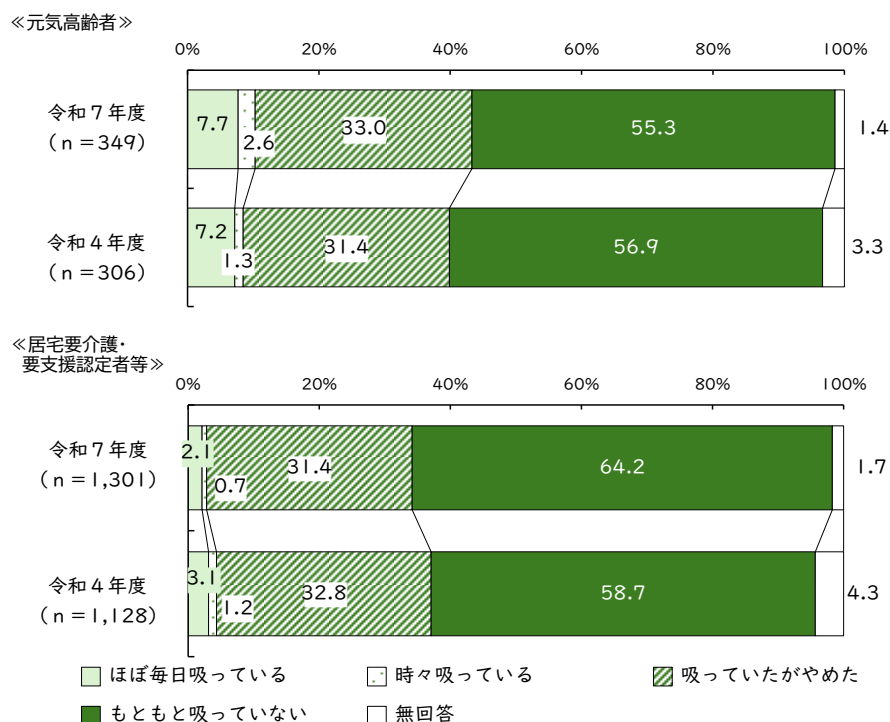
「はい」が20.6%、「いいえ」が75.9%となっています。

「居宅要介護・要支援認定者等」

「はい」が49.8%、「いいえ」が46.0%となっています。

[元気：問 35・認定：問 29]

タバコは吸っていますか。



「元気高齢者」

「もともと吸っていない」が 55.3%と最も多く、次いで「吸っていたがやめた」が 33.0%、「ほぼ毎日吸っている」が 7.7%などとなっています。また、『吸っている』（「ほぼ毎日吸っている」＋「時々吸っている」）は 10.3%となっています。

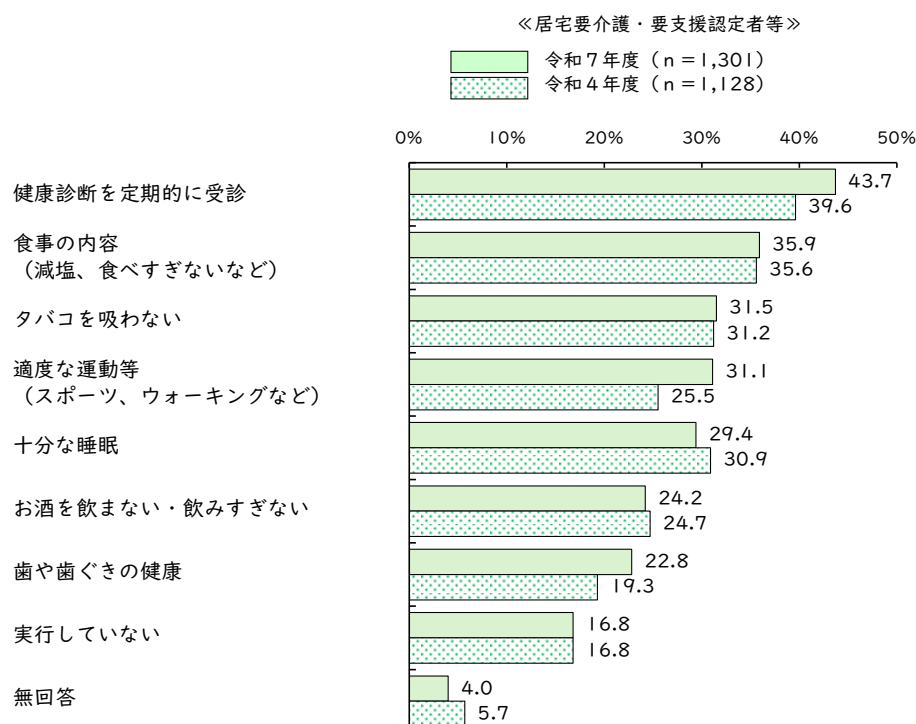
「居宅要介護・要支援認定者等」

「もともと吸っていない」が 64.2%と最も多く、次いで「吸っていたがやめた」が 31.4%、「ほぼ毎日吸っている」が 2.1%などとなっています。また、『吸っている』は 2.8%となっています。

前回調査と比較すると、「もともと吸っていない」が 5.5 ポイント増加しています。

[認定：問 30]

あなたは、40歳以降、日常生活で健康のために行動したり、気をつけたりして
いましたか。（複数回答可）

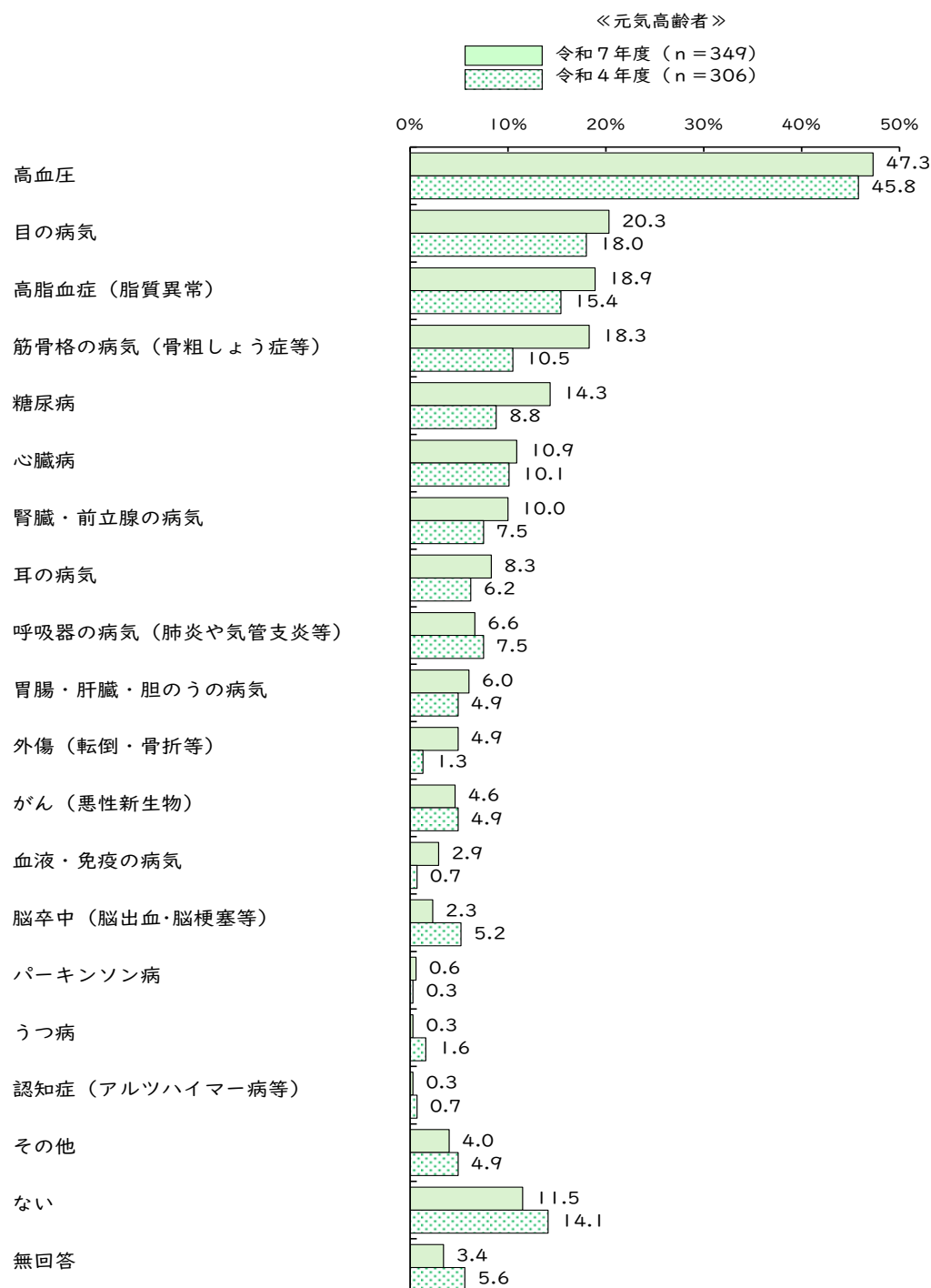


《居宅要介護・要支援認定者等》

「健康診断を定期的に受診」が43.7%と最も多く、次いで「食事の内容（減塩、食べすぎないなど）」が35.9%、「タバコを吸わない」が31.5%などとなっています。

[元気：問36]

現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。（複数回答可）



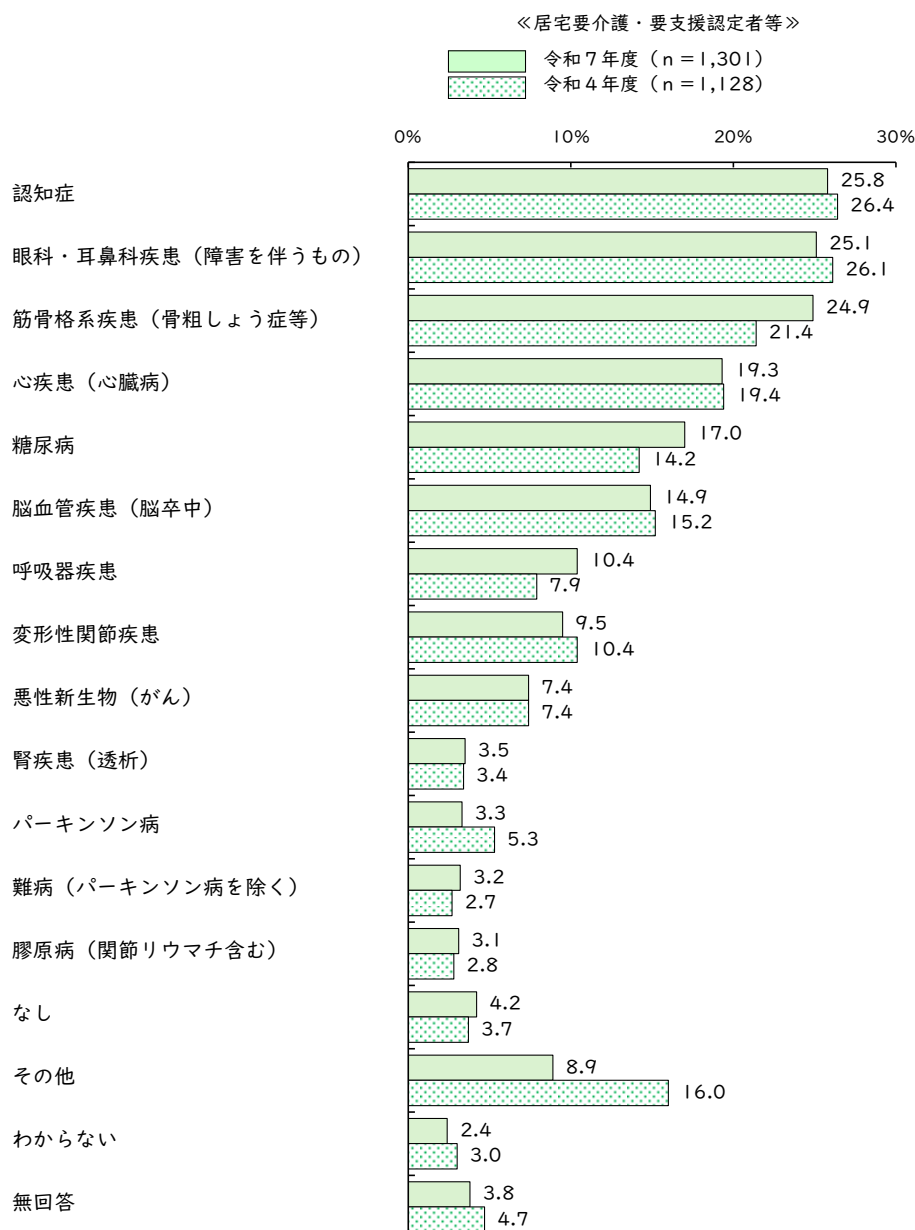
《元気高齢者》

「高血圧」が47.3%と最も多く、次いで「目の病気」が20.3%、「高脂血症（脂質異常）」が18.9%などとなっています。

前回調査と比較すると、「筋骨格の病気（骨粗しょう症）」と「糖尿病」で5ポイント増加しています。

[認定：問 31]

あなたが、現在抱えている傷病について、ご回答ください。（複数回答可）



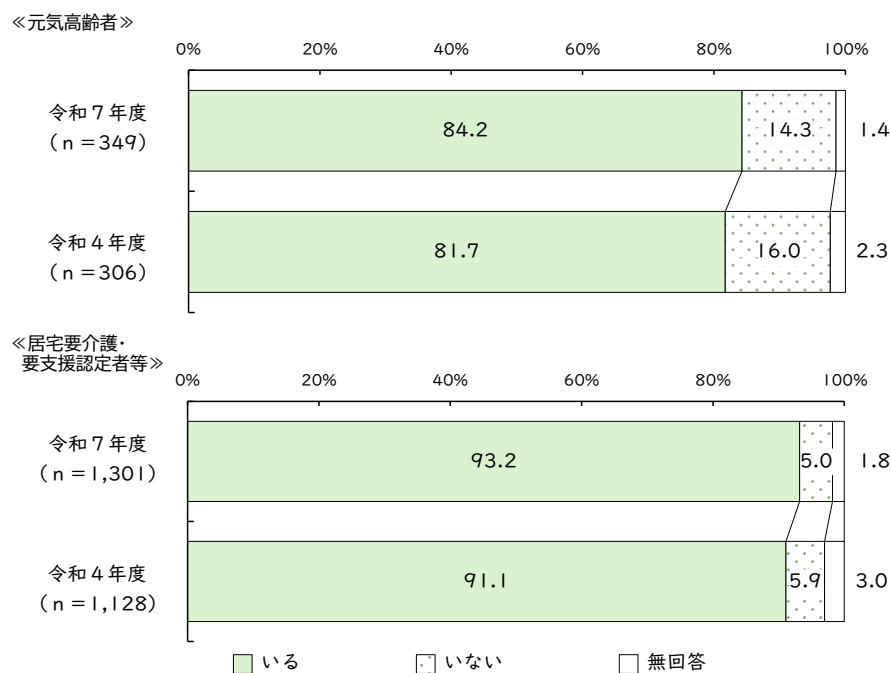
「居宅要介護・要支援認定者等」

「認知症」が 25.8%と最も多く、次いで「眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）」が 25.1%、「筋骨格系疾患（骨粗しょう症等）」が 24.9%などとなっています。

前回調査と比較すると、「その他」が 7.1 ポイント減少しています。

[元気：問37・認定：問32]

日常的な診察や健康管理などを行ってくれる「かかりつけ医」はいますか。



《元気高齢者》

「いる」が84.2%、「いない」が14.3%となっています。

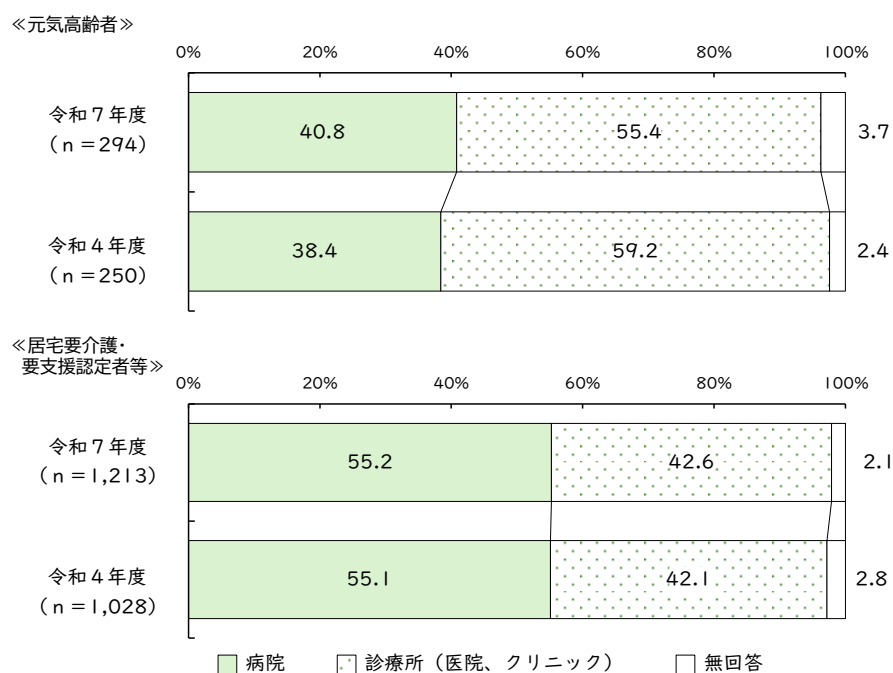
《居宅要介護・要支援認定者等》

「いる」が93.2%、「いない」が5.0%となっています。

元気：問 37・認定：問 32 で「いる」とお答えの方のみ

[元気：問 37－1・認定：問 32－1]

かかりつけ医は病院ですか、診療所ですか。



《元気高齢者》

「病院」が 40.8%、「診療所（医院、クリニック）」が 55.4%となっています。

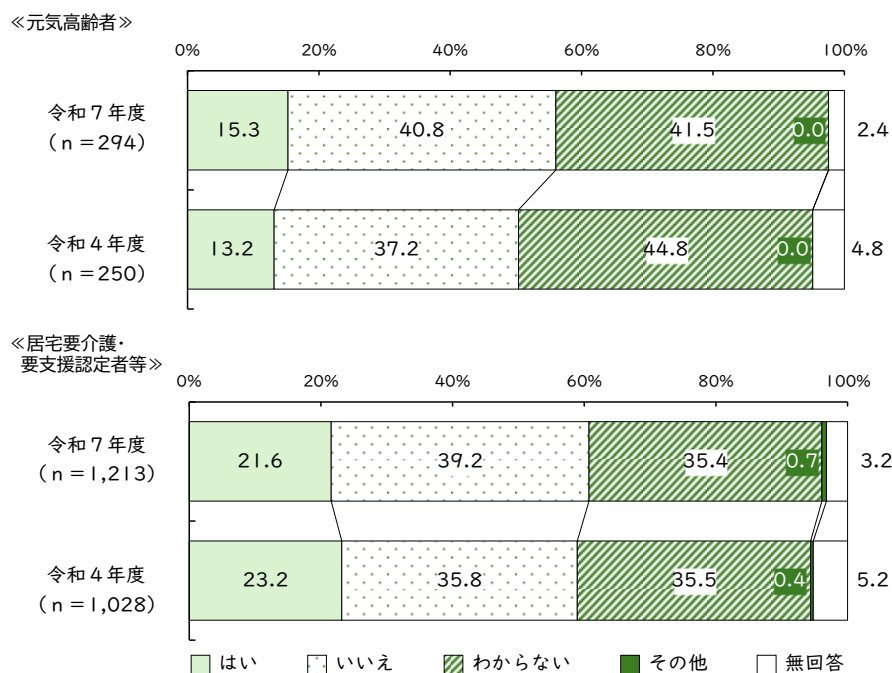
《居宅要介護・要支援認定者等》

「病院」が 55.2%、「診療所（医院、クリニック）」が 42.6%となっています。

元気：問 37・認定：問 32 で「いる」とお答えの方のみ

[元気：問 37-2・認定：問 32-2]

かかりつけ医は往診（体調が悪い時のみの訪問による診療）をしてくれますか。



《元気高齢者》

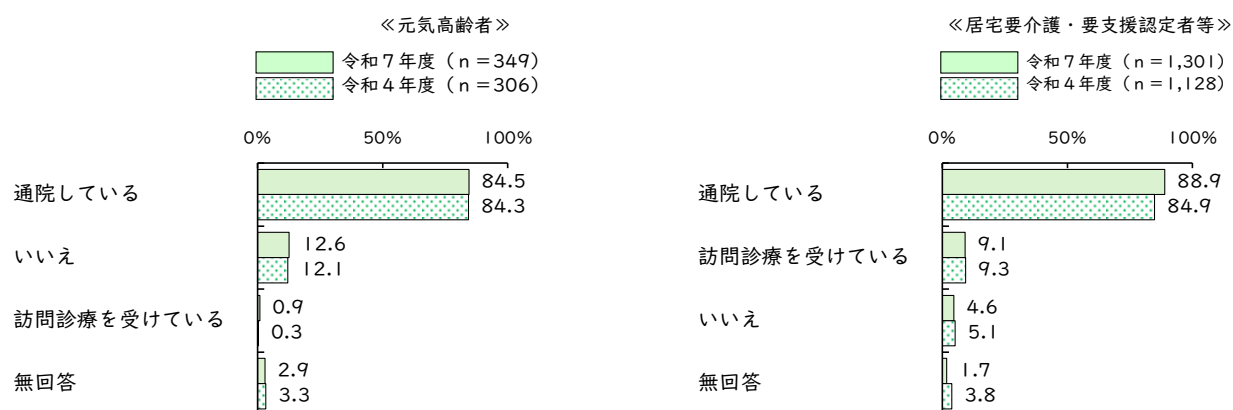
「わからない」が41.5%と最も多く、次いで「いいえ」が40.8%、「はい」が15.3%となっています。

《居宅要介護・要支援認定者等》

「いいえ」が39.2%と最も多く、次いで「わからない」が35.4%、「はい」が21.6%などとなっています。

[元気：問 38・認定：問 33]

現在、病院・診療所（医院、クリニック）に通院していますか。また、訪問診療（定期的な訪問による診療）を受けていますか。（複数回答可）



《元気高齢者》

「通院している」が84.5%と最も多く、次いで「いいえ」が12.6%、「訪問診療を受けている」が0.9%となっています。

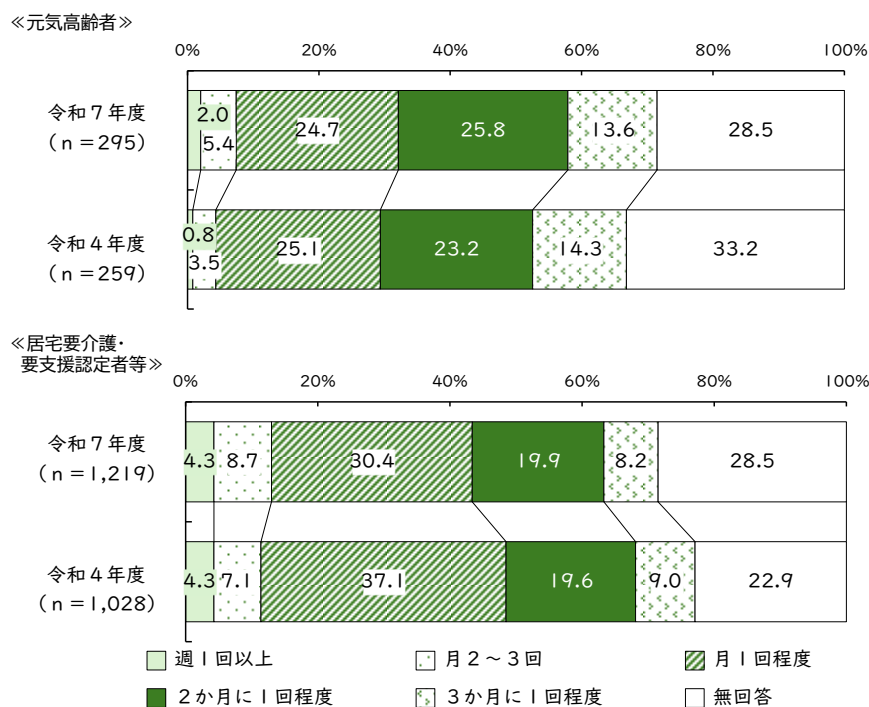
《居宅要介護・要支援認定者等》

「通院している」が88.9%と最も多く、次いで「訪問診療を受けている」が9.1%、「いいえ」が4.6%となっています。

元気：問 38・認定：問 33 で「通院している」、「訪問診療を受けている」とお答えの方のみ

[元気：問 38－1・認定：問 33－1]

通院・訪問診療の頻度を教えてください。



「元気高齢者」

「2か月に1回程度」が25.8%と最も多く、次いで「月1回程度」が24.7%、「3か月に1回程度」が13.6%などとなっています。また、『月1回以上』（「週1回以上」＋「月2～3回」＋「月1回程度」）は32.1%となっています。

「居宅要介護・要支援認定者等」

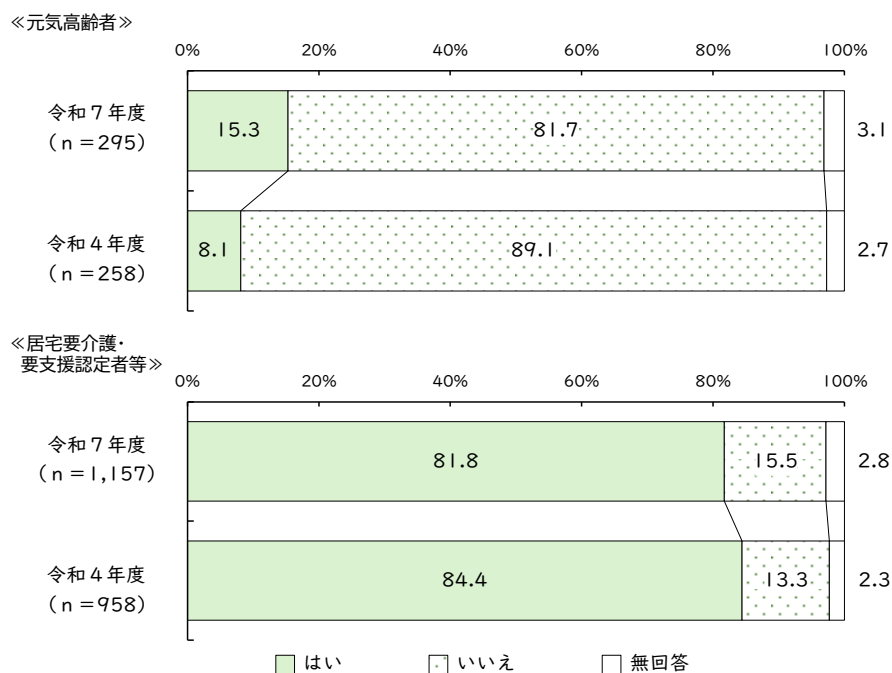
「月1回程度」が30.4%と最も多く、次いで「2か月に1回程度」が19.9%、「月2～3回」が8.7%などとなっています。また、『月1回以上』は43.4%となっています。

前回調査と比較すると、「月1回程度」が6.7ポイント減少しています。

元気：問 38・認定：問 33 で「通院している」とお答えの方のみ

[元気：問 38－2・認定：問 33－2]

通院に介助（付き添い）が必要ですか。



《元気高齢者》

「はい」が15.3%、「いいえ」が81.7%となっています。

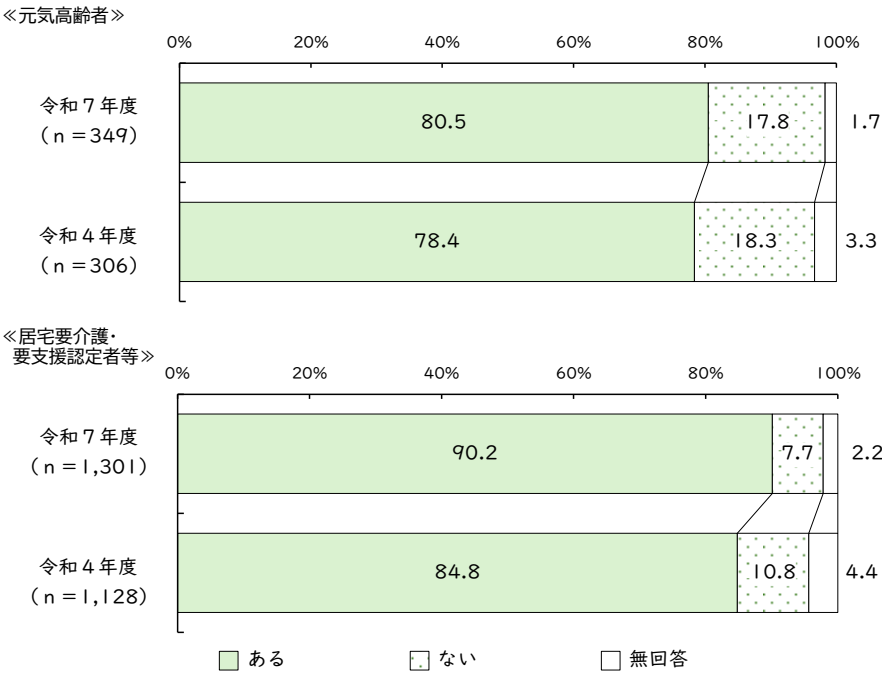
前回調査と比較すると、「はい」が7.2ポイント増加し、「いいえ」が7.4ポイント増加しています。

《居宅要介護・要支援認定者等》

「はい」が81.8%、「いいえ」が15.5%となっています。

[元気：問39・認定：問34]

かかりつけ薬剤師・薬局はありますか。



《元気高齢者》

「ある」が80.5%、「ない」が17.8%となっています。

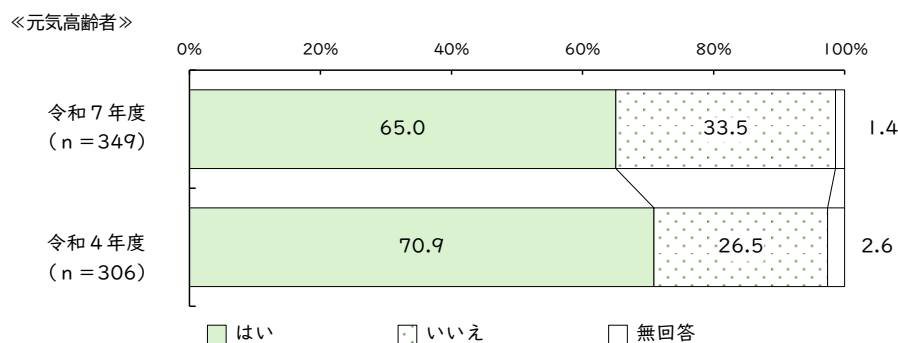
《居宅要介護・要支援認定者等》

「ある」が90.2%、「ない」が7.7%となっています。

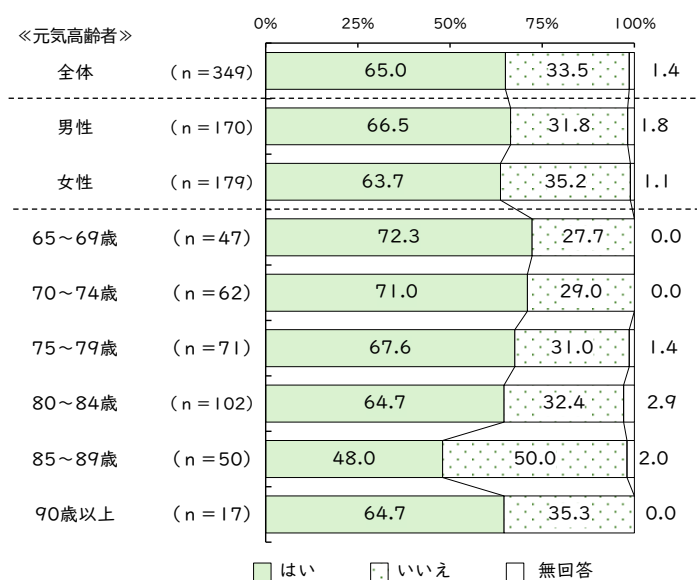
前回調査と比較すると、「ある」が5.4ポイント増加しています。

[元気：問 40]

年に1回以上健康診断を受けていますか。



<性別・年齢階層別：クロス集計>



《元気高齢者》

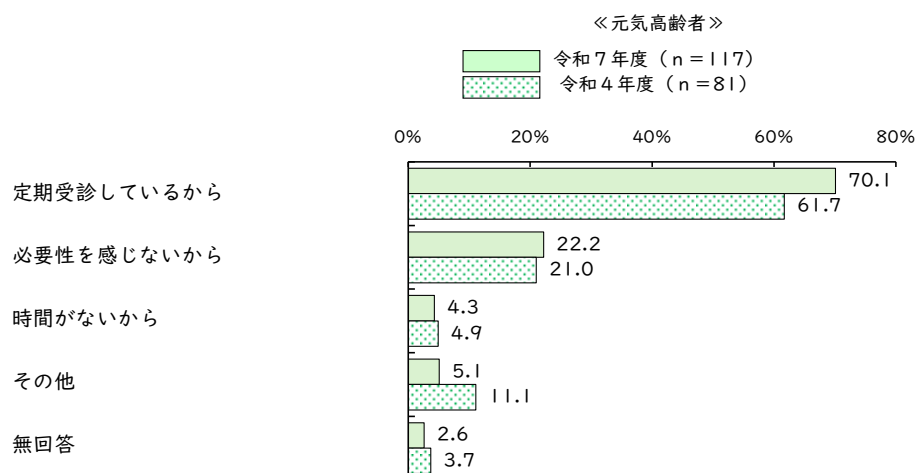
「はい」が65.0%、「いいえ」が33.5%となっています。

前回調査と比較すると、「はい」が5.9ポイント減少し、「いいえ」が7.0ポイント増加しています。

元気：問40で「いいえ」とお答えの方のみ

[元気：問40－1]

健康診断を受けていない理由は何ですか。（複数回答可）

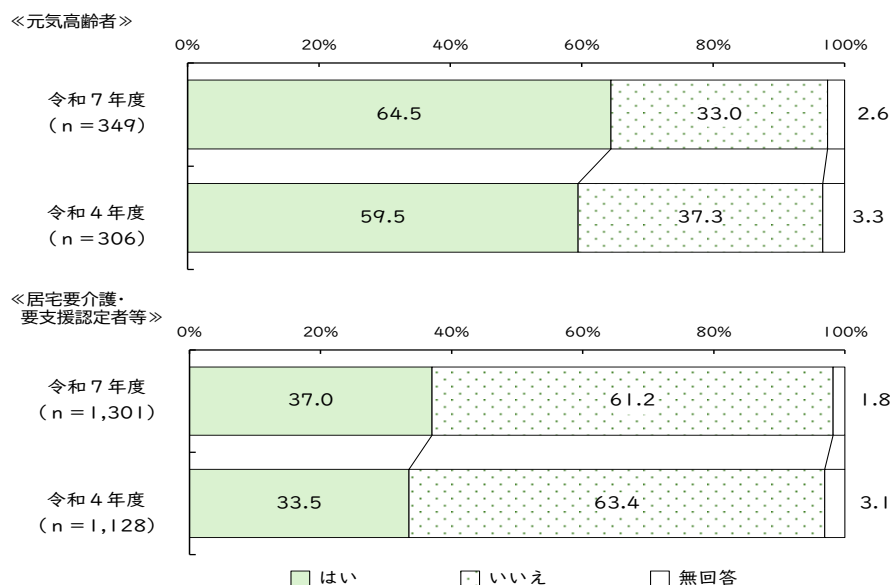


《元気高齢者》

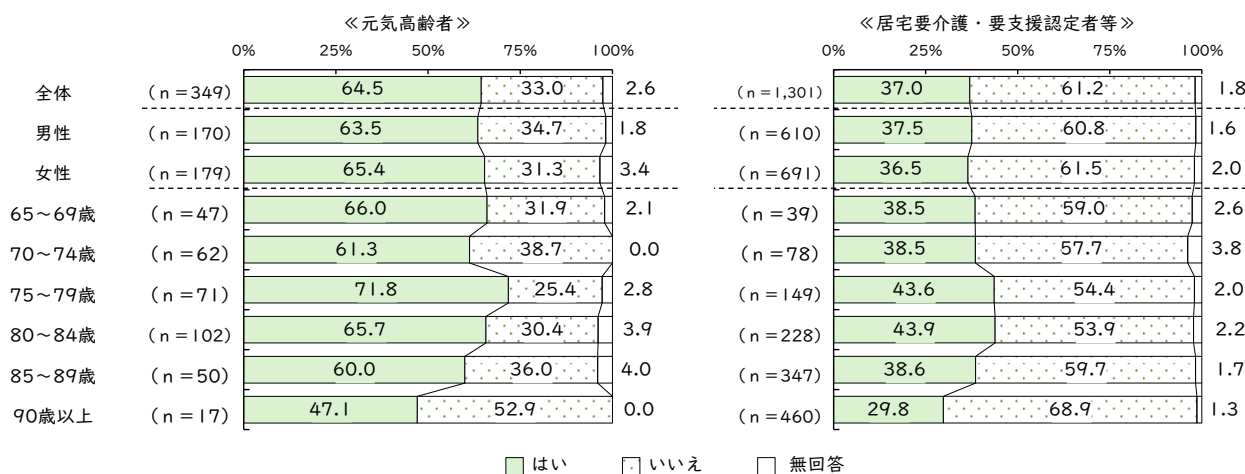
「定期受診しているから」が70.1%と最も多く、次いで「必要性を感じないから」が22.2%、「その他」が5.1%などとなっています。

[元気：問 41・認定：問 35]

年に1回以上歯科検診または歯科医院を受診していますか。



<性別・年齢階層別：クロス集計>



<<元気高齢者>>

「はい」が64.5%、「いいえ」が33.0%となっています。

前回調査と比較すると、「はい」が5.0ポイント増加しています。

性別では大きな差異はみられませんが、年齢階層別にみると、75歳以上で高齢者ほど「はい」が減少し、「いいえ」が増加しています。

<<居宅要介護・要支援認定者等>>

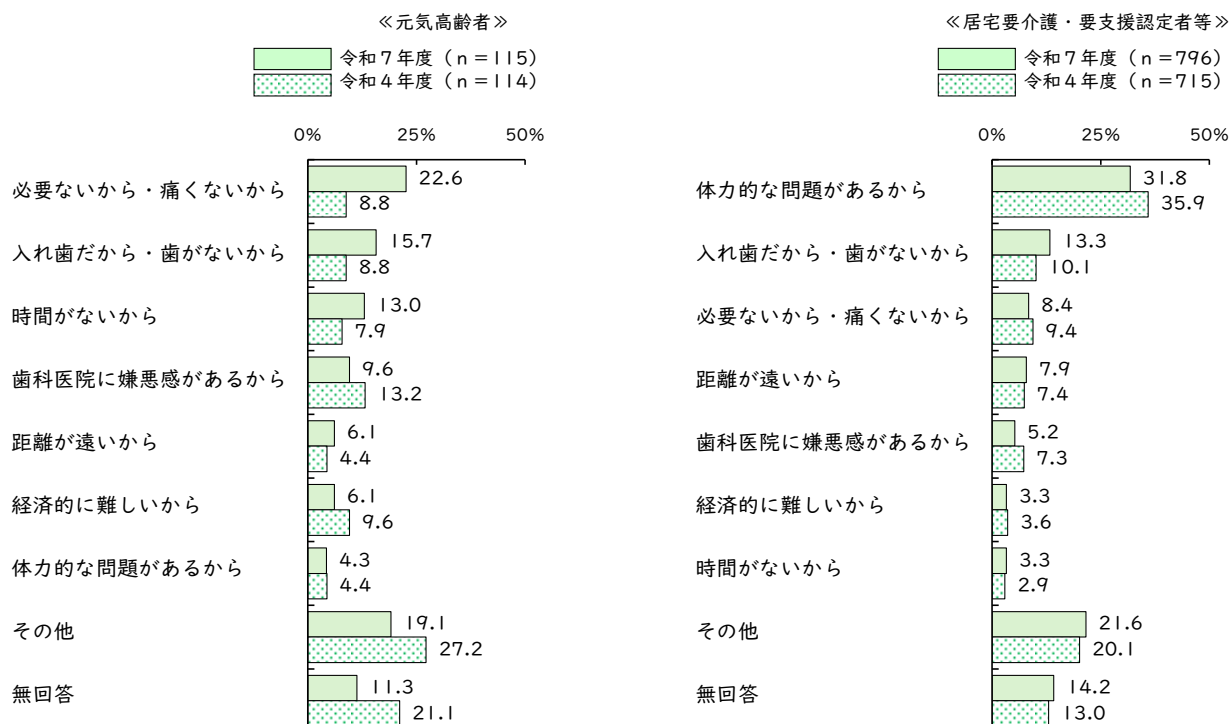
「はい」が37.0%、「いいえ」が61.2%となっています。

性別では大きな差異はみられませんが、年齢階層別にみると、75歳以上で高齢者ほど「はい」が減少し、「いいえ」が増加しています。

元気：問41・認定：問35で「いいえ」とお答えの方のみ

[元気：問41-1・認定：問35-1]

歯科検診や歯科医院を受診していない理由は何ですか。（複数回答可）



※「入れ歯だから・歯がないから」、「必要ないから・痛くないから」という選択肢は、その他の具体的内容として多く回答されていたため、集計時に追加した選択肢です。

《元気高齢者》

「必要ないから・痛くないから」が22.6%と最も多く、次いで「その他」が19.1%、「入れ歯だから・歯がないから」が15.7%などとなっています。

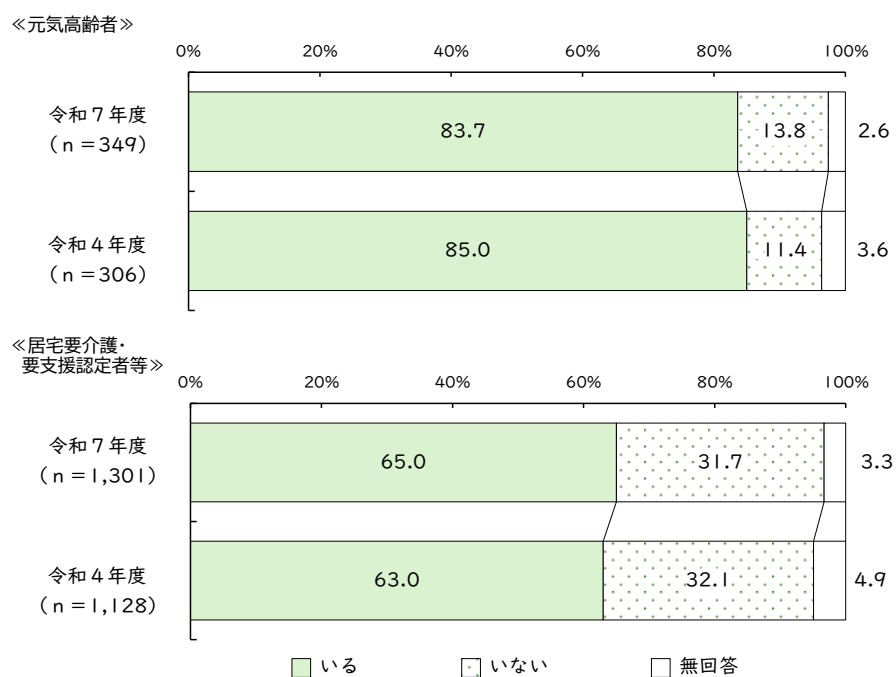
前回調査と比較すると、「必要ないから・痛くないから」、「入れ歯だから・歯がないから」、「時間がないから」で5ポイント以上増加し、「その他」が8.1ポイント減少しています。

《居宅要介護・要支援認定者等》

「体力的な問題があるから」が31.8%と最も多く、次いで「その他」が21.6%、「入れ歯だから・歯がないから」が13.3%などとなっています。

[元気：問 42・認定：問 36]

かかりつけ歯科医はいますか。



「元気高齢者」

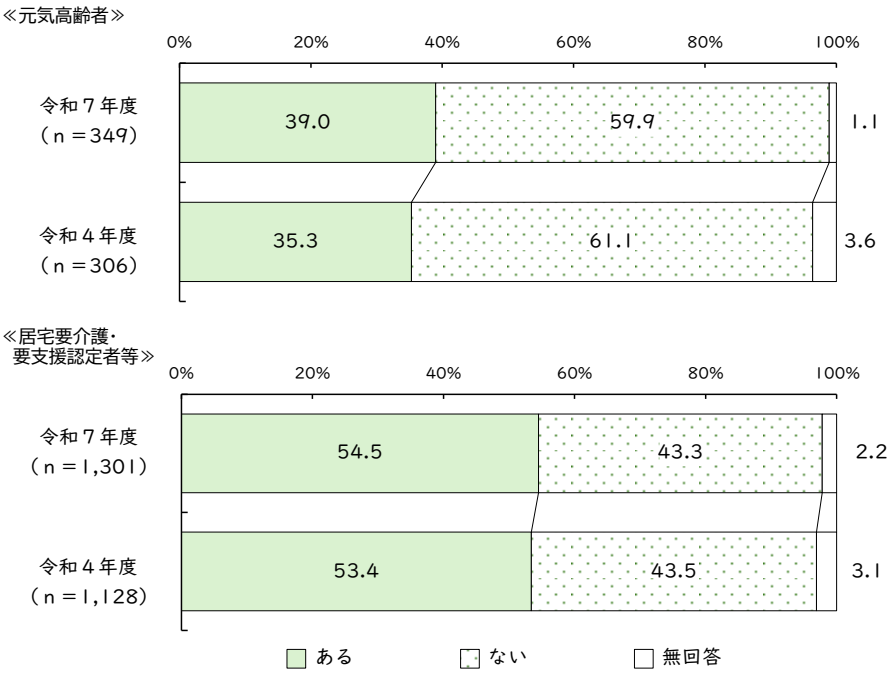
「いる」が83.7%、「いない」が13.8%となっています。

「居宅要介護・要支援認定者等」

「いる」が65.0%、「いない」が31.7%となっています。

[元気：問 43・認定：問 37]

耳が聞こえにくいことがありますか。



「元気高齢者」

「ある」が39.0%、「ない」が59.9%となっています。

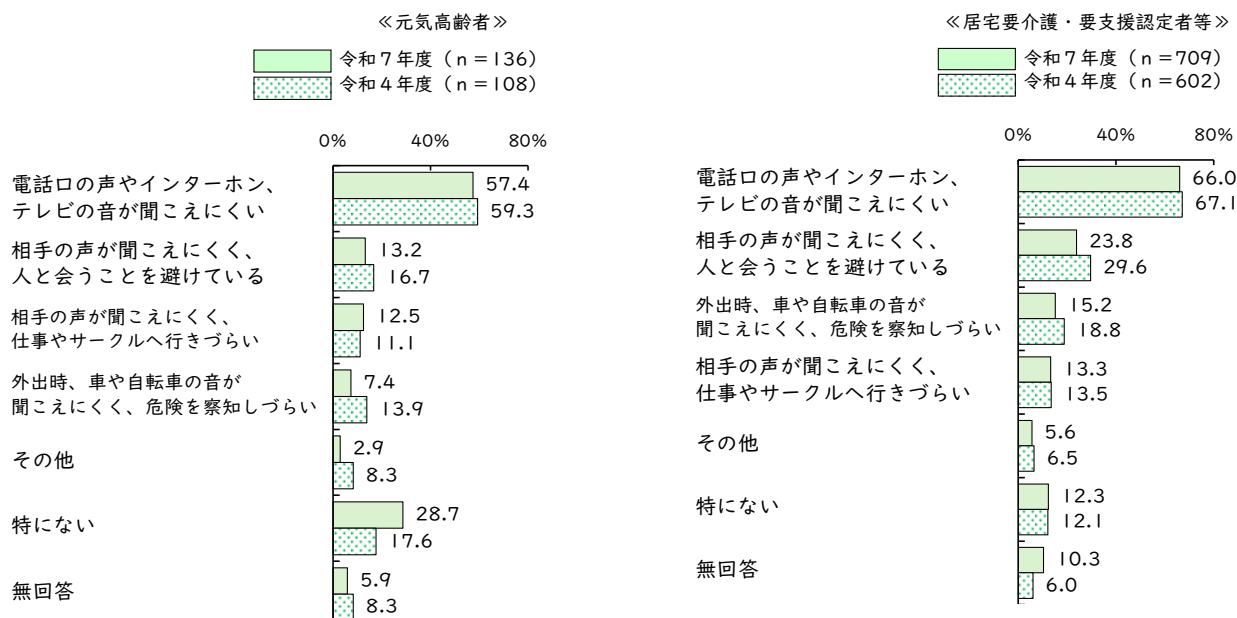
「居宅要介護・要支援認定者等」

「ある」が54.5%、「ない」が43.3%となっています。

元気：問 43・認定：問 37 で「ある」とお答えの方のみ

[元気：問 43－1・認定：問 37－1]

耳が聞こえにくいことで、生活にどのような支障が生じていますか。(複数回答可)



《元気高齢者》

「電話口の声やインターホン、テレビの音が聞こえにくい」が 57.4%と最も多く、次いで「特にない」が 28.7%、「相手の声が聞こえにくく、人と会うことを避けている」が 13.2%などとなっています。

前回調査と比較すると、「特にない」が 11.1 ポイント増加しています。

《居宅要介護・要支援認定者等》

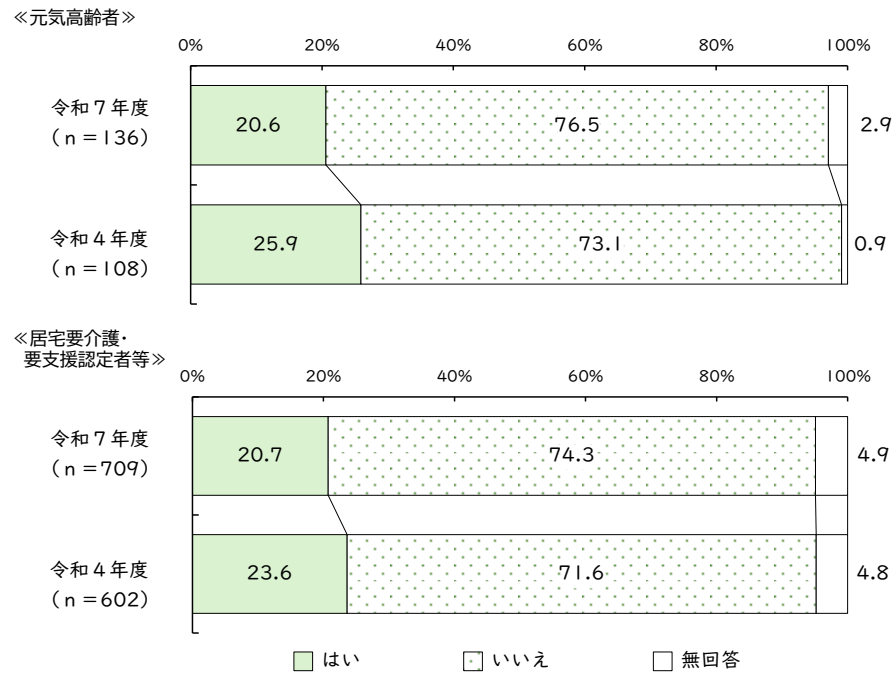
「電話口の声やインターホン、テレビの音が聞こえにくい」が 66.0%と最も多く、次いで「相手の声が聞こえにくく、人と会うことを避けている」が 23.8%、「外出時、車や自転車の音が聞こえにくく、危険を察知しづらい」が 15.2%などとなっています。

前回調査と比較すると、「相手の声が聞こえにくく、人と会うことを避けている」が 5.8 ポイント減少しています。

元気：問 43・認定：問 37 で「ある」とお答えの方のみ

[元気：問 43－2・認定：問 37－2]

現在、補聴器を使用していますか。



「元気高齢者」

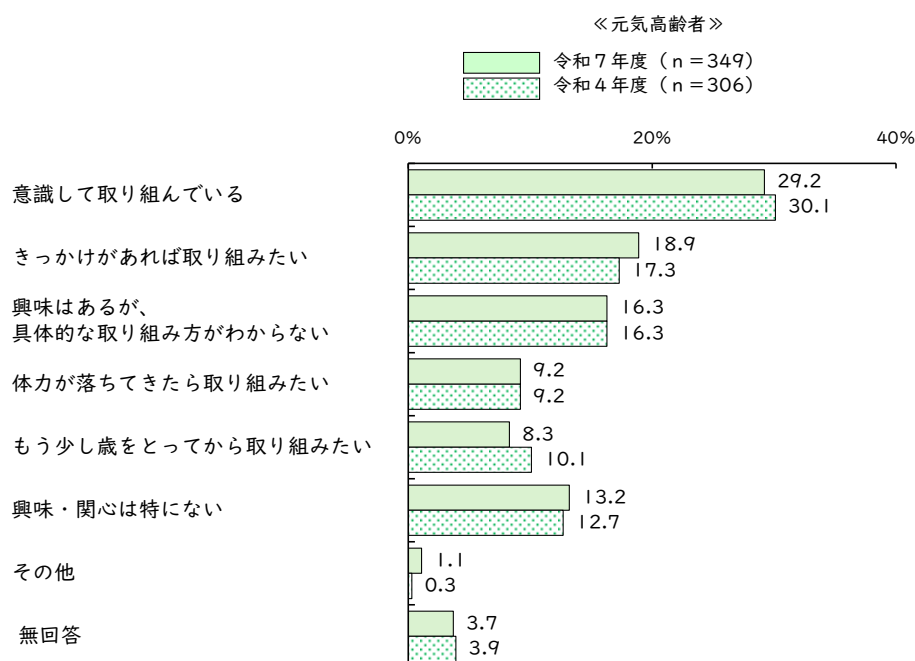
「はい」が20.6%、「いいえ」が76.5%となっています。

「居宅要介護・要支援認定者等」

「はい」が20.7%、「いいえ」が74.3%となっています。

[元気：問 44]

現在、介護予防に取り組んでいますか。



<性別・年齢階層別：クロス集計>

(単位：%)

「元気高齢者」		調査数 (n)	意識して取り組んでいる	きっかけがあれば取り組みたい	興味はあるが、具体的な取り組み方がわからない	体力が落ちてきたら取り組みたい	もう少し歳をとってから取り組みたい	興味・関心は特にない	その他	無回答
全 体		349	29.2	18.9	16.3	9.2	8.3	13.2	1.1	3.7
性別	男性	170	27.6	14.1	17.6	9.4	11.8	15.3	1.2	2.9
	女性	179	30.7	23.5	15.1	8.9	5.0	11.2	1.1	4.5
年齢階層別	65～69歳	47	25.5	25.5	19.1	10.6	12.8	2.1	2.1	2.1
	70～74歳	62	29.0	21.0	12.9	14.5	11.3	9.7	0.0	1.6
	75～79歳	71	29.6	18.3	12.7	9.9	8.5	15.5	0.0	5.6
	80～84歳	102	32.4	13.7	16.7	7.8	5.9	18.6	1.0	3.9
	85～89歳	50	28.0	22.0	18.0	6.0	4.0	12.0	4.0	6.0
	90歳以上	17	23.5	17.6	29.4	0.0	11.8	17.6	0.0	0.0

(性別) 青字：全体よりも5ポイント以上高い
赤字：全体よりも5ポイント以上低い

(年齢階層別) 青字：全体よりも5ポイント以上高い
赤字：全体よりも5ポイント以上低い

<元気高齢者>

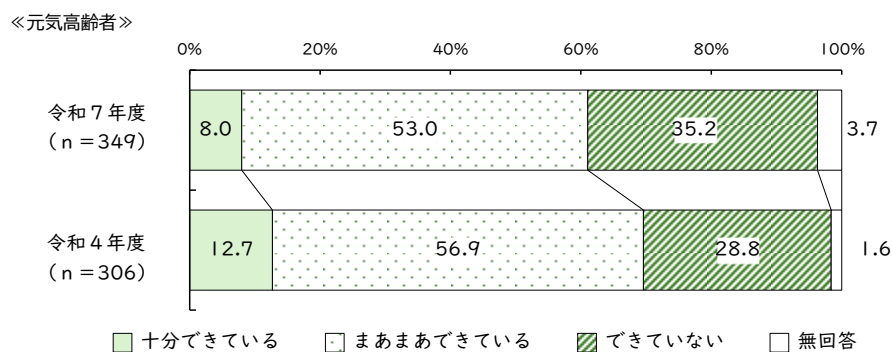
「意識して取り組んでいる」が29.2%と最も多く、次いで「きっかけがあれば取り組みたい」が18.9%、「興味はあるが、具体的な取り組み方がわからない」が16.3%などとなっています。

性別にみると、「きっかけがあれば取り組みたい」と「もう少し年をとってから取り組みたい」で5ポイント以上の差異がみられます。

年齢階層別にみると、「体力が落ちてきたら取り組みたい」は高年齢ほど概ね低くなる傾向がみられます。

[元気：問 45]

現在の体の状態を維持するために、十分な運動ができていると思いますか。



《元気高齢者》

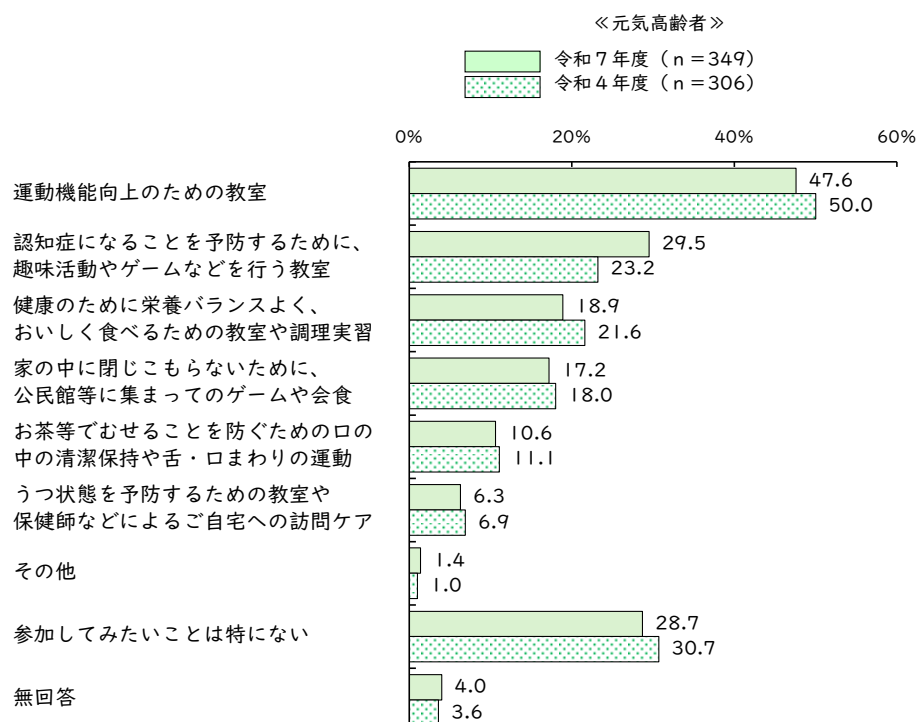
「まあまあできている」が53.0%と最も多く、次いで「できていない」が35.2%、「十分できている」が8.0%となっています。また、『できている』（「十分できている」＋「まあまあできている」）は61.0%となっています。

前回調査と比較すると、「できていない」が6.4ポイント増加しています。

[元気：問 46]

市町村では、将来できるだけ要介護状態にならないようにするため、介護予防事業を実施していますが、あなたが今後参加してみたいことは何ですか。

(複数回答可)



《元気高齢者》

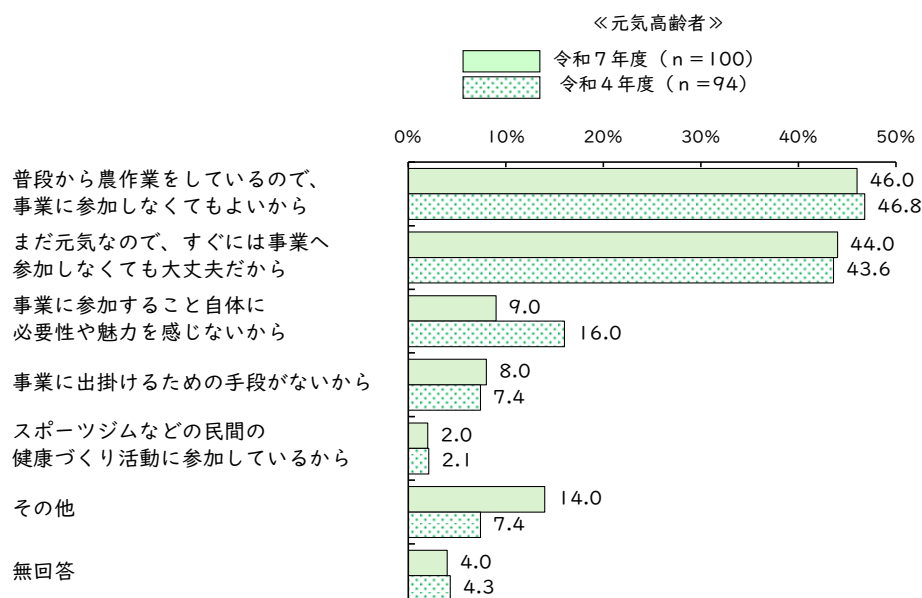
「運動機能向上のための教室」が47.6%と最も多く、次いで「認知症になることを予防するために、趣味活動やゲームなどを行う教室」が29.5%、「参加してみたいことは特にな

前回調査と比較すると、「認知症になることを予防するために、趣味活動やゲームなどを行う教室」が6.3ポイント増加しています。

元気：問 46 で「参加してみたいことは特にない」とお答えの方のみ

[元気：問 46－1]

参加してみたいことが特にない理由は何ですか。（複数回答可）



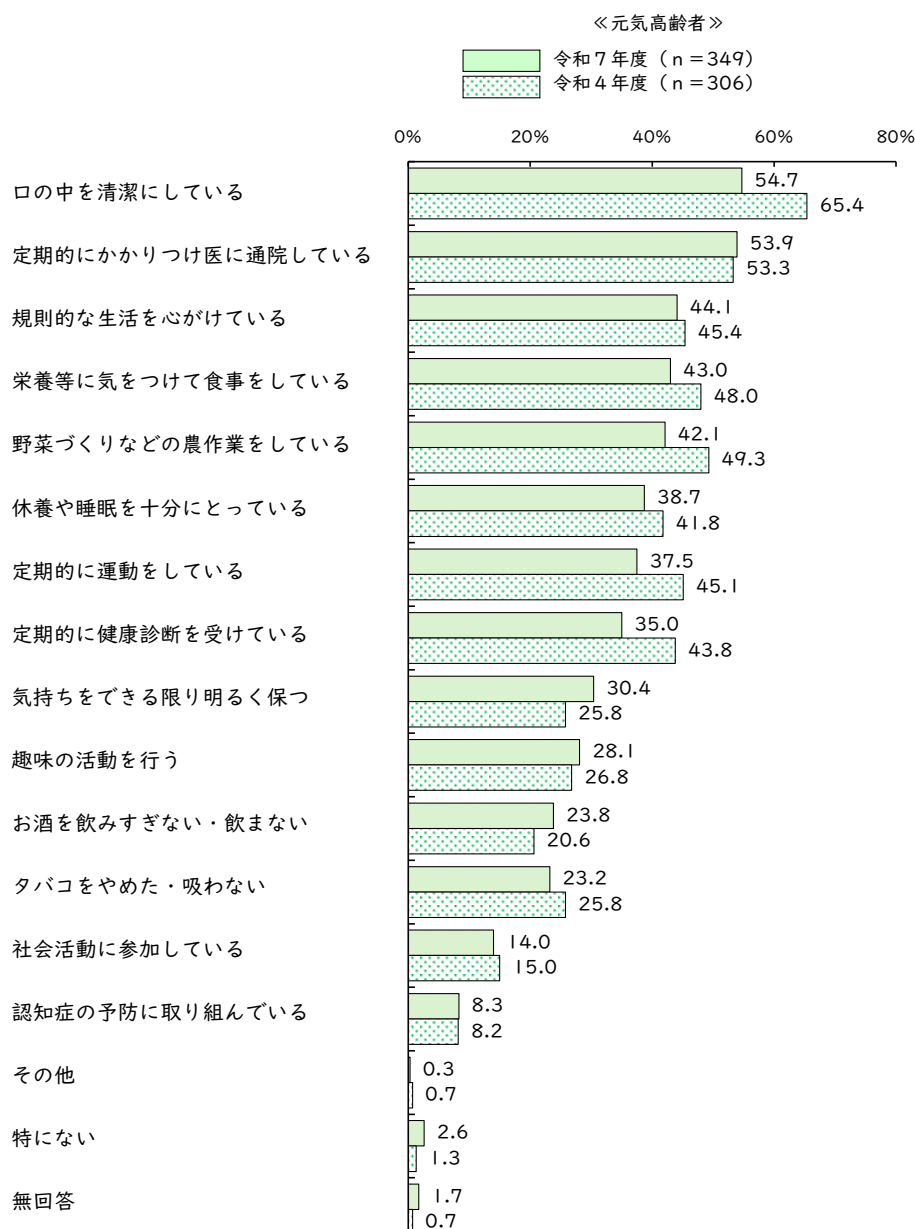
《元気高齢者》

「普段から農作業をしているので、事業に参加しなくてもよいから」が 46.0%と最も多く、次いで「まだ元気なので、すぐには事業へ参加しなくても大丈夫だから」が 44.0%、「その他」が 14.0%などとなっています。

前回調査と比較すると、「事業に参加すること自体に必要性や魅力を感じないから」が 7.0 ポイント減少し、「その他」が 6.6 ポイント増加しています。

[元気：問 47]

あなたは、普段から健康や介護予防のために気をつけていることはありますか。
(複数回答可)



《元気高齢者》

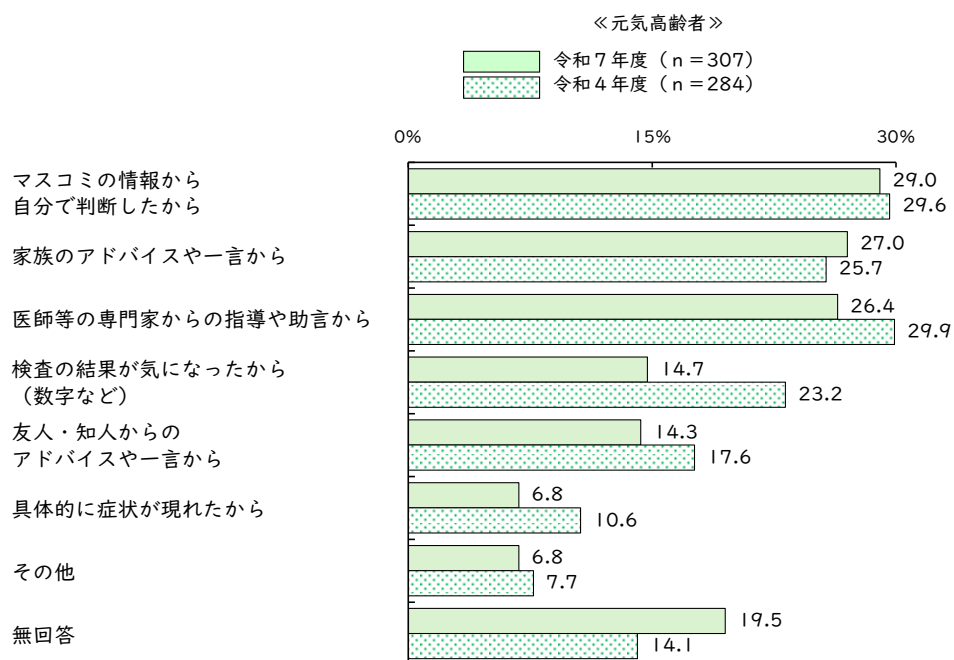
「口の中を清潔にしている」が 54.7%と最も多く、次いで「定期的にかかりつけの医に通院している」が 53.9%、「規則的な生活を心がけている」が 44.1%などとなっています。

前回調査と比較すると、「口の中を清潔にしている」、「栄養等に気をつけて食事をしている」、「野菜づくりなどの農作業をしている」、「定期的に運動している」、「定期的に健康診断を受けている」で5ポイント減少しています。

元気：問 47 で『食事や運動、睡眠などに気を付けている』とお答えの方のみ

[元気：問 47－1]

取り組むこととなった主なきっかけは何ですか。（複数回答可）



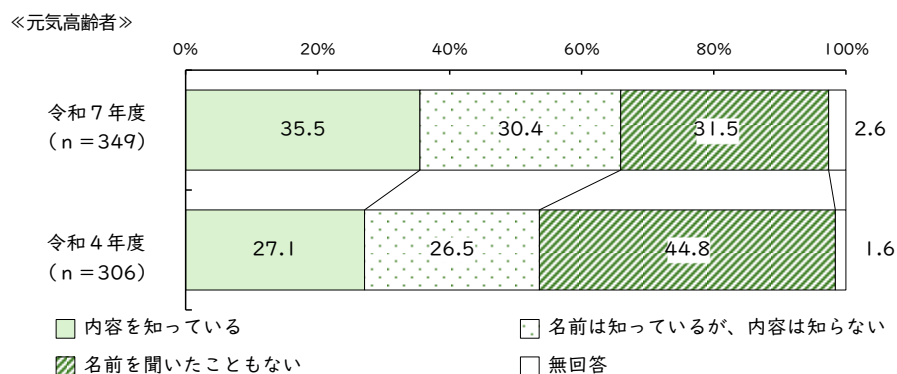
《元気高齢者》

「マスコミの情報から自分で判断したから」が 29.0%と最も多く、次いで「家族のアドバイスや一言から」が 27.0%、「医師等の専門家からの指導や助言から」が 26.4%などとなっています。

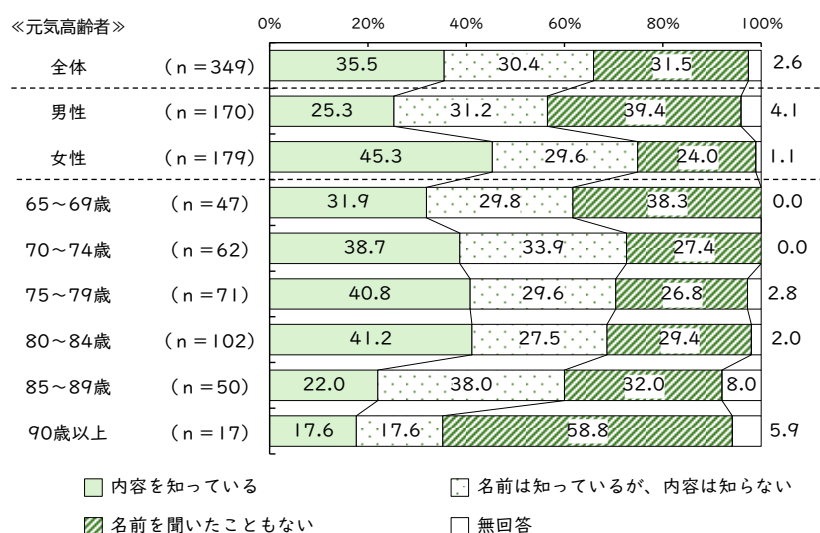
前回調査と比較すると、「検査の結果が気になったから（数字など）」が 8.5 ポイント減少しています。

[元気：問 48]

「フレイル」という言葉を知っていますか。



<性別・年齢階層別：クロス集計>



《元気高齢者》

「内容を知っている」が 35.5%と最も多く、次いで「名前を聞いたこともない」が 31.5%、「名前は知っているが、内容は知らない」が 30.4%となっています。また、『名前を聞いたことがある』（「内容を知っている」＋「名前は知っているが、内容は知らない」）は 65.9%となっています。

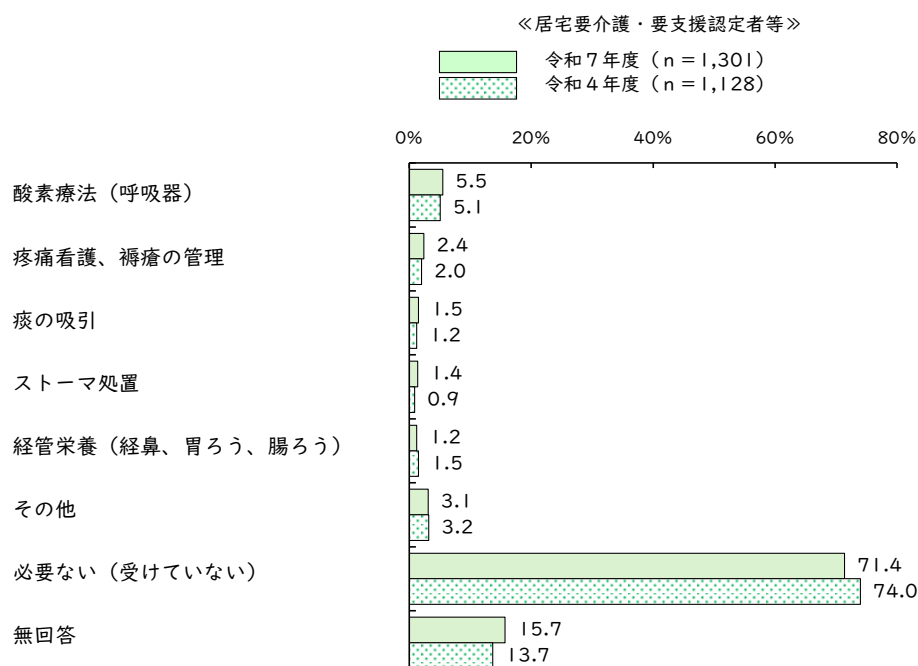
前回調査と比較すると、「内容を知っている」が 8.4 ポイント増加し、「名前を聞いたこともない」が 13.3 ポイント減少しています。

性別でみると、「内容を知っている」は女性の方が男性よりも 20 ポイント高くなっています。

年齢階層別にみると、84 歳までは「内容を知っている」が約 4 割を占めていますが、85 歳以上では約 2 割と半減しています。

[認定：問 38]

現在、受けている医療的ケアはありますか。（薬の服用や受診は含めません）
（複数回答可）



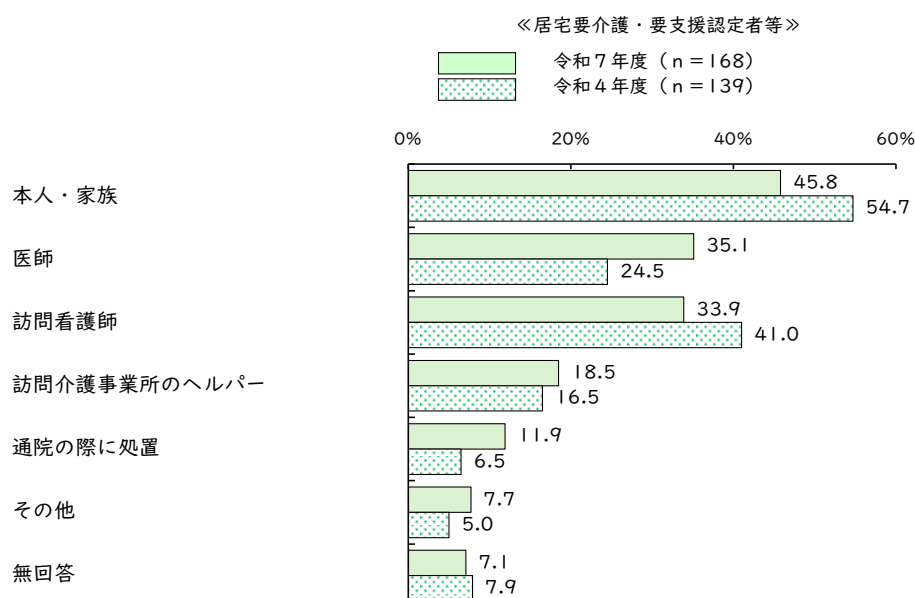
「居宅要介護・要支援認定者等」

受けている医療的ケアについては、「酸素療法（呼吸器）」が5.5%で最も多く、次いで「疼痛看護、褥瘡の管理」が2.4%、「痰の吸引」が1.5%の順となっています。

認定：問 38 で『医療的ケアを受けている』とお答えの方のみ

[認定：問 38－1]

医療的ケアを実施しているのはどなたですか。（複数回答可）



「居宅要介護・要支援認定者等」

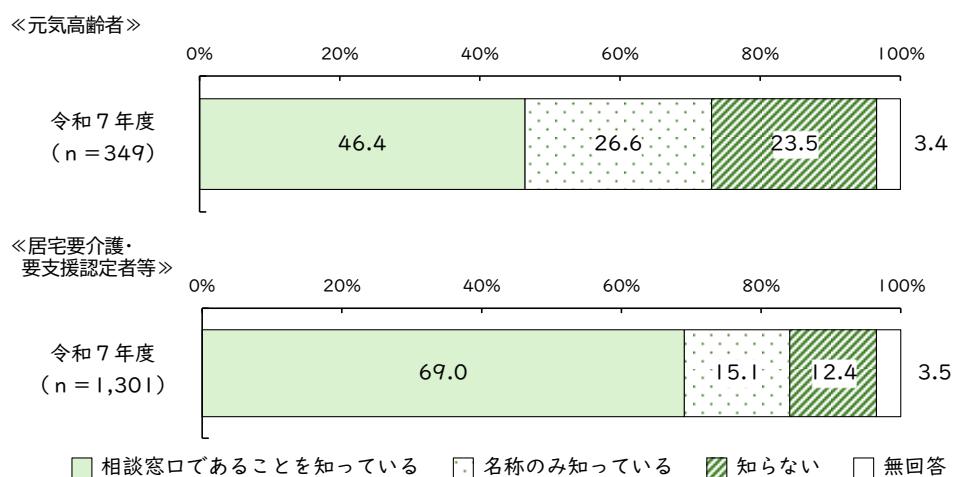
「本人・家族」が 45.8%と最も多く、次いで「医師」が 35.1%、「訪問看護師」が 33.9%などとなっています。

前回調査と比較すると、「本人・家族」と「訪問看護師」で5ポイント以上減少し、「医師」と「通院の際に処置」で5ポイント以上増加しています。

地域包括支援センターについて

[元気：問 59・認定：問 39] 【令和7年度 設問・選択肢変更】

あなたは、高齢者の総合的な生活支援の窓口である、地域包括支援センターのことを知っていますか。



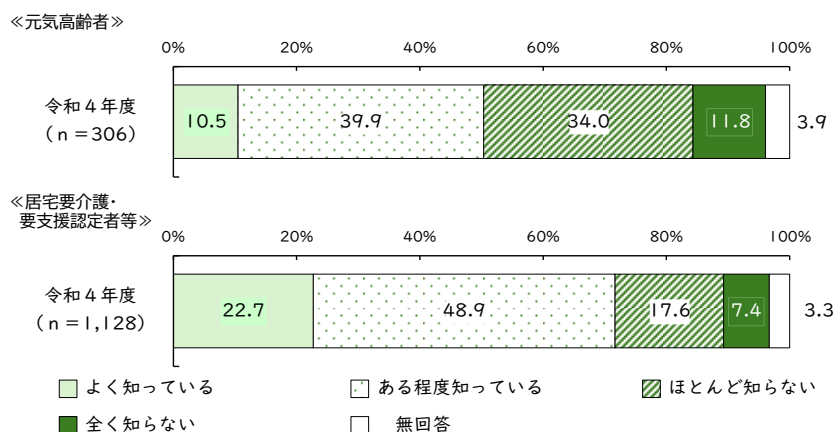
「元気高齢者」

「相談窓口であることを知っている」が46.4%と最も多く、次いで「名称のみ知っている」が26.6%、「知らない」が23.5%となっています。

「居宅要介護・要支援認定者等」

「相談窓口であることを知っている」が69.0%と最も多く、次いで「名称のみ知っている」が15.1%、「知らない」が12.4%となっています。

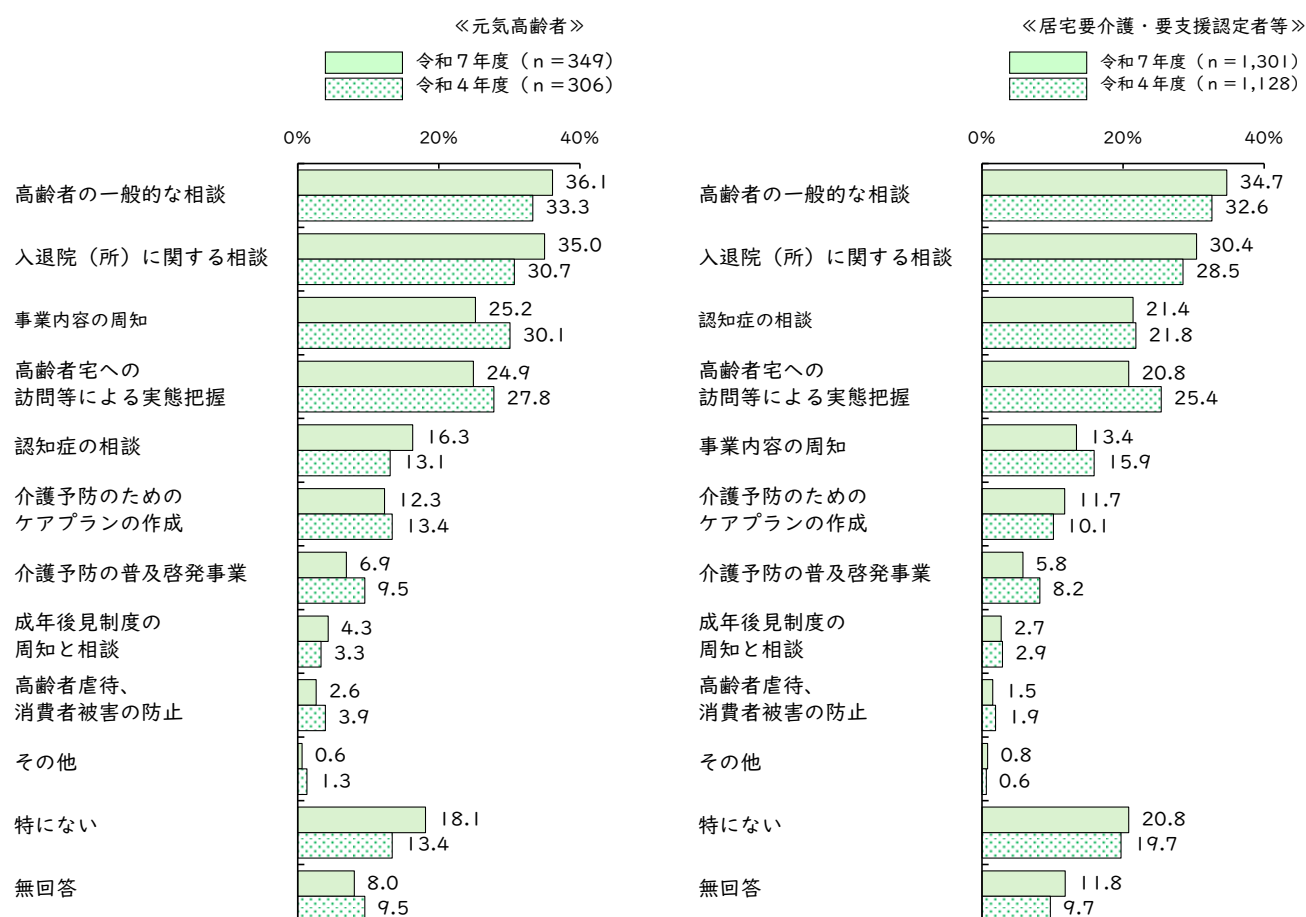
【参考：令和4年度の結果（設問は同じ文章）】



[元気：問 60・認定：問 40]

今後、地域包括支援センターに力を入れてほしい事業は何ですか。

(複数回答可：3 つまで)



《元気高齢者》

「高齢者の一般的な相談」が 36.1%と最も多く、次いで「入退院（所）に関する相談」が 35.0%、「事業内容の周知」が 25.2%などとなっています。

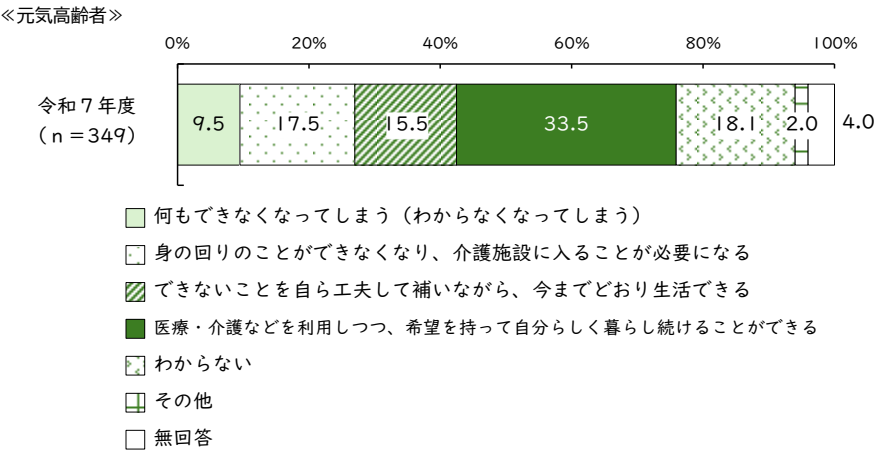
《居宅要介護・要支援認定者等》

「高齢者の一般的な相談」が 34.7%と最も多く、次いで「入退院（所）に関する相談」が 30.4%、「認知症の相談」が 21.4%などとなっています。

認知症について

[元気：問 61] 【令和7年度 設問・選択肢変更】

あなたは、認知症についてどのようなイメージを持っていますか。

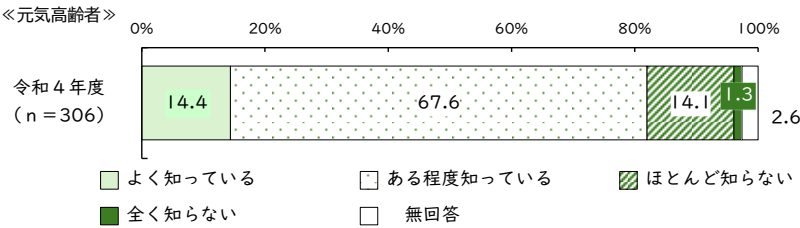


「元気高齢者」

「医療・介護などを利用しつつ、希望を持って自分らしく暮らし続けることができる」が33.5%と最も多く、次いで「わからない」が18.1%、「身の回りのことができなくなり、介護施設に入ることが必要になる」が17.5%などとなっています。

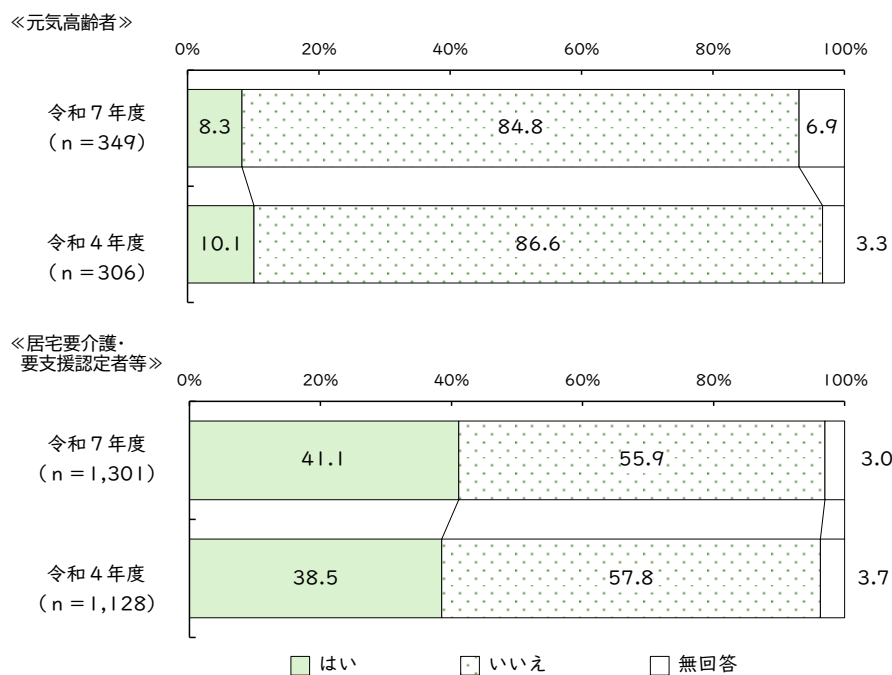
【参考：令和4年度の結果】

問 あなたは、認知症の症状を知っていますか。



[元気：問 62・認定：問 41]

現在、認知症の症状がある、または家族に認知症の症状がある人がいますか。



「元気高齢者」

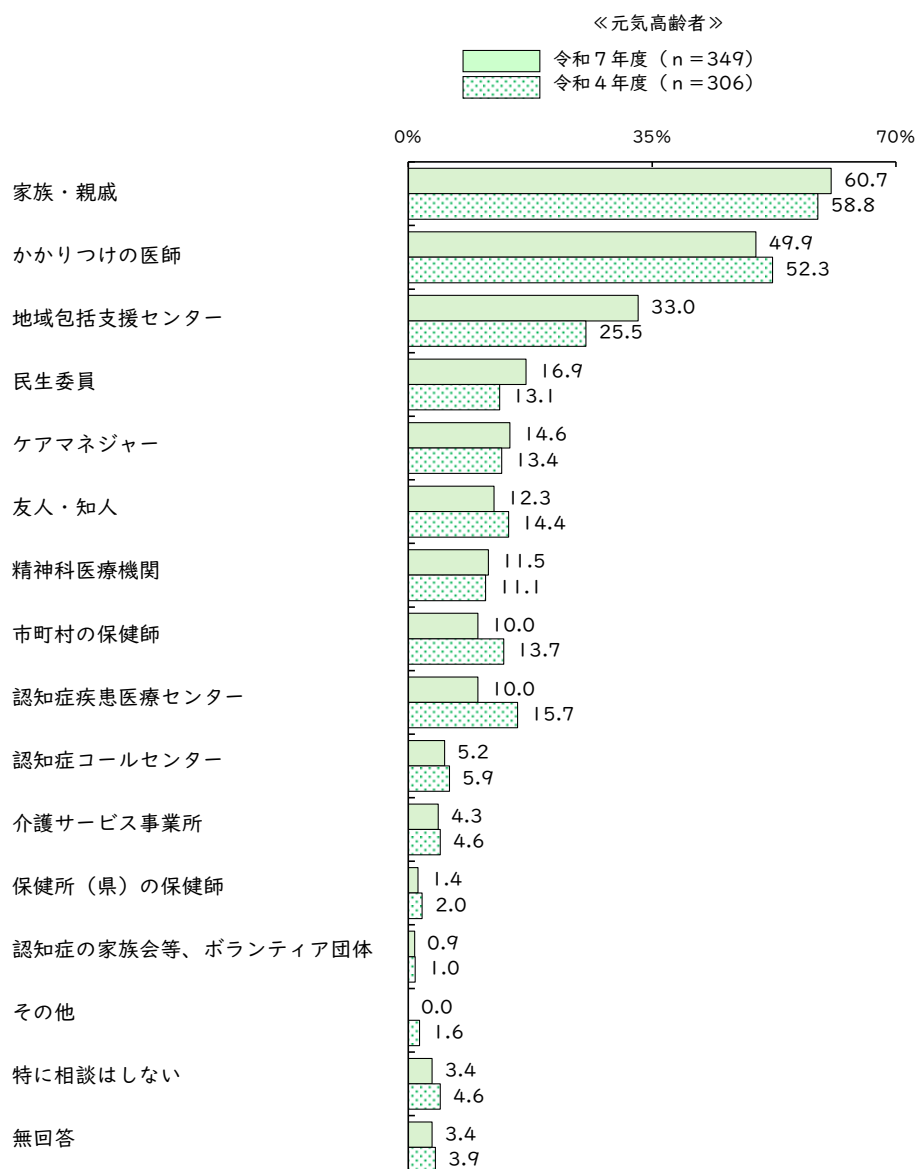
「はい」が8.3%、「いいえ」が84.8%となっています。

「居宅要介護・要支援認定者等」

「はい」が41.1%、「いいえ」が55.9%となっています。

[元気：問 63]

身近な方に認知症の疑いがある時に、どこに相談しますか。（複数回答可）



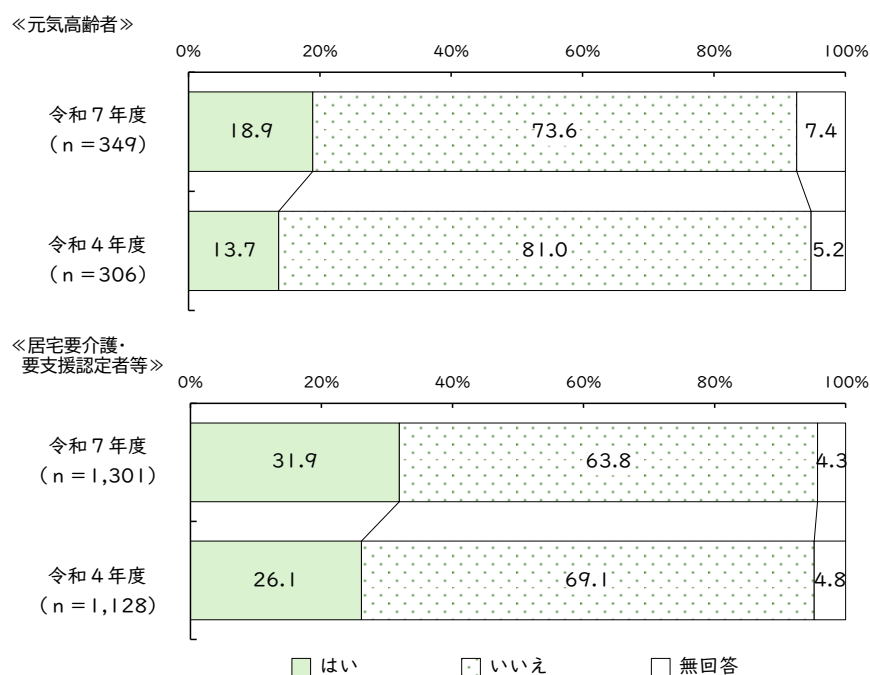
《元気高齢者》

「家族・親戚」が60.7%と最も多く、次いで「かかりつけの医師」が49.9%、「地域包括支援センター」が33.0%などとなっています。

前回調査と比較すると、「地域包括支援センター」が7.5ポイント増加し、「認知症疾患医療センター」が5.7ポイント減少しています。

[元気：問 64・認定：問 42]

認知症に関する相談窓口を知っていますか。



「元気高齢者」

「はい」が18.9%、「いいえ」が73.6%となっています。

前回調査と比較すると、「はい」が5.2ポイント増加し、「いいえ」が7.4ポイント減少しています。

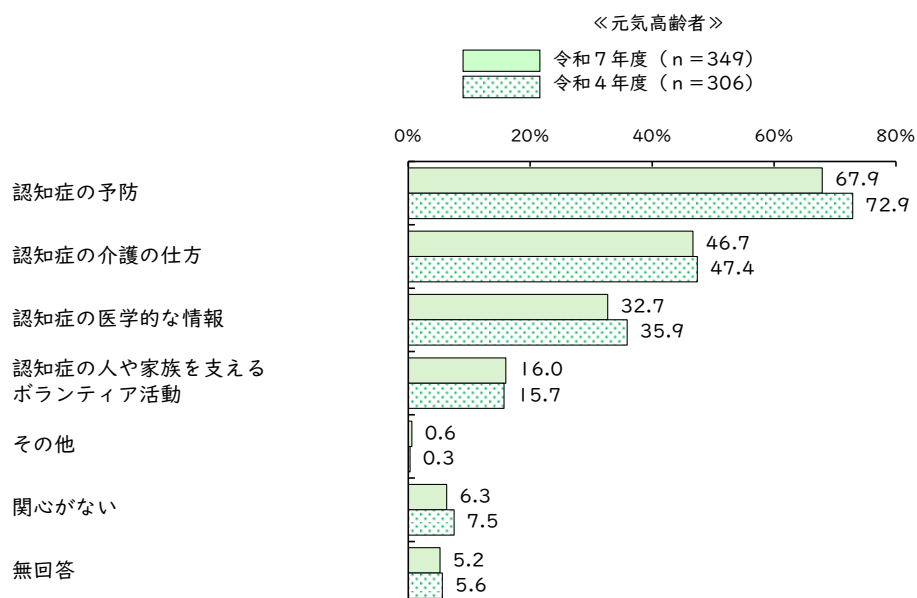
「居宅要介護・要支援認定者等」

「はい」が31.9%、「いいえ」が63.8%となっています。

前回調査と比較すると、「はい」が5.8ポイント増加し、「いいえ」が5.3ポイント減少しています。

[元気：問 65]

あなたは、認知症のどのようなことに関心がありますか。（複数回答可）



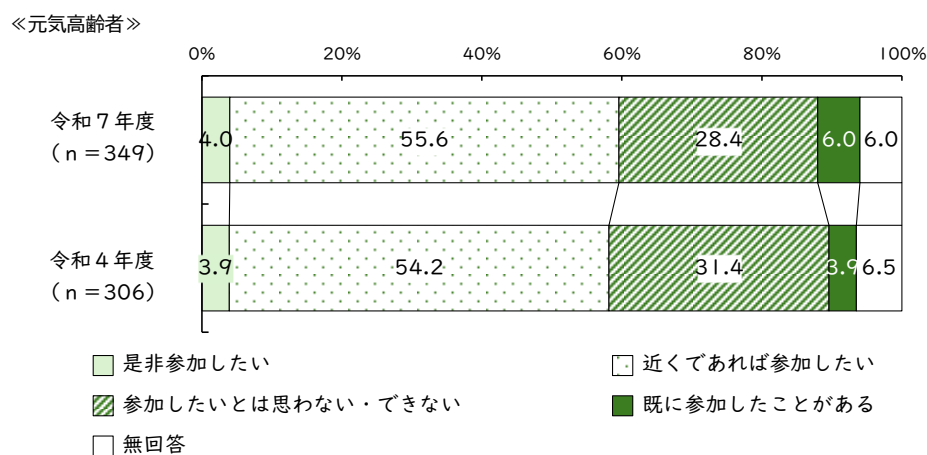
《元気高齢者》

「認知症の予防」が67.9%と最も多く、次いで「認知症の介護の仕方」が46.7%、「認知症の医学的な情報」が32.7%などとなっています。

前回調査と比較すると、「認知症の予防」が5.0ポイント減少しています。

[元気：問 66]

認知症に関する正しい知識や、認知症高齢者とその家族への支援に関する知識を習得する講座（認知症サポーター養成講座）や、認知症当事者の話を聞く会など、認知症に対する理解を深める機会があれば、あなたは参加したいと思いますか。

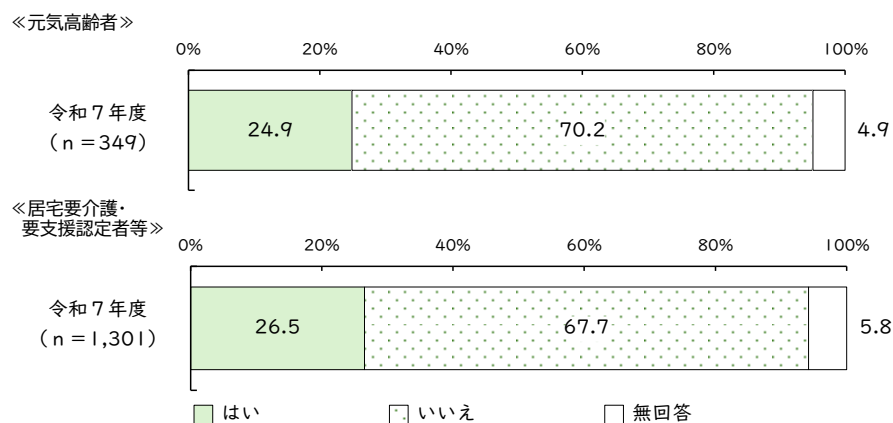


《元気高齢者》

「近くであれば参加したい」が 55.6%と最も多く、次いで「参加したいとは思わない・できない」が 28.4%、「既に参加したことがある」が 6.0%などとなっています。また、『参加意向がある』（「是非参加したい」＋「近くであれば参加したい」＋「参加したことがある」）は 65.6%となっています。

[元気：問 68・認定：問 43] **【令和7年度 新規】**

国が示す「新しい認知症観」を知っていますか。



「元気高齢者」

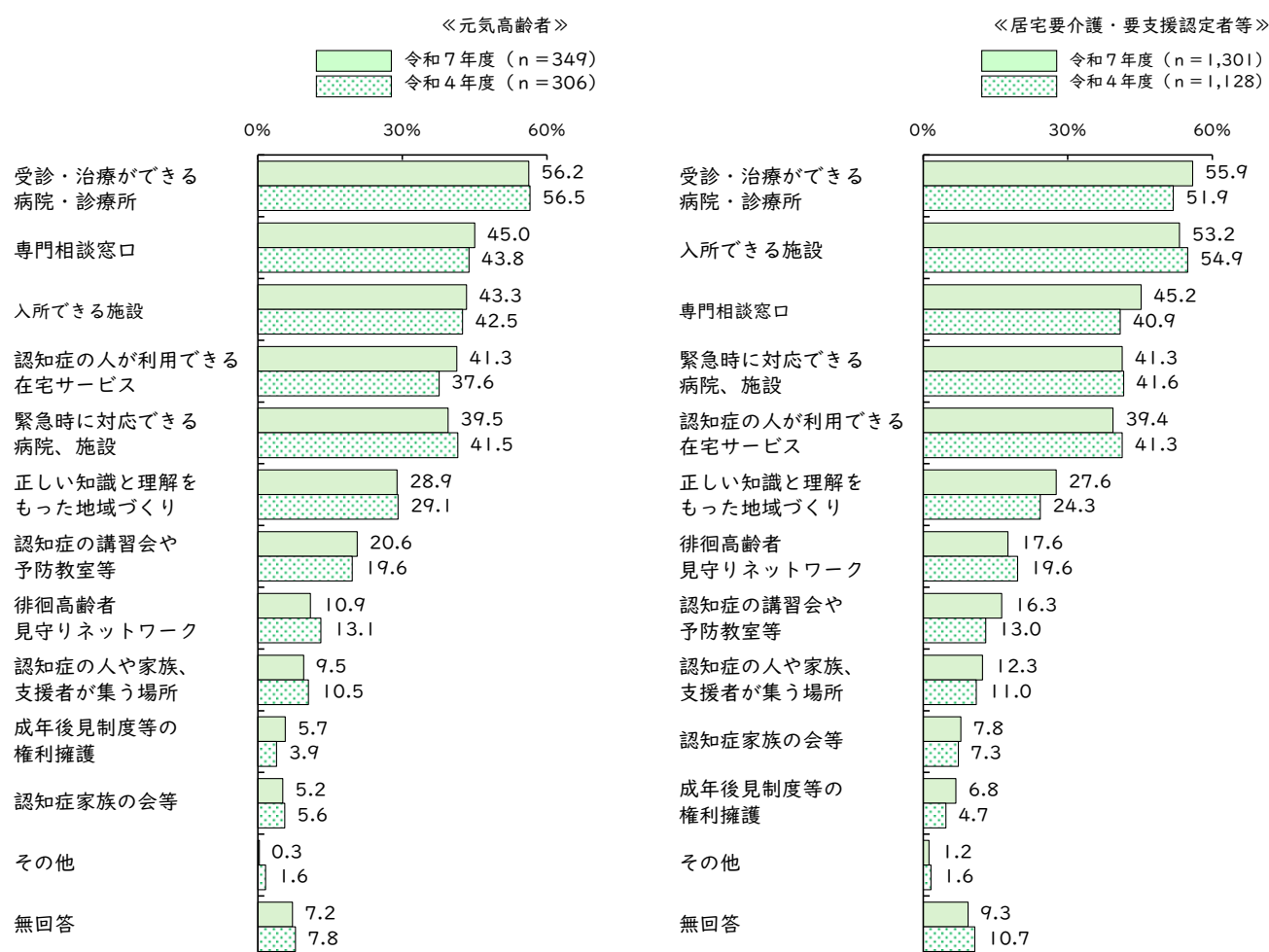
「はい」が24.9%、「いいえ」が70.2%となっています。

「居宅要介護・要支援認定者等」

「はい」が26.5%、「いいえ」が67.7%となっています。

[元気：問 67・認定：問 44]

どのようなことが充実すれば、認知症になっても安心して暮らしていくことができると思いますか。（複数回答可）



《元気高齢者》

「受診・治療ができる病院・診療所」が 56.2%と最も多く、次いで「専門相談窓口」が 45.0%、「入所できる施設」が 43.3%などとなっています。

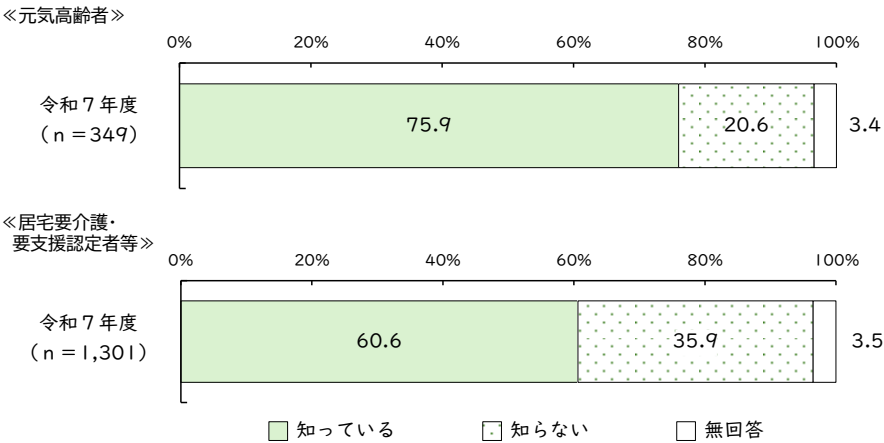
《居宅要介護・要支援認定者等》

「受診・治療ができる病院・診療所」が 55.9%と最も多く、次いで「入所できる施設」が 53.2%、「専門相談窓口」が 45.2%などとなっています。

安心・安全の地域づくりについて

[元気：問 69・認定：問 45] 【令和7年度 新規】

災害時に指定されている避難所や避難場所が、どこにあるかご存じですか。



《元気高齢者》

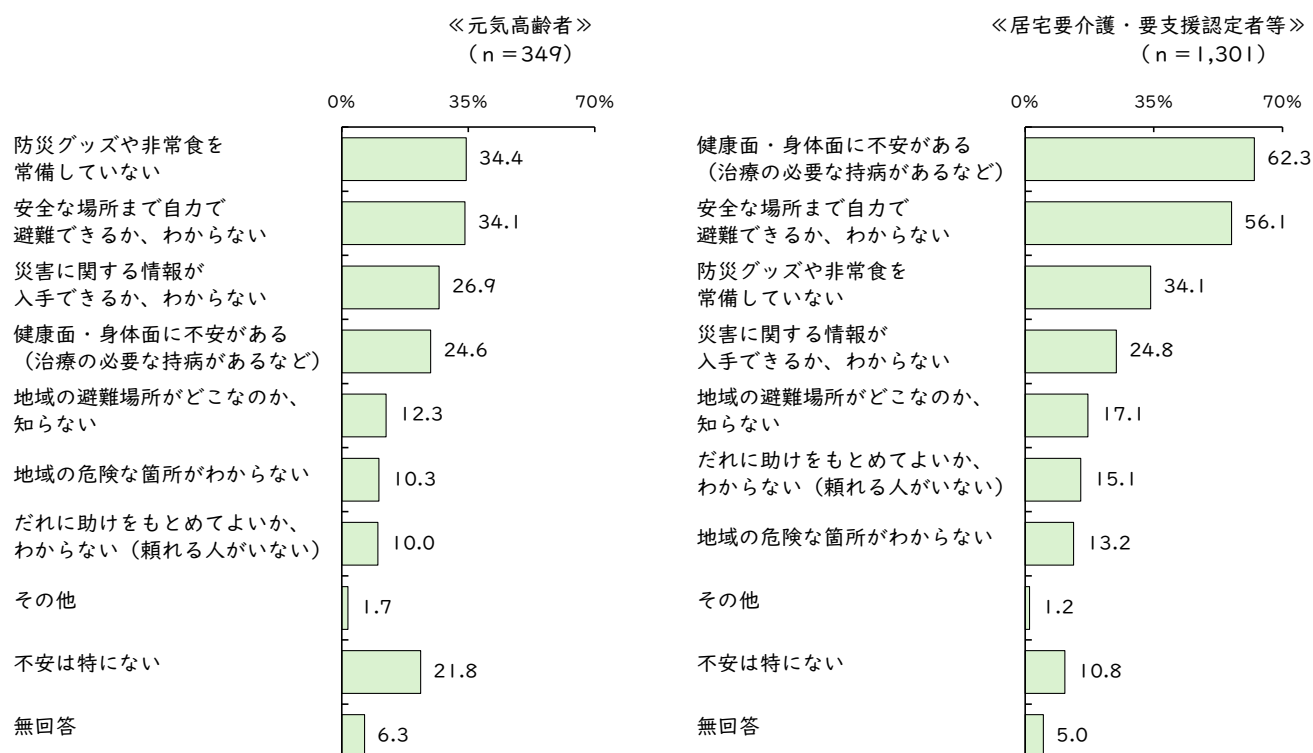
「知っている」が75.9%、「知らない」が20.6%となっています。

《居宅要介護・要支援認定者等》

「知っている」が60.6%、「知らない」が35.9%となっています。

[元気：問 70・認定：問 46] 【令和7年度 新規】

地震や風水害などの災害時に対し、不安に思うことはありますか。(複数回答可)



《元気高齢者》

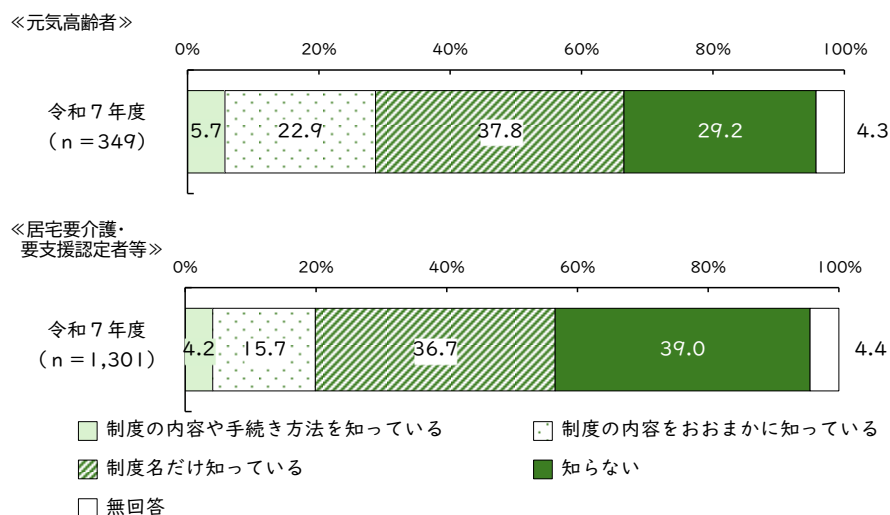
「防災グッズや非常食を常備していない」が 34.4%と最も多く、次いで「安全な場所まで自力で避難できるか、わからない」が 34.1%、「災害に関する情報が入手できるか、わからない」が 26.9%などとなっています。

《居宅要介護・要支援認定者等》

「健康面・身体面に不安がある (治療の必要な持病があるなど)」が 62.3%と最も多く、次いで「安全な場所まで自力で避難できるか、わからない」が 56.1%、「防災グッズや非常食を常備していない」が 34.1%などとなっています。

[元気：問 71・認定：問 47] **【令和7年度 新規】**

成年後見制度について知っていますか。



「元気高齢者」

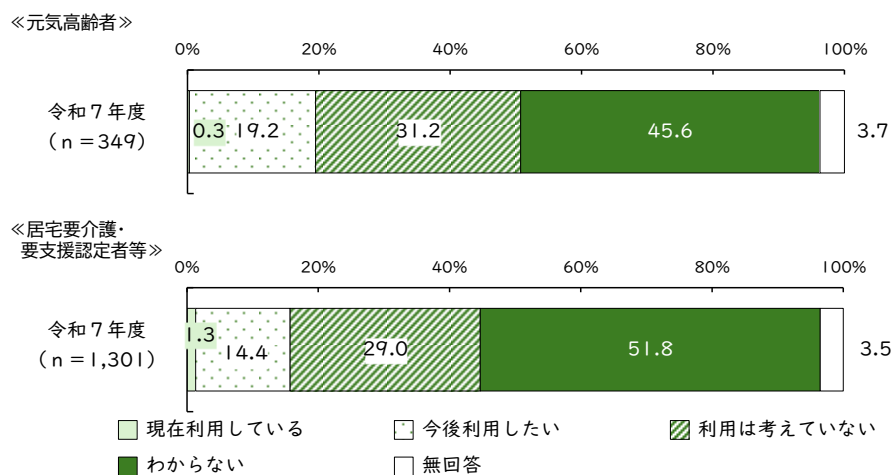
「制度名だけ知っている」が 37.8%と最も多く、次いで「知らない」が 29.2%、「制度の内容をおおまかに知っている」が 22.9%などとなっています。また、『名前を聞いたことがある』（「制度の内容や手続き方法を知っている」＋「制度の内容をおおまかに知っている」＋「制度名だけ知っている」）は 66.4%となっています。

「居宅要介護・要支援認定者等」

「知らない」が 39.0%と最も多く、次いで「制度名だけ知っている」が 36.7%、「制度の内容をおおまかに知っている」が 15.7%などとなっています。また、『名前を聞いたことがある』は 56.6%となっています。

[元気：問 72・認定：問 48] 【令和7年度 新規】

ご自身の判断能力が十分でなくなった時、成年後見制度を利用したいと思いますか。



「元気高齢者」

「わからない」が 45.6%と最も多く、次いで「利用は考えていない」が 31.2%、「今後利用したい」が 19.2%などとなっています。また、『利用意向がある』（「現在利用している」＋「今後利用したい」）は 19.5%となっています。

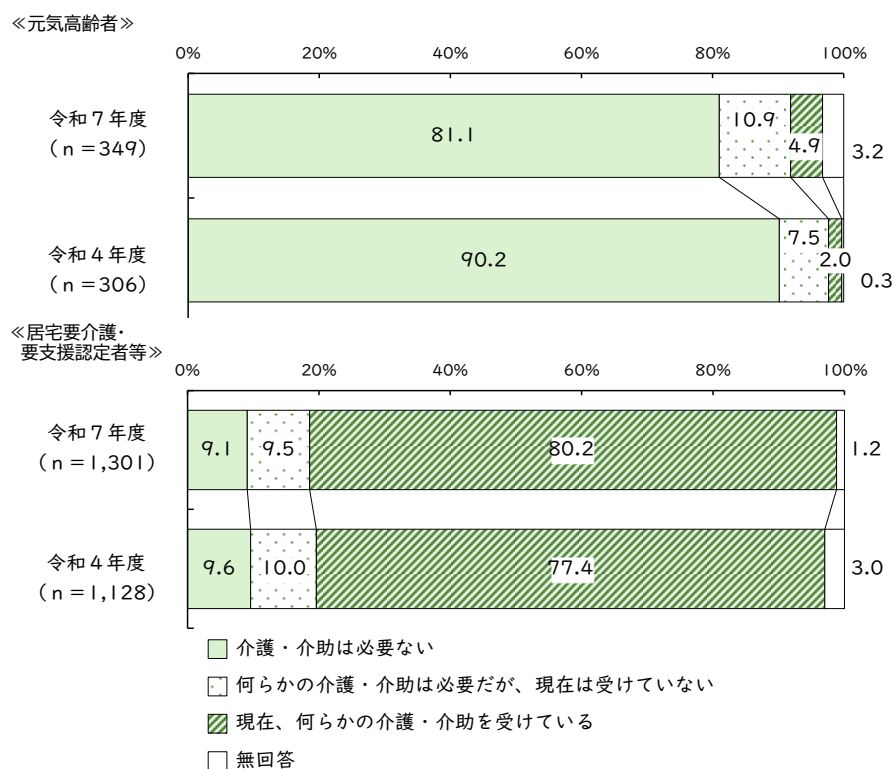
「居宅要介護・要支援認定者等」

「わからない」が 51.8%と最も多く、次いで「利用は考えていない」が 29.0%、「今後利用したい」が 14.4%などとなっています。また、『利用意向がある』は 15.7%となっています。

介護の状況・希望する介護サービスについて

[元気：問4・認定：問49]

あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助を受けていますか。



「元気高齢者」

「介護・介助は必要ない」が81.1%と最も多く、次いで「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」が10.9%、「現在、何らかの介護・介助を受けている」が4.9%となっています。また、『介護・介助が必要である』（「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」＋「現在、何らかの介護・介助を受けている」）は15.8%となっています。

前回調査と比較すると、「介護・介助は必要ない」が9.1ポイント減少しています。

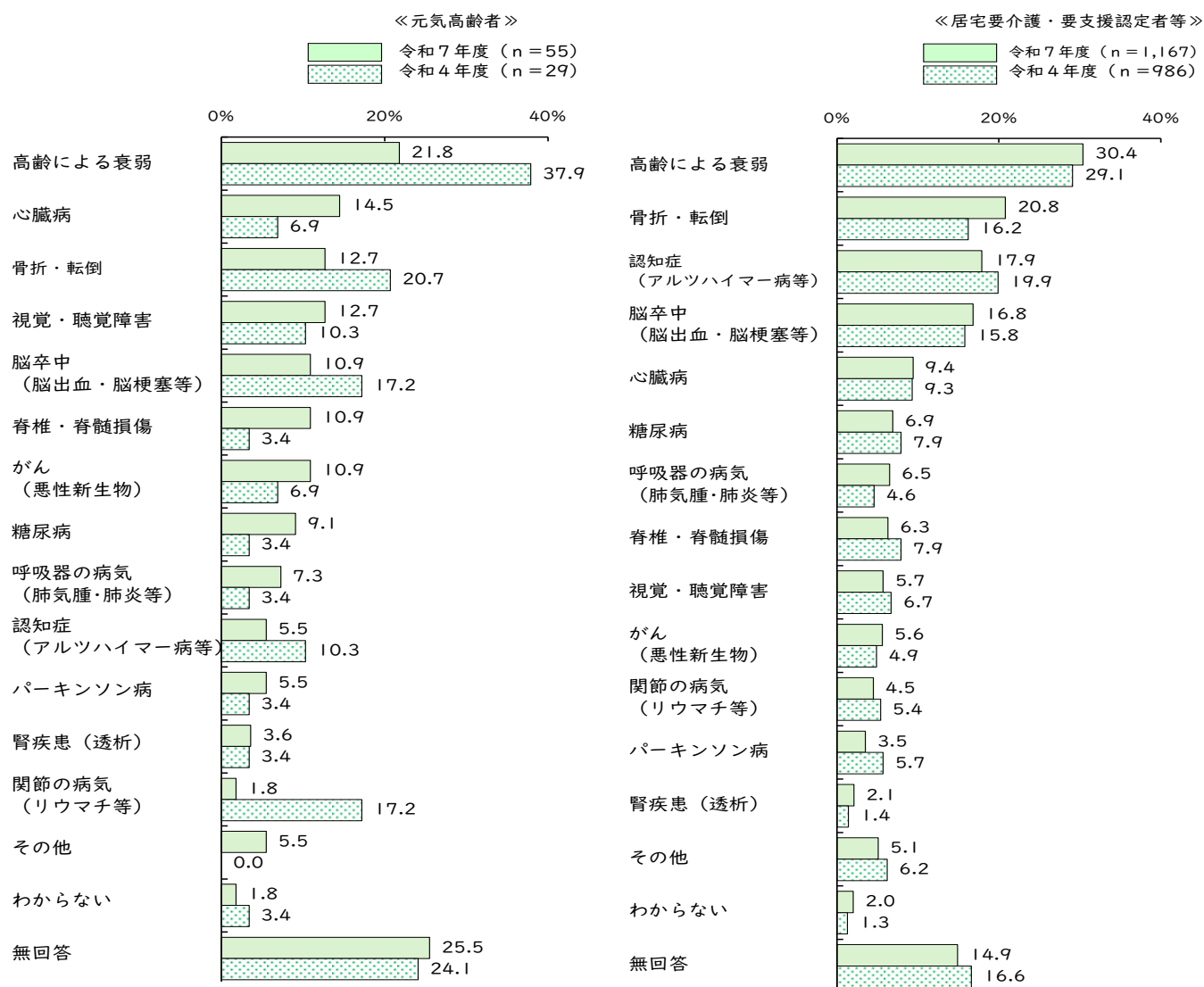
「居宅要介護・要支援認定者等」

「現在、何らかの介護・介助を受けている」が80.2%と最も多く、次いで「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」が9.5%、「介護・介助は必要ない」が9.1%となっています。また、『介護・介助が必要である』は89.7%となっています。

元気：問4・認定：問49で「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」、「現在、何らかの介護・介助を受けている」とお答えの方のみ

[元気：問4－1・認定：問49－1]

介護・介助が必要になった主な原因は何ですか。（複数回答可）



「元気高齢者」

「高齢による衰弱」が21.8%と最も多く、次いで「心臓病」が14.5%、「骨折・転倒」、「視覚・聴覚障害」がそれぞれ12.7%などとなっています。

前回調査と比較すると、「高齢による衰弱」、「骨折・転倒」、「脳卒中（脳出血・脳梗塞等）」、「関節の病気（リウマチ等）」で5ポイント以上減少し、「心臓病」と「糖尿病」で5ポイント以上増加しています。

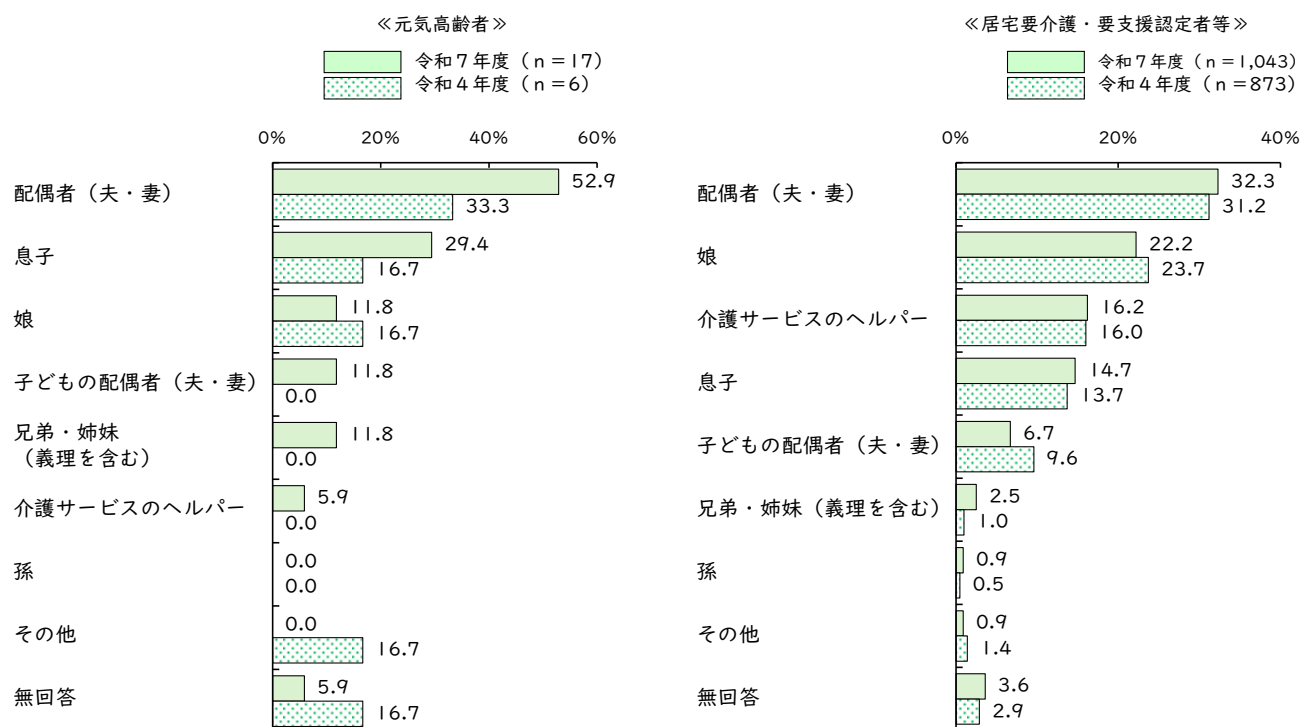
「居宅要介護・要支援認定者等」

「高齢による衰弱」が30.4%と最も多く、次いで「骨折・転倒」が20.8%、「認知症（アルツハイマー病等）」が17.9%などとなっています。

元気：問4・認定：問49で「現在、何らかの介護・介助を受けている」とお答えの方のみ

[元気：問4-2・認定：問49-2]

主にどなたの介護・介助を受けていますか。（元気のみ：複数回答可）



«元気高齢者»

「配偶者（夫・妻）」が52.9%と最も多く、次いで「息子」が29.4%、「娘」、「子どもの配偶者（夫・妻）」、「兄弟・姉妹（義理を含む）」がそれぞれ11.8%などとなっています。

前回調査と比較すると、「配偶者（夫・妻）」、「息子」、「子どもの配偶者（夫・妻）」、「介護サービスのヘルパー」で5ポイント以上増加しています。

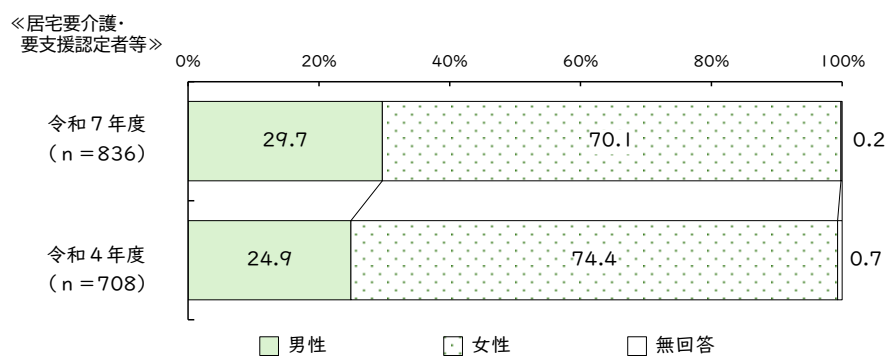
«居宅要介護・要支援認定者等»

「配偶者（夫・妻）」が32.3%と最も多く、次いで「娘」が22.2%、「介護サービスのヘルパー」が16.2%などとなっています。

認定：問 49-2 で『主な介護・介助者は家族』とお答えの方のみ

[認定：問 49-3]

主に介護・介助している方の性別は、次のどちらですか。



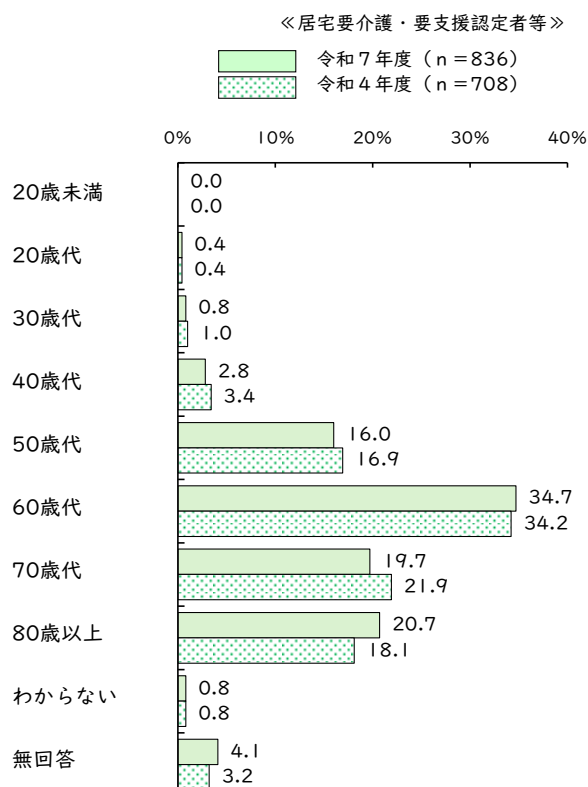
「主に介護・介助している方の性別は、次のどちらですか。」の調査結果（認定：問 49-2 で『主な介護・介助者は家族』とお答えの方のみ）

「男性」が 29.7%、「女性」が 70.1%となっています。

認定：問 49-2 で『主な介護・介助者は家族』とお答えの方のみ

[認定：問 49-4]

主に介護・介助している方の年齢を教えてください。



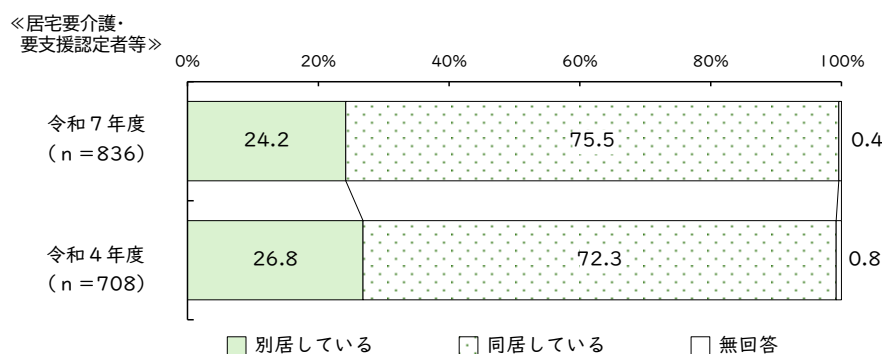
《居宅要介護・要支援認定者等》

「60歳代」が34.7%と最も多く、次いで「80歳以上」が20.7%、「70歳代」が19.7%などとなっています。

認定：問 49-2 で『主な介護・介助者は家族』とお答えの方のみ

[認定：問 49-5]

主に介護・介助している方は同居していますか。



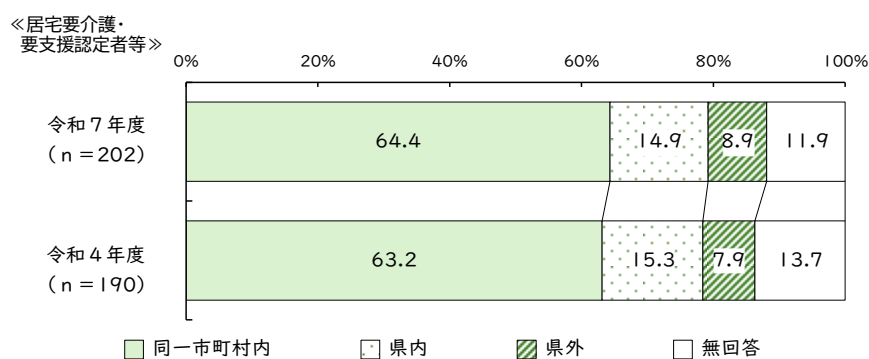
「主に介護・介助している方は同居していますか。」

「別居している」が24.2%、「同居している」が75.5%となっています。

認定：問 49-5 で「別居している」とお答えの方のみ

[認定：問 49-5-1]

主に介護・介助している方のお住まいはどちらですか。



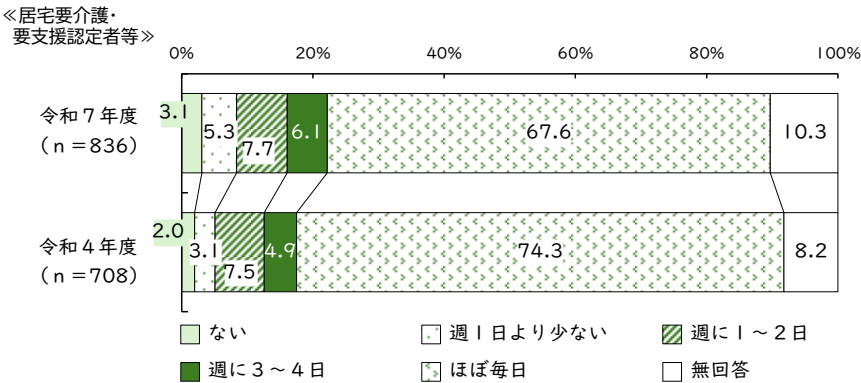
「主に介護・介助している方のお住まいはどちらですか。」

「同一市町村内」が64.4%と最も多く、次いで「県内」が14.9%、「県外」が8.9%となっています。

認定：問 49-2で『主な介護・介助者は家族』とお答えの方のみ

[認定：問 49-6]

ご家族、ご親族の方の介護・介助は、週にどのくらいありますか。（同居していない親族等からの介護・介助を含みます）



「ご家族、ご親族の方の介護・介助は、週にどのくらいありますか。」の回答割合

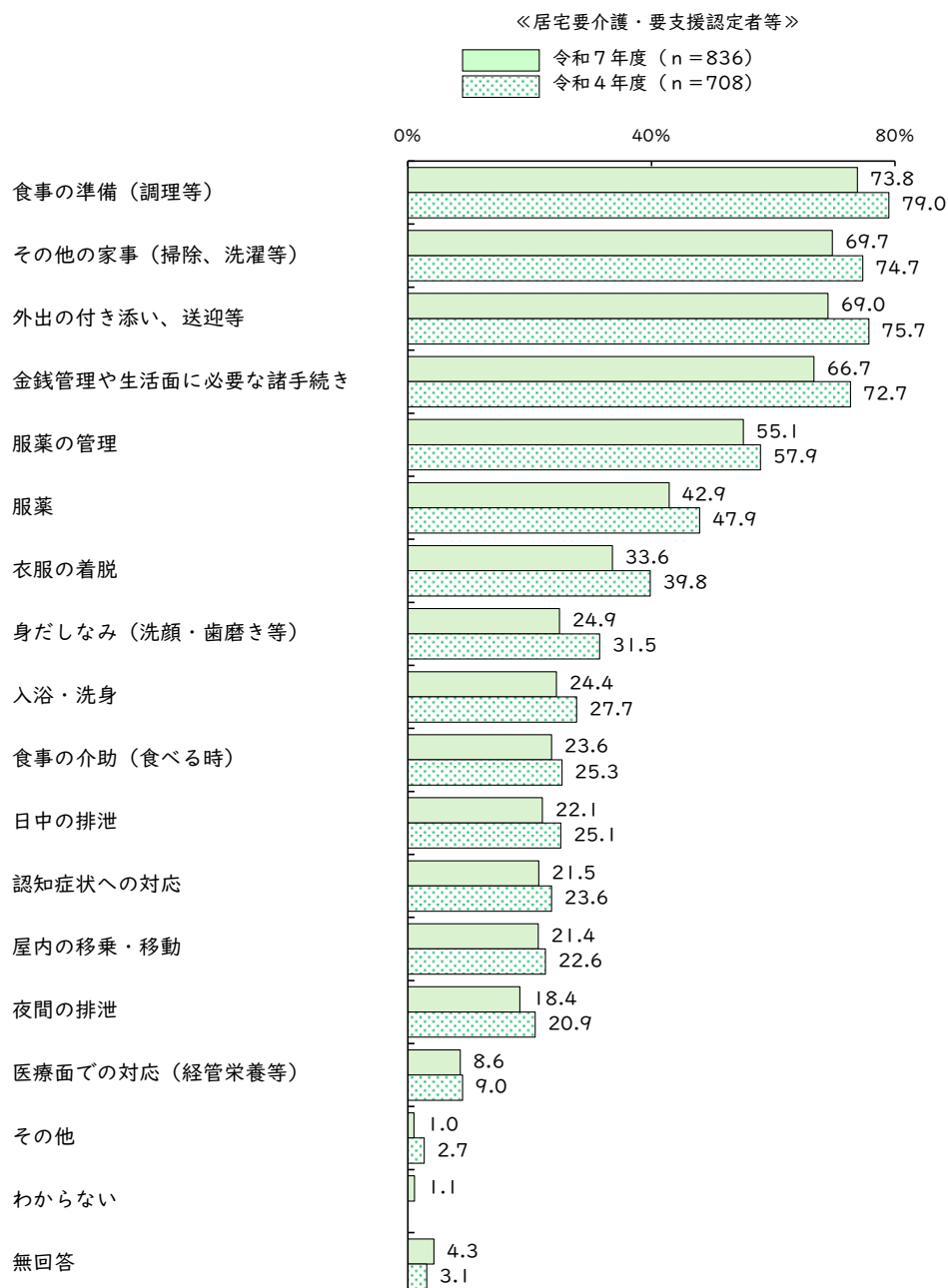
「ほぼ毎日」が67.6%と突出しています。また、『週1日以上』（「ほぼ毎日」＋「週に3～4日」＋「週に1～2日」）は81.4%となっています。

前回調査と比較すると、「ほぼ毎日」が6.7ポイント減少しています。

認定：問 49-2で『主な介護・介助者は家族』とお答えの方のみ

[認定：問 49-7]

現在、主に介護・介助している方が行っている介護は何ですか。（複数回答可）



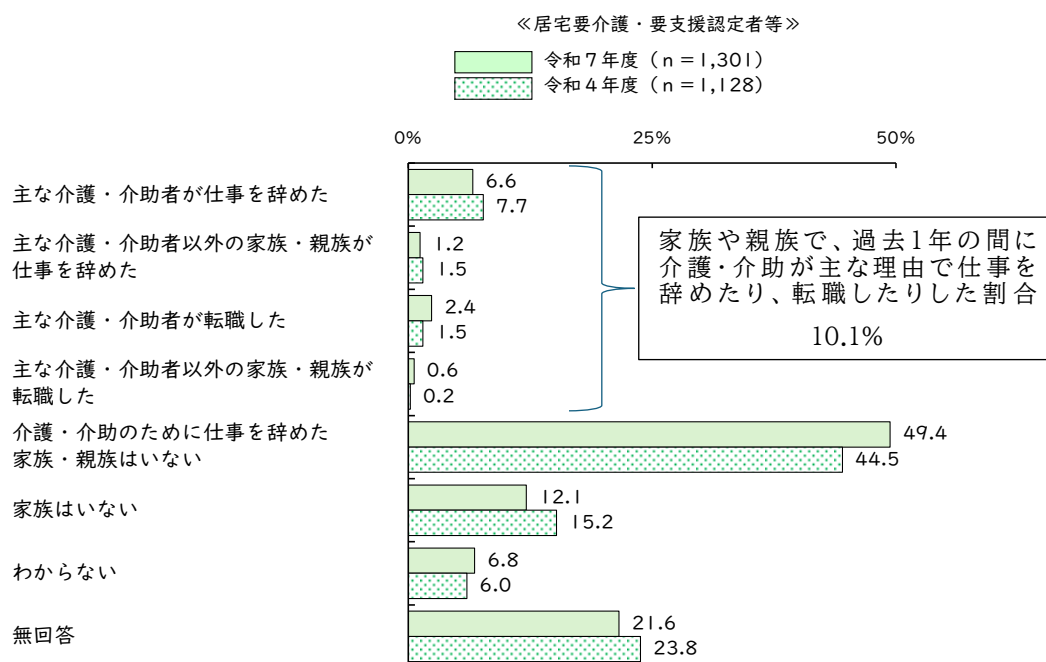
「居宅要介護・要支援認定者等」

「食事の準備（調理等）」が73.8%と最も多く、次いで「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が69.7%、「外出の付き添い、送迎等」が69.0%などとなっています。

前回調査と比較すると、「食事の準備（調理等）」、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」、「外出の付き添い、送迎等」で、「金銭管理や生活面に必要な手続き」、「服薬の管理」、「衣服の着脱」、「身だしなみ（洗顔・歯磨き等）」で5ポイント以上減少しています。

[認定：問 50]

ご家族やご親族の中で、ご本人（調査対象者）の介護・介助を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めたり、転職した方はいますか。（複数回答可）

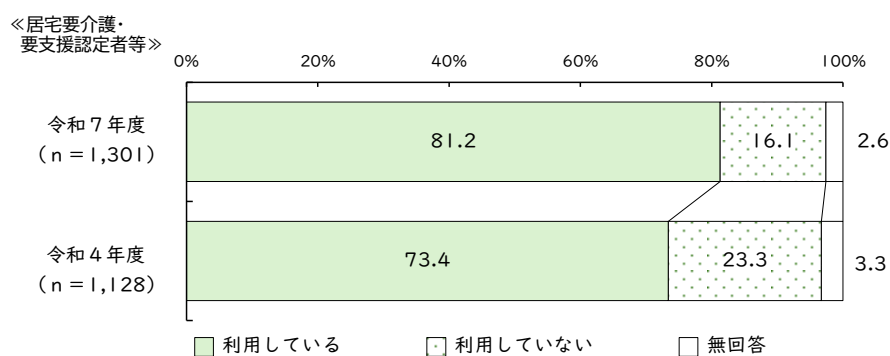


「居宅要介護・要支援認定者等」

家族や親族で、過去1年の間に、介護・介助が主な理由で仕事を辞めたり、転職したりした割合は、全体から「介護・介助のために仕事を辞めた家族・親族はいない」、「家族はいない」、「わからない」、「無回答」を除いた10.1%で、その内訳は「主な介護・介助者が仕事を辞めた」が6.6%と最も多くなっています。

[認定：問 51]

現在、（住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の）介護保険サービスを利用していますか。



「居宅要介護・要支援認定者等」

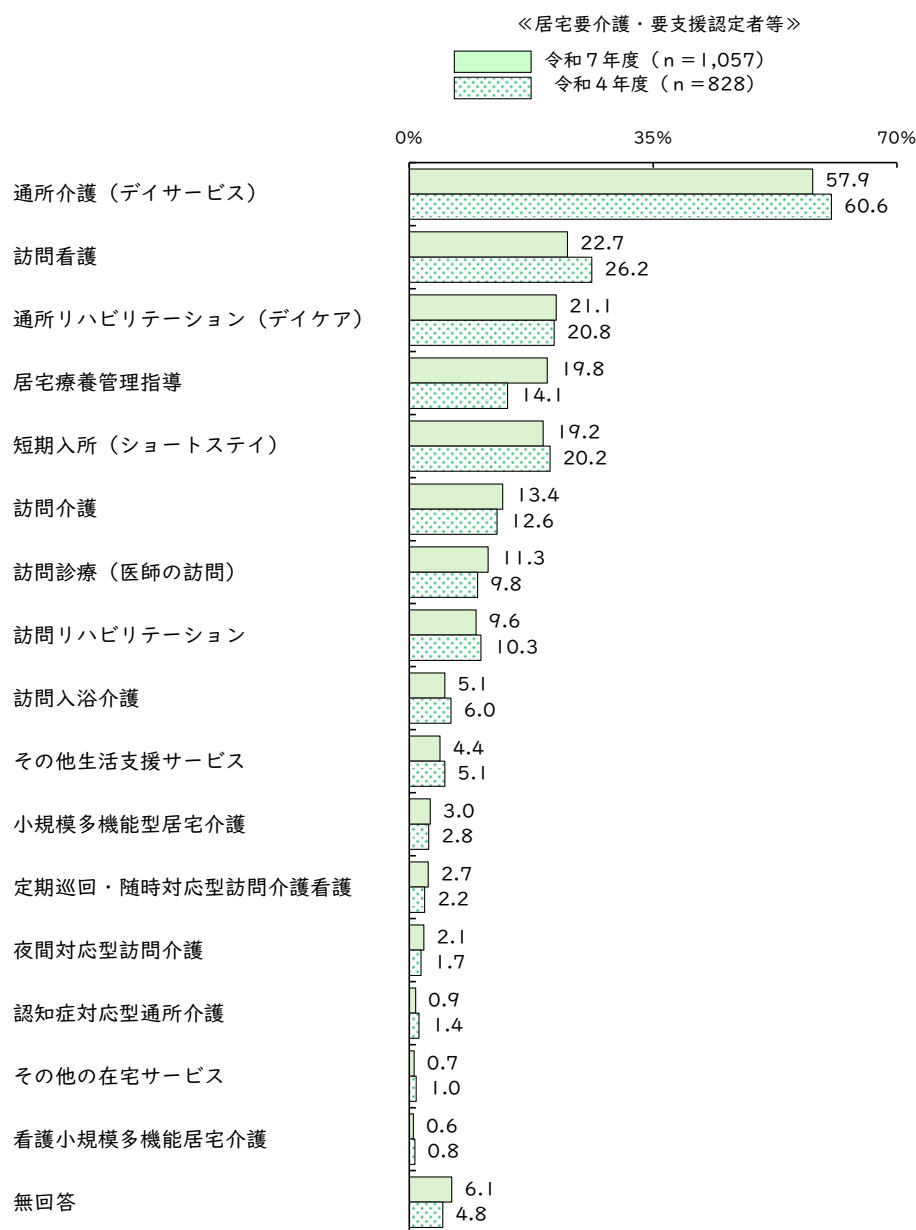
「利用している」が81.2%、「利用していない」が16.1%となっています。

前回調査と比較すると、「利用している」が7.8ポイント増加し、「利用していない」が7.2ポイント減少しています。

認定：問51で「利用している」とお答えの方のみ

〔認定：問51-1〕

利用している在宅サービスは何ですか。（複数回答可）



「居宅要介護・要支援認定者等」

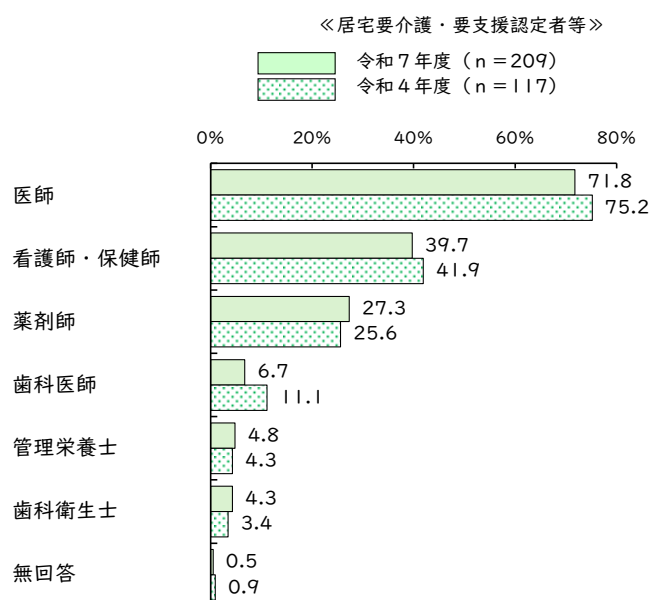
「通所介護（デイサービス）」が57.9%と最も多く、次いで「訪問看護」が22.7%、「通所リハビリテーション（デイケア）」が21.1%などとなっています。

前回調査と比較すると、「居宅療養管理指導」が5.7ポイント増加しています。

認定：問 51-1 で「医師や薬剤師などによる療養上の指導（居宅療養管理指導）」とお答えの方のみ

[認定：問 51-1-1]

だれ（職種）に管理指導をしていただいていますか。（複数回答可）



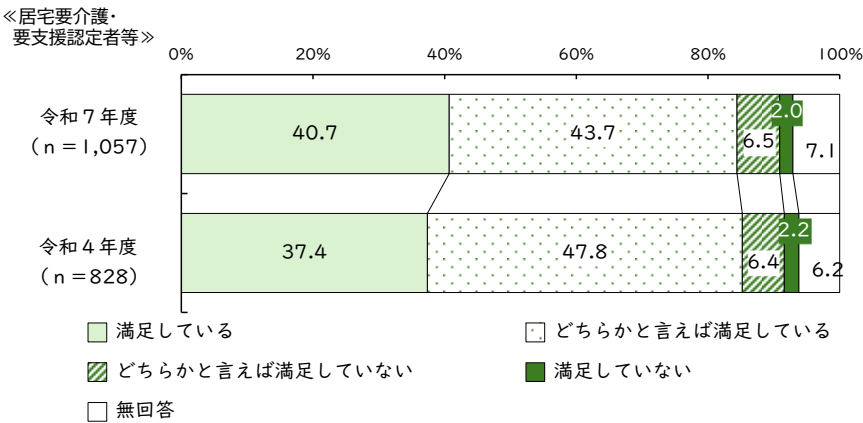
「居宅要介護・要支援認定者等」

「医師」が 71.8%と最も多く、次いで「看護師・保健師」が 39.7%、「薬剤師」が 27.3%などとなっています。

認定：問 51 で「利用している」とお答えの方のみ

[認定：問 51-2]

利用している介護保険サービスに満足していますか。



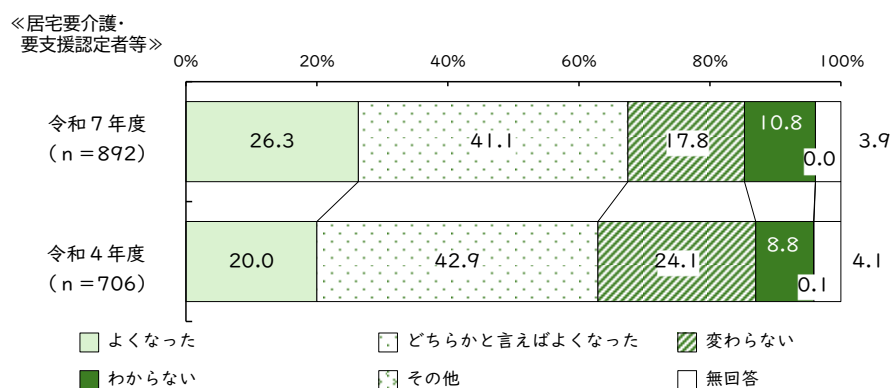
「利用している介護保険サービスに満足していますか。」

「どちらかと言えば満足している」が43.7%と最も多く、次いで「満足している」が40.7%、「どちらかと言えば満足していない」が6.5%などとなっています。また、『満足している』（「満足している」＋「どちらかと言えば満足している」）は84.4%、『満足していない』（「満足していない」＋「どちらかと言えば満足していない」）は8.5%となっています。

認定：問 51-2 で「満足している」、「どちらかと言えば満足している」とお答えの方のみ

[認定：問 51-2-1]

介護保険サービスを利用したことにより、心身の状態に変化がありましたか。



「介護保険サービスを利用したことにより、心身の状態に変化がありましたか。」の調査結果（認定：問 51-2-1）

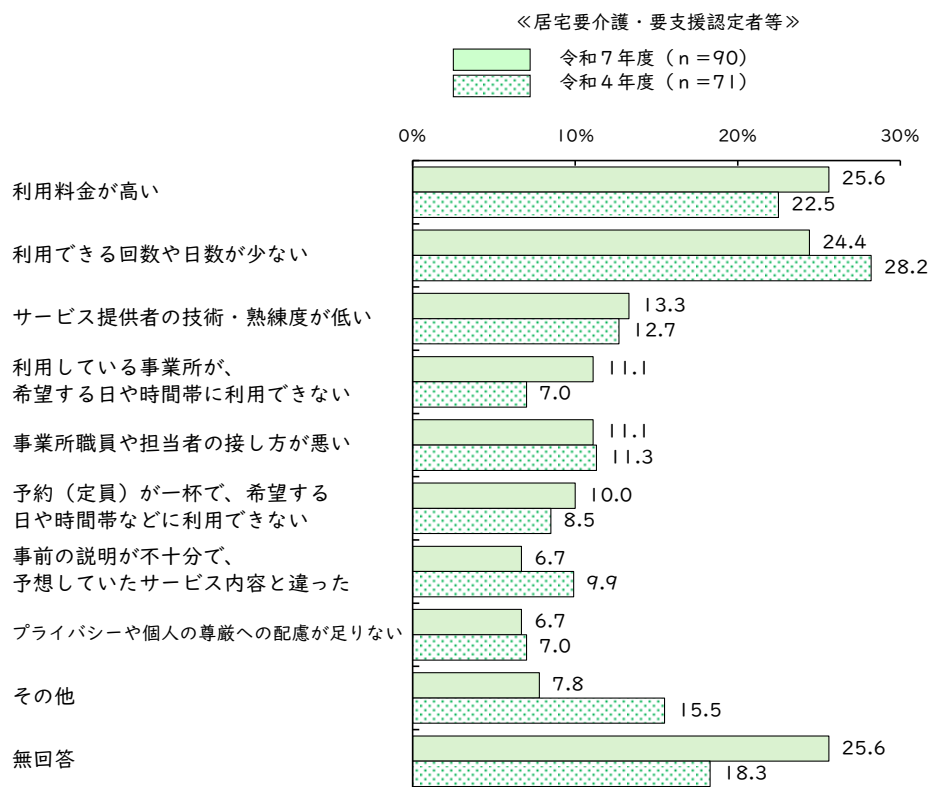
「どちらかと言えばよくなった」が 41.1%と最も多く、次いで「よくなった」が 26.3%、「変わらない」が 17.8%などとなっています。また、『よくなった』（「よくなった」＋「どちらかと言えばよくなった」）は 67.4%となっています。

前回調査と比較すると、「よくなった」が 6.3 ポイント増加し、「変わらない」が 6.5 ポイント減少しています。

認定：問51-2で「どちらかと言えば満足していない」、「満足していない」とお答えの方のみ

[認定：問51-2-2]

どのようなところが不満ですか。（複数回答可：3つまで）



「居宅要介護・要支援認定者等」

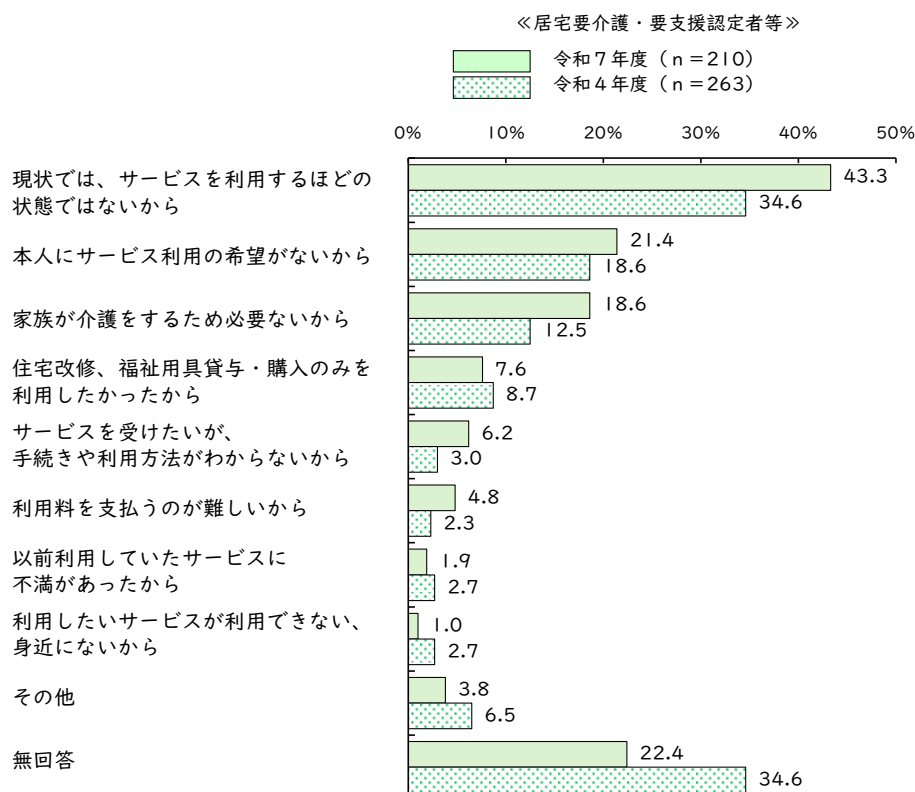
「利用料金が低い」が25.6%と最も多く、次いで「利用できる回数や日数が少ない」が24.4%、「サービス提供者の技術・熟練度が低い」が13.3%などとなっています。

前回調査と比較すると、「その他」が7.7ポイント減少しています。

認定：問 51 で「利用していない」とお答えの方のみ

[認定：問 51-3]

介護保険サービスを利用していない理由は何ですか。（複数回答可）



「居宅要介護・要支援認定者等」

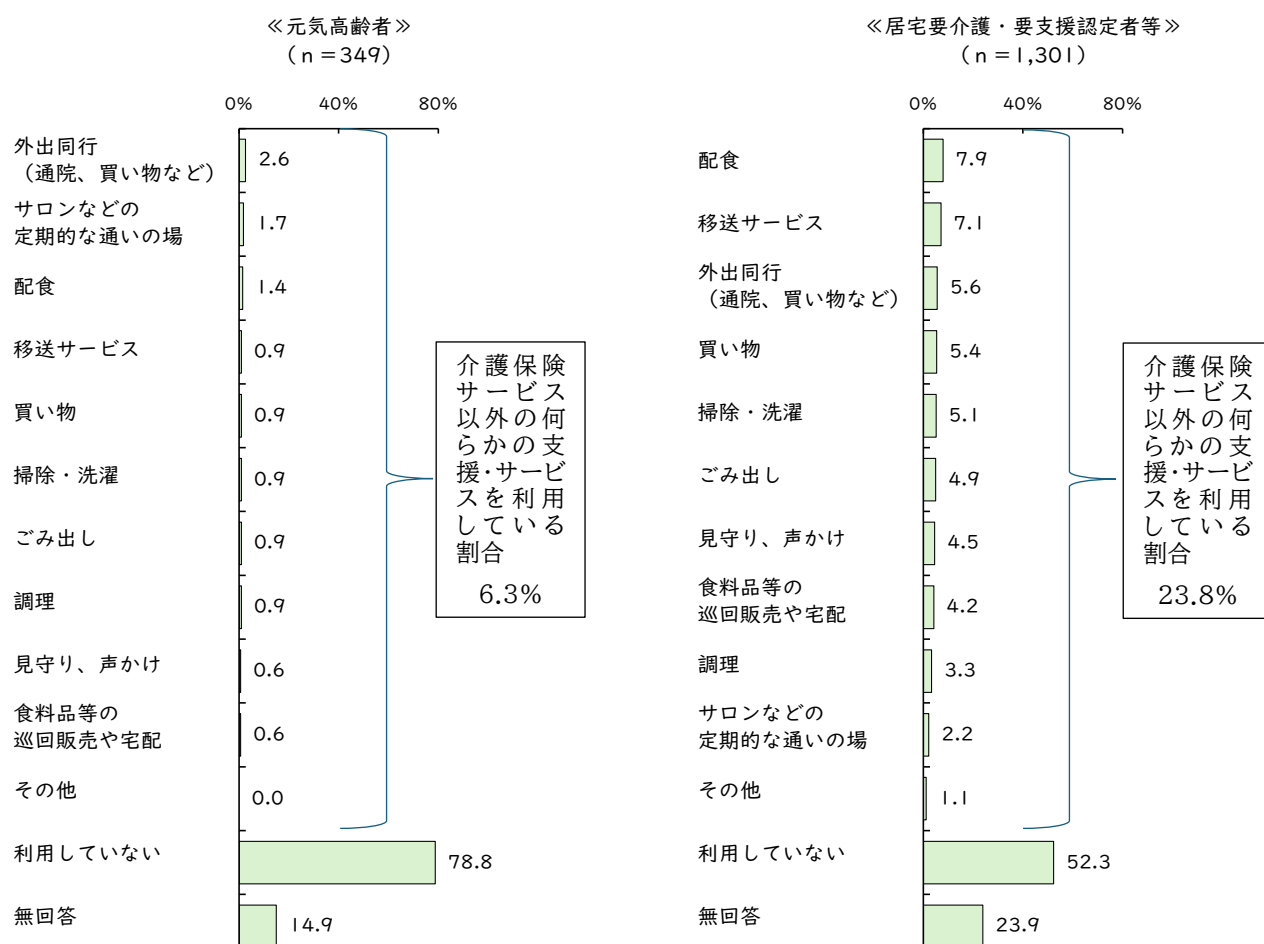
「現状では、サービスを利用するほどの状態ではないから」が43.3%と最も多く、次いで「本人にサービス利用の希望がないから」が21.4%、「家族が介護をするため必要ないから」が18.6%などとなっています。

前回調査と比較すると、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではないから」と「家族が介護をするため必要ないから」が5ポイント以上増加しています。

【元気：問 52・認定：問 52】 【令和7年度 設問・選択肢変更】

現在利用している介護保険サービス以外の支援・サービスは何ですか。

(複数回答可)



《元気高齢者》

介護保険サービス以外の何らかの支援・サービスを利用している人は、全体から「利用していない」と「無回答」を除いた6.3%で、「外出同行（通院、買い物など）」が2.6%と最も多くなっています。

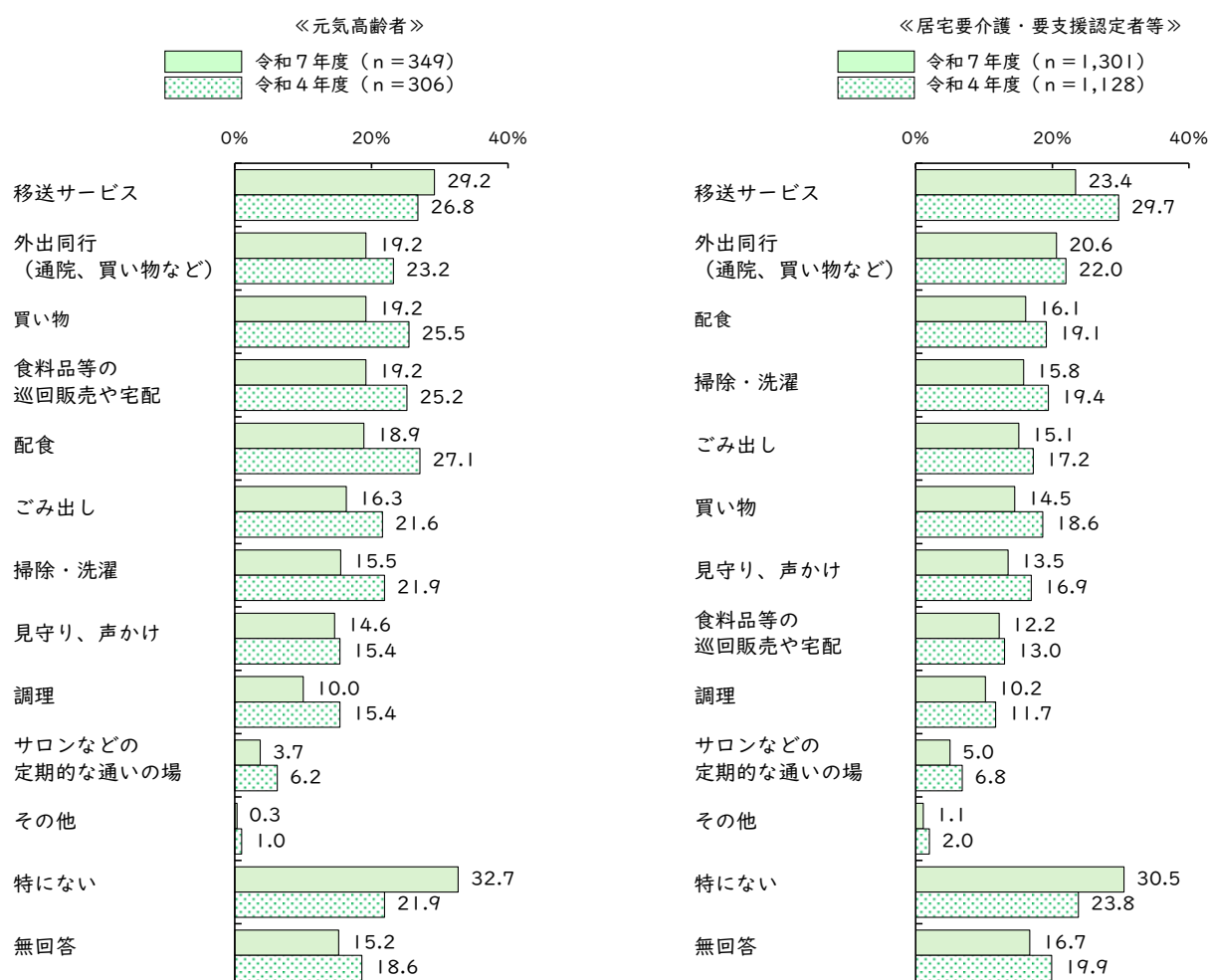
《居宅要介護・要支援認定者等》

介護保険サービス以外の何らかの支援・サービスを利用している人は、全体から「利用していない」と「無回答」を除いた23.8%で、「配食」が7.9%と最も多く、次いで「移送サービス」が7.1%となっています。

[元気：問 53・認定：問 53]

今後の自宅での生活の継続に必要と感じる支援・サービス(現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む)は何だと思いますか。

(複数回答可)



《元気高齢者》

「特にない」が32.7%と最も多く、次いで「移送サービス」が29.2%、「外出同行（通院、買い物など）」、「買い物」、「食料品等の巡回販売や宅配」がそれぞれ19.2%などとなっています。

前回調査と比較すると、「買い物」、「食料品等の巡回販売や宅配」、「配食」、「ごみ出し」、「掃除・洗濯」で5ポイント以上減少し、「特にない」が10.8ポイント増加しています。

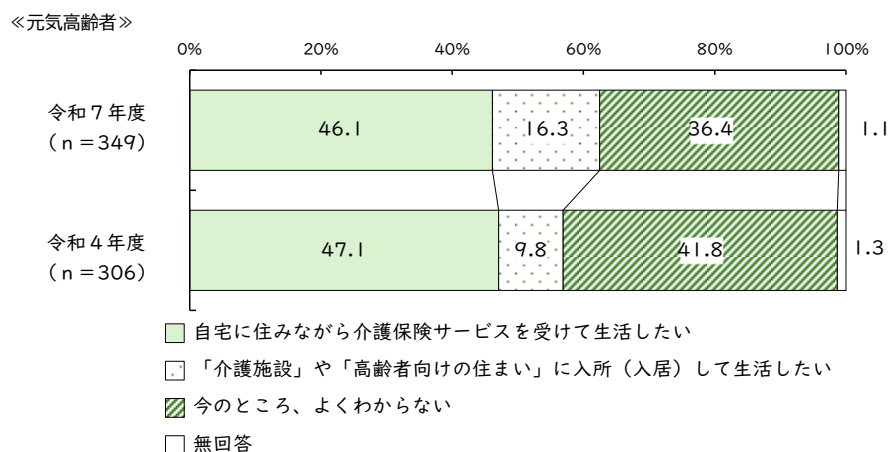
《居宅要介護・要支援認定者等》

「特にない」が30.5%と最も多く、次いで「移送サービス」が23.4%、「外出同行（通院、買い物など）」が20.6%などとなっています。

前回調査と比較すると、「移送サービス」が6.3ポイント減少し、「特にない」が10.8ポイント増加しています。

[元気：問49]

あなたに介護が必要となった場合、どこで介護を受けたいと思いますか。



《元気高齢者》

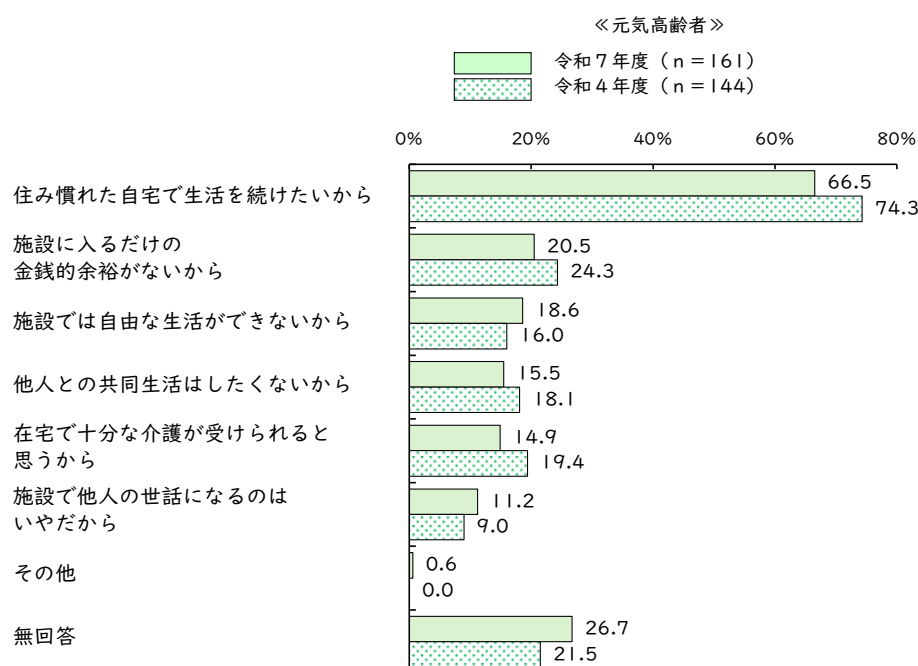
「自宅に住みながら介護保険サービスを受けて生活したい」が46.1%と最も多く、次いで「今のところ、よくわからない」が36.4%、「『介護施設』や『高齢者向けの住まい』に入所（入居）して生活したい」が16.3%となっています。

前回調査と比較すると、「『介護施設』や『高齢者向けの住まい』に入所（入居）して生活したい」が6.5ポイント増加し、「今のところ、よくわからない」が5.4ポイント減少しています。

元気：問 49 で「できるかぎり自宅に住みながら介護保険サービスを受けて生活したい」とお答えの方のみ

[元気：問 49－1]

自宅で介護保険サービスを利用したい理由は何ですか。（複数回答可）



《元気高齢者》

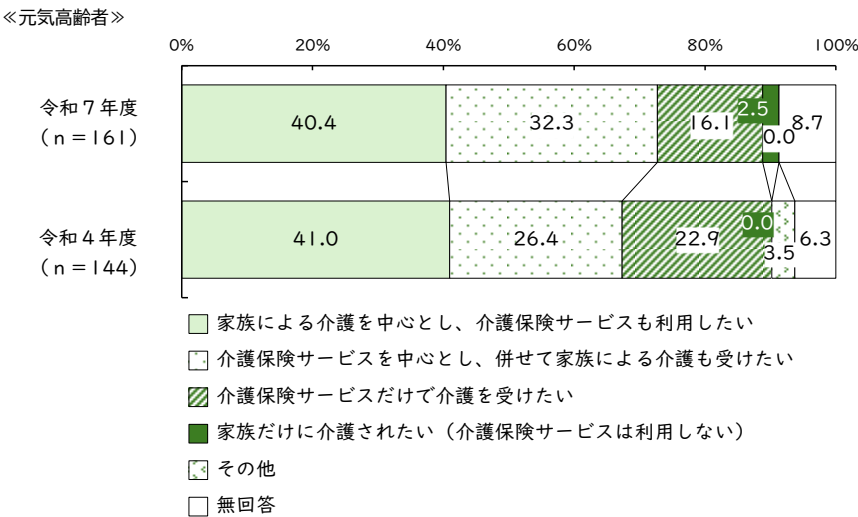
「住み慣れた自宅で生活を続けたいから」が 66.5%と最も多く、次いで「施設に入るだけの金銭的余裕がないから」が 20.5%、「施設では自由な生活ができないから」が 18.6%などとなっています。

前回調査と比較すると、「住み慣れた自宅で生活を続けたいから」が 7.8 ポイント減少しています。

元気：問49で「できるかぎり自宅に住みながら介護保険サービスを受けて生活したい」とお答えの方のみ

[元気：問49-2]

自宅でどのように介護保険サービスを利用したいですか。



《元気高齢者》

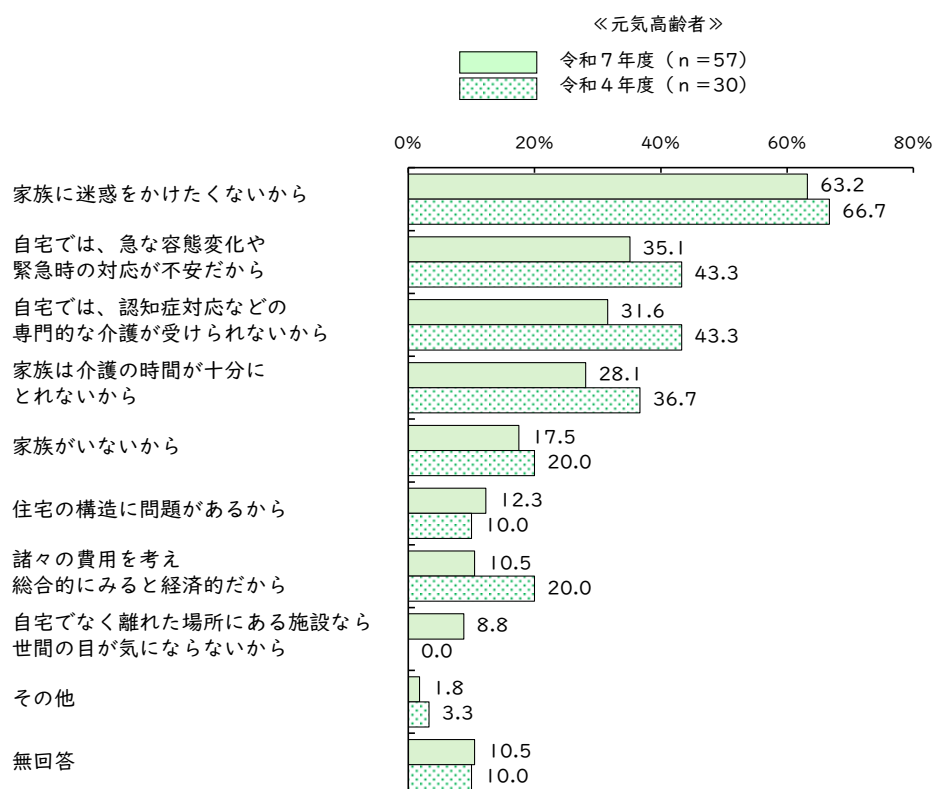
「家族による介護を中心とし、介護保険サービスも利用したい」が40.4%と最も多く、次いで「介護保険サービスを中心とし、併せて家族による介護も受けたい」が32.3%、「介護保険サービスだけで介護を受けたい」が16.1%などとなっています。

前回調査と比較すると、「介護保険サービスを中心とし、併せて家族による介護も受けたい」が5.9ポイント増加し、「介護保険サービスだけで介護を受けたい」が6.8ポイント減少しています。

元気：問 49 で「自宅以外の『介護施設』や『高齢者向けの住まい』に入所（入居）して生活したい」とお答えの方のみ

[元気：問 49－3]

施設等への入所（入居）を希望する理由は何ですか。（複数回答可）



《元気高齢者》

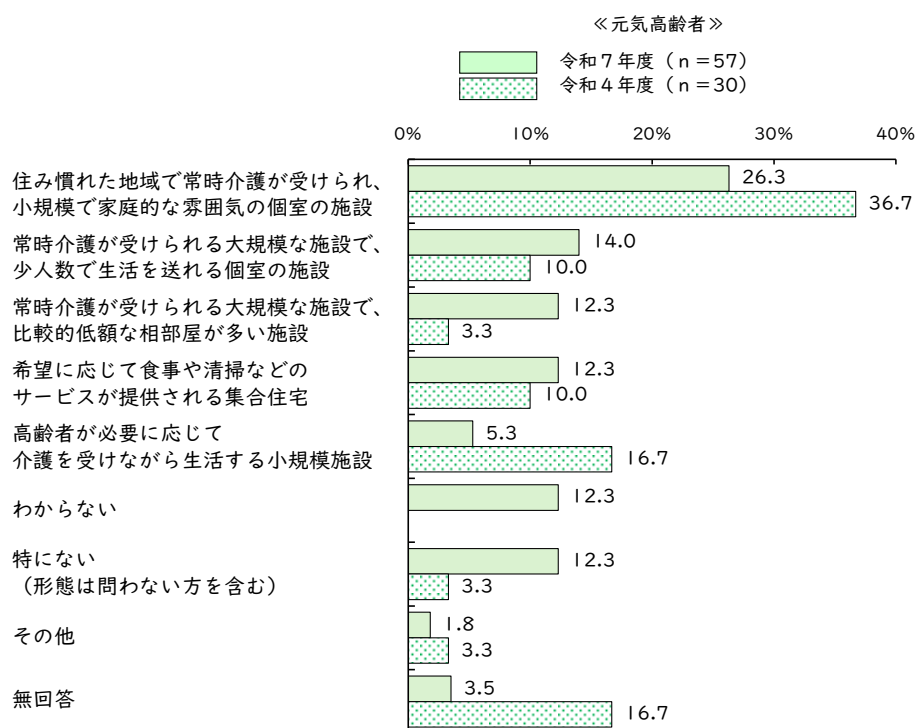
「家族に迷惑をかけたくないから」が 63.2%と最も多く、次いで「自宅では、急な容態変化や緊急時の対応が不安だから」が 35.1%、「自宅では、認知症対応などの専門的な介護が受けられないから」が 31.6%などとなっています。

前回調査と比較すると、「自宅では、急な容態変化や緊急時の対応が不安だから」、「自宅では、認知症対応などの専門的な介護が受けられないから」、「家族は介護の時間が十分にとれないから」、「諸々の費用を考え総合的にみると経済的だから」で 5 ポイント以上減少し、「自宅でなく離れた場所にあるしせつなら世間の目が気にならないから」が 8.8 ポイント増加しています。

元気：問49で「自宅以外の『介護施設』や『高齢者向けの住まい』に入所（入居）して生活したい」とお答えの方のみ

[元気：問49-4]

最も希望する「施設」や「住まい」の形態は何ですか。



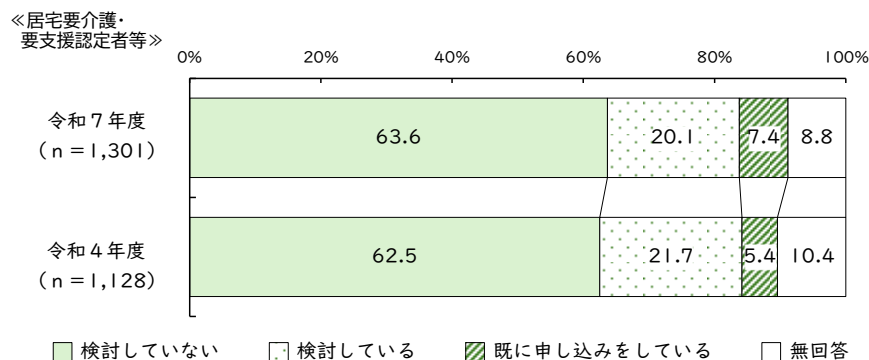
※「わからない」は今回から追加した選択肢

《元気高齢者》

「住み慣れた地域で常時介護が受けられ、小規模で家庭的な雰囲気の個室の施設」が26.3%と最も多く、次いで「常時介護が受けられる大規模な施設で、少人数で生活を送れる個室の施設」が14.0%、「常時介護が受けられる大規模な施設で、比較的低額な相部屋が多い施設」、「希望に応じて食事や清掃などのサービスが提供される集合住宅」、「わからない」、「特にない（形態は問わない方を含む）」がそれぞれ12.3%などとなっています。

[認定：問 54]

現時点での施設等への入所（入居）の検討状況について、おたずねします。あなたは、自宅以外の「施設」や「高齢者向けの住まい」への入所（入居）を検討していますか。

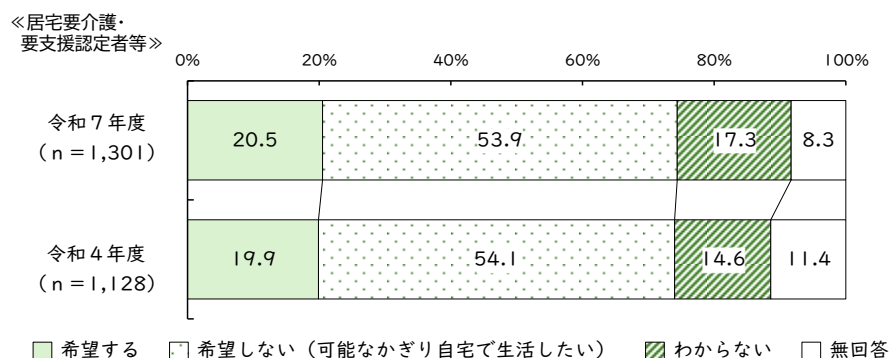


「施設等への入所（入居）の検討状況」

「検討していない」が63.6%と最も多く、次いで「検討している」が20.1%、「既に申し込みをしている」が7.4%となっています。また、『入所（入居）意向がある』（「既に申し込みをしている」＋「検討している」）は27.5%となっています。

[認定：問 55]

施設等への入所（入居）希望についてお聞きします。あなたは、自宅以外の「施設」や「高齢者向けの住まい」に入所（入居）を希望しますか。



「施設等への入所（入居）希望状況」

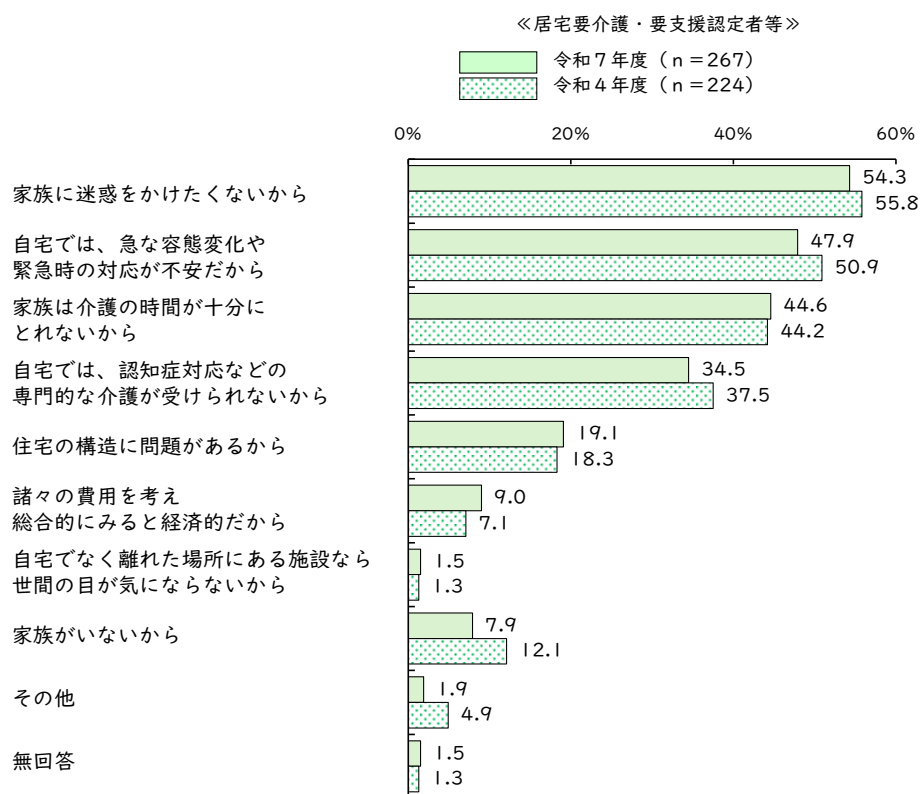
「希望しない（可能な限り自宅で生活したい）」が53.9%と最も多く、次いで「希望する」が20.5%、「わからない」が17.3%となっています。

認定：問 55 で「希望する」とお答えの方のみ

[認定：問 55－1]

「施設」や「高齢者向けの住まい」での生活を希望する理由は何ですか。

(複数回答可)

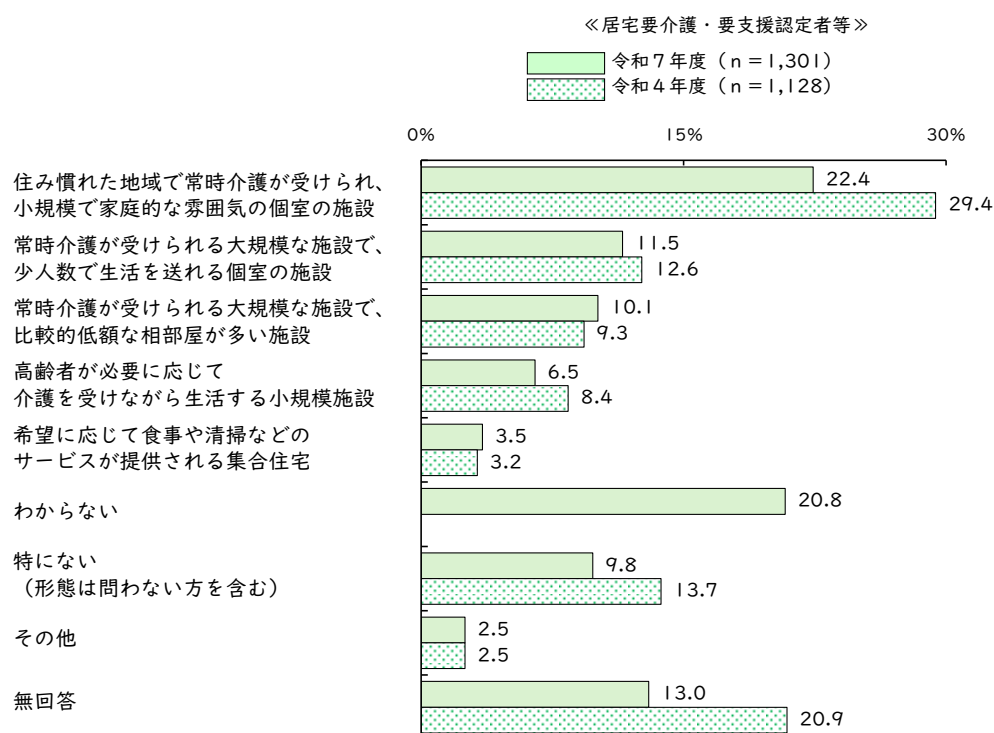


《居宅要介護・要支援認定者等》

「家族に迷惑をかけたくないから」が 54.3%と最も多く、次いで「自宅では、急な容態変化や緊急時の対応が不安だから」が 47.9%、「家族は介護の時間が十分にとれないから」が 44.6%などとなっています。

[認定：問 56]

最も希望する「施設」や「住まい」の形態、もしくは今後、自宅での生活が困難となった場合に、入所（入居）を希望する「施設」や「高齢者向けの住まい」の形態は何ですか。



※「わからない」は今回から追加した選択肢

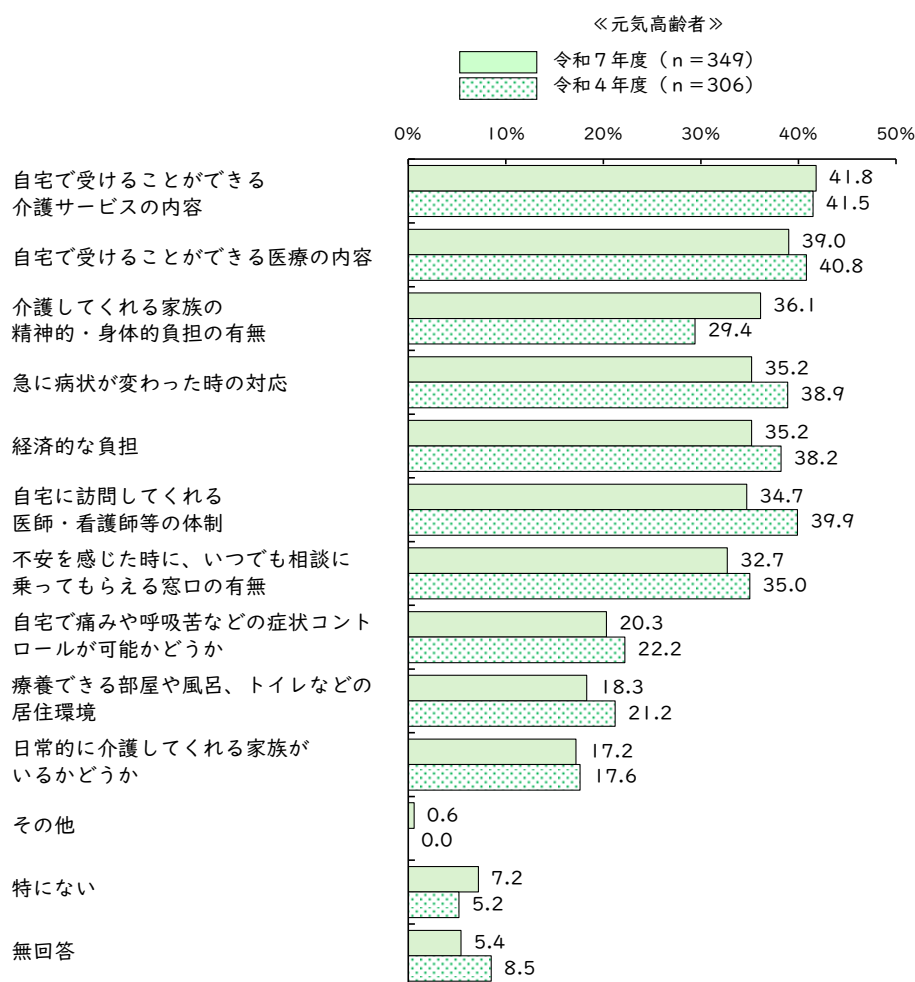
《居宅要介護・要支援認定者等》

「住み慣れた地域で常時介護が受けられ、小規模で家庭的な雰囲気個室の施設」が22.4%と最も多く、次いで「わからない」が20.8%、「常時介護が受けられる大規模な施設で、少人数で生活を送れる個室の施設」が11.5%などとなっています。

前回調査と比較すると、「住み慣れた地域で常時介護が受けられ、小規模で家庭的な雰囲気個室の施設」が7.0ポイント減少しています。

[元気：問 50]

在宅医療や介護を受けることになった場合、特に心配に思うことは何ですか。
(複数回答可)



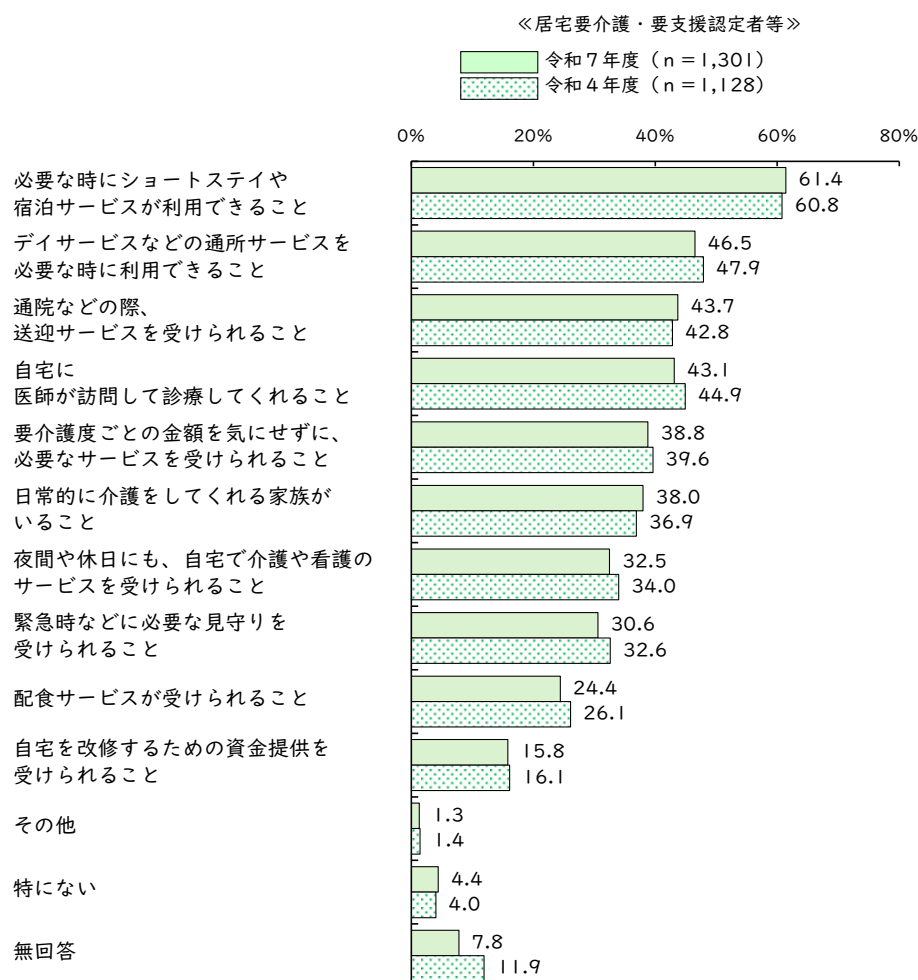
《元気高齢者》

「自宅で受けることができる介護サービスの内容」が 41.8%と最も多く、次いで「自宅で受けることができる医療の内容」が 39.0%、「介護してくれる家族の精神的・身体的負担の有無」が 36.1%などとなっています。

前回調査と比較すると、「介護してくれる家族の精神的・身体的負担の有無」が 6.7 ポイント増加し、「自宅に訪問してくれる医師・看護師等の体制」が 5.2 ポイント減少しています。

[認定：問 57]

ずっと自宅で暮らし続けるためには、どのような支援があればいいと思いますか。
(複数回答可)

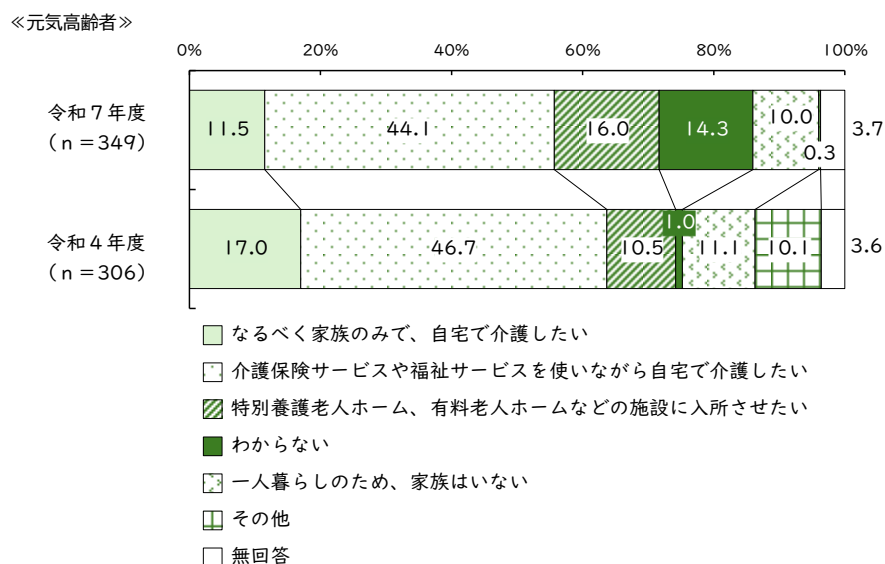


《居宅要介護・要支援認定者等》

「必要な時にショートステイや宿泊サービスが利用できること」が 61.4%と最も多く、次いで「デイサービスなどの通所サービスを必要な時に利用できること」が 46.5%、「通院などの際、送迎サービスを受けられること」が 43.7%などとなっています。

[元気：問 51]

あなたの家族に介護が必要となった場合、どのように介護したいと思いますか。



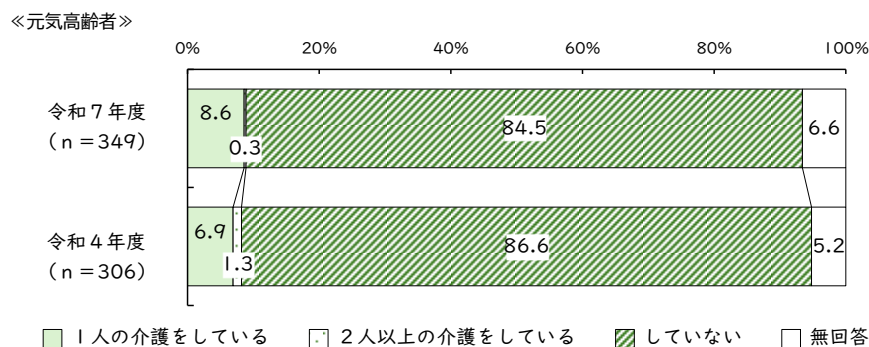
《元気高齢者》

「介護保険サービスや福祉サービスを使いながら自宅で介護したい」が44.1%と最も多く、次いで「特別養護老人ホーム、有料老人ホームなどの施設に入所させたい」が16.0%、「わからない」が14.3%などとなっています。

前回調査と比較すると、「なるべく家族のみで、自宅で介護したい」が5.5ポイント減少し、「特別養護老人ホーム、有料老人ホームなどの施設に入所させたい」と「わからない」で5ポイント以上増加しています。

[元気：問 54]

現在、家族等の介護をしていますか。（別居している家族も含みます）

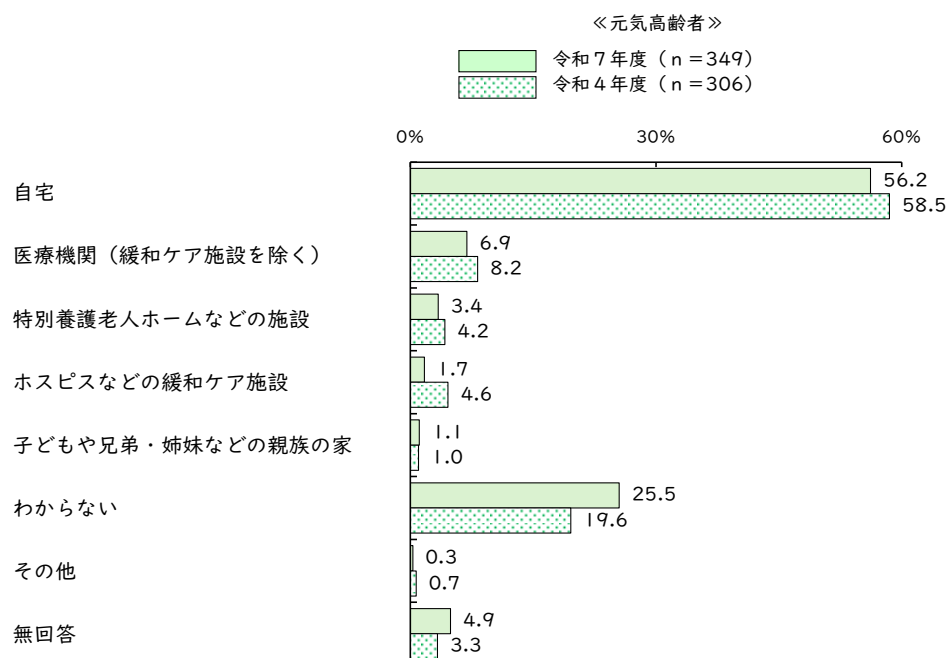


《元気高齢者》

「していない」が84.5%と最も多く、「1人の介護をしている」は8.6%、「2人以上の介護をしている」は0.3%となっています。

[元気：問 55]

人生の最期を迎えたい場所はどこですか。



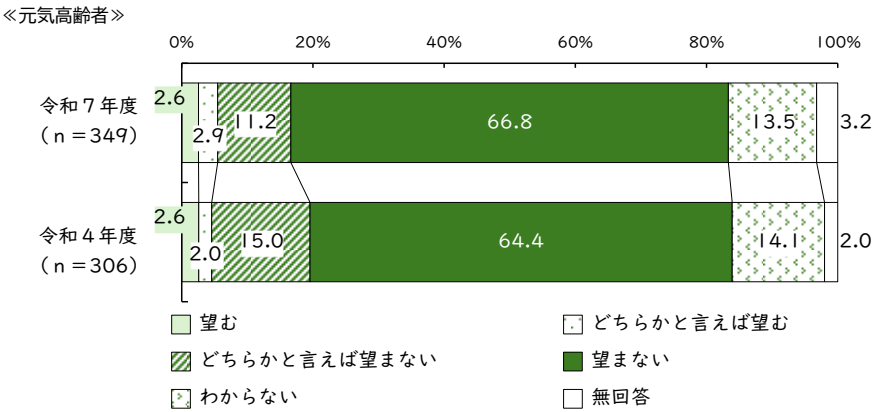
《元気高齢者》

「自宅」が56.2%と最も多く、次いで「わからない」が25.5%、「医療機関（緩和ケア施設を除く）」が6.9%などとなっています。

前回調査と比較すると、「わからない」が5.9ポイント増加しています。

[元気：問 56]

あなたの病気が治る見込みがなく、死期が近くなった場合、延命治療を望みますか。

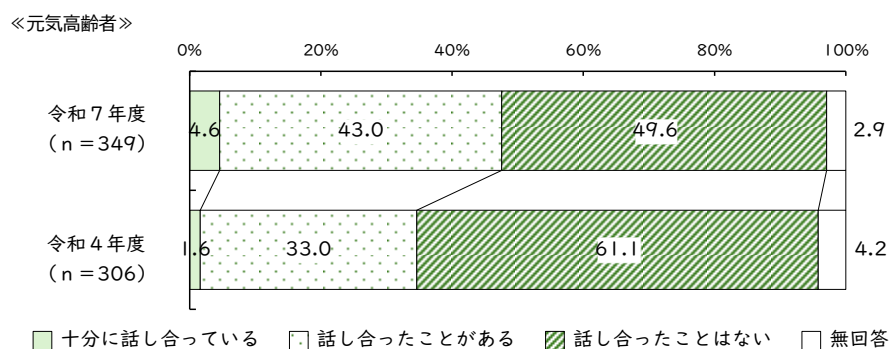


「元気高齢者」

「望まない」が66.8%と最も多く、次いで「わからない」が13.5%、「どちらかと言えば望まない」が11.2%などとなっています。また、『望む』（「望む」＋「どちらかと言えば望む」）は5.5%、『望まない』（「望まない」＋「どちらかと言えば望まない」）は78.0%となっています。

[元気：問 57]

人生の最期をどのように迎えたいか家族や身近な方と話し合ったことがありますか。
(延命治療、財産管理、葬儀のこと等)



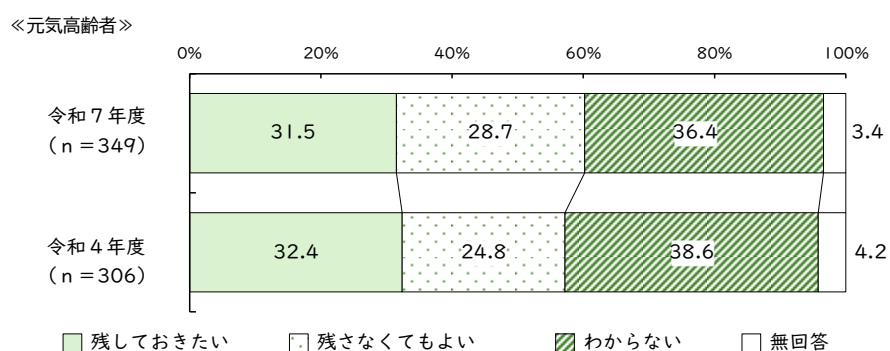
《元気高齢者》

「話し合ったことはない」が49.6%と最も多く、次いで「話し合ったことがある」が43.0%、「十分に話し合っている」が4.6%となっています。また、『話し合ったことがある』（「十分に話し合っている」＋「話し合ったことがある」）は47.6%となっています。

前回調査と比較すると、「話し合ったことがある」が10.0ポイント増加し、「話し合ったことはない」が11.5ポイント減少しています。

[元気：問 58]

エンディングノート等により自分の意思を書面に残しておきたいですか。



《元気高齢者》

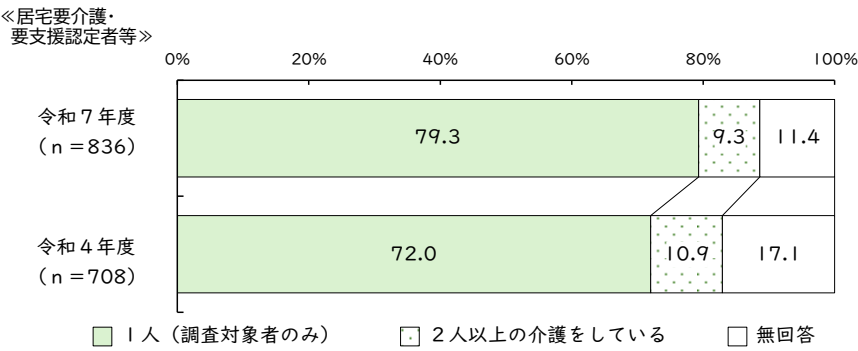
「わからない」が36.4%と最も多く、次いで「残しておきたい」が31.5%、「残さなくてもよい」が28.7%となっています。

主な介護・介助者の方について

認定：問 49－2で『主な介護・介助者は家族』とお答えの方のみ

[認定：問 62]

現在、何人の介護をしていますか。



「居宅要介護・要支援認定者等」

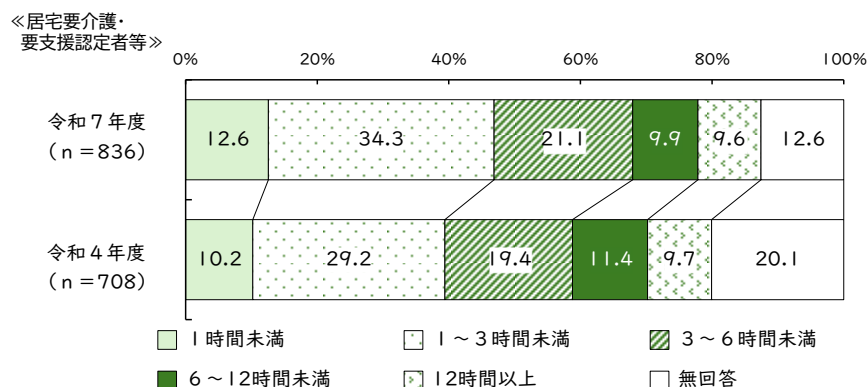
「1人（調査対象者のみ）」が79.3%、「2人以上の介護をしている」は9.3%となっています。

前回調査と比較すると、「1人（調査対象者のみ）」が7.3ポイント増加しています。

認定：問 49-2で『主な介護・介助者は家族』とお答えの方のみ

[認定：問 63]

主な介護・介助の方が介護・介助にかけている時間（1日当り）はどのくらいですか。



「居宅要介護・要支援認定者等」

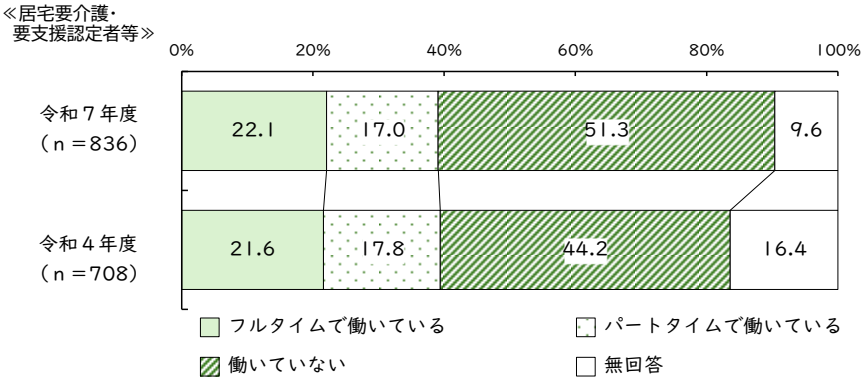
「1～3時間未満」が34.3%と最も多く、次いで「3～6時間未満」が21.1%、「1時間未満」が12.6%などとなっています。また、『6時間以上』（「6～12時間未満」＋「12時間以上」）は19.5%となっています。

前回調査と比較すると、「1～3時間未満」が5.1ポイント増加しています。

認定：問 49-2で『主な介護・介助者は家族』とお答えの方のみ

[認定：問 64]

主な介護・介助者の方の現在の勤務形態についてご回答ください。



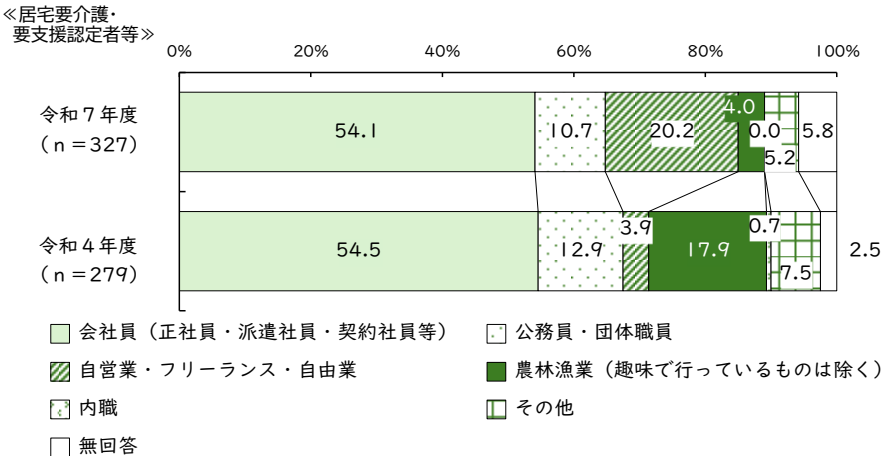
「働いていない」が51.3%と最も多く、次いで「フルタイムで働いている」が22.1%、「パートタイムで働いている」が17.0%となっています。

前回調査と比較すると、「働いていない」が7.1ポイント増加しています。

認定：問 64で「フルタイムで働いている」、「パートタイムで働いている」とお答えの方のみ

[認定：問 64-1]

主な介護・介助者の方の現在の職業を教えてください。



「会社員（正社員・派遣社員・契約社員等）」が54.1%と最も多く、次いで「自営業・フリーランス・自由業」が20.2%、「公務員・団体職員」が10.7%などとなっています。

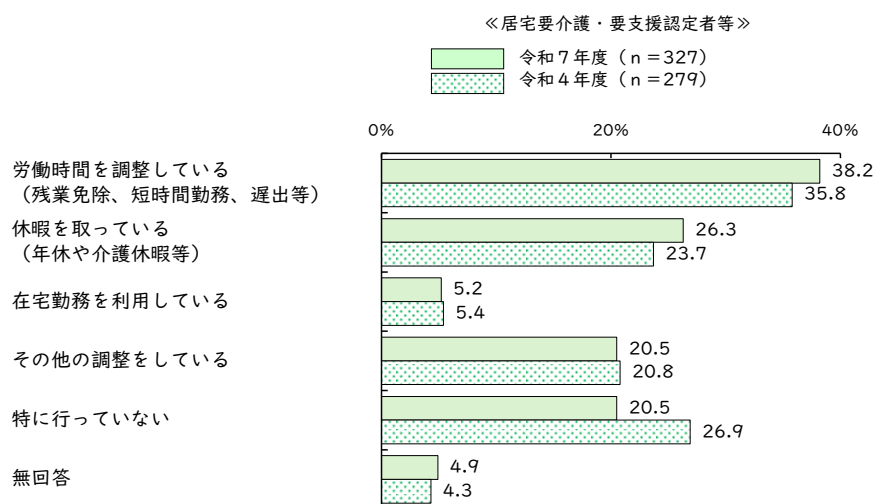
前回調査と比較すると、「自営業・フリーランス・自由業」が16.3ポイント増加し、「農林漁業（趣味で行っているものは除く）」が13.9ポイント減少しています。

認定：問 64 で「フルタイムで働いている」、「パートタイムで働いている」とお答えの方のみ

[認定：問 64－2]

介護・介助をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか。

(複数回答可)



「居宅要介護・要支援認定者等」

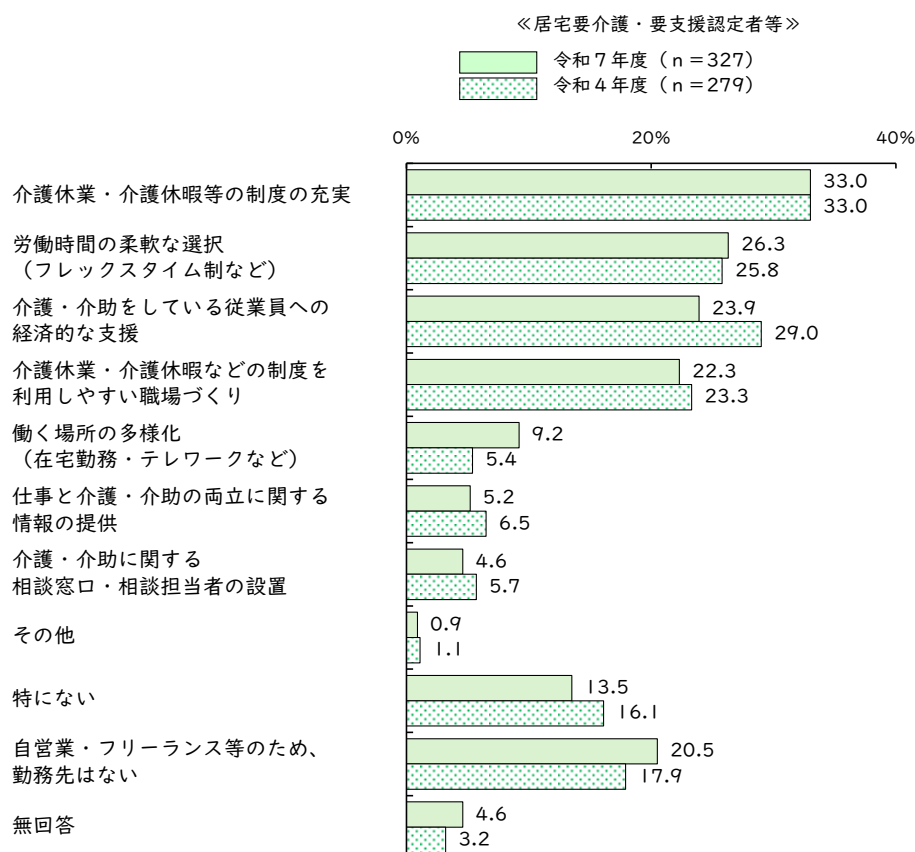
「労働時間を調整している（残業免除、短時間勤務、遅出等）」が 38.2%と最も多く、次いで「休暇を取っている（年休や介護休暇等）」が 26.3%、「その他の調整をしている」、「特に行っていない」がそれぞれ 20.5%などとなっています。

前回調査と比較すると、「特に行っていない」が 6.4 ポイント減少しています。

認定：問 64 で「フルタイムで働いている」、「パートタイムで働いている」とお答えの方のみ

[認定：問 64－3]

勤務先からどのような支援があれば、仕事と介護・介助の両立に効果があると思いますか。（複数回答可：3つまで）



《居宅要介護・要支援認定者等》

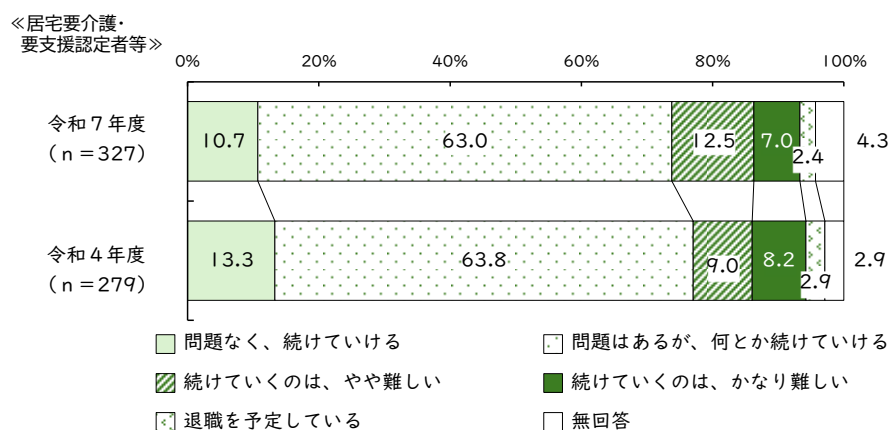
「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が 33.0%と最も多く、次いで「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」が 26.3%、「介護・介助をしている従業員への経済的な支援」が 23.9%などとなっています。

前回調査と比較すると、「介護・介助をしている従業員への経済的な支援」が 5.1ポイント減少しています。

認定：問 64 で「フルタイムで働いている」、「パートタイムで働いている」とお答えの方のみ

[認定：問 64－4]

今後も働きながら介護・介助を続けていけそうですか。



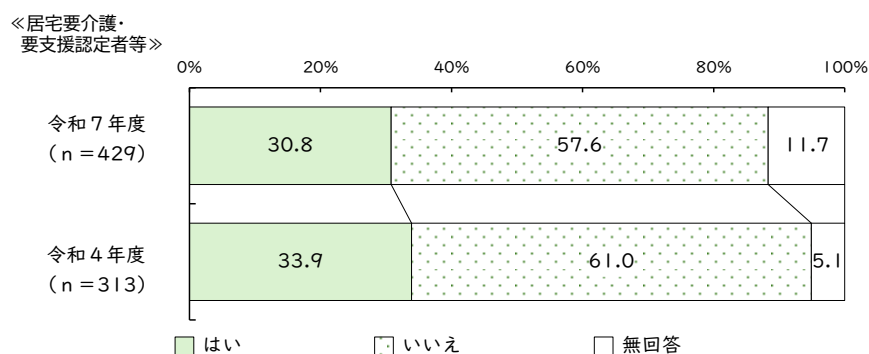
「居宅要介護・要支援認定者等」

「問題はあるが、何とか続けていける」が 63.0%と最も多く、次いで「続けていくのは、やや難しい」が 12.5%、「問題なく、続けていける」が 10.7%などとなっています。また、『続けていける』（「問題なく、続けていける」＋「問題はあるが、何とか続けていける」）は 73.7%、『続けていくことは難しい』（「退職を予定している」＋「続けていくのは、かなり難しい」＋「続けていくのは、やや難しい」）は 21.9%となっています。

認定：問 64 で「働いていない」とお答えの方のみ

[認定：問 64－5]

介護を始めた時に、働いていましたか。



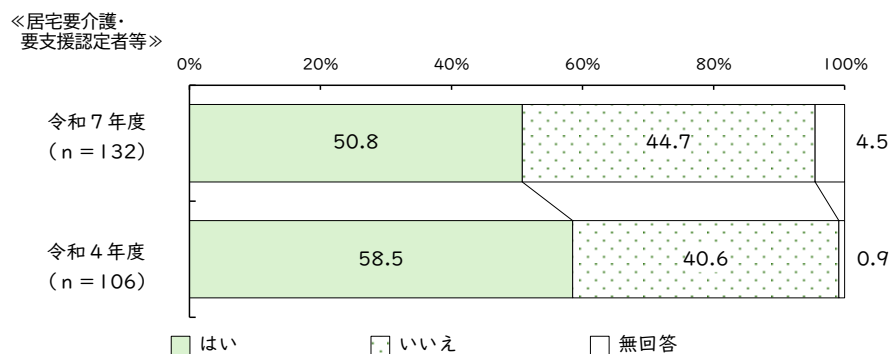
「介護を始めた時に、働いていましたか。」の回答状況（認定：問 64－5）

「はい」が30.8%、「いいえ」が57.6%となっています。

認定：問 64－5 で「はい」とお答えの方のみ

[認定：問 64－5－1]

現在働いていないのは、介護のために退職したからですか。



「現在働いていないのは、介護のために退職したからですか。」の回答状況（認定：問 64－5－1）

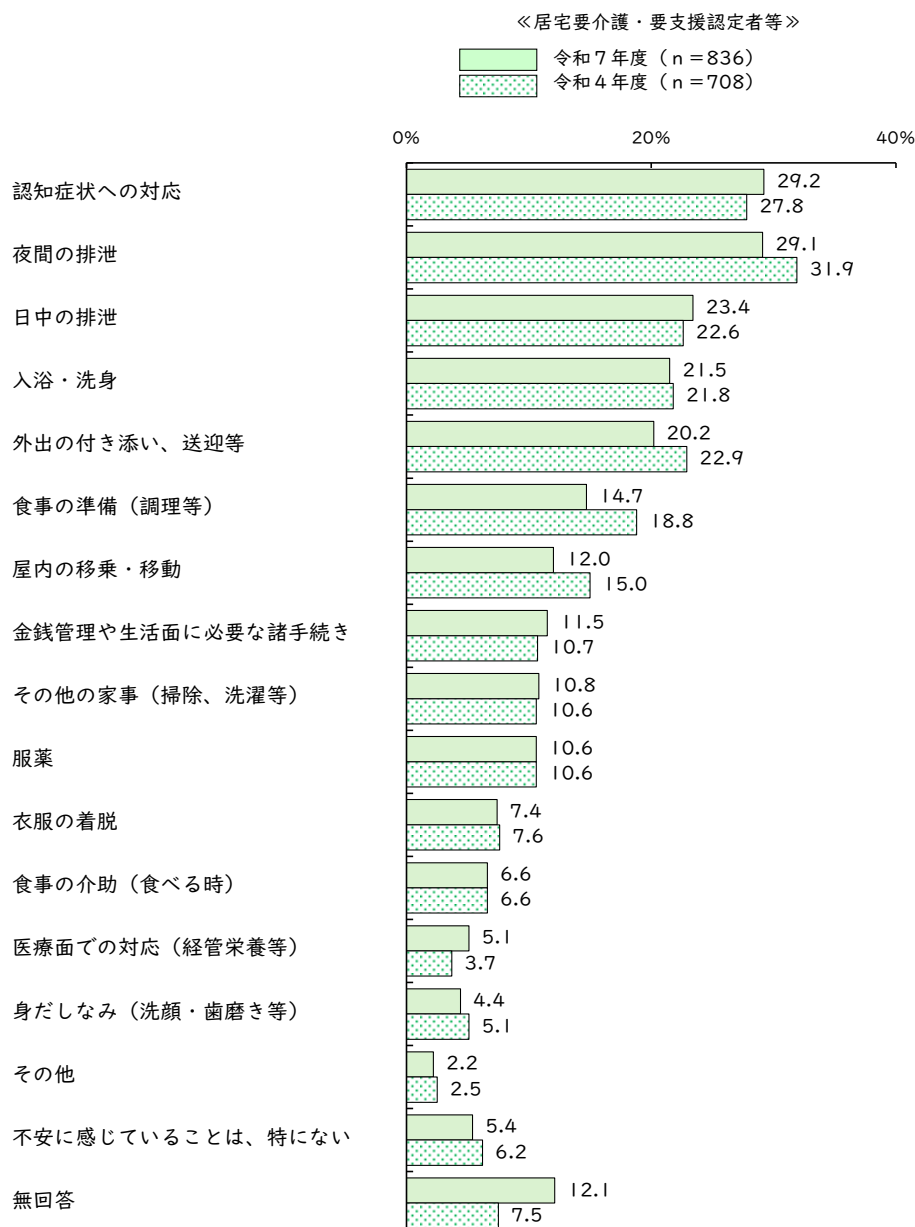
「はい」が50.8%、「いいえ」が44.7%となっています。

前回調査と比較すると、「はい」が7.7ポイント減少しています。

認定：問 49-2で『主な介護・介助者は家族』とお答えの方のみ

[認定：問 65]

現在の生活を継続していくにあたって、主な介護・介助者の方が不安に感じる介護等は何ですか。現状で行っているか否かは問いません。（複数回答可：3つまで）



「居宅要介護・要支援認定者等」

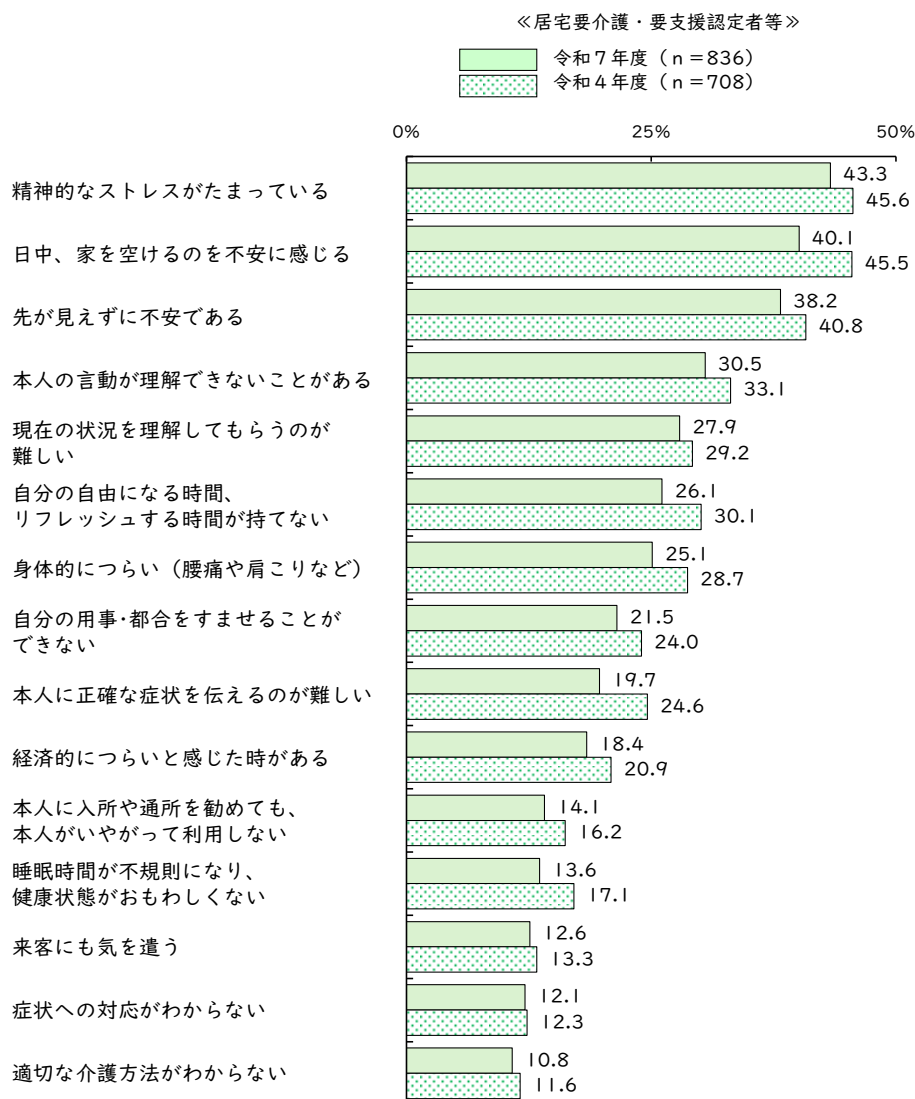
「認知症状への対応」が29.2%と最も多く、次いで「夜間の排泄」が29.1%、「日中の排泄」が23.4%などとなっています。

認定：問 49-2で『主な介護・介助者は家族』とお答えの方のみ

[認定：問 66]

主な介護・介助者の方が介護・介助する上で困っていることは何ですか。

(複数回答可)



※上位 15 項目のみ掲載

「居宅要介護・要支援認定者等」

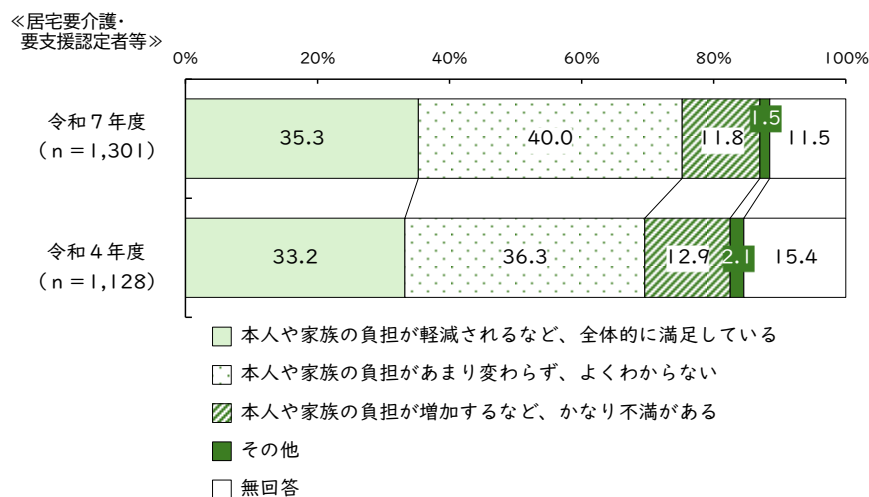
「精神的なストレスがたまっている」が 43.3%と最も多く、次いで「日中、家を空けるのを不安に感じる」が 40.1%、「先が見えずに不安である」が 38.2%などとなっています。

前回調査と比較すると、「日中、家を空けるのを不安に感じる」が 5.4 ポイント減少しています。

高齢者施策について

[認定：問 58]

介護保険制度に対するあなたの評価として、最も近いものを選んでください。

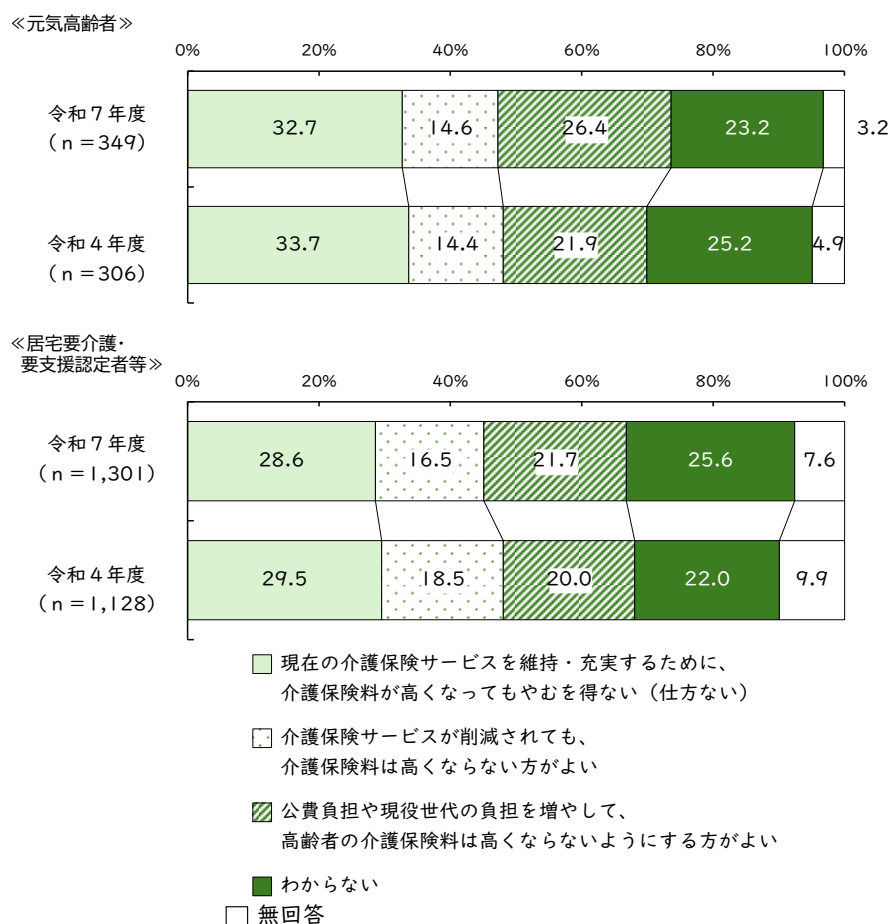


「居宅要介護・要支援認定者等」

「本人や家族の負担があまり変わらず、よくわからない」が40.0%と最も多く、次いで「本人や家族の負担が軽減されるなど、全体的に満足している」が35.3%、「本人や家族の負担が増加するなど、かなり不満がある」が11.8%などとなっています。

[元気：問 73・認定：問 59]

介護費用の増大に伴い、介護保険料も高くなってきていますが、今後の介護保険料に対する、あなたのお考えに最も近いものはどれですか。



「元気高齢者」

「現在の介護保険サービスを維持・充実するために、介護保険料が高くなってもやむを得ない（仕方ない）」が 32.7%と最も多く、次いで「公費負担や現役世代の負担を増やして、高齢者の介護保険料は高くないようにする方がよい」が 26.4%、「わからない」が 23.2%などとなっています。

「居宅要介護・要支援認定者等」

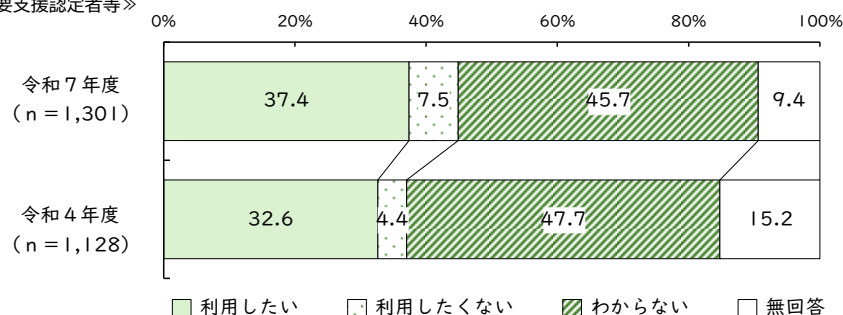
「現在の介護保険サービスを維持・充実するために、介護保険料が高くなってもやむを得ない（仕方ない）」が 28.6%と最も多く、次いで「わからない」が 25.6%、「公費負担や現役世代の負担を増やして、高齢者の介護保険料は高くないようにする方がよい」が 21.7%などとなっています。

[認定：問 60]

以下の介護保険サービスは、県内ではあまり実施されていませんが、これらのサービスが利用できるとしたら、利用したいと思いますか。

① 定期巡回・随時対応型訪問介護看護

《居宅要介護・
要支援認定者等》

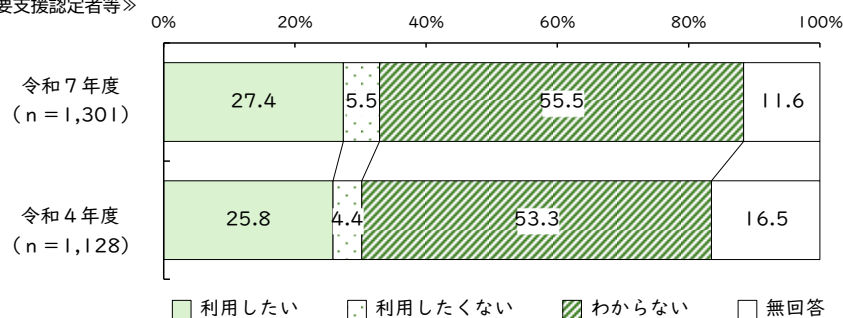


《居宅要介護・要支援認定者等》

「わからない」が45.7%と最も多く、次いで「利用したい」が37.4%、「利用したくない」が7.5%となっています。

② 看護小規模多機能居宅介護

《居宅要介護・
要支援認定者等》

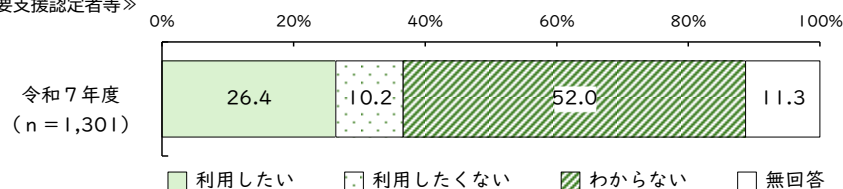


《居宅要介護・要支援認定者等》

「わからない」が55.5%と最も多く、次いで「利用したい」が27.4%、「利用したくない」が5.5%となっています。

③ 夜間対応型訪問介護

《居宅要介護・
要支援認定者等》

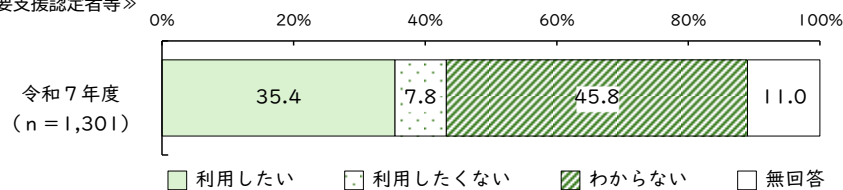


《居宅要介護・要支援認定者等》

「わからない」が52.0%と最も多く、次いで「利用したい」が26.4%、「利用したくない」が10.2%となっています。

④ 小規模多機能型居宅介護

《居宅要介護・
要支援認定者等》

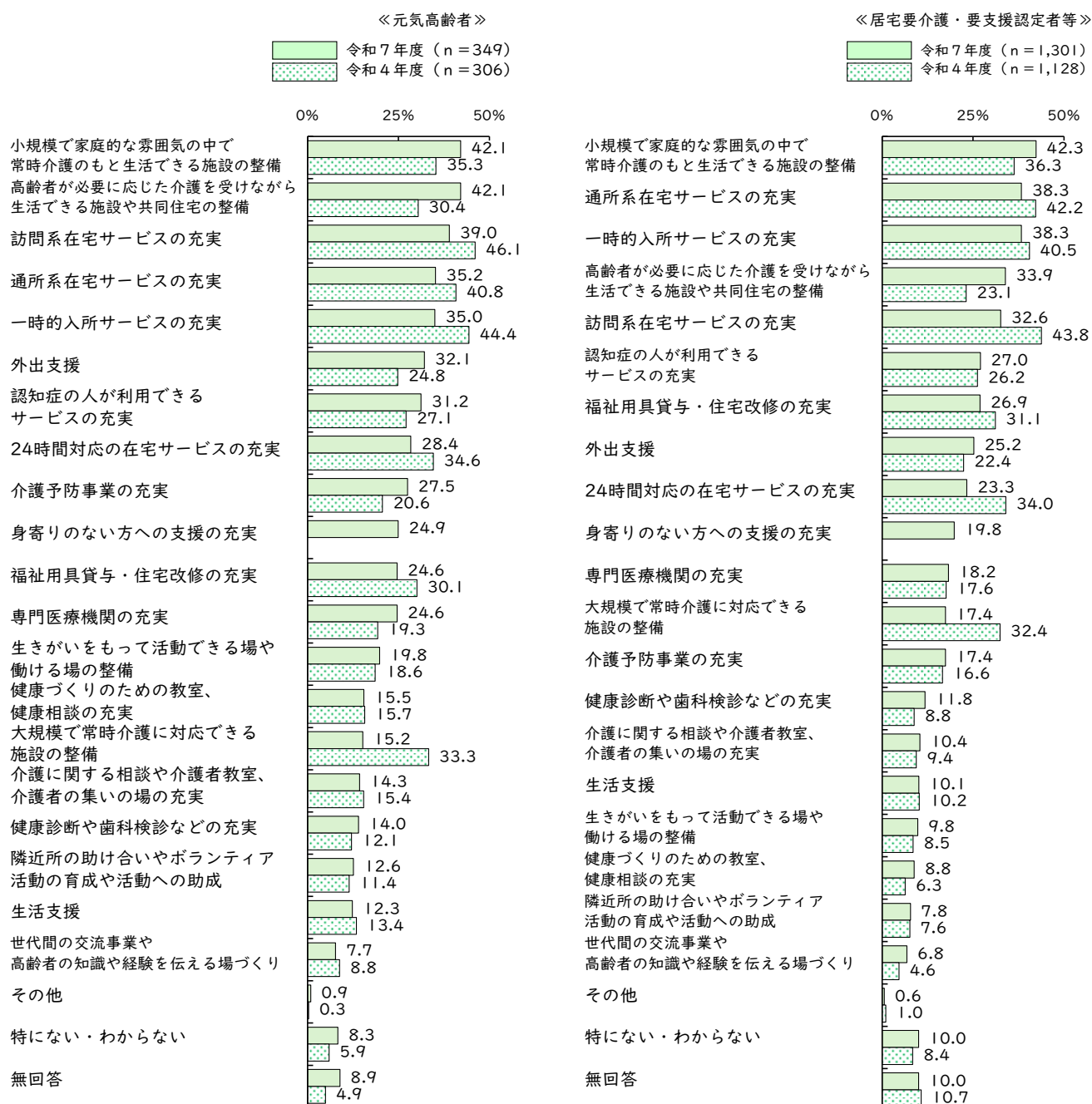


《居宅要介護・要支援認定者等》

「わからない」が45.8%と最も多く、次いで「利用したい」が35.4%、「利用したくない」が7.8%となっています。

[元気：問 74・認定：問 61]

今後、介護や高齢者に必要な施策をどのようなものと考えますか。(複数回答可)



※「身寄りのない方への支援の充実」は今回から追加した選択肢

《元気高齢者》

「小規模で家庭的な雰囲気の中で常時介護のもと生活できる施設の整備」、「高齢者が必要に応じた介護を受けながら生活できる施設や共同住宅の整備」がそれぞれ42.1%と最も多く、次いで「訪問系在宅サービスの充実」が39.0%、「通所系在宅サービスの充実」が35.2%などとなっています。

前回調査と比較すると、「小規模で家庭的な雰囲気の中で常時介護のもと生活できる施設の整備」、「高齢者が必要に応じた介護を受けながら生活できる施設や共同住宅の整備」、「外出支援」、「介護予防事業の充実」、「専門医療機関の充実」で5ポイント以上増加し、「訪問系在宅サービスの充実」、「通所系在宅サービスの充実」、「一時的入所サービスの充実」、「24 時間対応の在宅サービスの充実」、「福祉用具貸与・住宅改修の充実」、「大規模で常時介護対応できる施設の充実」で5ポイント以上減少しています。

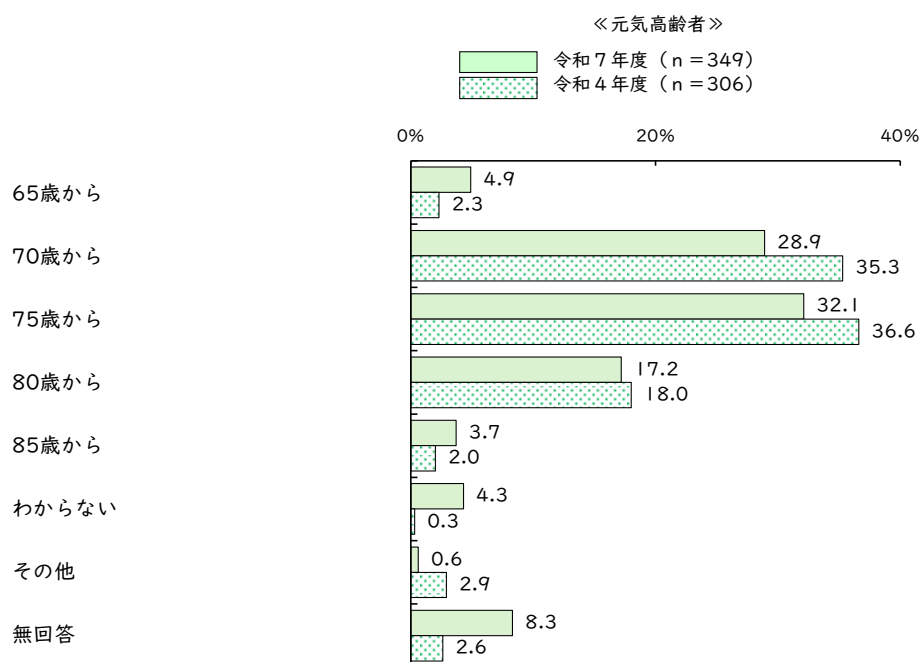
《居宅要介護・要支援認定者等》

「小規模で家庭的な雰囲気の中で常時介護のもと生活できる施設の整備」が42.3%と最も多く、次いで「通所系在宅サービスの充実」、「一時的入所サービスの充実」がそれぞれ38.3%、「高齢者が必要に応じた介護を受けながら生活できる施設や共同住宅の整備」が33.9%などとなっています。

前回調査と比較すると、「小規模で家庭的な雰囲気の中で常時介護のもと生活できる施設の整備」と「高齢者が必要に応じた介護を受けながら生活できる施設や共同住宅の整備」で5ポイント以上増加し、「訪問系在宅サービスの充実」、「24 時間対応の在宅サービスの充実」、「大規模で常時介護対応できる施設の充実」で5ポイント以上減少しています。

[元気：問 75]

一般的に 65 歳になると高齢者と定義されていますが、あなたは何歳から「高齢者」だと思いますか。



《元気高齢者》

「75 歳から」が 32.1%と最も多く、次いで「70 歳から」が 28.9%、「80 歳から」が 17.2%などとなっています。

前回調査と比較すると、「70 歳から」が 6.4 ポイント減少しています。

4. 日常生活圏域別地域分析

留意事項

- ・統計学的には、回収数が少ないと標本誤差（標本調査で得られた推定値と母集団の真の値との差）が大きくなります。
- ・本調査の各日常生活圏域の回収数は、元気高齢者では 53～63 サンプル、居宅要介護・要支援認定者等では 204～231 サンプルです。この場合、最大の標本誤差は、元気高齢者では ±15%程度、居宅要介護・要支援認定者等では ±7%程度となります。そのため、居宅要介護・要支援認定者等のクロス集計は、傾向が把握できる結果ですが、元気高齢者のクロス集計は参考程度の結果となります。

介護予防・健康づくり

要介護状態になるリスクや心身の衰え（フレイル）を早期発見するために厚生労働省が作成した「基本チェックリスト」の項目の一部を用いて、以下に示した判定方法で各機能の低下リスク等を評価し、日常生活圏域別に比較しました。

【運動機能の低下】の判定・評価

問番号		項目	選択肢
元気：問7-①	元気：問6-①	階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか	「3 できない」＝1点
元気：問7-②	元気：問6-②	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	
元気：問7-③	元気：問6-③	15分位続けて歩いていますか	
元気：問7-④	元気：問6-④	過去1年間に転んだ経験がありますか	「1 何度もある」または 「2 1度ある」＝1点
元気：問7-⑤	元気：問6-⑤	転倒に対する不安は大きいですか	「1 とても不安である」または 「2 やや不安である」＝1点

⇒ 3点～5点：該当 / 0点以上2点以下：非該当 / 2点以下のうち、無回答があった場合：不明

【閉じこもり傾向】の判定・評価

問番号		項目	選択肢
元気：問7-⑥	元気：問6-⑥	週に1回以上は外出していますか	「1 ほとんど外出しない」または 「2 週1回」＝1点

⇒ 1点：該当 / 0点：非該当 / 無回答があった場合：不明

【低栄養状態】の判定・評価

問番号		項目	選択肢
元気：問9-①	元気：問8-①	身長（ ）cm / 体重（ ）kg	BMI < 18.5（痩せ）＝1点
元気：問9-②	元気：問8-②	6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか	「1 はい」＝1点

⇒ 2点：該当 / 0点～1点：非該当 / 無回答があった場合：不明

4. 日常生活圏域別地域分析

【口腔機能の低下】の判定・評価

問番号		項目	選択肢
元気：問9-③	元気：問8-③	半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	「1 はい」= 1点
元気：問9-④	元気：問8-④	お茶や汁物等でむせることがありますか	
	元気：問8-⑤	口の渇きが気になりますか	

⇒ 2点～3点：該当 / 0点～1点：非該当 / 無回答があった場合：不明

※元気高齢者は「口の渇きが気になりますか」の設問がないため、設問2項目で判定

【認知機能の低下】の判定・評価

問番号		項目	選択肢
元気：問11	元気：問10	物忘れが多いと感じますか	「1 はい」= 1点

⇒ 1点：該当 / 0点：非該当 / 無回答があった場合：不明

【うつ病の可能性】の判定・評価

問番号		項目	選択肢
元気：問33	元気：問27	この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか	「1 はい」= 1点
元気：問34	元気：問28	この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか	

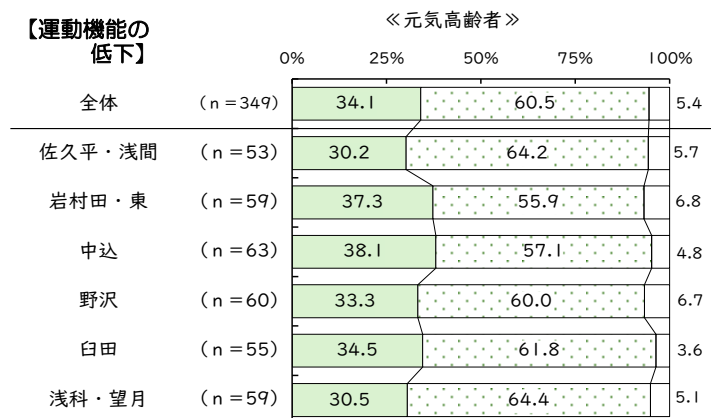
⇒ 1点～2点：該当 / 0点：非該当 / 無回答があった場合：不明

【IADL（手段的自立度）】の判定・評価（老研指標）

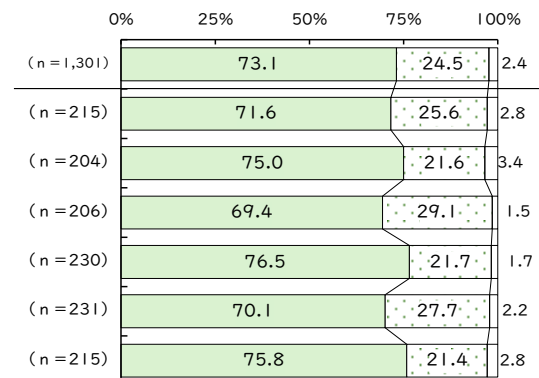
問番号		項目	選択肢
元気：問12-①	元気：問11-①	バスや電車を使って1人で外出していますか（自家用車でも可）	「1 できるし、している」または 「2 できるけどしていない」= 1点
元気：問12-②	元気：問11-②	自分で食品・日用品の買物をしていますか	
元気：問12-③	元気：問11-③	自分で食事の用意をしていますか	
元気：問12-④	元気：問11-④	自分で請求書の支払いをしていますか	
元気：問12-⑤	元気：問11-⑤	自分で預貯金のおし入れをしていますか	

⇒ 0点～3点：低い / 4点：やや低い / 5点：問題なし

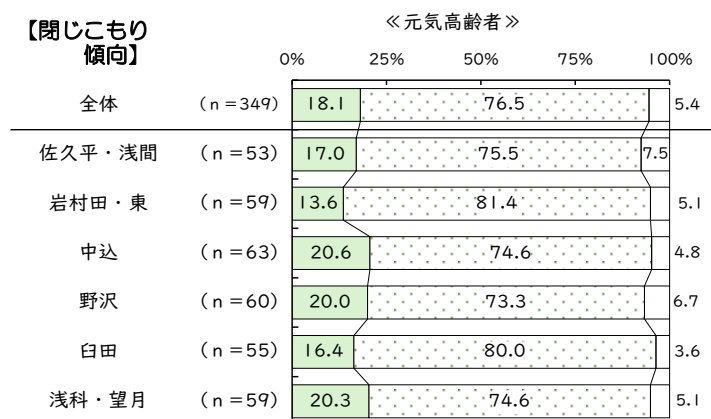
【運動機能の低下】



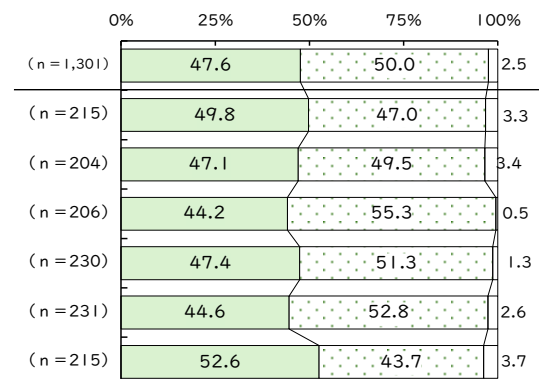
《居宅要介護・要支援認定者等》



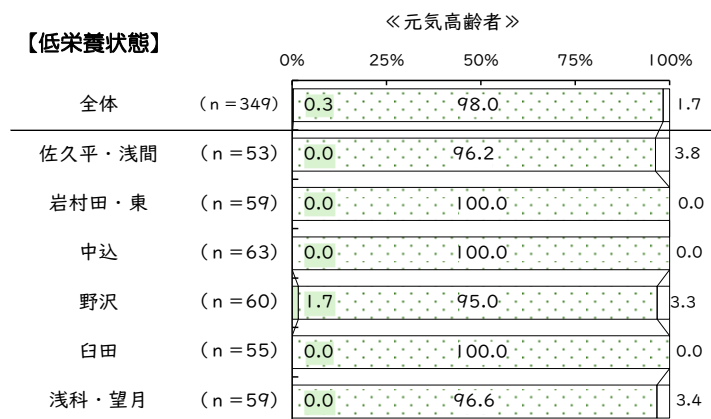
【閉じこもり傾向】



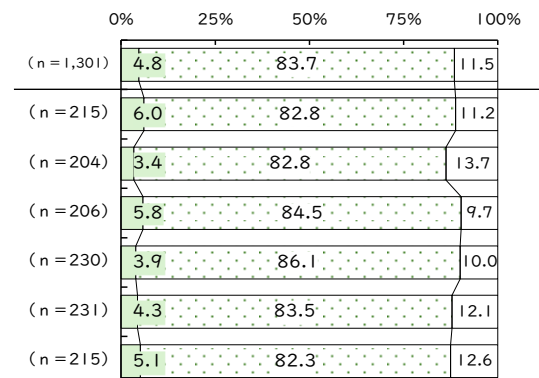
《居宅要介護・要支援認定者等》



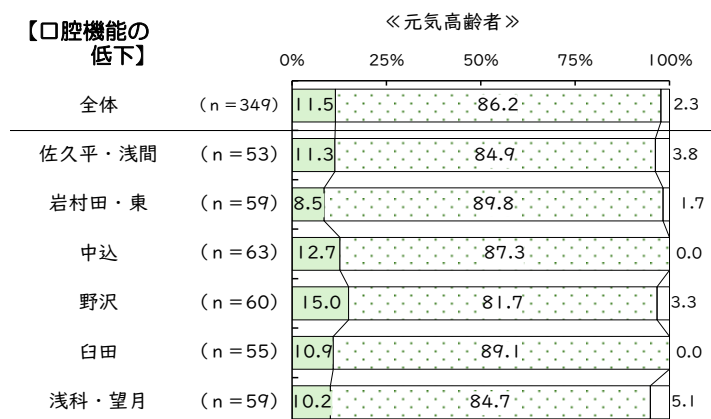
【低栄養状態】



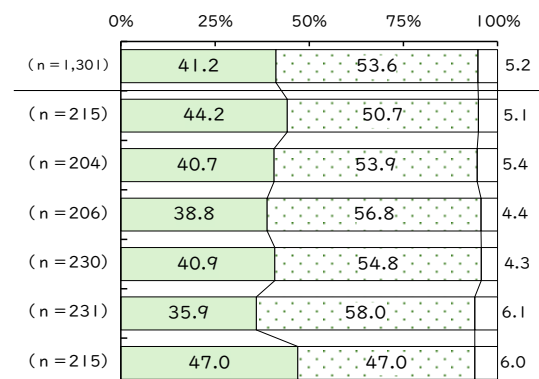
《居宅要介護・要支援認定者等》



【口腔機能の低下】



《居宅要介護・要支援認定者等》



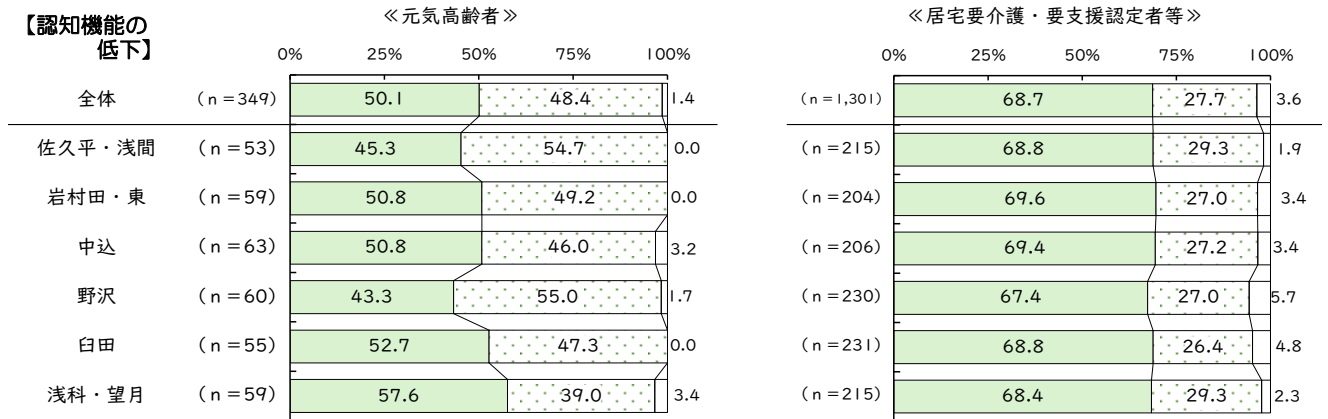
■ 該当

□ 非該当

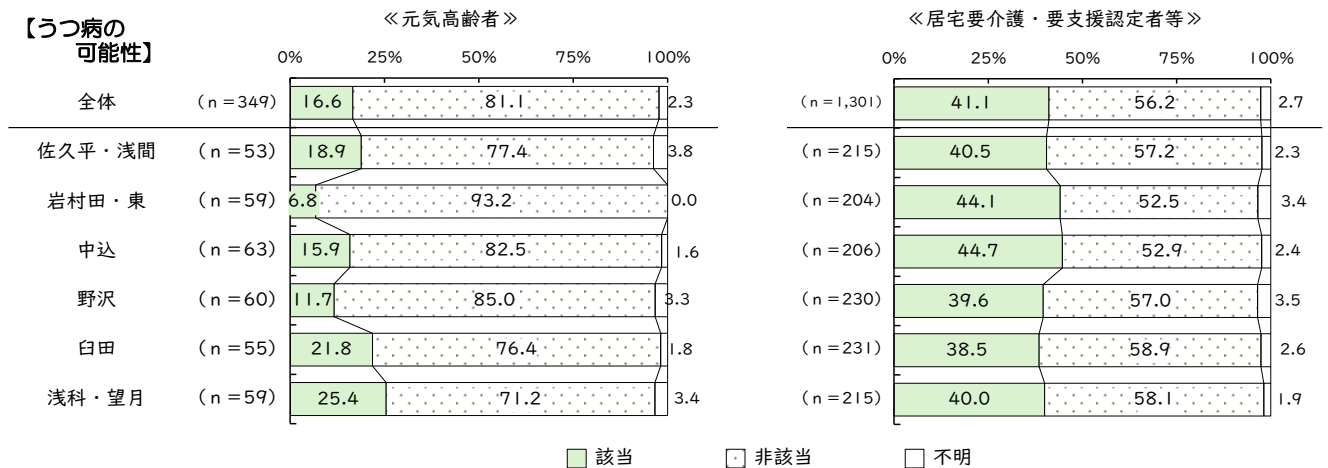
□ 不明

4. 日常生活圏域別地域分析

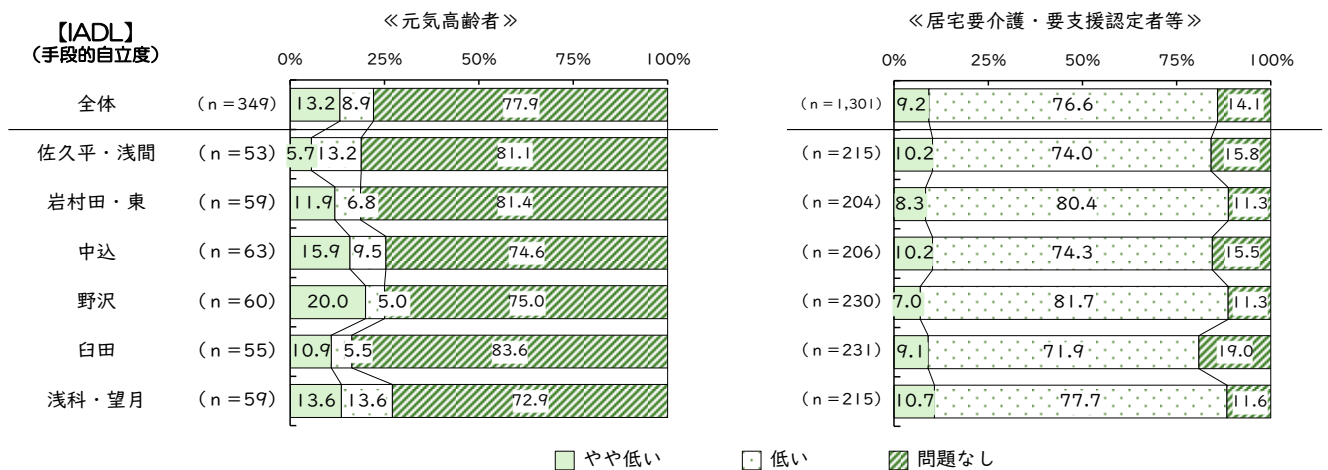
【認知機能の低下】



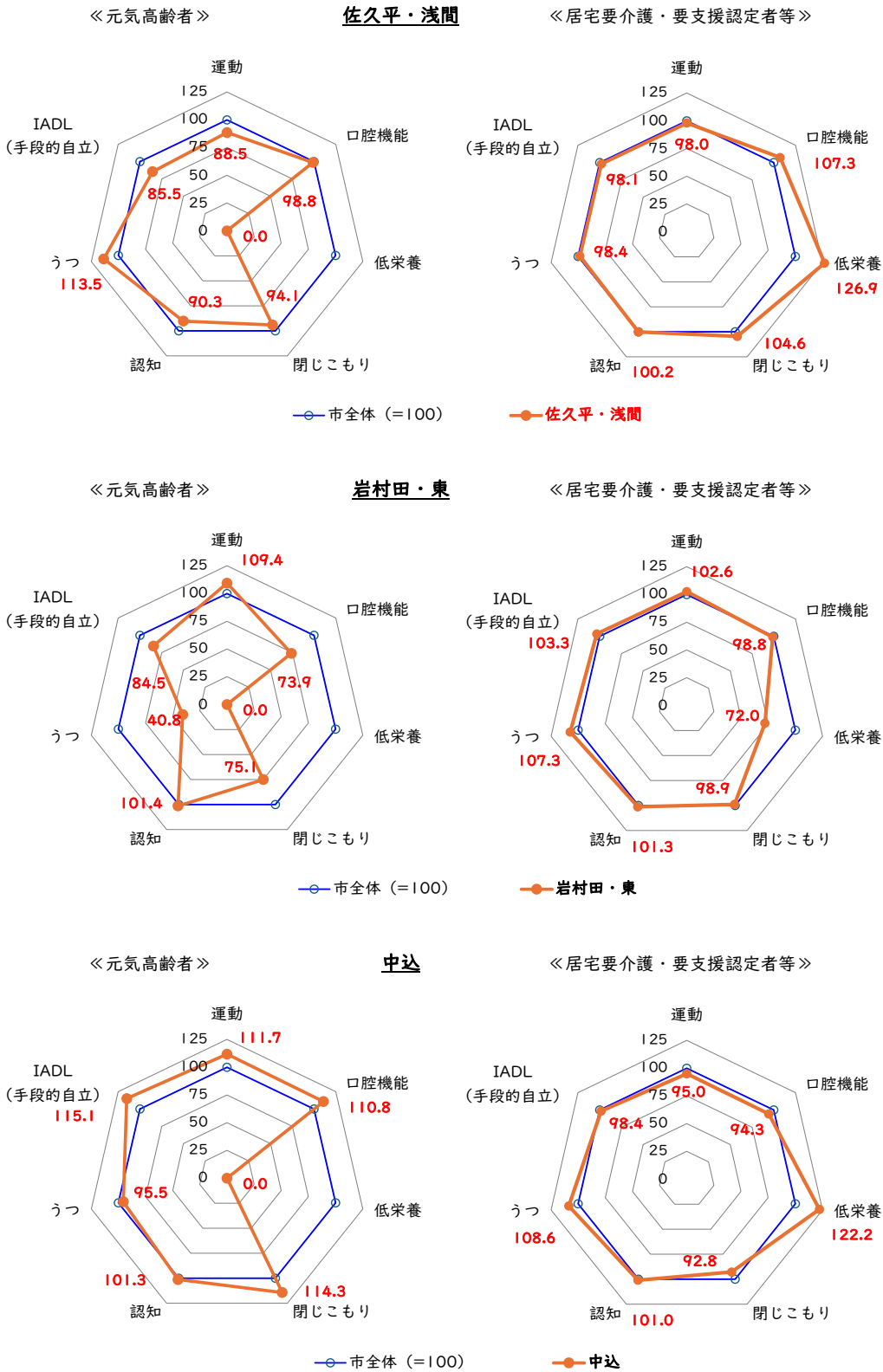
【うつ病の可能性】



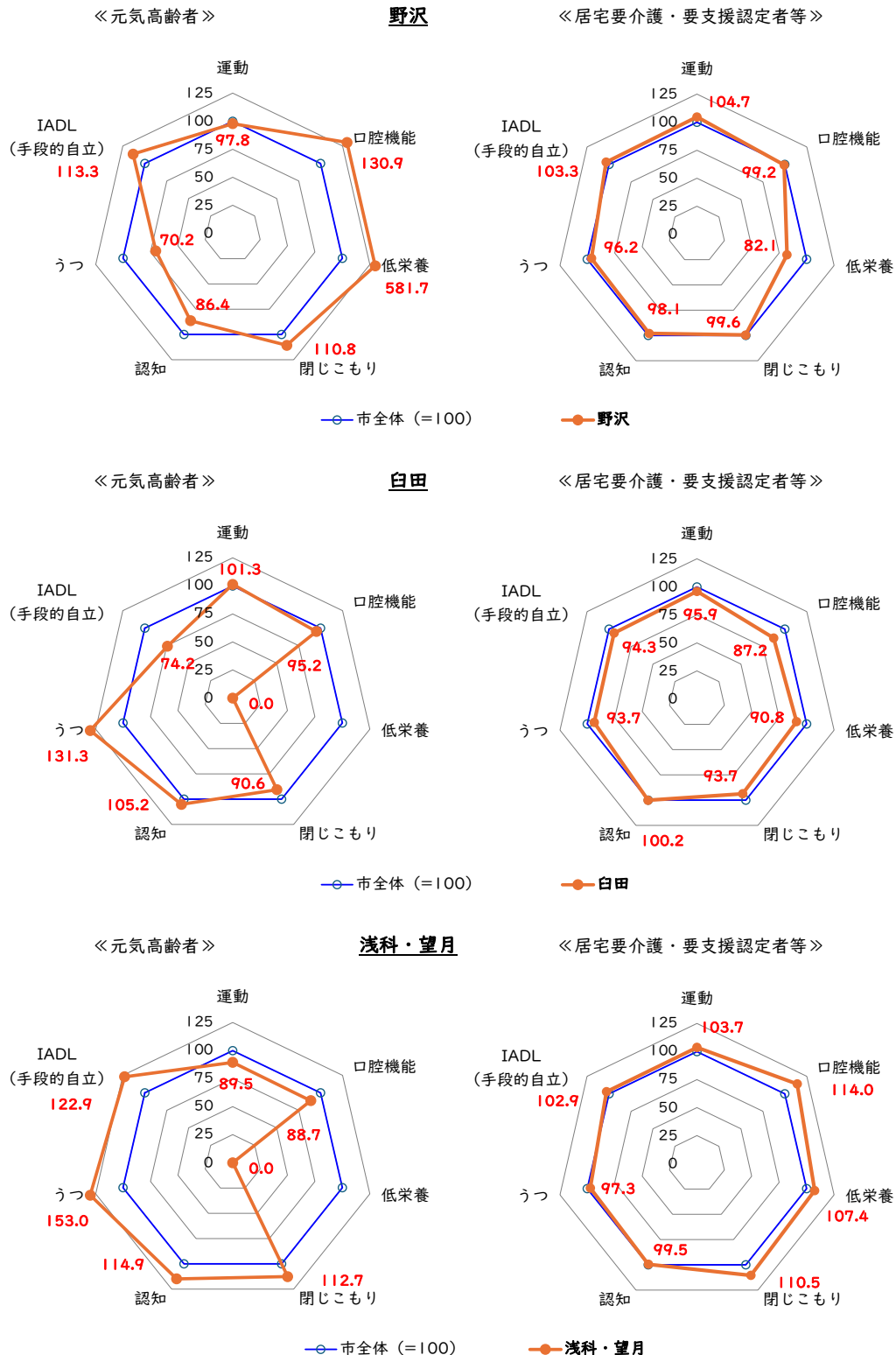
【IADL】 (手段的自立度)



【日常生活圏域別のレーダーチャート】



4. 日常生活圏域別地域分析

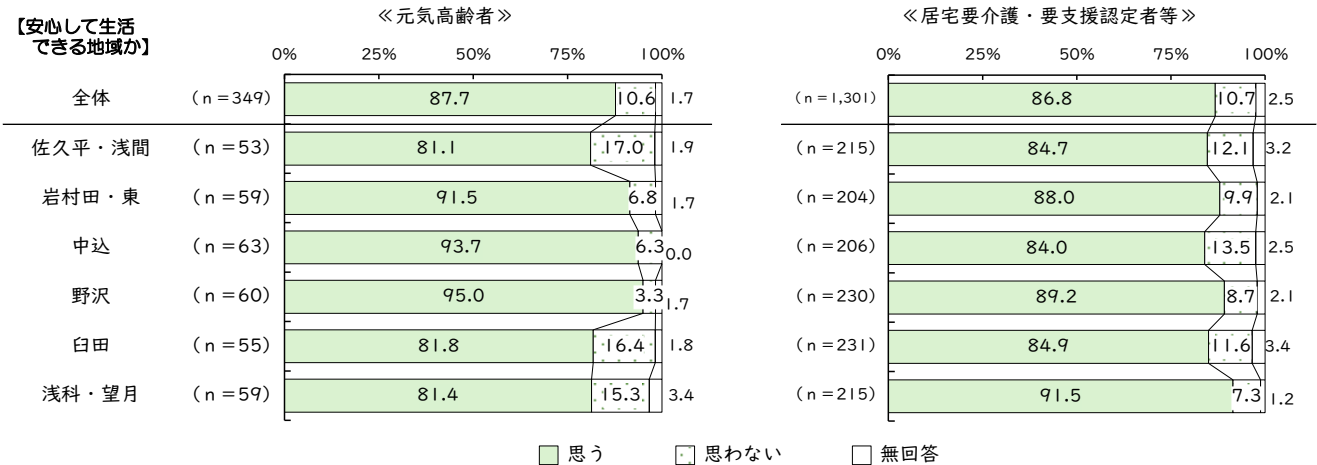


各項目の市全体の該当者割合を 100 とした指標のレーダーチャートで、日常生活圏域別に比較すると、元気高齢者においては、野沢の“口腔機能”、白田の“うつ”、浅科・望月の“IADL”と“うつ”が大きく上回っています。（元気高齢者の低栄養は、市全体でも該当者が1人のため対象外）一方、岩村田・東は7項目中5項目で100を下回っており、全般的にリスクが低い圏域となっています。

一方、居宅要介護・要支援認定者においては、佐久平・浅間と中込の“低栄養”が大きく上回っています。

地域とのつながり・社会参加

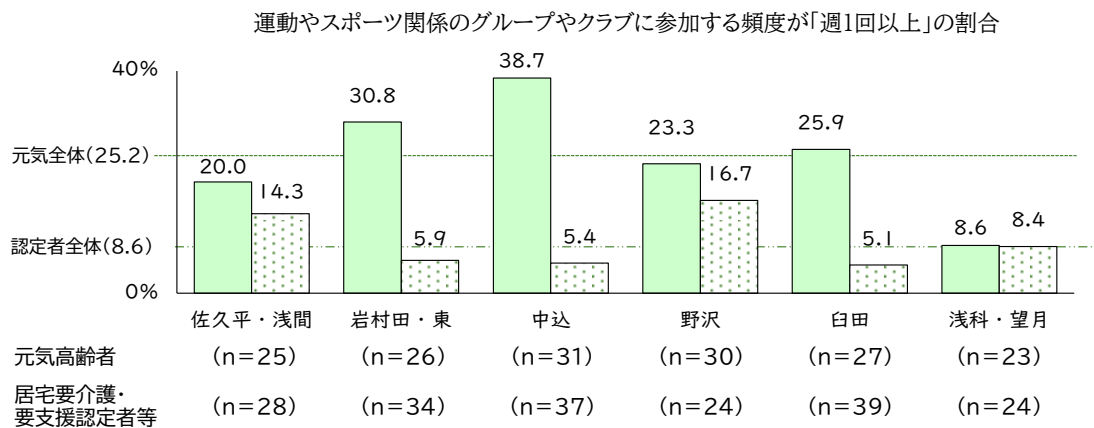
【安心して生活できる地域か】



元気高齢者では、野沢（95.0%）、中込（93.7%）、岩村田・東（91.5%）で「安心して生活できる」と感じる割合が高くなっています。一方、佐久平・浅間（81.1%）と浅科・望月（81.4%）では、比較的低くなっています。

居宅要介護・要支援認定者等では、大半の圏域が8割台で推移している中、浅科・望月（91.5%）は、9割以上となっています。

【運動・スポーツグループへの参加】

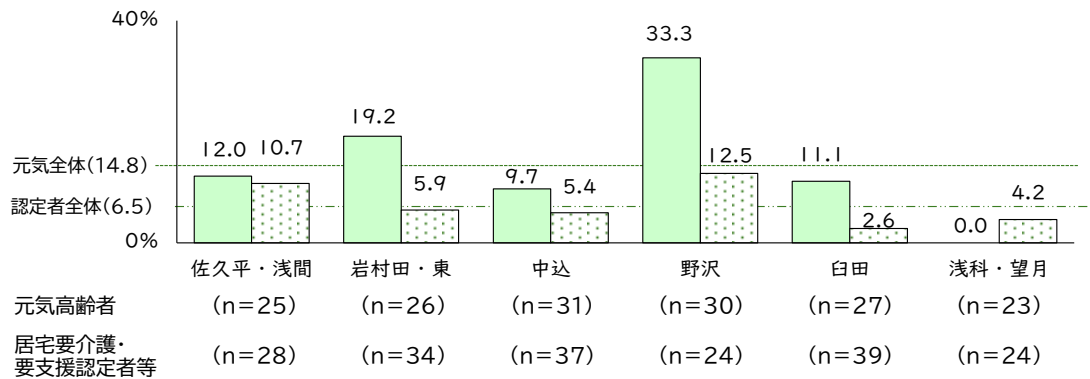


元気高齢者では、中込（38.7%）や岩村田・東（30.8%）で参加率が高く、健康づくり活動が活発な傾向があります。一方、浅科・望月（8.6%）では低く、地域差が大きくみられます。

居宅要介護・要支援認定者等では全体的に低水準ですが、野沢（16.7%）と佐久平・浅間（14.3%）は比較的高くなっています。

【趣味グループへの参加】

趣味関係のグループに参加する頻度が「週1回以上」の割合

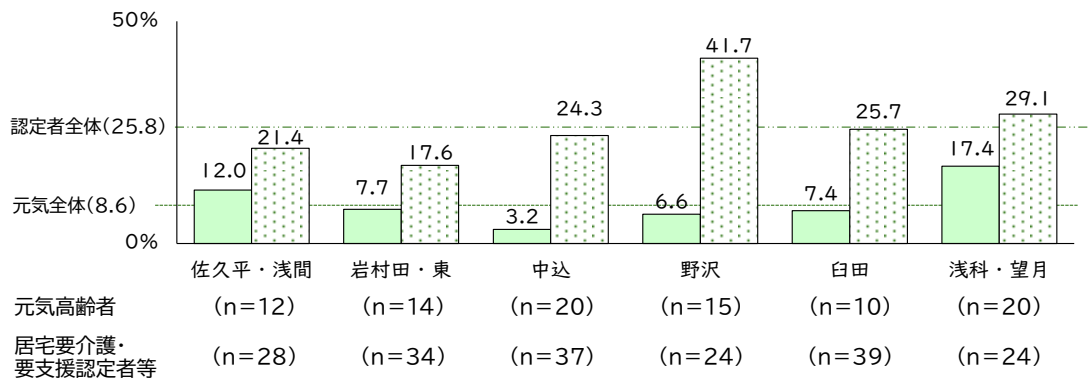


元気高齢者では、野沢（33.3％）で参加率が突出して高くなっています。一方、浅科・望月では0％と少なくなっています。

居宅要介護・要支援認定者等では、最も高い野沢でも12.5％と1割台で、全体的に低水準となっています。

【介護予防の通いの場への参加】

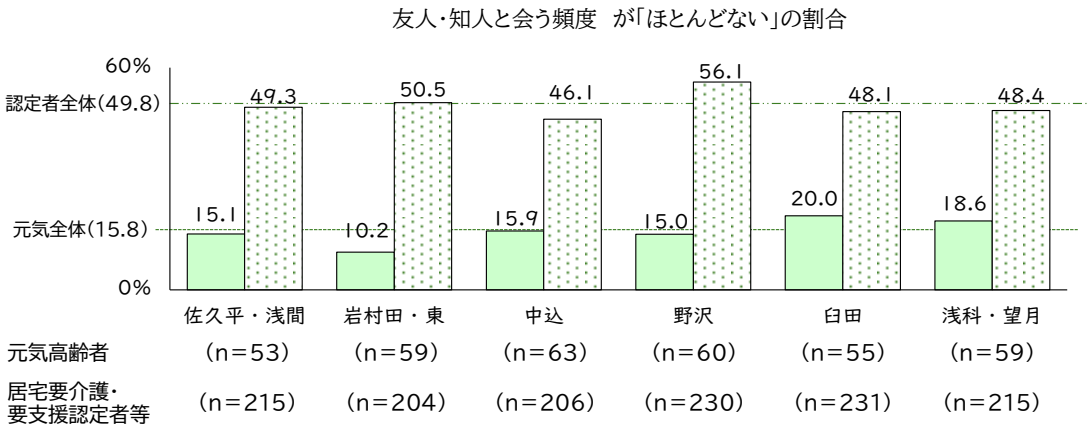
介護予防のための通いの場に参加する頻度が「週1回以上」の割合



元気高齢者では全体的に参加率が低いものの、浅科・望月（17.4％）は比較的高くなっています。

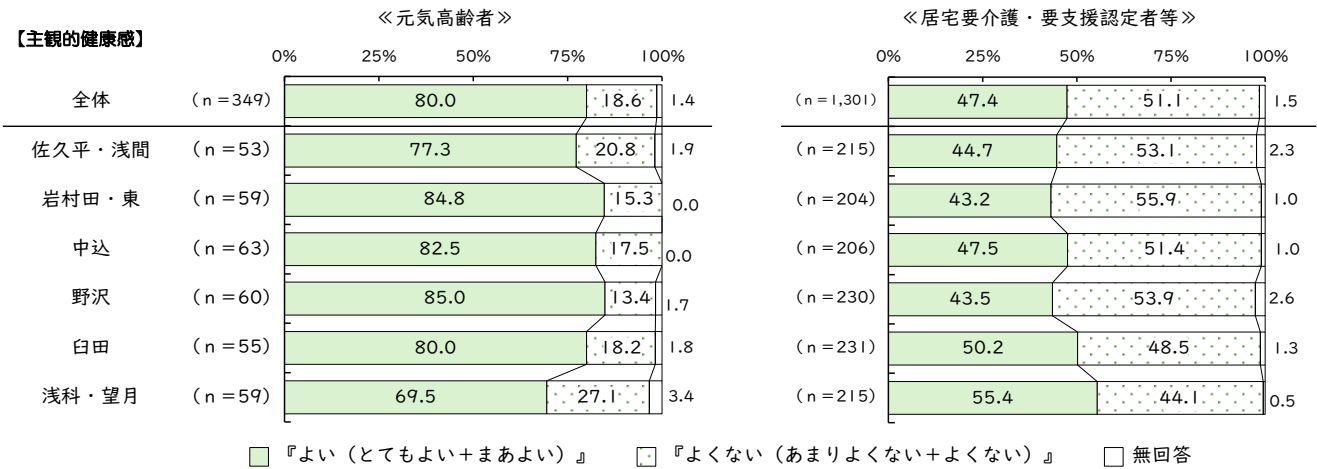
居宅要介護・要支援認定者等では、野沢（41.7％）が特に高く、介護予防活動への参加が進んでいる様子がうかがえます。一方、中込は17.6％と、2割を下回り、やや低めとなっています。

【友人・知人と会う頻度】



元気高齢者では、臼田（20.0%）や浅科・望月（18.6%）で「ほとんどない」がやや高くなっています。
居宅要介護・要支援認定者等では、全体でも 49.8%と、ほぼ半数となっている中、野沢では 56.1%と、6割近くを占めています。

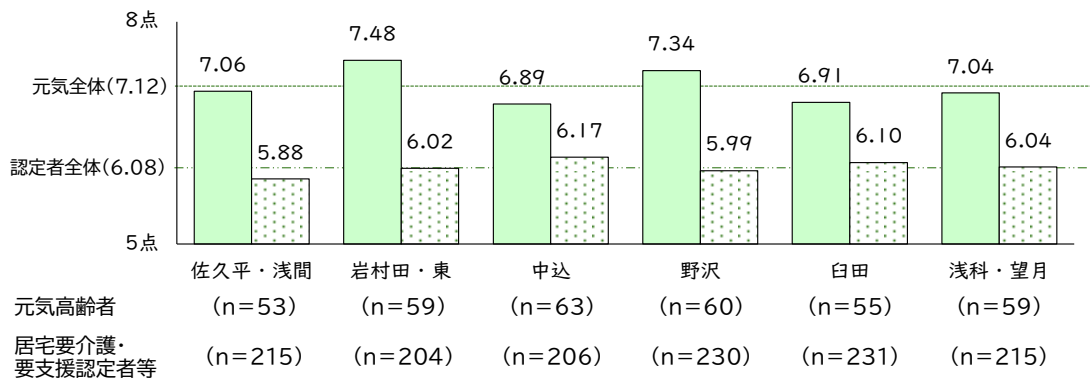
【主観的健康感】



元気高齢者では、野沢（85.0%）、岩村田・東（84.8%）で『よい（とてもよい+まあよい）』が高い一方、浅科・望月では 15 ポイント程度低い 69.5%となっています。
居宅要介護・要支援認定者等では、元気高齢者では低い方の圏域だった浅科・望月（55.4%）や臼田（50.2%）で比較的高く、地域差がみられます。

【幸福度】

幸福度(最低 0点～ 最高10点)の平均点

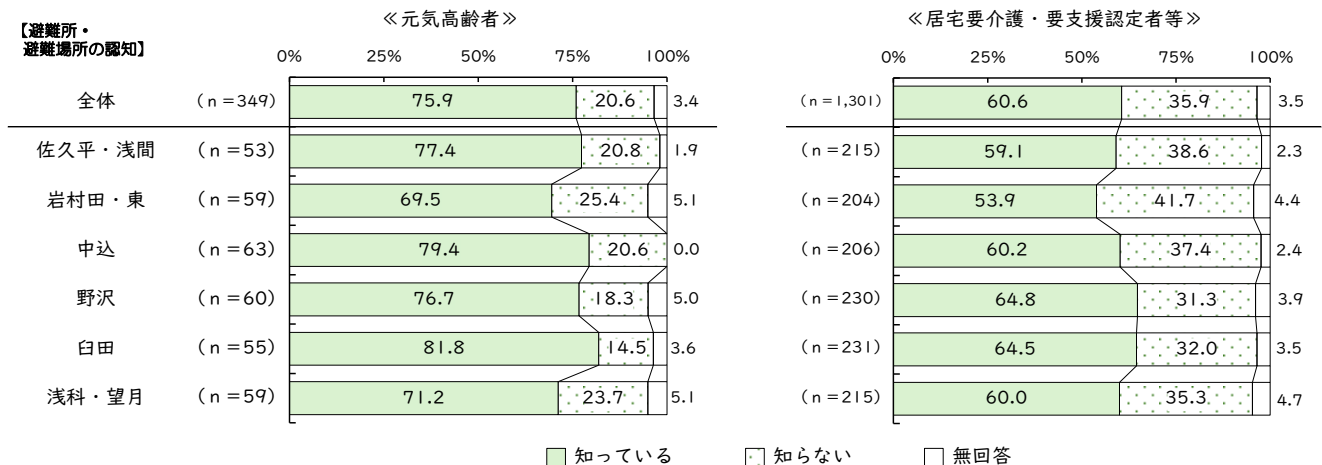


元気高齢者では、岩村田・東（7.48 点）が最も高く、中込（6.89 点）はやや低い状況です。

居宅要介護・要支援認定者等では地域差は小さいものの、中込（6.17 点）がやや高く、佐久平・浅間（5.88 点）が低くなっています。

安心・安全

【避難所・避難場所の認知状況】

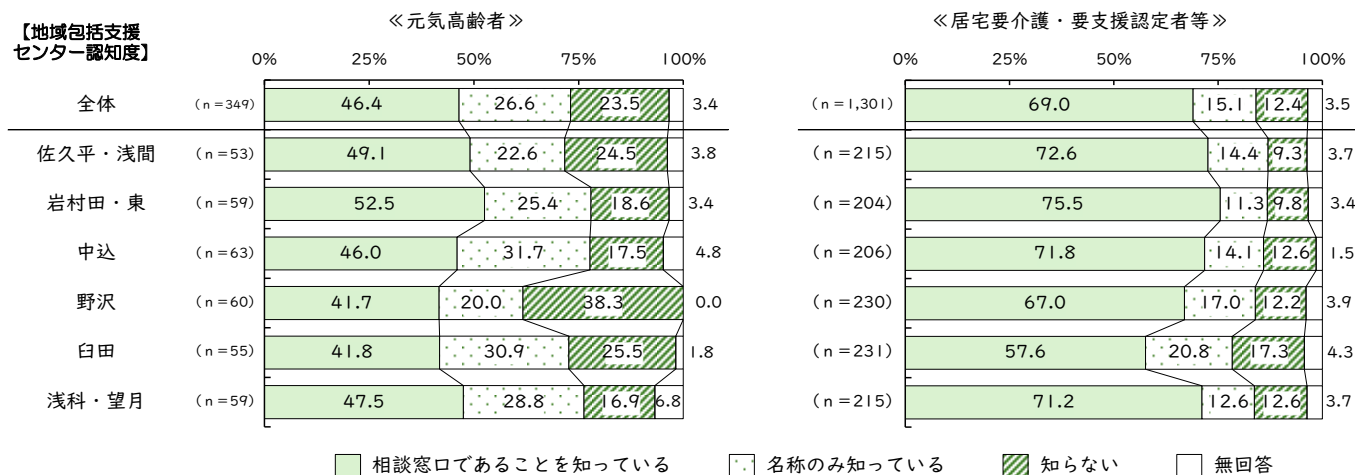


元気高齢者では、白田（81.8%）や中込（79.4%）で認知度が高い一方、岩村田・東（69.5%）や浅科・望月（71.2%）では低くなっています。

居宅要介護・要支援認定者等においても、岩村田・東（53.9%）と浅科・望月（60.0%）で低く、元気高齢者とともに低い結果を考慮すると、周知が必要と考えられます。

相談支援・介護予防意識

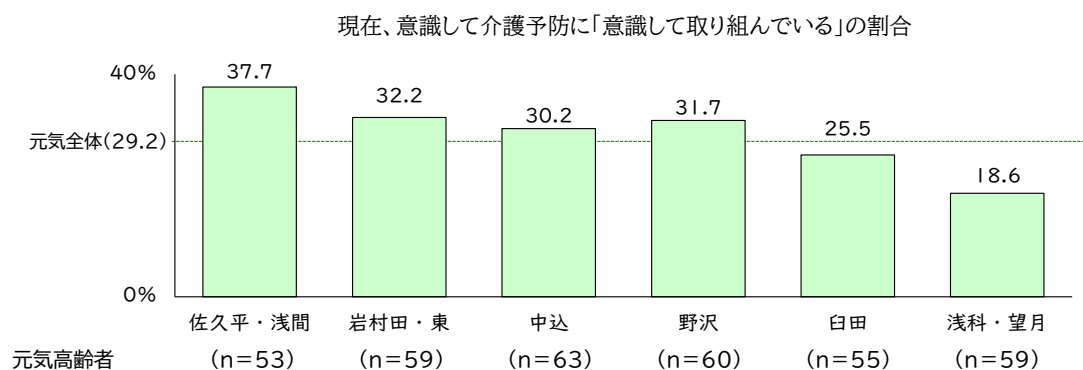
【地域包括支援センターの認知度】



元気高齢者では、岩村田・東（52.5%）で「相談窓口であることを知っている」が高い一方、野沢（41.7%）や白田（41.8%）では低くなっています。

居宅要介護・要支援認定者等においても、白田では「相談窓口であることを知っている」が57.6%と低く、「知らない」が17.3%と、他の圏域より認知度が低い結果となっています。

【介護予防への取組】



元気高齢者では、佐久平・浅間（37.7%）で介護予防に「意識して取り組んでいる」が高い一方、浅科・望月（18.6%）は低く、地域差がみられます。

【参加してみたい介護予防事業（元気高齢者）】

		調査数	運動機能向上のための教室 (ストレッチ運動、筋力向上トレーニングなど)	認知症になることを予防するために、 趣味活動やゲームなどを行う教室	健康のために栄養バランスよく、 おいしく食べるための教室や調理実習	家の中に閉じこもらないために、 公民館等が集まつのゲームや会食	お茶や汁物でむせることを防ぐための 口の中の清潔保持や舌・口まわりの運動	うつ状態になることを予防するための教室や 保健師などによるご自宅への訪問ケア	その他	参加してみたいことは特にな	無回答
全体		349 100.0	166 47.6	103 29.5	66 18.9	60 17.2	37 10.6	22 6.3	5 1.4	100 28.7	14 4.0
日常生活圏域別	佐久平・浅間	53 100.0	22 41.5	13 24.5	8 15.1	7 13.2	3 5.7	2 3.8	1 1.9	17 32.1	4 7.5
	岩村田・東	59 100.0	27 45.8	23 39.0	17 28.8	14 23.7	8 13.6	7 11.9	1 1.7	11 18.6	3 5.1
	中込	63 100.0	29 46.0	17 27.0	15 23.8	10 15.9	5 7.9	4 6.3	2 3.2	21 33.3	2 3.2
	野沢	60 100.0	25 41.7	15 25.0	7 11.7	8 13.3	5 8.3	2 3.3	0 0.0	23 38.3	2 3.3
	白田	55 100.0	28 50.9	17 30.9	12 21.8	10 18.2	8 14.5	1 1.8	1 1.8	16 29.1	1 1.8
	浅科・望月	59 100.0	35 59.3	18 30.5	7 11.9	11 18.6	8 13.6	6 10.2	0 0.0	12 20.3	2 3.4

※青字：全体よりも5ポイント以上高い

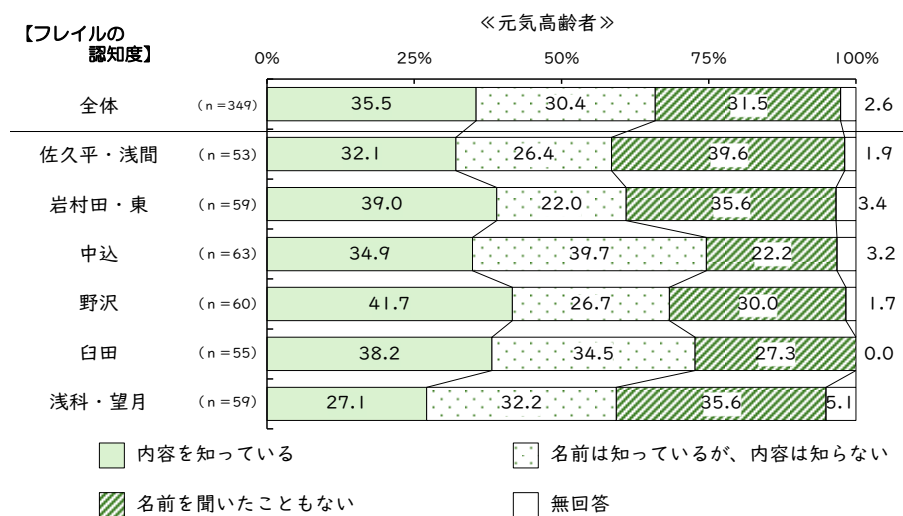
(上段:人 下段:%)

※青字：全体よりも5ポイント以上高い
赤字：全体よりも5ポイント以上低い

(上段:人 下段:%)

岩村田・東では、「参加してみたいことは特にな

【フレイルの認知度】



元気高齢者では、野沢（41.7%）や岩村田・東（39.0%）で「内容を知っている」が高い一方、浅科・望月（27.1%）では低くなっています。また、中込では「名前を聞いたこともない」が22.2%と低く、一定程度認知が進んでいます。

生活支援・介護サービス

【必要な支援サービス（元気高齢者）】

	調査数	（移送サービス 介護・福祉タクシー等）	買い物	巡回販売等の 宅配	外出同行 （通院、買い物など）	配食	ごみ出し	掃除・洗濯	見守り、 声かけ	調理	サロンなどの 定期的な通いの場	その他	特 に な い	無 回 答
全体	349 100.0	102 29.2	67 19.2	67 19.2	67 19.2	66 18.9	57 16.3	54 15.5	51 14.6	35 10.0	13 3.7	1 0.3	114 32.7	53 15.2
日常生活圏別														
佐久平・浅間	53 100.0	11 20.8	10 18.9	11 20.8	7 13.2	9 17.0	10 18.9	10 18.9	6 11.3	3 5.7	0 0.0	0 0.0	23 43.4	4 7.5
岩村田・東	59 100.0	18 30.5	9 15.3	9 15.3	11 18.6	7 11.9	5 8.5	7 11.9	7 11.9	8 13.6	2 3.4	0 0.0	19 32.2	12 20.3
中込	63 100.0	19 30.2	12 19.0	9 14.3	10 15.9	13 20.6	10 15.9	9 14.3	14 22.2	6 9.5	5 7.9	0 0.0	18 28.6	9 14.3
野沢	60 100.0	16 26.7	8 13.3	11 18.3	9 15.0	10 16.7	7 11.7	8 13.3	6 10.0	4 6.7	1 1.7	0 0.0	21 35.0	13 21.7
白田	55 100.0	18 32.7	12 21.8	12 21.8	13 23.6	11 20.0	11 20.0	10 18.2	9 16.4	5 9.1	2 3.6	1 1.8	18 32.7	6 10.9
浅科・望月	59 100.0	20 33.9	16 27.1	15 25.4	17 28.8	16 27.1	14 23.7	10 16.9	9 15.3	9 15.3	3 5.1	0 0.0	15 25.4	9 15.3

※青字：全体よりも5ポイント以上高い

赤字：全体よりも5ポイント以上低い

(上段：人 下段：%)

元気高齢者では、浅科・望月で「移送サービス」（33.9%）、「買い物」（27.1%）、「外出同行」（25.4%）など生活支援ニーズが高く、移動や日常生活支援への需要が強いことがうかがえます。白田でも移送サービス（32.7%）や配食（23.6%）が高くなっています。一方、佐久平・浅間では「特にない」が43.4%と高く、比較的自立した生活状況がうかがえます。

【必要な支援サービス（居宅要介護・要支援認定者）】

	調査数	（移送サービス 介護・福祉タクシー等）	（外出同行 買い物など）	配食	掃除・洗濯	ごみ出し	買い物	見守り、 声かけ	巡回販売等の 宅配	調理	サロンなどの 定期的な通いの場	その他	特 に な い	無 回 答
全体	1,301 100.0	304 23.4	268 20.6	210 16.1	206 15.8	197 15.1	188 14.5	175 13.5	159 12.2	133 10.2	65 5.0	14 1.1	397 30.5	217 16.7
日常生活圏別														
佐久平・浅間	215 100.0	51 23.7	51 23.7	41 19.1	38 17.7	29 13.5	31 14.4	24 11.2	26 12.1	22 10.2	6 2.8	4 1.9	69 32.1	30 14.0
岩村田・東	204 100.0	52 25.5	54 26.5	34 16.7	32 15.7	31 15.2	32 15.7	29 14.2	18 8.8	20 9.8	14 6.9	1 0.5	53 26.0	33 16.2
中込	206 100.0	50 24.3	47 22.8	36 17.5	32 15.5	27 13.1	27 13.1	38 18.4	28 13.6	22 10.7	15 7.3	4 1.9	64 31.1	31 15.0
野沢	230 100.0	52 22.6	31 13.5	36 15.7	31 13.5	30 13.0	31 13.5	26 11.3	26 11.3	17 7.4	9 3.9	1 0.4	74 32.2	42 18.3
白田	231 100.0	51 22.1	41 17.7	34 14.7	38 16.5	45 19.5	36 15.6	30 13.0	33 14.3	27 11.7	13 5.6	1 0.4	71 30.7	44 19.0
浅科・望月	215 100.0	48 22.3	44 20.5	29 13.5	35 16.3	35 16.3	31 14.4	28 13.0	28 13.0	25 11.6	8 3.7	3 1.4	66 30.7	37 17.2

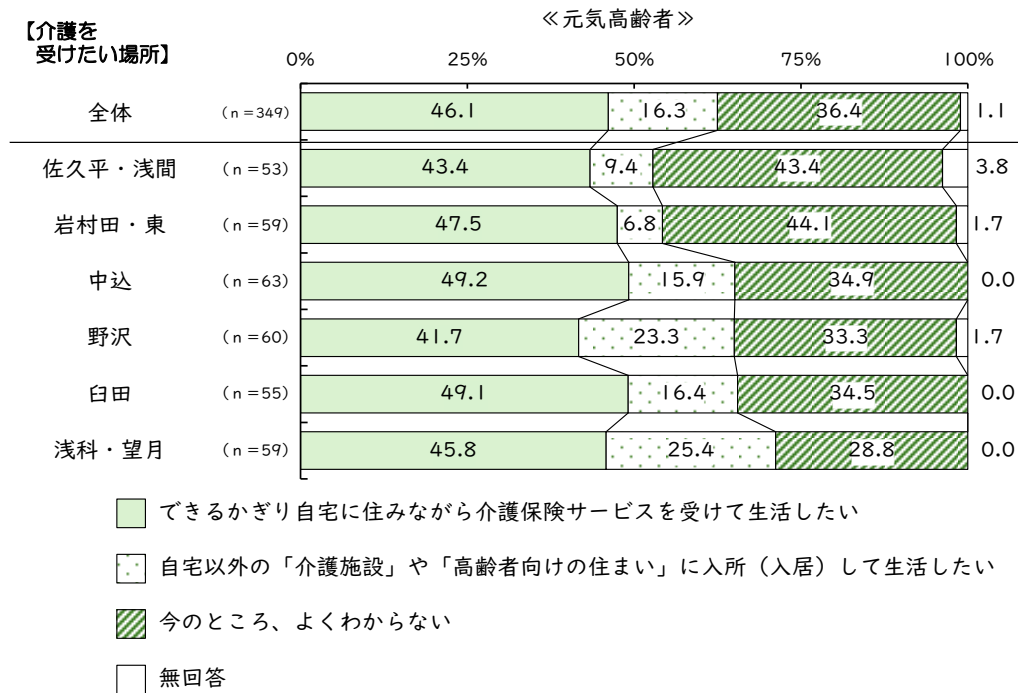
※青字：全体よりも5ポイント以上高い

赤字：全体よりも5ポイント以上低い

(上段：人 下段：%)

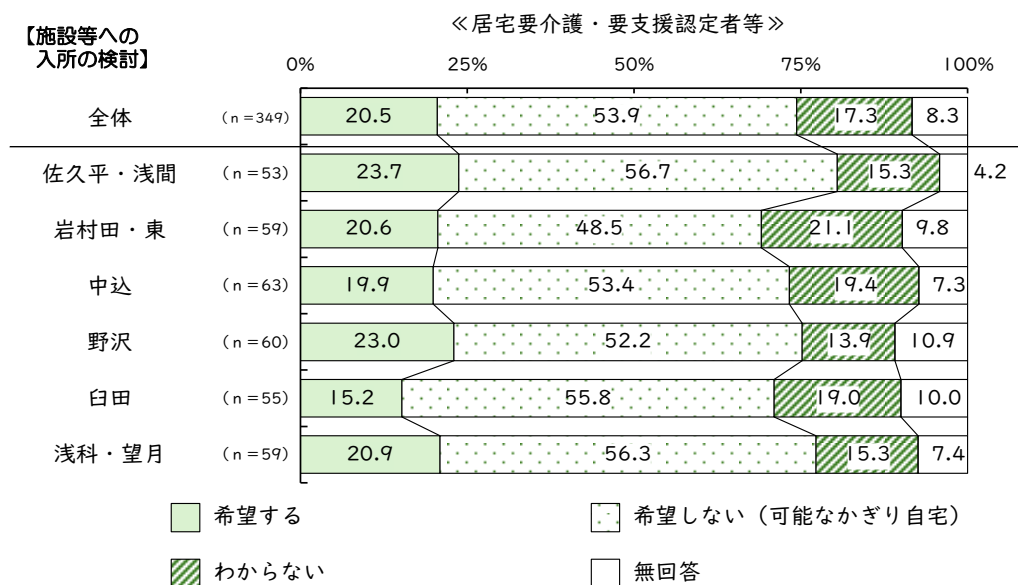
居宅要介護・要支援認定者等では、岩村田・東で「外出同行」（26.5%）が高く、移動支援ニーズが大きい状況です。また、全体との差が5ポイント以上まではありませんが、白田では「ごみ出し」（19.5%）、中込では「見守り・声かけ」（18.4%）が高く、地域特性に応じた生活支援の必要性がみられます。

【介護を受けたい場所（元気高齢者）】



元気高齢者では、中込（49.2%）や白田（49.1%）で「できる限り自宅で生活したい」が高く、在宅志向がやや強い傾向があります。一方、浅科・望月では「施設入所希望」が25.4%で、全体よりも10ポイント近く高くなっています。

【施設等への入所検討（居宅要介護・要支援認定者）】



居宅要介護・要支援認定者等では、佐久平・浅間（23.7%）や野沢（23.0%）で施設入所希望が比較的高くなっています。

【在宅医療・介護で不安に思うこと（元気高齢者）】

		調査数	介護サービスを受けることができる	医療を受けることができる	介護してくれる家族の精神的・身体的負担の有無	急に病状が変わった時の対応	経済的な負担	自宅に訪問してくれる医師・看護師等の体制	不安を感じた時に、いつでも相談に乗ってもらえる窓口の有無	自宅で痛みや呼吸苦などの症状コントロールが可能なかどうか	療養できる部屋や風呂、トイレなどの居住環境	日常的に介護してくれる家族がいるかどうか	その他	特にない	無回答
全体		349 100.0	146 41.8	136 39.0	126 36.1	123 35.2	123 35.2	121 34.7	114 32.7	71 20.3	64 18.3	60 17.2	2 0.6	25 7.2	19 5.4
日常生活圏別	佐久平・浅間	53 100.0	20 37.7	23 43.4	13 24.5	13 24.5	13 24.5	16 30.2	17 32.1	8 15.1	6 11.3	7 13.2	1 1.9	7 13.2	4 7.5
	岩村田・東	59 100.0	23 39.0	21 35.6	24 40.7	22 37.3	22 37.3	21 35.6	19 32.2	11 18.6	9 15.3	8 13.6	0 0.0	2 3.4	5 8.5
	中込	63 100.0	32 50.8	26 41.3	28 44.4	20 31.7	25 39.7	23 36.5	20 31.7	15 23.8	14 22.2	12 19.0	0 0.0	4 6.3	2 3.2
	野沢	60 100.0	22 36.7	18 30.0	12 20.0	18 30.0	17 28.3	18 30.0	17 28.3	8 13.3	10 16.7	8 13.3	0 0.0	6 10.0	4 6.7
	白田	55 100.0	25 45.5	24 43.6	22 40.0	25 45.5	19 34.5	17 30.9	21 38.2	13 23.6	10 18.2	10 18.2	0 0.0	5 9.1	1 1.8
	浅科・望月	59 100.0	24 40.7	24 40.7	27 45.8	25 42.4	27 45.8	26 44.1	20 33.9	16 27.1	15 25.4	15 25.4	1 1.7	1 1.7	3 5.1

※青字：全体よりも5ポイント以上高い

赤字：全体よりも5ポイント以上低い

(上段：人 下段：%)

元気高齢者では、浅科・望月で全体よりも5ポイント以上高い項目が8個と、在宅医療・介護へのニーズが強くみられます。一方、佐久平・浅間と野沢においては全体よりも5ポイント以上低い項目が5～6個と多く、圏域による差異が大きい状況となっています。

【介護者が不安に感じる介護（居宅要介護・要支援認定者）】

	調査数	認知症状への対応	夜間の排泄	日中の排泄	入浴・洗身	外出の付き添い、送迎等	食事の準備（調理等）	屋内の移乗・移動	金銭管理や生活面に必要な諸手続き	その他の家事（掃除・洗濯・買い物等）	服薬	衣服の着脱	食事の介助（食べる時）	医療面での対応（経管栄養、ストーマ等）	身だしなみ（洗顔・歯磨き等）	その他	不安に感じていることは特になし	無回答	
全体	836	244	243	196	180	169	123	100	96	90	89	62	55	43	37	18	45	101	
日常生活圏別	佐久平・浅間	127	38	39	31	24	28	21	20	13	14	14	8	6	11	6	0	7	16
		100.0	29.9	30.7	24.4	18.9	22.0	16.5	15.7	10.2	11.0	11.0	6.3	4.7	8.7	4.7	0.0	5.5	12.6
	岩村田・東	125	41	41	26	35	28	13	14	14	20	9	11	8	7	6	1	5	12
		100.0	32.8	32.8	20.8	28.0	22.4	10.4	11.2	11.2	16.0	7.2	8.8	6.4	5.6	4.8	0.8	4.0	9.6
	中込	143	52	36	35	34	28	24	15	16	15	15	10	8	3	4	9	8	16
		100.0	36.4	25.2	24.5	23.8	19.6	16.8	10.5	11.2	10.5	10.5	7.0	5.6	2.1	2.8	6.3	5.6	11.2
	野沢	152	35	44	40	33	26	20	18	16	15	18	16	12	9	13	4	9	15
		100.0	23.0	28.9	26.3	21.7	17.1	13.2	11.8	10.5	9.9	11.8	10.5	7.9	5.9	8.6	2.6	5.9	9.9
	白田	147	39	46	39	29	31	20	14	20	12	16	11	10	5	5	1	10	18
		100.0	26.5	31.3	26.5	19.7	21.1	13.6	9.5	13.6	8.2	10.9	7.5	6.8	3.4	3.4	0.7	6.8	12.2
浅科・望月	142	39	37	25	25	28	25	19	17	14	17	6	11	8	3	3	6	24	
	100.0	27.5	26.1	17.6	17.6	19.7	17.6	13.4	12.0	9.9	12.0	4.2	7.7	5.6	2.1	2.1	4.2	16.9	

※青字：全体よりも5ポイント以上高い

赤字：全体よりも5ポイント以上低い

(上段：人 下段：%)

居宅要介護・要支援認定者等では、「認知症への対応」への不安が中込で高く、野沢で低くなっています。また、岩村田・東では「入浴・洗身」と「その他の家事」への不安が高くなっています。

4. 日常生活圏域別地域分析

【現在利用している介護サービス（居宅要介護・要支援認定者）】

	調査数	通所介護 (デイサービス)	訪問看護	通所リハビリテーション (デイケア)	医師や薬剤師などによる 療養上の指導（居宅療養管理指導）	短期入所 (ショートステイ)	訪問介護	訪問診療 (医師の訪問)	訪問リハビリテーション	訪問入浴介護	その他生活支援サービス	小規模多機能型居宅介護	定期巡回・随時対応型 訪問介護看護	夜間対応型訪問介護	認知症対応型通所介護	その他の在宅サービス	看護小規模多機能型居宅介護	無回答
全体	1,057	612	240	223	209	203	142	119	102	54	46	32	29	22	9	7	6	65
	100.0	57.9	22.7	21.1	19.8	19.2	13.4	11.3	9.6	5.1	4.4	3.0	2.7	2.1	0.9	0.7	0.6	6.1
日常生活圏域別	佐久平・浅間	174	88	40	32	35	28	32	11	16	9	6	3	3	2	0	1	14
	100.0	50.6	23.0	18.4	20.1	16.1	18.4	6.3	9.2	5.2	5.2	3.4	1.7	1.7	1.1	0.0	0.6	8.0
	岩村田・東	167	104	25	37	32	38	19	18	13	8	5	6	4	1	0	2	8
	100.0	62.3	15.0	22.2	19.2	22.8	11.4	10.8	7.8	7.8	4.8	3.0	3.6	2.4	0.6	0.0	1.2	4.8
	中込	170	88	30	55	25	32	17	9	16	10	8	3	3	4	1	1	8
	100.0	51.8	17.6	32.4	14.7	18.8	10.0	5.3	9.4	5.9	4.7	1.8	1.8	2.4	0.6	0.6	0.6	4.7
	野沢	185	107	41	38	36	39	20	30	12	10	6	4	7	0	3	1	16
	100.0	57.8	22.2	20.5	19.5	21.1	10.8	16.2	6.5	5.4	4.9	3.2	2.2	3.8	0.0	1.6	0.5	8.6
日常生活圏域別	臼田	177	107	51	46	47	33	25	16	4	6	7	10	2	4	2	1	14
	100.0	60.5	28.8	26.0	26.6	18.6	14.1	14.1	9.0	2.3	3.4	4.0	5.6	1.1	2.3	1.1	0.6	7.9
日常生活圏域別	浅科・望月	184	118	53	15	34	33	29	26	8	6	5	3	2	1	1	0	5
	100.0	64.1	28.8	8.2	18.5	17.9	15.8	14.1	15.8	4.3	3.3	2.7	1.6	1.1	0.5	0.5	0.0	2.7

※青字：全体よりも5ポイント以上高い
赤字：全体よりも5ポイント以上低い

(上段：人 下段：%)

居宅要介護・要支援認定者等では、全地域で通所介護（デイサービス）の利用が最も多いものの、浅科・望月（64.1%）や岩村田・東（62.3%）で特に高くなっています。また、中込では通所リハビリテーションが全地域よりも10ポイント以上高くなっています。

令和7年度 佐久市 高齢者等実態調査 結果報告書

令和8年3月
佐久市 高齢者福祉課

〒385-8501 長野県佐久市中込 3056
電話 0267-62-3154 FAX 0267-63-0241